



Keijyu Healthcare System

2022

業績集

The collection of achievements

社会医療法人財団 董仙会
社会福祉法人 徳充会

Vol.25 june,2023

2022年 [令和4年]
業績集
The collection of achievements



けいじゅヘルスケアシステム
Keiju Healthcare System

DXで振り返る 2022

Keiju Healthcare System

介護部設立

全国初 介護部誕生
医療×介護×看護の力で入院生活の質向上



法人全体の介護職員の

56 / 585名が介護部所属

感染対策テクノロジー



2022.08

感染対策テクノロジー

Teamsで新型コロナウイルスの感染状況をリアルタイムで共有

ポケメドサービス開始



待ち人数表示

モバイル診察券



4つの機能



受診予約
医療費確認

ワクチン
接種予約



2022年度
投稿数合計 **4,014**件

リアクション数

いいね! 1,359

ステキ 399

表情系 59

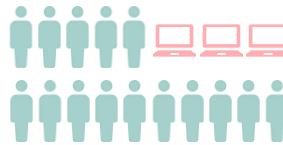
その他 24

定型業務のRPA化

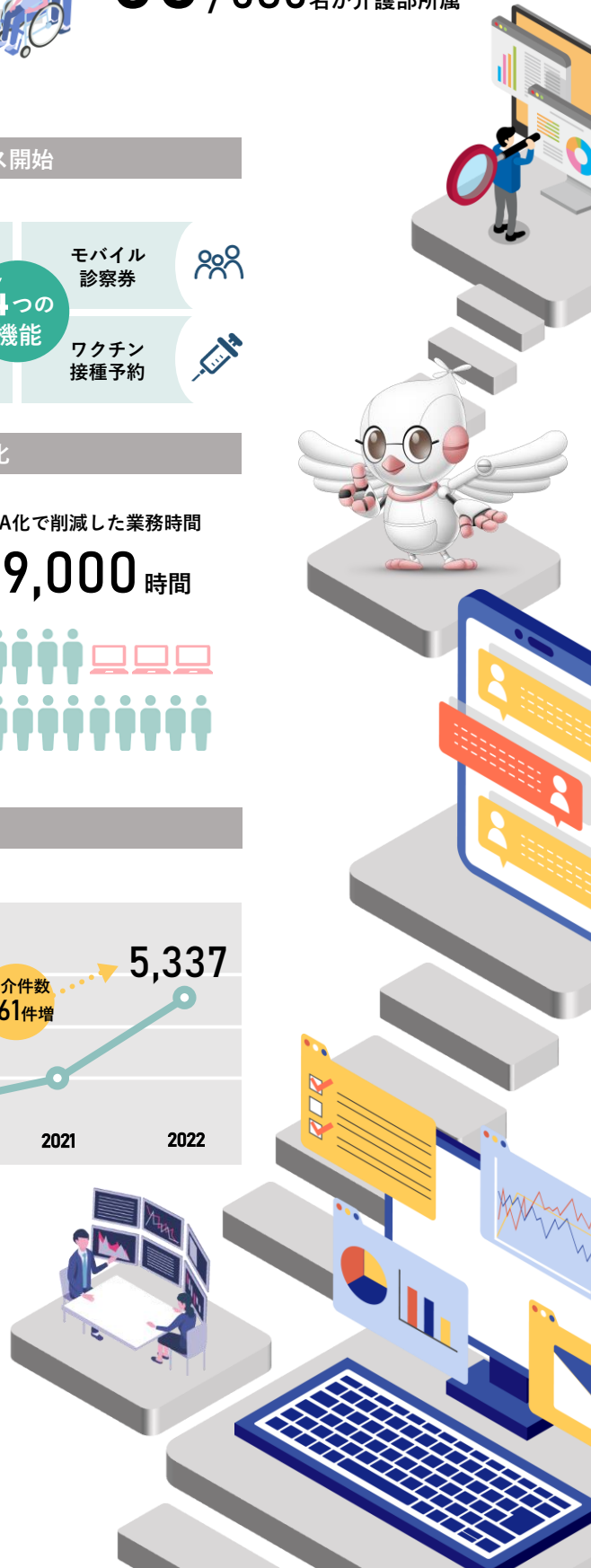
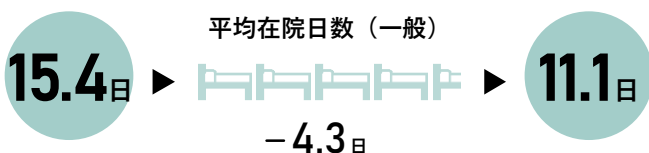
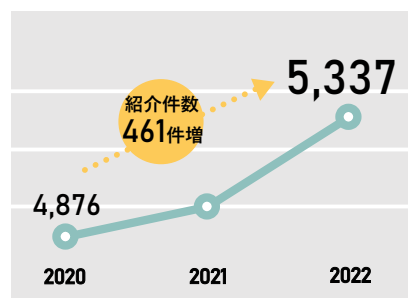
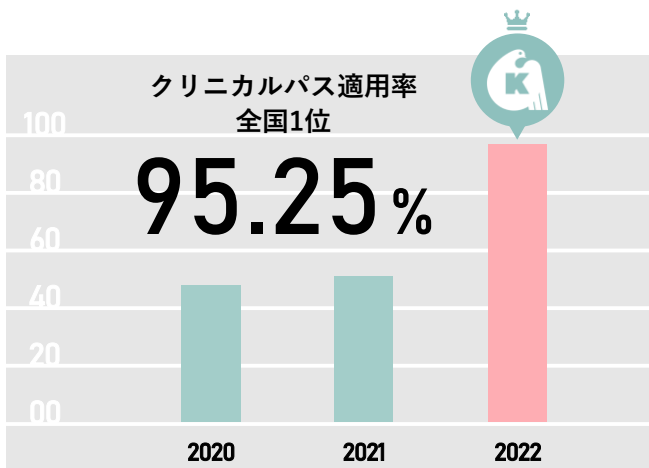


RPA化で削減した業務時間

約 **9,000** 時間



入退院管理センター設立



2022年度けいじゅヘルスケアシステム業績集発刊にあたって

2022年度も、新型コロナウイルス対応で翻弄された。しかしながら、冬の第8波の収束と共に、世界で、またわが国で、大きな方針転換を図る方向性が示された。WHOは2023年5月5日に新型コロナ「緊急事態宣言」を終了し、わが国では同年5月8日の5類感染症への移行が決まった。けいじゅヘルスケアシステムにおいては、知見の集積と共に、コロナ禍を通して時代の変化への対応が加速したと書いていかもしれない。

2022年度は、董仙会、徳充会ともに医療・介護部門でクラスターも多数発生し、われわれの強靱性（レジリエンス）が試された。両法人を跨ぐTeamsを利用した「感染対策クロノロジー」と名付けたチャットは、速やかな意思決定と対応に供することができた。

恵寿総合病院において、4月に開設した入退院管理センターはセンター長のリーダーシップの下、存分に機能し、コロナ禍の中でもPFM（Patient Flow Management）をコントロールし、急性期病床の在院日数の短縮と、入院単価の上昇、後方病床（回復期リハビリテーション病棟、地域包括ケア病棟）の稼働率向上をみ、その結果として好決算をみた。

一方、介護部門、特に通所部門では、コロナ禍の影響は極めて大きく、収益の悪化を見た。今後の地域における高齢者人口の減少を鑑みながら、再編統合を考慮すべき時期ともいえる。中能登地区で、重複する事業を再編する目的で、通所介護施設「いこい」を閉鎖し、事業を在宅複合施設「ほのぼの」に移管統合した。

2025年以降の生産年齢人口の著大な減少と働き方改革に対しての布石として、コロナ禍で進んだオンライン化に加えて、少ない人数で高い生産性を目指す必要がある。その目的の下で、DX（Digital Transformation）や介護ロボット導入を図った。特に、2021年度に導入したRPA（Robotic Process Automation）は、現場の工夫もあり昨年度以上の時間削減効果（年間9,000時間）を見た。これには、既存の業務をRPA化するだけでなく、医療の質向上のための新たなニーズに対してRPAの活用で実現するといった視点もあった。さらに、2023年2月には患者の利便性向上のためサポートアプリ「ポケメド」を導入、加えて働き方改革と生産性向上の柱となる2023年4月1日に運用を開始する業務用iPhone520台の導入の準備を行った。

医療の質向上の要として、恵寿総合病院に常勤病理医を招聘し、病理診断科を2022年4月に開設した。また、近年のこころの疾患や認知症の増加に対応することを目的に、新たな診療科として2022年6月に精神科専門医を常勤医として招聘し、心療内科を開設した。これら診療科はかねてから開設を模索していたものであり、そういう意味で恵寿の新たな展開の礎となるに違いない。

築50年近くになり老朽化が進む恵寿金沢病院の移転新築に向け、今年度は新たに金沢市南新保土地区画整理組合地内に土地を取得した。2023年度以降に基本計画・基本設計を策定したい。これによって、県内で人口が集積する金沢地区での新たな事業展開を図りたい。



2023年6月吉日

けいじゅヘルスケアシステム 理事長

神野 正博

創業 精神

いつでも 誰でも たやすく

安心して診療を受けられる病院にする。

基本 理念

人命尊重、心身の健康第一の立場に立ち、職員が一体となって地域住民の健康維持（予防、診療、リハビリテーション、介護）に努めると共に、地域の中核医療施設として、社会、経済、文化の発展向上に貢献します。

信頼の心

私達は、患者・利用者の皆様の権利を尊重し、信頼される質の高い医療により、地域に貢献します。

思いやりの心

私達は、思いやりのある病院・施設づくりに努めます。

健全な経営

私達は、収支構造の安定した病院・施設を維持します。

職員の健康と幸せ

私達は、董仙会の発展を通じ、職員の健康と幸せを築きます。

目次

発行にあたって
創業精神・基本理念
目次

第1章 法人概要・組織図

8	董仙会 概要・施設・沿革
9	董仙会 組織図
10	董仙会 本部会議・委員会・人員の構成
11	董仙会 人員の推移
12	恵寿総合病院 概要・組織図
13	恵寿総合病院 会議・委員会・施設資格
14	恵寿総合病院 施設基準等
15	恵寿金沢病院 概要・組織図・会議・委員会
16	恵寿金沢病院 施設基準等・学会認定施設
17	徳充会 概要・施設・沿革
18	徳充会 組織図・会議・委員会
19	徳充会 人員の推移

第2章 法人方針・事業報告

22	2022年度 けいじゅヘルスケアシステム方針
23	TQM発表大会
24	事例研究大会
25	新聞掲載
28	来訪者一覧
29	董仙会中期計画 2021-2023
34	事業報告

第3章 医療部門 診療統計・医療の質

恵寿総合病院	
94	外来患者数
95	年代別（男女別）外来患者数・救急外来患者数
96	紹介患者数
97	入院患者数
98	年代別（男女別）新入院患者数
	平均在院日数・病床稼働率
100	手術件数
101	MDC別
102	疾病分類別患者数・年代別死亡退院患者数
103	疾病分類（中分類）別上位疾病
104	悪性新生物の国際疾病別退院数及び内死亡数
105	48時間以内死亡患者数
	2022年度死亡要因上位件数（中分類）
106	Quality Indicator

恵寿金沢病院	
107	外来患者数・年代別（男女別）外来患者数
108	救急外来患者数・紹介患者数
109	入院患者数・平均在院日数・病床稼働率
110	年代別（男女別）新入院患者数・手術件数
111	疾病分類別患者数・年代別死亡退院患者数
112	疾病分類（中分類）別上位疾病
113	48時間以内死亡患者数
	2022年度死亡要因上位件数（中分類）
114	Quality Indicator

クリニック	
115	田鶴浜診療所・鳥屋診療所
116	恵寿ローレルクリニック・恵寿鳩ヶ丘クリニック

第4章 介護・福祉部門 利用統計・介護の質

118	利用統計
119	各施設 Quality Indicator

第5章 研究・業績

138	論文・著書・インタビュー等
143	学会発表
148	講師・座長・パネリスト等
158	資格取得
162	公職
169	メディア出演

第6章 KEIJU MONTHLY LETTER

174	2022年度 KEIJU MONTHLY LETTER
-----	-----------------------------

第7章 トピックス(社会貢献)

188	董仙会トピックス（社会貢献）
190	徳充会トピックス（社会貢献）



第 1 章

概要

組織図

社会医療法人財団 董仙会 概要

所在地	石川県七尾市富岡町94番地
Tel	0767-52-3211（代表）
Fax	0767-52-3218（代表）
理事長	神野 正博
職員数	1,356名
入院ベッド数	515床
入所ベッド数	365床
総ベッド数	880床

董仙会 各施設概要

七尾地域

- 恵寿総合病院
〒926-8605 石川県七尾市富岡町94番地
- 田鶴浜診療所
〒929-2121 石川県七尾市田鶴浜町11番地1
- 恵寿ローレルクリニック
〒926-8607 石川県七尾市富岡町95番地
- 恵寿総合病院訪問看護ステーション
〒926-0867 石川県七尾市桜町12番地
- 介護老人保健施設 和光苑
〒926-0853 石川県七尾市津向町107番地
- 介護老人保健施設 鶴友苑
〒929-2121 石川県七尾市田鶴浜町11番地1
- ケアマネステーション恵寿
〒926-8605 石川県七尾市富岡町94番地
- 小規模多機能型居宅介護事業所 けいじゅ一本杉
〒926-0806 石川県七尾市一本杉町37番地
- けいじゅデリカサプライセンター
〒929-2121 石川県七尾市田鶴浜町5部33
- 医療福祉ショップめぐみ・福祉用具レンタルステーション恵寿
〒926-8605 石川県七尾市富岡町94番地
- 七尾看護専門学校
〒926-0854 石川県七尾市なぎの浦156
- ベンリー 七尾店
〒926-0867 石川県七尾市桜町10番地

中能登地域

- 鳥屋診療所 いきいき
〒929-1704 石川県鹿島郡中能登町末坂2部60番地1
- 在宅複合施設 ほのぼの
〒929-1704 石川県鹿島郡中能登町末坂2部33番地
- デイサービスセンター いこい
〒929-1725 石川県鹿島郡中能登町東馬場ほ部18番地1
- 小規模多機能型居宅介護事業所 恵寿みおや
〒929-1717 石川県鹿島郡中能登町良川か部44番地1

穴水地域

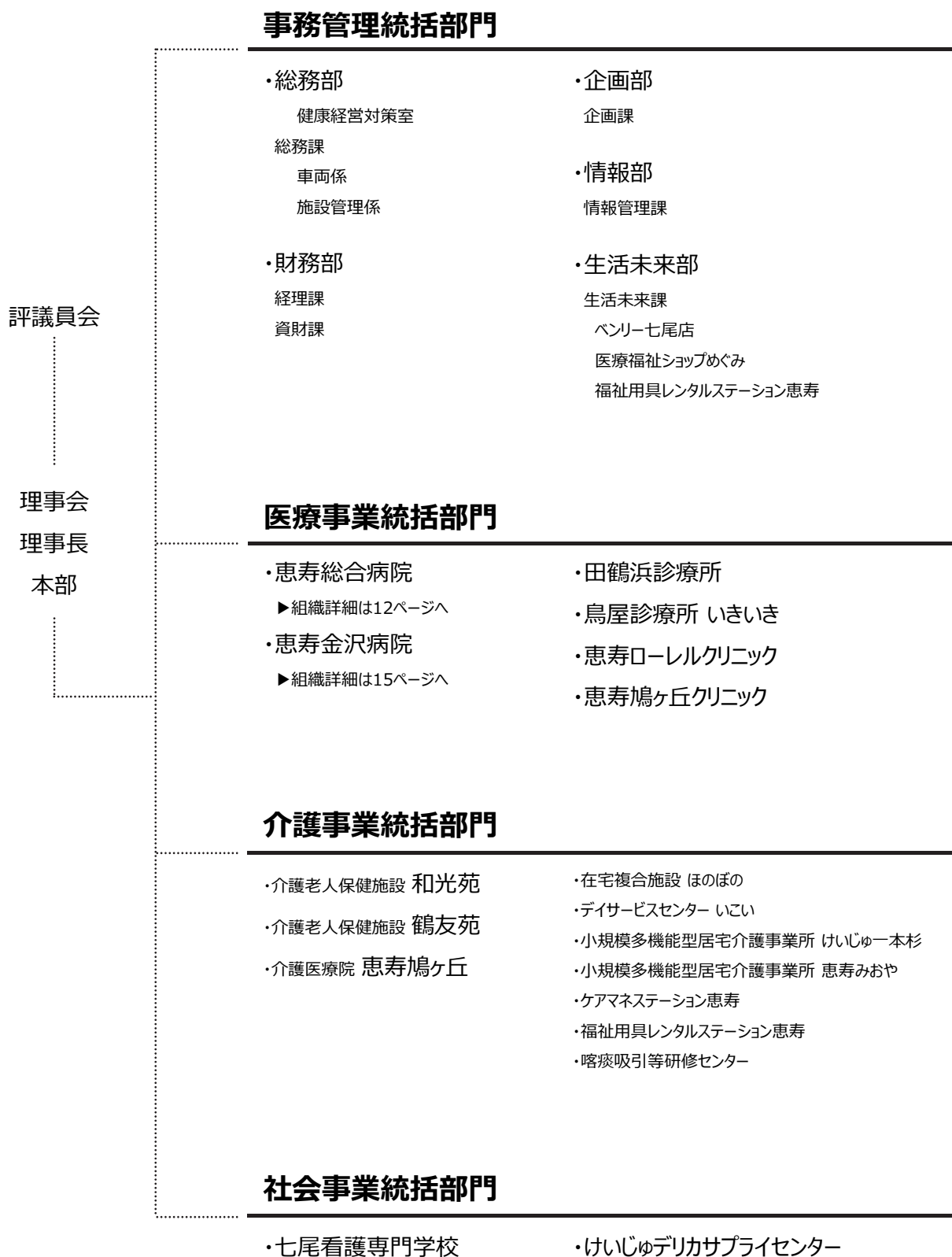
- 恵寿鳩ヶ丘クリニック
〒927-0023 石川県鳳珠郡穴水町字麦ヶ浦15-39-8

金沢地域

- 恵寿金沢病院
〒920-0910 石川県金沢市下新町6番26号

董仙会 沿革

- 1934年 神野病院創立 初代病院長 神野 正隣（まさちか）
- 1964年 第2代病院長に神野 正一就任
- 1967年 第1病棟新築
恵寿病院と改称。医療法人財団 董仙会を設立（初代理事長 神野 正一）
- 1980年 第3病棟新築（454床）
- 1982年 恵寿総合病院と改称
- 1984年 田鶴浜町の依頼で田鶴浜診療所開設
社会福祉法人 徳充会を開設（初代理事長 神野 正一）
- 1988年 鳥屋町（現中能登町）の依頼で鳥屋診療所開設
- 1989年 老人保健施設「和光苑」開設（新築として県初）
- 1993年 第3代病院長に神野 正博就任
老人保健施設「鶴友苑」開設
- 1995年 第2代董仙会理事長に神野 正博就任
- 1997年 医療情報システム（オーリングシステム）運用開始
- 1998年 (財)日本医療機能評価機構より認定
（200床以上の一般病院B・北陸初）Ver.3.1
- 1999年 鳥屋町（現中能登町）在宅複合施設「ほのぼの」運営受託
特別医療法人認可
- 2000年 穴水町に恵寿鳩ヶ丘病院開設（143床）
第5病棟新築
全国初の医療・介護コールセンターとして、けいじゅサービスセンター開設
董仙会・徳充会を総称し「けいじゅヘルスケアシステム」と呼称
全国初となる院内24時間コンビニエンスストアオープン
鹿島町（現中能登町）デイサービスセンター「いこい」運営受託
- 2001年 けいじゅ在宅総合サービスセンター開設
- 2002年 電子カルテシステム運用開始
- 2003年 セントラルキッチン「けいじゅデリカサプライセンター」開設
厚生労働省臨床研修指定病院（基幹型）認定
病院内に病児保育室「あんず」設置
- 2005年 (財)日本医療機能評価機構のリハビリテーション付加機能認定
- 2007年 けいじゅPET-CTセンター開設
- 2008年 職員宿舎「ピオラ」「コニファー」新築
第4代病院長に山本 達就任
社会医療法人認可 11/1より改称(全国9番目)
- 2009年 けいじゅファミリアクリニック開設
けいじゅPET-CTセンターにリニアックセンターを併設
恵寿鳩ヶ丘病院を介護療養型老人保健施設に転換
（名称：恵寿鳩ヶ丘）
- 2010年 七尾市内一本杉通り商店街に小規模多機能型居宅介護事業所
「けいじゅ一本杉」開設
- 2011年 社会福祉法人徳充会・第二代理事長に神野 正博就任
石川県地域がん診療連携協力病院に指定
- 2013年 恵寿総合病院本館（223床）新築
恵寿総合病院80周年記念式典開催
- 2014年 電子カルテシステム更新
（MicrosoftVDIによる、同時接続ユーザー世界最大）
第5代病院長に山本 健就任
中能登町に小規模多機能型居宅介護事業所「恵寿みおや」開設
金沢市に「恵寿金沢病院」開設（89床）
- 2015年 高齢者複合施設「ローレルハイツ恵寿」開設
恵寿健康管理センター「人間ドック健診施設機能評価」認定
病院外から電子カルテの閲覧、操作可能なリモートアクセスシステム開始
オンデマンド送迎サービス「楽のり君」開始
本院3病棟6階に「Keiju Innovation Hub」開設
「けいじゅ一本杉」内に「一本杉Café」を開設
- 2016年 恵寿総合病院「外国人患者受入れ医療機関認証制度」(JMIP)取得
サービス産業生産性協議会(SPRING)より「第1回日本サービス大賞
総務大臣賞」受賞
- 2017年 パーソナルヘルスレコード (PHR) カルテコを開始
「第59回全日本病院学会 in 石川」開催（学会長 神野正博）
（公社）日本デザイン振興会より「2017年度グッドデザインベスト100・
特別賞[未来づくり]」受賞
厚生労働省より「グッドキャリア企業アワード2017 イノベーション賞」受賞
- 2018年 介護療養型老人保健施設 恵寿鳩ヶ丘を「介護医療院」に転換
恵寿総合病院訪問看護ステーションを開設
国際病院連盟賞最高位賞特別賞を受賞
- 2019年 第6代病院長に鎌田 徹就任
AI問診を導入
人生100年時代活躍プロジェクト（Foot活、脳活）を始動
- 2020年 けいじゅ健康保険組合設立
新型コロナウイルス対策で発熱外来を開設
- 2021年 人生100年時代活躍プロジェクト（定年制廃止）を開始
- 2022年 入退院管理センター開設
感染制御センター開設
介護部を設立
- 2023年 6年連続ホワイト500認定



董仙会 会議・委員会・プロジェクト

会議

- ・人事委員会
- ・経営会議
- ・けいじゅヘルスケアシステム運営会議
- ・倫理委員会

委員会

- ・個人情報管理委員会
- ・広報委員会
- ・けいじゅFM委員会
- ・福利厚生委員会
- ・TQM委員会
- ・キャリアデザインプロジェクト
- ・健康委員会
- ・病院・施設委員会

プロジェクト

- ・給食戦略プロジェクト
- ・クリーン&5Sプロジェクト
- ・地球温暖化対策推進プロジェクト
- ・BCMプロジェクト
- ・リクルートプロジェクト
- ・外国人職員受け入れプロジェクト

董仙会 主な人員の構成



医師

83名

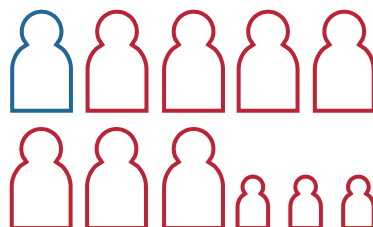
男72 女11



看護師

427名

男44 女383



介護
福祉士

167名

男29 女138



董仙会 人員の推移

凡例… 男性の人数 / 女性の人数

職種	2020.4.1			2021.4.1			2022.4.1		
	患寿総合	他施設	合計	患寿総合	他施設	合計	患寿総合	他施設	合計
医師	57 / 8	15 / 3	72 / 11	59 / 8	13/3	72/11	57/6	15/5	72/11
薬剤師	7 / 7	2 / 4	9 / 11	7 / 7	2/4	9/11	7/9	2/4	9/13
臨床検査技師	11 / 20	0 / 6	11 / 26	11 / 20	0 / 6	11 / 26	11/20	0/6	11/26
診療放射線技師	12 / 7	2 / 3	14 / 10	13 / 6	1 / 4	14 / 10	13/7	3/4	16/11
理学療法士	33 / 20	12 / 8	45 / 28	34 / 18	11 / 10	45 / 28	35/19	13/10	48/29
作業療法士	9 / 14	1 / 7	10 / 21	9 / 14	1 / 7	10 / 21	10/12	1/7	11/19
言語聴覚士	0 / 6	0 / 0	0 / 6	0 / 6	0 / 0	0 / 6	0/5	0/0	0/5
臨床工学技士	8 / 5	0 / 0	8 / 5	8 / 5	0 / 0	8 / 5	10/3	1/0	11/3
視能訓練士	0 / 2	0 / 0	0 / 2	0 / 2	0 / 0	0 / 2	1/2	0/0	1/2
公認心理師	1 / 0	0 / 0	1 / 0	1 / 0	0 / 0	1 / 0	0/1	0/0	0/1
管理栄養士	1 / 11	0 / 7	1 / 18	0 / 10	1 / 8	1 / 18	0/12	1/8	1/20
救急救命士	0 / 0	0 / 0	0 / 0	0 / 0	0 / 0	0 / 0	0/1	0/0	0/1
義肢装具士	0 / 0	0 / 0	0 / 0	0 / 0	0 / 0	0 / 0	0/0	0/0	0/0
社会福祉士	1 / 9	1 / 5	2 / 14	1 / 8	1 / 5	2 / 13	3/12	2/7	5/19
健康運動指導士	0 / 1	0 / 0	0 / 1	0 / 1	0 / 0	0 / 1	0/1	0/0	0/1
保健師	0 / 5	0 / 0	0 / 5	0 / 5	0 / 0	0 / 5	0/5	0/0	0/5
助産師	0 / 16	0 / 0	0 / 16	0 / 16	0 / 0	0 / 16	0/14	0/0	0/14
看護師	37 / 243	9 / 154	46 / 397	43 / 263	2 / 134	45 / 397	39/237	5/146	44/383
准看護師	4 / 23	0 / 28	4 / 51	4 / 23	0 / 27	4 / 50	2/21	0/29	2/50
介護福祉士	0 / 13	27 / 123	27 / 136	0 / 13	28 / 130	28 / 143	2/11	27/127	29/138
介護職員	1 / 2	15 / 46	16 / 48	0 / 0	10 / 39	10 / 39	0/0	13/43	13/43
介護支援専門員	0 / 9	1 / 9	1 / 18	0 / 0	1 / 17	1 / 17	0/0	3/24	3/24
看護補助者	0 / 39	0 / 9	0 / 48	1 / 43	2 / 8	3 / 51	0/48	0/9	0/57
事務員	24 / 95	11 / 37	35 / 132	24 / 97	10 / 29	34 / 126	21/111	11/32	32/143
運転手	5 / 0	9 / 0	14 / 0	5 / 0	9 / 0	14 / 0	5/0	5/0	10/0
警備員	2 / 0	5 / 0	7 / 0	2 / 0	5 / 0	7 / 0	2/0	5/0	7/0
その他	4 / 11	3 / 5	7 / 16	4 / 11	6 / 11	10 / 22	6/6	1/0	7/6
小計	217 / 566	113 / 454	330 / 1,020	226 / 576	103 / 442	329 / 1,018	227/564	105/460	332/1,024
合計	783	567	1,350	802	545	1,347	791	565	1,356

恵寿総合病院 概要

所在地 石川県七尾市富岡町94番地
開設者 社会医療法人 董仙会
理事長 神野 正博
病院長 鎌田 徹
病床数 426床

副病院長 川北 慎一郎 岡田 由恵
山崎 雅英
診療部長 西澤 永晃
診療副部長 森永 敏生 (医局長)
伊達岡 要 山村 健太
事務部長 森下 毅
看護部長 本橋 敏美
名誉病院長 山本 健
顧問 宮本 正治 平井 文彦
東 壮太郎 上野 恭一

恵寿総合病院 病院長

組織図

診療部

- ・消化器外科・乳腺外科
- ・消化器内科
- ・血液内科
- ・呼吸器内科
- ・腎臓内科
- ・糖尿病内分泌代謝科
- ・膠原病内科
- ・循環器内科
- ・心臓血管外科
- ・脳神経内科
- ・脳神経外科
- ・整形外科
- ・リハビリテーション科
- ・総合診療科 (家庭医療)
- ・産婦人科
- ・小児科
- ・眼科
- ・耳鼻咽喉科
- ・泌尿器科
- ・麻酔科
- ・皮膚科
- ・形成外科・美容外科
- ・呼吸器外科
- ・救急救命科
- ・放射線科
- ・病理診断科
- ・心療内科 (精神科)

健康管理部

- ・健康管理センター

看護部

- ・看護管理センター
- ・看護秘書管理センター

介護部

- ・介護管理センター

事務部

- ・けいじゅサービスセンター
- ・医療事務センター

各種センター

- ・入退院管理センター
- ・救急センター
- ・手術センター
- ・血液浄化センター
- ・PET・CTリニアックセンター
- ・家族みんなの医療センター
- ・内視鏡センター
- ・放射線センター
- ・リハビリテーションセンター
- ・リハ教育研修センター
- ・薬剤管理センター
- ・栄養管理センター
- ・検査管理センター
- ・臨床工学センター
- ・医療安全管理センター
- ・感染制御センター
- ・臨床研修センター
- ・看護師特定行為研修センター

恵寿総合病院 会議・委員会

会議

- ・恵寿総合病院管理会議
- ・恵寿総合病院運営会議
- ・病院改善会議
- ・医療事故緊急会議

委員会

- ・倫理委員会
- ・院内医療事故調査委員会
- ・救急部運営委員会
- ・看護師特定行為研修管理委員会
- ・臨床栄養委員会
- ・脳卒中地域連携バス管理委員会
- ・リハビリテーション運営委員会
- ・図書委員会
- ・医療技術部門連携連絡委員会
- ・認知症対策プロジェクト委員会
- ・診療情報提供委員会
- ・診療情報管理委員会
- ・電子バス委員会
- ・DPC評価委員会
- ・化学療法委員会
- ・緩和ケア委員会
- ・がん診療連携推進委員会
- ・中央手術部運営委員会
- ・医療ガス安全管理委員会
- ・臨床研修管理委員会
- ・臨床研修プログラム委員会
- ・臨床研修運営委員会
- ・恵寿総合病院医学雑誌編集委員会
- ・臓器提供委員会
- ・法の脳死判定委員会
- ・医療安全管理委員会
- ・感染防止対策委員会
- ・治験審査委員会
- ・呼吸療法委員会
- ・診療材料委員会
- ・薬事審議委員会
- ・救命救急実行委員会
- ・集中治療運営委員会
- ・輸血療法委員会
- ・臨床検査適正化委員会
- ・透析機器安全管理委員会
- ・糖尿病委員会
- ・外来運営委員会
- ・放射線安全委員会
- ・安全衛生委員会
- ・防災委員会
- ・病床管理運営委員会
- ・褥瘡予防対策委員会
- ・地域医療支援病院運営委員会
- ・地域医療従事者研修委員会
- ・フレイル対策委員会
- ・広報委員会
- ・外国人患者対応委員会

恵寿総合病院 施設資格

- ・健康保険医療機関
- ・国民健康保険療養取扱機関
- ・労災保険指定取扱機関
- ・日本医療機能評価機構認定病院
- ・地域医療支援病院
- ・二次救急指定病院
- ・石川県地域がん診療連携協力病院
- ・臨床研修指定病院（基幹型）
- ・看護師特定行為研修指定研修機関（9区分20行為、在宅・慢性期領域パッケージ）
- ・外国人患者受入れ拠点病院（JMIP）
- ・在宅療養後方支援病院
- ・新型コロナウイルス感染症重点医療機関
- ・指定自立支援医療機関
- ・人間ドック指定病院
- ・生活習慣病予防健診実施機関
- ・労災保険二次健康診断等医療機関
- ・指定小児慢性特定疾病医療機関
- ・指定養育医療機関
- ・母体保護法指定医療機関
- ・産科医療補償制度加入分娩機関
- ・生活保護法指定医療機関
- ・結核予防法指定医療機関
- ・難病指定医療機関
- ・短期入院協力病院（NASVA）
- ・原子爆弾被爆者一般疾病医療機関

恵寿総合病院 学会認定施設

- ・日本外科学会外科専門医制度修練施設
- ・日本消化器外科学会専門医修練施設
- ・日本消化器病学会専門医制度認定施設
- ・日本消化器内視鏡学会認定指導施設
- ・日本内科学会認定内科専門医教育関連施設
- ・日本胆道学会認定指導医制度指導施設
- ・日本肝臓学会認定関連施設
- ・日本血液学会認定研修施設
- ・日本糖尿病学会認定教育施設
- ・日本循環器学会認定循環器専門医研修関連施設
- ・日本腎臓学会研修施設認定
- ・日本呼吸器学会関連施設認定
- ・日本救急医学会認定救急科専門医指定施設
- ・日本リハビリテーション医学会認定研修施設
- ・日本呼吸器内視鏡学会関連施設
- ・日本整形外科学会認定医研修施設
- ・日本がん治療認定医機構認定研修施設
- ・日本乳癌学会認定関連施設
- ・日本産婦人科学会専門研修連携施設指定
- ・日本麻酔科学会認定研修施設
- ・日本眼科学会専門医制度研修施設
- ・日本泌尿器科学会専門医教育施設
- ・日本神経学会専門医制度教育関連施設
- ・日本脳神経外科学会専門研修プログラム連携施設
- ・日本作業療法士協会作業療法士臨床実習指導施設
- ・日本プライマリ・ケア連合学会認定施設恵寿家庭医療研修プログラム
- ・日本輸血・細胞治療学会輸血機能評価認定制度（I&A制度）
- ・日本静脈経腸栄養学会NST稼働施設
- ・日本栄養療法推進協議会NST稼働施設

恵寿総合病院 施設基準等

基本診療料

- ・情報通信機器を用いた診療に係る基準
- ・一般病棟入院基本料 急性期一般入院料 1
- ・障害者施設等入院基本料 10対1入院基本料
- ・総合入院体制加算3
- ・救急医療管理加算
- ・超急性期脳卒中加算
- ・診療録管理体制加算 1
- ・医師事務作業補助体制加算 1 15対1
- ・急性期看護補助体制加算50対1 ※看護補助体制充実加算
- ・特殊疾患入院施設管理加算
- ・療養環境加算
- ・重症者等療養環境特別加算
- ・無菌治療室管理加算 1
- ・無菌治療室管理加算 2
- ・緩和ケア診療加算
- ・栄養サポートチーム加算
- ・医療安全対策加算 1 ※医療安全対策地域連携加算 1
- ・感染対策向上加算1 ※指導強化加算
- ・患者サポート体制充実加算
- ・重症患者初期支援充実加算
- ・報告書管理体制加算
- ・ハイリスク妊娠管理加算
- ・ハイリスク分娩等管理加算
- ・呼吸ケアチーム加算
- ・後発医薬品使用体制加算 1
- ・病棟薬剤業務実施加算 1
- ・データ提出加算 2 (イ)
- ・入退院支援加算 1 ※入院時支援加算 ※地域連携診療計画加算 ※総合機能評価加算
- ・認知症ケア加算2
- ・せん妄ハイリスク患者ケア加算
- ・精神疾患診療体制加算
- ・排尿自立支援加算
- ・地域医療体制確保加算
- ・ハイケアユニット入院医療管理料1 ※早期栄養介入管理加算
- ・小児入院医療管理料5
- ・回復期リハビリテーション病棟入院料1 ※体制強化加算2
- ・地域包括ケア病棟入院料2 ※看護職員配置加算
※看護補助者配置加算 ※看護補助体制充実加算
- ・短期滞在手術等基本料1
- ・看護職員処遇改善評価料44

特掲診療料

- ・外来栄養食指導料の注3に規定する基準
- ・心臓ペースメーカー指導管理料の注5に掲げる遠隔モニタリング加算
- ・糖尿病合併症管理料
- ・がん性疼痛緩和指導管理料
- ・がん患者指導管理料イ
- ・がん患者指導管理料ロ
- ・がん患者指導管理料ニ
- ・外来緩和ケア管理料
- ・糖尿病透析予防指導管理料※高度腎機能障害患者指導加算
- ・乳腺炎重症化予防・ケア指導料
- ・婦人科特定疾患治療管理料
- ・一般不妊治療管理料
- ・二次性骨折予防継続管理料 1
- ・二次性骨折予防継続管理料 2
- ・二次性骨折予防継続管理料 3
- ・下肢創傷処置管理料
- ・院内トリアージ実施料
- ・夜間休日救急搬送医学管理料の注3に規定する救急搬送看護体制加算
- ・外来腫瘍化学療法診療料1
- ・連携充実加算
- ・ニコチン依存症管理料
- ・開放型病院共同指導料
- ・ハイリスク妊産婦共同管理料 (I)
- ・がん治療連携計画策定料

- ・がん治療連携指導料
- ・外来排尿自立指導料
- ・ハイリスク妊産婦連携指導料1
- ・肝炎インターフェロン治療計画料
- ・薬剤管理指導料
- ・検査・画像情報提供加算及び電子的診療情報評価料
- ・医療機器安全管理料 1
- ・在宅療養後方支援病院
- ・在宅持続陽圧呼吸療法指導管理料の注2に規定する遠隔モニタリング加算
- ・持続血糖測定器加算
(間歇注入シリンジポンプと連動しない持続血糖測定器を用いる場合)
- ・遺伝学的検査
- ・BRCA1/2遺伝子検査
- ・H P V 核酸検出及びH P V 核酸検出 (簡易ジェノタイプ判定)
- ・検体検査管理加算 (II)
- ・遺伝性腫瘍カウンセリング加算
- ・心臓カテーテル法による諸検査の血管内視鏡検査加算
- ・時間内歩行試験
- ・胎児心エコー法
- ・ヘッドアップフィルム試験
- ・神経学的検査
- ・コンタクトレンズ検査料 I
- ・小児食物アレルギー負荷検査
- ・ポジトロン断層撮影
- ・ポジトロン断層・コンピューター断層複合撮影
- ・C T 撮影及びM R I 撮影
- ・抗悪性腫瘍剤処方管理加算
- ・外来化学療法加算 1
- ・無菌製剤処理料
- ・心大血管疾患リハビリテーション料 (I)
- ・脳血管疾患リハビリテーション料 (I)
- ・運動器リハビリテーション料 (I)
- ・呼吸器リハビリテーション料 (I)
- ・がん患者リハビリテーション料
- ・療養生活継続支援加算
- ・静脈圧迫処置 (慢性静脈不全に対するもの)
- ・導入期加算1
- ・下肢末梢動脈疾患指導管理加算
- ・緊急整備固定加算及び緊急挿入加算
- ・脳刺激装置植込術及び脳刺激装置交換術
- ・乳がんセンチネルリンパ節加算2及びセンチネルリンパ節生検 (単独)
- ・内視鏡による縫合術・閉鎖術
- ・経皮的冠動脈形成術 (特殊カテーテルによるもの)
- ・経皮的中隔心筋焼灼術
- ・ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術
- ・ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術 (リードレスペースメーカー)
- ・大動脈バルーンパンピング法 (IABP法)
- ・腹腔鏡下リンパ節群郭清術 (側方)
- ・内視鏡的逆流防止粘膜切除術
- ・バルーン閉塞下逆行性経静脈血栓術
- ・体外衝撃波膵石破碎術
- ・早期悪性腫瘍大腸粘膜下層剥離術
- ・内視鏡的小腸ポリープ切除術
- ・体外衝撃波腎・尿管結石破碎術
- ・周術期栄養管理実施加算
- ・輸血管理料 (II)
- ・輸血適正使用加算 (輸血管理料 II)
- ・貯血式自己血輸血管理体制加算
- ・人工肛門・人工膀胱造設術前処置加算
- ・胃瘻造設時嚥下機能評価加算
- ・麻酔管理料 (I)
- ・病理診断管理加算1
- ・悪性腫瘍病理組織標本加算

入院時食事療養費・その他の届け出

- ・入院食事療養 (I) ・入院時生活療養 (I)
- ・酸素の購入単価

恵寿金沢病院 概要

所在地 石川県金沢市下新町6番26号
Tel 076-220-9192
Fax 076-223-7378
病院長 上田 幹夫
病床数 89床

事務部長 森田 均
看護部長 前大道 綾子

組織図

診療部

- ・内科
- ・血液疾患・骨髄腫センター
- ・外科・消化器外科
- ・整形外科・リウマチ科
- ・眼科
- ・耳鼻咽喉科
- ・リハビリテーション科
- 理学療法課
- 作業療法課
- 恵寿訪問リハビリテーション事業所「けいじゅ金沢」
- ・放射線科
- ・臨床検査科
- ・薬剤科
- ・臨床栄養科
- ・人間ドックセンター

看護部

- ・2階課
- ・3階課
- ・外来課
- ・人間ドックセンター課
- ・手術室課
- ・金沢訪問看護ステーション

事務部

- ・管理課
- ・医事課
- 診療情報管理室
- ・地域連携医療福祉相談課
- ・人間ドックセンター課

各種センター

- ・医療安全管理センター
- ・感染制御センター

恵寿金沢病院 病院長

恵寿金沢病院 会議・委員会

- ・運営会議
- ・倫理委員会
- ・診療情報管理委員会
- ・院内感染対策委員会
- ・医療安全管理委員会
- ・保険診療委員会
- ・薬事委員会
- ・栄養委員会
- ・医療機器・医材委員会
- ・医療ガス安全管理委員会
- ・臨床検査適正化委員会
- ・輸血療法委員会
- ・放射線管理委員会
- ・治験審査委員会
- ・褥瘡対策委員会
- ・病床運営委員会
- ・防災対策委員会
- ・患者サポート委員会
- ・手術室運営委員会
- ・クリティカルパス委員会
- ・化学療法運営委員会
- ・軽症救急委員会
- ・安全衛生委員会
- ・感染対策（ICTチーム）部会
- ・リスクマネジメント部会
- ・コロナ対策会議

恵寿金沢病院 施設基準等

基本診療料

急性期一般入院料1
救急医療管理加算
診療録管理体制加算2
医師事務作業補助体制加算 1
無菌治療室管理加算 1・2
感染対策向上加算 2
患者サポート体制充実加算
後発医薬品使用体制加算 1
病棟薬剤業務実施加算 1
データ提出加算 2
入退院支援加算 1
認知症ケア加算 2
せん妄ハイリスク患者ケア加算
地域包括ケア入院医療管理料 2
短期滞在手術基本料 1

特掲診療料（加算/指導料/管理料）

外来栄養食事指導料の注 3 に規定する基準
がん性疼痛緩和指導管理料
がん患者指導管理料イ・ロ
外来腫瘍化学療法診療料 1
薬剤管理指導料
外来化学療法加算 1

特掲診療料（検査/画像/処置/手術など）

遺伝学的検査
骨髄微小残存病変量測定
検体検査管理加算（Ⅱ）
時間内歩行試験
コンタクトレンズ検査料 1
CT撮影及びMRI撮影
無菌製剤処理料
脳血管疾患等リハビリテーション料（Ⅲ）
運動器リハビリテーション料（Ⅰ）
呼吸器リハビリテーション料（Ⅰ）
がん患者リハビリテーション料
医科点数表第 2 章第 10 部手術の通則の 16 に掲げる手術
輸血管理料（Ⅱ）
輸血適正使用加算
酸素購入単価

施設資格

健康保険医療機関
労災保険指定取扱機関
生活保護法指定取扱機関
結核予防法指定取扱機関
労災保険二次健診等給付医療機関
救急病院
難病法の指定医療機関
児童福祉法に基づく指定小児慢性特定疾病医療機関
日本医療機能評価機構認定医療機関
新型コロナウイルス感染症協力病院
身体障害者福祉法指定医療機関

恵寿金沢病院 学会認定施設

日本内科学会認定医制度教育施設
日本血液学会認定研修施設
日本整形外科学会専門医制度研修施設
日本眼科学会専門医制度研修施設

社会福祉法人

徳充会 概要

所在地	石川県七尾市青山3部22番
Tel	0767-57-3309
Fax	0767-57-1531
理事長	神野 正博
職員数	458名
総ベッド数	580床

徳充会 各施設概要

障がい者事業

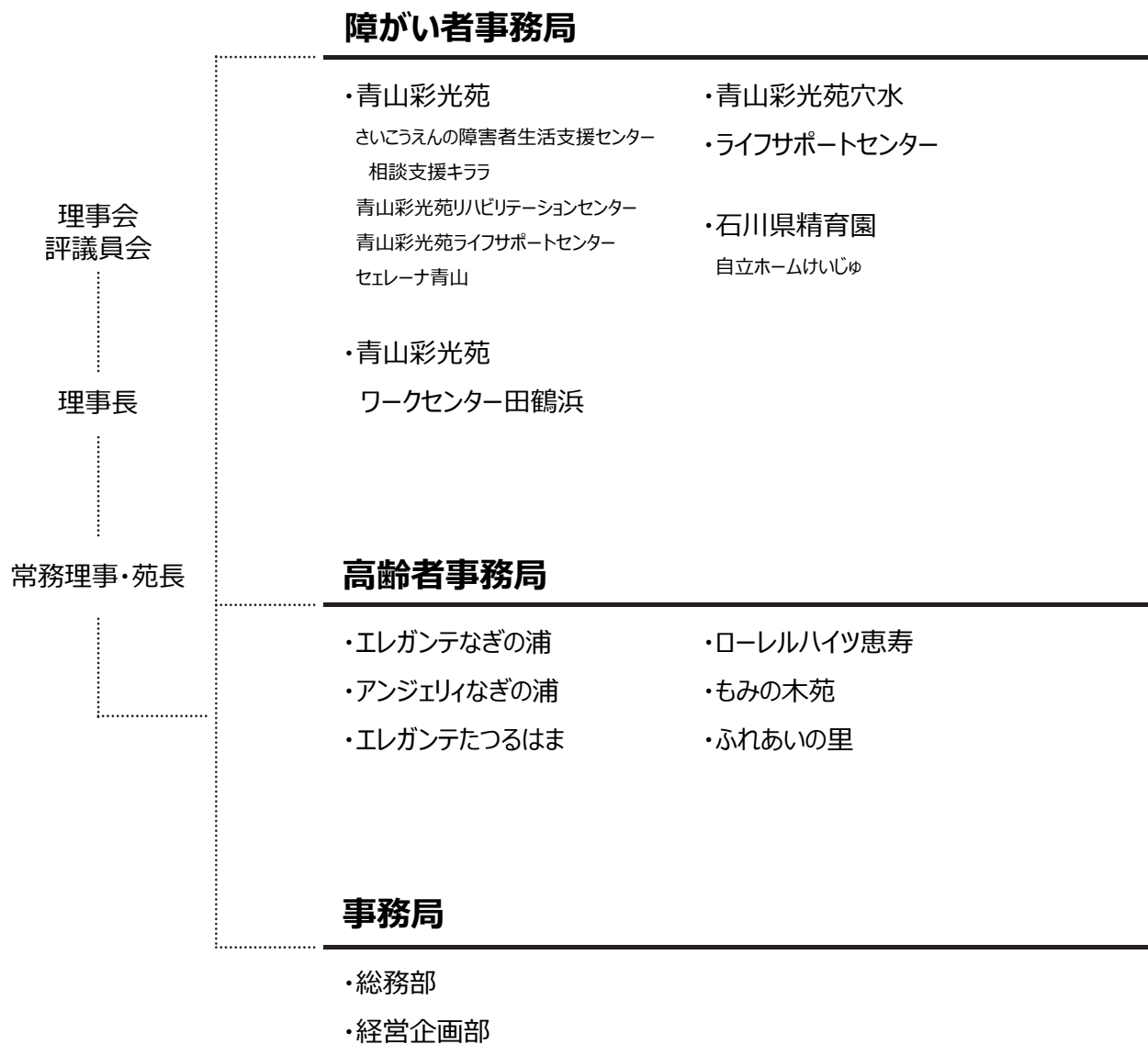
- 青山彩光苑リハビリテーションセンター
- 青山彩光苑ライフサポートセンター
- セエレナ青山
- さいこうえんの障害者生活支援センター
- さいこうえん障害者就業・生活支援センター
〒926-0831 石川県七尾市青山町3部22番
- 青山彩光苑穴水ライフサポートセンター
〒927-0023 石川県鳳珠郡穴水町妻ヶ浦15-39番地12
- 青山彩光苑ワークセンター田鶴浜
〒929-2116 石川県七尾市吉田町昭部6-1
〒926-0831 石川県七尾市青山町3部22番
- 石川県精育園〈指定管理〉
〒927-0021 石川県鳳珠郡穴水町七海6-50
- 自立ホームけいじゅ
- ヘルパーステーション銀河
- 相談支援キララ
〒927-0053 石川県鳳珠郡穴水町此木11-24

高齢者事業

- 特別養護老人ホーム エレガントなぎの浦
- ケアハウス アンジェリィなぎの浦
〒926-0853 石川県七尾市津向町卜部107番地4
- 地域密着型介護老人福祉施設 エレガントたつるはま
〒929-2121 石川県七尾市田鶴浜町11番地1
- 高齢者複合施設 ローレルハイツ恵寿
- ヘルパーステーション ローレル
〒926-0866 石川県七尾市富岡町95番地
- デイサービスセンター もみの木苑
〒929-2121 石川県七尾市田鶴浜町1部27番地
- デイサービスセンター ふれあいの里
〒926-0841 石川県七尾市松百町2-57-1

徳充会 沿革

- 1984年 社会福祉法人「徳充会」設立
- 1985年 重度身体障害者更生援護施設「青山彩光苑」開設
- 1989年 身体障害者療護施設「青山彩光苑」開設
ショートステイ事業開始
- 1993年 療護施設50床増床
- 1994年 在宅障害者デイサービス事業開始
- 1997年 青山彩光苑ワークセンター田鶴浜開設
バリアフリーホームセエレナ青山開設
- 1999年 特別養護老人ホーム「エレガントなぎの浦」開設
ケアハウス「アンジェリィなぎの浦」開設
- 2003年 「さいこうえんの障害者生活支援センター」開設
- 2004年 青山彩光苑穴水ライフサポートセンター 開設
- 2006年 デイサービスセンターもみの木苑開設
ヘルパーステーションもみの木苑開設
- 2007年 特別養護老人ホーム「エレガントたつるはま」開設
デイサービスセンターふれあいの里開設
- 2011年 健康増進センターアスロンを指定管理者として運営開始
- 2012年 障害者生活支援センターを七尾市袖ヶ江町に移転
- 2013年 石川県精育園を指定管理者として運営開始
- 2015年 エレガントなぎの浦 増床
ローレルハイツ恵寿ケアハウス（一般、特定）開設
ローレルハイツ恵寿サービス付高齢者住宅 開設
ヘルパーステーションローレルに名称変更
- 2016年 相談支援キララ 石川県精育園内へ移転し、スマイルSと統合
- 2018年 自立ホーム穴水を自立ホームけいじゅに名称変更し穴水町此木へ移転
ヘルパーステーション銀河開設
相談支援キララを自立ホームけいじゅ内に移転
- 2019年 人生100年時代活躍プロジェクト（Foot活、脳活）を始動
- 2021年 青山彩光苑ライフサポートセンター個室増築
- 2022年 障害者生活支援センターを青山彩光苑リハビリテーションセンター内移転



徳充会 会議・委員会

- ・部長会議
- ・障がい者部門会議
- ・高齢者部門会議
- ・教育研修委員会
- ・福利厚生委員会
- ・事例研究大会委員会

徳充会 人員の推移

凡例… 男性の人数 / 女性の人数

職種	2020.4.1	2021.4.1	2022.4.1
医師	0 / 0	0 / 0	0 / 0
理学療法士	1 / 6	1 / 6	1 / 6
作業療法士	1 / 2	1 / 2	1 / 1
あん摩マッサージ指圧師	1 / 0	1 / 0	1 / 0
管理栄養士	0 / 7	0 / 7	0 / 7
健康運動士	0 / 0	0 / 0	0 / 0
社会福祉士	13 / 14	11 / 16	11 / 15
精神保健福祉士	1 / 0	1 / 0	1 / 0
看護師	1 / 26	2 / 25	1 / 27
准看護師	0 / 13	0 / 13	0 / 14
介護福祉士	65 / 153	59 / 147	61 / 150
介護職員	26 / 70	32 / 73	28 / 74
介護支援専門員	1 / 5	1 / 5	1 / 5
社会福祉主事	1 / 1	1 / 1	1 / 1
事務員	5 / 15	6 / 14	5 / 12
運転手	14 / 0	14 / 0	14 / 0
その他	9 / 10	11 / 9	9 / 11
小計	139 / 322	141 / 318	135 / 323
合計	461	459	458



2022年4月1日 入退院管理センター設立



第 2 章
法人報告
事業報告

継続的基本方針

1. 患者・利用者に信頼される医療機関・介護施設となる
2. 地域社会から必要とされる医療機関・介護施設となる
3. 経営の健全性を維持する
4. 患寿フィロソフィの周知・浸透

単年度方針

2020年初めから、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）のしたたかさに翻弄され続けた。この新興感染症に加えて、地球温暖化の影響もあってか日本中で台風や洪水などの天災が激甚化した。われわれは想定外に備えながら、同時に、これから来る生産年齢人口減少という社会構造の変化に対応しなくてはならない。想定外に対応しながら、少ない生産人口で医療・介護・サービスの質を上げ、実績を上げる。そのためには、仕組みを変えるしか方法はない。

想定外でも、想定内でも、現場にうまくいかないことはないのか？患者・利用者も職員も満足できないことはないのか？それを、人のせいにしていないのか？できない理由を何に求めているのか？自分を責めただけでは前に進まない。

2022年度方針を

人を責めるな、しくみを責めろ

とする。問題があれば、仕組みに問題があるのだ。仕組みを創る、変えることが質向上、満足度向上と生産性向上の唯一の方法なのだ。



TQM発表大会（董仙会）

前期 第24回 2022年9月13日、14日、15日 オンライン開催

大会1日目「増収、生産性増、顧客満足度100%、職員満足度100%、健康経営」

部署	テーマ
恵寿金沢病院 看護部、リハビリテーション科、栄養科	摂食機能療法算定にむけた仕組み作り
けいじゅ金沢訪問看護ステーション、 恵寿金沢病院 2階病棟・3階病棟	確実な退院時共同指導加算取得に向けての仕組み作り
本院 事務部管理課、診療部	医師の勤務管理の仕組みづくり
1位 恵寿金沢病院 臨床検査課、放射線課、 人間ドックセンター、管理課	ドック受検者の理解度向上のための仕組みづくり～動画による検査説明の導入～
恵寿金沢病院 薬剤科、看護部、内科	抗体医薬の安全な投与と経過観察最適化の仕組み作り
本院 健康管理センター	職員が身近に感じられる特定保健指導のしくみづくり

大会2日目「新サービス創出、ルーチン業務の再評価」

部署	テーマ
本院 看護部（外来・3病棟2階・5病棟3階・手術室・ 血液浄化センター）、医療秘書課	入院患者の他科受診をオンライン診療とする「しくみ」づくり
恵寿金沢病院 地域連携課、看護部、医事課、管理課	オンラインによる関係機関、家族等の面会のしくみの確立
本部 生活未来課	めぐみとベンリー共同にて、めぐみの業務をサポートするしくみづくり
本院 リハビリテーションセンター、5病棟5階、5病棟4階、 医療福祉相談課	回復期リハビリテーション病棟入院料1を維持する仕組みづくり
1位 本院 医療安全管理部会、感染制御課	タスク・シフト（静脈路確保）推進の仕組みづくり
本院 放射線センター放射線課	業務拡大による静脈路確保にてタスクシフト・シェアする仕組みづくり
本院 臨床検査課	タスクシフト事業の推進－採血室業務における静脈路確保の仕組み－

大会3日目「新サービス創出、ルーチン業務の再評価、人材・後継育成」

部署	テーマ
ケアマネステーション恵寿	新規利用者獲得に向けてのしくみづくり
1位 本院 サービス課	予約外患者の受付業務を見直し、待ち時間を短縮する仕組み作り
本院 医療秘書課、外来看護部	環境を整理し、働きやすい職場にするしくみを作る
本部 財務部資材課	クラウド型業務ソフトの有効利用－タブレットPC活用による作業時間削減の仕組みづくり－
本院 内視鏡課	ESDの術前訪問を開始して～不安を軽減するための内視鏡看護師の関わりと仕組み作り～

後期 第25回 2023年3月11日 七尾市文化ホール

セッション1 増収、顧客満足度100%、職員満足度100%、質の向上・データ分析、新サービス創出

部署	テーマ
1位 本院 入退院管理センター 地域連携課	恵寿式戦略的集患対策の仕組み作り
本部 総務部 総務課 車両係	楽のり君送迎時間の全体最適のしくみづくり～乗客満足度向上を目指そう！～
鶴友苑	介護施設における「優しさの提供」とは ～「優しさの提供」における優しさの定義と「提供」の仕組み作り～
本院 看護部	救急センター受診時、必要検査をスムーズに実施する仕組みづくり
ほのぼの（通所介護事業）	LIFEフィードバックデータの活用によるサービスの質の向上の仕組みづくり
恵寿みおや	BCPの見直しと周知～地域と連携する仕組み作り～

セッション2 新サービス創出、ルーチン業務の再評価

部署	テーマ
けいじゅ一本杉	防災意識を高める仕組み作り～地域と支え合うために～
本院 臨床栄養課（協力：けいじゅケアマネステーション、 訪問看護ステーション、入退院支援センター、 医療福祉相談課、地域連携課）	栄養相談ができる窓口づくりから訪問栄養指導の実施につなげる仕組みづくり
介護医療院 恵寿鳩ヶ丘	介護医療院 恵寿鳩ヶ丘におけるACPの更なる展開と実践における仕組みづくり
本院 薬剤管理センター、 看護部持参薬チーム（5西、HCU、3-3、5東）	持参薬運用のしくみ改革 vol1 -まずは薬剤課のしくみ改革から-
1位 本院 入退院管理センター、看護部（本館6階西・ 5病棟4階・5病棟5階・訪問看護ステーション）	入退院管理センターの取り組み～PFMによる体制強化の仕組みづくりを目指して～
本部 総務部 総務課	労務管理の仕組みづくり～電子化クラウドシステムの導入～

セッション3 ルーチン業務の再評価、ブランディング、新サービス創出

部署	テーマ
本院 臨床工学センター 臨床工学課	透折支援システムFutureNet Web+の運用見直しとサブツールの有効活用による仕組みづくり
恵寿金沢病院 看護部、医事課	入院業務一連に対するしくみ作り～入院業務のシンプル化に向けて
本部 情報部 情報管理課	医療情報システムをウイルスや災害から護る仕組みづくり
本部 財務部 経理課	改正電子帳簿保存法に対応する仕組みづくり
リスクマネジメント部会（文化調査グループ）、 医療安全管理課	医療安全文化調査結果の活用
1位 和光苑	多くの人に知られるくらいのブランド力の獲得を目指して～SNS活用の仕組みづくり～
デイサービスセンター いこい	趣味を活かしたレクリエーション活動の仕組みづくり～小規模レクからマイスターを目指そう～

事例研究大会（徳充会）

2023年2月10日開催 大会テーマ：人を責めるな、仕組みを責める

	所属	発表者	テーマ
優秀賞	青山彩光苑 本部事務局	神野 由美子	総務4S 改革 ～シンプル・スピード・正確に・誠意をもって～
	青山彩光苑穴水ライフサポートセンター	中尾 美幸	特性に合った支援で少しずつ前へ
	石川県精育園	藤井 めぐみ	自立が導く笑顔と自信
奨励賞	青山彩光苑ワークセンター田鶴浜	竹中 翔亮	個々の能力をきちんと評価する ～評価表（しくみ）の見直し
最優秀賞	青山彩光苑ライフサポートセンター	奥村 桜子	『食いたい』を生きる力に
	青山彩光苑リハビリテーションセンター	馬場 夏実	安全で痛みの少ない入浴動作を目指して
	さいこうえんの障害者生活支援センター	山崎 亮一	地域交流を通じた利用者支援 ～地域共生社会の実現を目指して
奨励賞	ローレルハイツ恵寿	林 ゆん	マンネリからの脱出！ Pepperの力を借りて… ～利用者と職員が笑顔になるように～
	エレガントなぎの浦	松本 雅予	Foot活プロジェクトを広めよう ～楽しく歩いて健康に～
優秀賞	ふれあいの里	甲谷 一美	喜ばれる入浴を目指して ～プログラムの見直し～
奨励賞	エレガント田鶴浜・もみの木苑	亀井 真巳	まんぶく大作戦 ～笑顔と元気を引き出す支援～
	自立ホームけいじゅ ヘルパーステーション銀河	大能 美保	止めちゃダメ！！ ～コロナ禍における地域支援のあり方～

新聞掲載（董仙会）

日付	内容	施設	掲載媒体
2022.4.2	84人が地域医療へ	董仙会	北國新聞
2022.4.17	七尾未来アワード公開プレゼン / 未来アワードグランプリ	董仙会	北國新聞 / 北陸中日新聞
2022.4.20	外国人受け入れ 認証制度を更新	恵寿総合病院	北國新聞
2022.4.23	新採職員がマナー研修	董仙会	北國新聞
2022.4.26	外国人患者受け入れ 25年まで認証更新	恵寿総合病院	北陸中日新聞
2022.5.12	先端機器で介護負担軽減	董仙会	日本経済新聞
2022.5.17	医療情報伝えて1300回 恵寿病院・神野理事長	董仙会	北國新聞
2022.6.10	心療内科を開設	恵寿総合病院	北國新聞
2022.6.11	恵寿病院に心療内科 認知症治療に力 介護相談室も	恵寿総合病院	北陸中日新聞
2022.6.18	実習生に辞令交付 / インドネシアから介護の道 決意 実習生の辞令交付式 / 介護技能実習生ら活動開始	董仙会 / 徳充会	北國新聞 / 北陸中日新聞 読売新聞
2022.6.20	フレイル予防学ぶ	恵寿総合病院	北國新聞
2022.6.29	涼やか 七夕の吹き流し 職員手作り	恵寿総合病院	北國新聞
2022.7.2	新採職員に辞令、研修	董仙会	北國新聞
2022.7.6	腕のリハビリに新装置 / 助っ人活躍 リハビリ楽に ロボット型装置導入	恵寿総合病院	北國新聞 / 北陸中日新聞
2022.7.10	健康へ歩き方診断	恵寿金沢病院	北國新聞
2022.8.3	将来の仕事 これからも 七尾高生体験	恵寿総合病院	北陸中日新聞
2022.8.3	介護技能を競う	董仙会	北國新聞
2022.8.6	七尾高2、3年生がインターンシップ 市立図書館などで	恵寿総合病院	北國新聞
2022.8.19	羽咋高の2年生 医療の仕事学ぶ	恵寿総合病院	北國新聞
2022.8.19	よりよい介護へ 選抜10人競う オンラインで「グランプリ」	董仙会	北陸中日新聞
2022.8.22	医療の魅力 高校生に	恵寿総合病院	北陸中日新聞
2022.8.26	「介護部」を新設 / 恵寿病院に介護部新設 治療から生活 切れ目なく	恵寿総合病院	北國新聞 / 北陸中日新聞
2022.8.27	七尾高生に医療 オンラインツアー	恵寿総合病院	北國新聞
2022.9.14	メールで受診促す「カルテコ」	恵寿総合病院 恵寿金沢病院	北國新聞
2022.9.20	恵寿総合病院に和菓子	恵寿総合病院	北國新聞
2022.9.26	障害者就職へ 説明・面接会	董仙会	北陸中日新聞
2022.9.27	医療機関「作業減り、患者に集中」 対象外の問い合わせ増懸念	恵寿総合病院	北國新聞
2022.10.4	不要の軽症者 健康相談69件 全数把握簡略化1週間で県内	恵寿総合病院	北國新聞
2022.10.6	看護師特定行為 5人が研修修了	恵寿総合病院	北國新聞
2022.10.12	たん吸引の研修開始	恵寿総合病院	北國新聞
2022.10.13	介護技能競い 県内7氏が受賞	董仙会 / 徳充会	北國新聞
2022.10.15	デイサービス「いこい」閉鎖 / デイサービスいこい閉鎖へ	董仙会	北國新聞 / 北陸中日新聞
2022.10.15	百歳 / 中能登の諏訪さん100歳おめでとう	和光苑	北國新聞 / 北陸中日新聞
2022.10.18	介護職の魅力 従事者ら発信 県産業展示館でフェスタ	董仙会	北陸中日新聞
2022.10.22	これからも元気でいてね 七尾の石井さん	和光苑	北陸中日新聞
2022.10.28	七尾の「董仙会」がたん吸引研修開講	董仙会	北陸中日新聞
2022.11.10	スポーツで健康増進	董仙会 / 徳充会	北國新聞
2022.11.30	障害のある入所者 リハビリ協議競う	董仙会 / 徳充会	北陸中日新聞
2022.12.8	あすからのイルミネーションPR	董仙会 / 徳充会	北國新聞
2022.12.9	利用者の移動補助学ぶ	董仙会	北國新聞
2022.12.10	光のショー華やか	董仙会 / 徳充会	北國新聞

日付	内容	施設	掲載媒体
2022.12.11	ツリーや観覧車 わくわくイルミ	董仙会 / 徳充会	北陸中日新聞
2022.12.15	認定看護師、新たに3人	恵寿総合病院	北國新聞
2022.12.29	デイサービス「いこい」に別れ 中能登で閉所式 / 中能登デイサービス「いこい」31日に閉所	董仙会	北國新聞 / 北陸中日新聞
2022.12.30	永年勤続者を表彰	董仙会 / 徳充会	北國新聞
2023.1.5	七尾・恵寿病院 / 20歳迎える職員 決意新たに誓い	董仙会	北國新聞 / 北陸中日新聞
2023.1.27	大地震発生を想定 恵寿病院で防災訓練 / 災害時の情報共有確認	恵寿総合病院	北國新聞 / 北陸中日新聞
2023.2.7	診察券をアプリで一括管理 / 「スマホ＝診察券」導入予約状況の表示も	恵寿総合病院	北國新聞 / 北陸中日新聞
2023.2.12	ハート形のイルミ登場 / 七尾の高齢者施設 期間限定♡イルミ	董仙会 / 徳充会	北國新聞 / 北陸中日新聞
2023.2.14	透析中にも体操、筋力維持 / 透析中 気軽に筋トレ	恵寿ローレルクリニック	北國新聞 / 北陸中日新聞
2023.2.15	医療に感謝、花贈る 県花商事業協同組合	恵寿金沢病院	北國新聞
2023.3.9	健康経営優良法人 上位に石川12団体 経産省発表	董仙会	北國新聞
2023.3.11	「君ソム」の原画並ぶ	恵寿総合病院	北國新聞
2023.3.15	人間ドックラウンジー新	恵寿総合病院	北國新聞
2023.3.15	健康優良法人認定「董仙会」6年連続	董仙会	北陸中日新聞
2023.3.21	作中の七尾 写真と見比べて 恵寿病院で「インソムニア」展	恵寿総合病院	北陸中日新聞
2023.3.25	研修医6人が修了	恵寿総合病院	北國新聞

新聞掲載（徳充会）

日付	内容	施設	掲載媒体
2022.4.3	施設通貨 健康の励みに / 還元祭でお買い物	ふれあいの里	北陸中日新聞
2022.6.11	潮騒の道 きれいに	石川県精育園	北陸中日新聞
2022.6.18	実習生に辞令交付 / インドネシアから介護の道 決意 実習生の辞令交付式 / 介護技能実習生ら活動開始	董仙会 / 徳充会	北國新聞 / 北陸中日新聞 読売新聞
2022.6.24	85歳理容師 現役を続行	ローレルハイツ恵寿	北國新聞
2022.6.24	施設理容師今年も力に	ローレルハイツ恵寿	北陸中日新聞
2022.8.2	組子細工で脳トレ 田鶴浜高、高齢者と交流	ローレルハイツ恵寿	北國新聞
2022.8.3	介護技能を競う	董仙会 / 徳充会	北國新聞
2022.8.19	よりよい介護へ 選抜10人競う	董仙会 / 徳充会	北陸中日新聞
2022.8.19	桶屋さん県道など冊子解説	青山彩光苑ライフ サポートセンター	北陸中日新聞
2022.9.11	折り紙手順パネル紹介 高齢者施設に寄贈	もみの木苑	北國新聞
2022.9.13	グラウンドゴルフ秋季大会	ふれあいの里	北國新聞
2022.10.2	七尾初のA型事業所「LABO」が開所式	徳充会	北陸中日新聞
2022.10.5	折り紙で昆虫 作り方解説	もみの木苑	北陸中日新聞
2022.10.12	喀痰吸引等の研修開始	董仙会 / 徳充会	北國新聞
2022.10.28	喀痰吸引等 研修開講	董仙会 / 徳充会	北陸中日新聞
2022.10.13	介護技能競い県内7氏が受賞	董仙会 / 徳充会	北國新聞
2022.10.18	介護職の魅力 従事者ら発信	董仙会 / 徳充会	北陸中日新聞
2022.10.18	国民文化祭イベント 障がい者がアート制作	穴水ライフ / 精育園	北國新聞
2022.11.7	紙箱 社会参加の一步に コロナ禍で疎遠	もみの木苑	北陸中日新聞
2022.11.9	アートでつながる穴水 百万石文化祭プレ行事	穴水ライフ / 精育園	北陸中日新聞
2022.11.10	スポーツで健康増進	董仙会 / 徳充会	北國新聞
2022.11.25	穴水で障がい者作品展 国民文化祭プレ行事	穴水ライフ / 精育園	北國新聞
2022.11.30	障害のある入所者 リハビリ競技競う	董仙会 / 徳充会	北陸中日新聞
2022.12.8	園児と障がい者 レクで交流 穴水リモートで結ぶ	石川県精育園	北陸中日新聞
2022.12.8	あすからのイルミネーションPR	董仙会 / 徳充会	北國新聞
2022.12.10	光のショー華やか	董仙会 / 徳充会	北國新聞
2022.12.11	ツリーや観覧車わくわくイルミ	董仙会 / 徳充会	北陸中日新聞
2022.12.11	精育園利用者が対抗戦ゲーム満喫	石川県精育園	北陸中日新聞
2022.12.30	永年勤続者を表彰	董仙会 / 徳充会	北國新聞
2022.12.31	大浴場に赤富士壁画 ふれあいの里 シール8700枚使用	ふれあいの里	北國新聞
2023.2.12	ハート形のイルミ登場	ローレルハイツ恵寿	北國新聞
2023.2.12	七尾の高齢者施設 期間限定♡イルミ	ローレルハイツ恵寿	北陸中日新聞
2023.2.18	あふれる思い詩集に託し	セレーナ青山	北陸中日新聞
2023.3.28	100歳を中能登町長祝う	エレガンテナぎの浦	北陸中日新聞

来訪者一覧（董仙会）

日付	見学者	見学内容
2022.6.13	富山大学芸術文化学部 教授他計3名	デザイン経営
2022.8.24	石川県立羽咋高等学校 計10名（オンライン）	医療職の紹介
2022.8.26	石川県立七尾高等学校 計85名（オンライン）	医療職の紹介
2022.9.7	社会医療法人光生病院 理事長他計4名	情報システム
2022.9.8,9	横浜市立大学 計15名（オンライン）	医療経営合同インターンシップ
2022.11.18	横浜市立大学 教授他計3名	医療経営人材育成
2022.12.16	医療法人佐藤病院 理事長他計9名、昭和設計 計3名	病院建築
2023.1.27	若手経営者の会 計5名	けいじゅヘルスケアシステム
2023.1.31	愛生館小林記念病院 理事長他計4名	地域連携、入退院管理センター
2023.2.13	鵬学園高等学校 計10名	給食システム
2023.3.3	医療法人社団如水会今村病院 計1名	けいじゅヘルスケアシステム
2023.3.14	国立病院機構 計6名	介護部
2023.3.22	神戸市民病院機構 計11名	DXに関する取り組み
2023.3.27	衣笠病院附属在宅クリニック 専務理事他計8名（オンライン）	けいじゅヘルスケアシステム

来訪者一覧（徳充会）

日付	来訪者	見学内容
2022.5.12	田鶴浜地区民生委員	【もみの木苑】 窓拭きボランティア
2022.12.19	のと共栄信用金庫職員	【青山彩光苑】 窓ふきボランティア
2023.3.17	のと共栄信用金庫職員	【青山彩光苑】 窓ふきボランティア

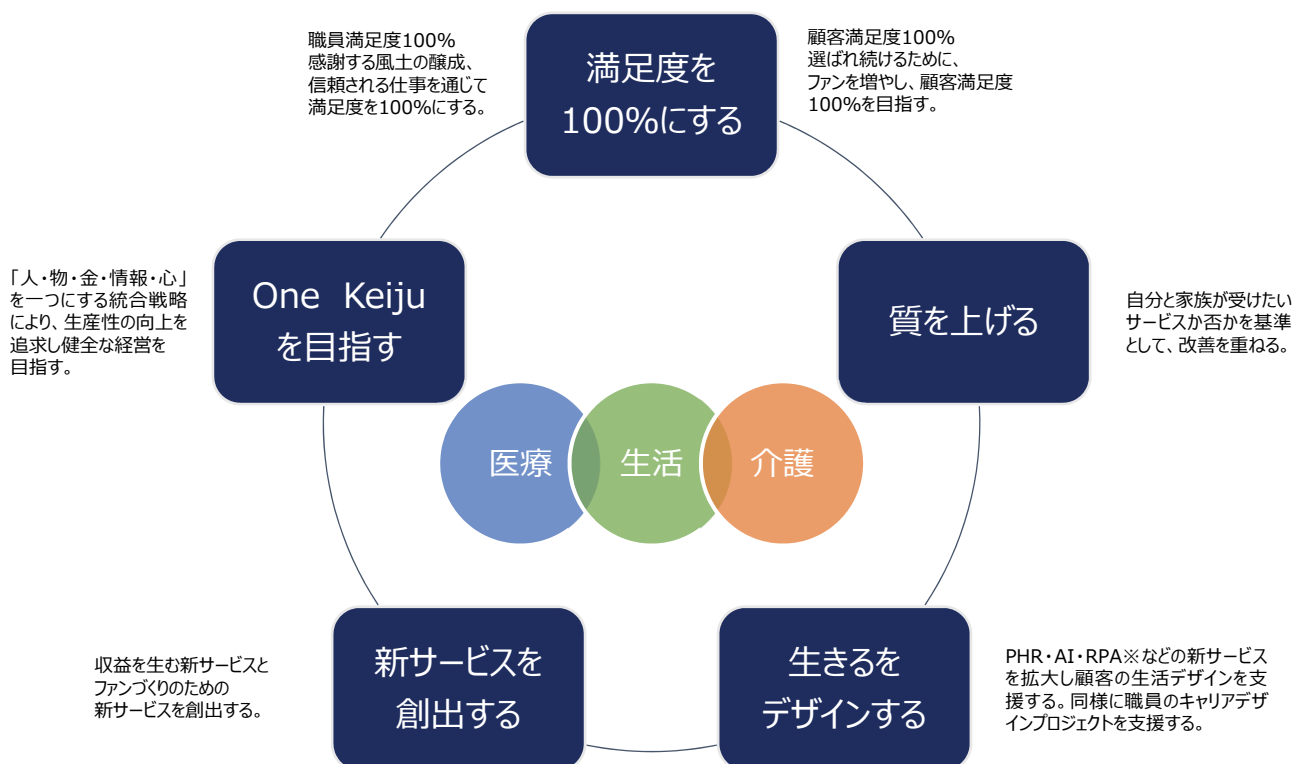
■ 継続的基本方針

□ 継続的基本方針を達成するための基本戦略

2021-2023中期計画の基本戦略は、従前の戦略を受け継ぎ、更なる成熟を目指し、下記の5施策とする。

- 満足度を100%にする
- One Keijuを目指す
- 新サービスを創出する
- 生きるをデザインする
- 質を上げる

董仙会の職員は、前向きで努力を忘れない資質に恵まれ、真面目である。その資質を活かし、地域と仲間にファンを作ることは、難しいことではない。自分と家族が受けたいサービスか否かを基準として、常に自分の仕事を見直し、昨日より良いサービスを作り続けよう。その時、感謝する風土を醸成し、心温かな職場にしよう。また、ITリテラシーの高さは、非常に自信を持っていただきたい。新サービス創出に向けて、ITリテラシーの高さを武器に、発想の転換を図り工夫を重ねていただきたい。生産性の向上を主眼とし、IT・PHR・AI・RPAなどを積極的に利用し、自分たちが利用したい未来を築いていこう！答えは、自らの心の中にある。



※ PHR*とは、パーソナルヘルスレコード(Personal Health Record)を示す。個人が、自らの生活の質（QOL）維持や向上を目的として、自らの生涯健康情報を収集・保存・活用する仕組み。董仙会ではMDV社の「カルテコ」を導入。

■ 継続的基本方針を実現するためのSWOT分析

継続的基本方針と、現状の姿（SWOT分析）のギャップを以下に示す。強みを活かし、弱みを補いながら3か年で目指す将来像に到達することを目標とする。

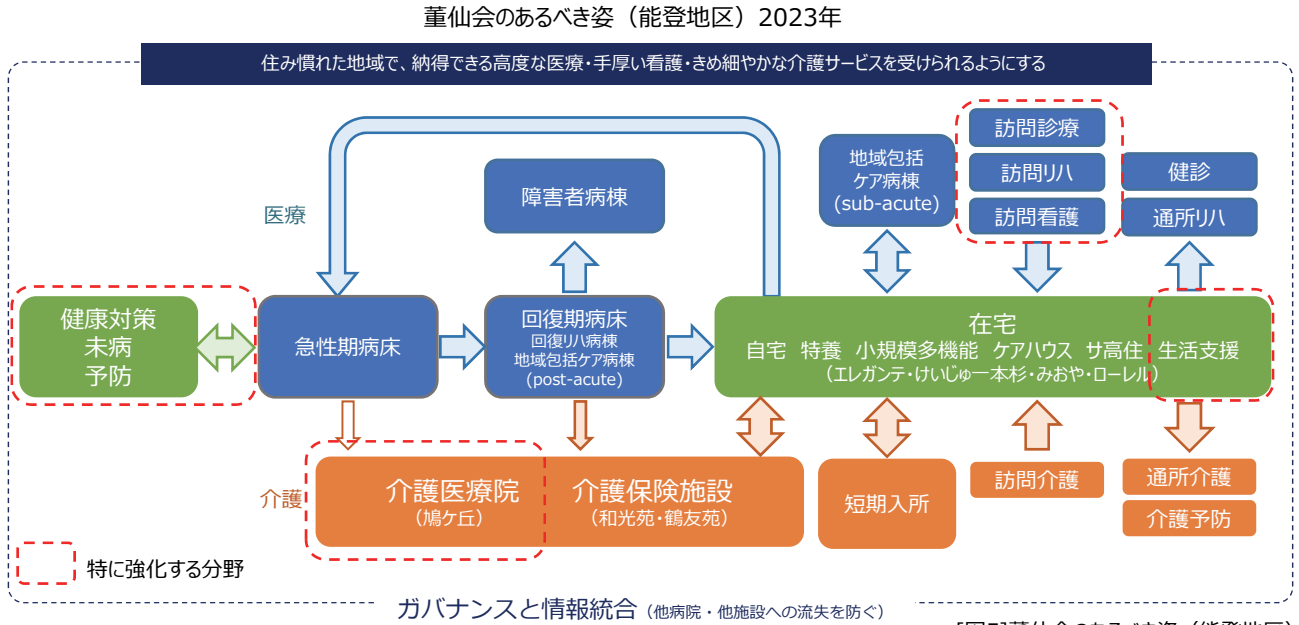


■ 継続的基本方針を実現するための董仙会のあるべき姿

□ 能登地区方針

[図5]董仙会のあるべき姿の中では、鳩ヶ丘が介護医療院となり、地域ニーズに対応して訪問看護ステーションを設置した。健康対策として未病・予防へ注力することが未来を創る戦略となる。これまで医療療養型施設がなかったため、医療ニーズの高い患者は、他院（浜野西、富来、加藤、北村病院）に転院していた。しかし、これらの病院も介護医療院に転換したため、鳩ヶ丘の果たすべき役割は、重要となった。生活支援事業における新サービスを充実させ、地域の信頼を得ることが肝要である。

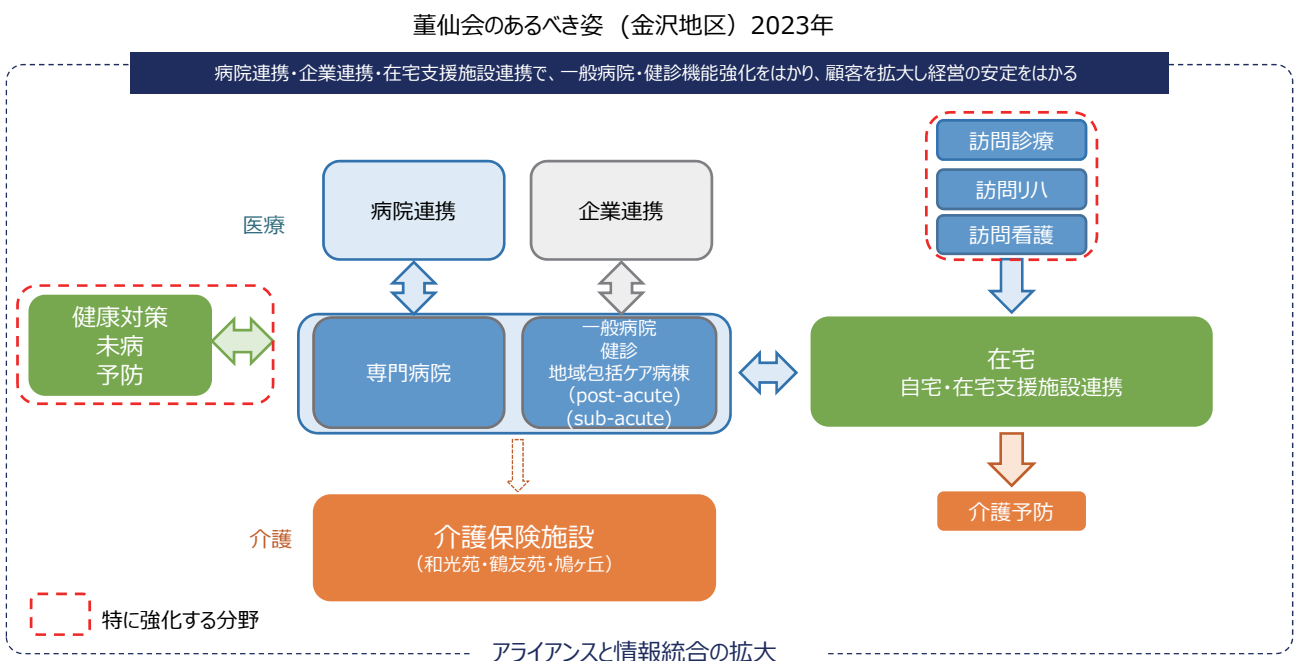
■ 医療 ■ 介護 ■ 生活



[図5]董仙会のあるべき姿（能登地区）

□ 金沢地区方針

[図6]董仙会のあるべき姿の中では、訪問事業の充実を図る事が大切である。また協力連携する介護施設を明確にし、介護を必要とする高齢者患者にも対応していかなばならない。NTT関係会社の健康を預かる病院として、未病・予防などの健康対策に注力されたい。新金沢病院（89床）における+aの目的を明確にし、経営改善と新病院構想を同時に行い、新築移転に備える事が必須である。



[図6]董仙会のあるべき姿（金沢地区）

■ 継続的基本方針を実現するための戦略目標（成功のストーリー）



KGI（重要業績達成指標）は、医業収入151億円とする。

2023年度までに継続的基本方針を達成するための5施策に対する具体的な戦略目標例を示す。

- 満足度を100%にする
- One Keijuを目指す
- 新サービスを創出する
- 生きるをデザインする
- 質を上げる

■ 満足度を100%にする

「介護で働くなら恵寿」、「医療で働くなら恵寿」を完成する

【学習と成長の視点】 外国人実習生の受け入れについて学ぶ。腰痛予防のためのノーリフティング対策を学ぶ。

生涯賃金増となる就業規則を学ぶ。健康経営について学ぶ。

【業務の視点】 「ありがとう」「助かりました」感謝を表す風土を醸成しよう。

元気な挨拶「おはようございます」「こんにちは」で温かな職場を創る。

【顧客の視点】 仲間・顧客の役に立つというやりがい感を創出する。

【財務の視点】 素晴らしい仲間が増え、業務に余裕が生まれ、顧客へのサービスがよりよくなり、評判となる。

職場の雰囲気良さが恵寿ブランドとして定着する。

■ One Keijuを目指す

人・物・金・情報・心の統合で新金沢病院着工へ

【学習と成長の視点】 各事業、部門の採算性を学ぶ。新金沢病院の構想(サ高住、回復期リハ、緩和ケア)を練る。

【業務の視点】 各事業、部門の統廃合を実施する。新金沢病院基本計画の策定。

【顧客の視点】 新金沢病院基本計画にて、職員のモチベーションを上げる。

【財務の視点】 One Keijuとして収益に貢献する。

人・物・金・情報・心の統合で稼働率を上げる

【学習と成長の視点】 介護施設受入の際、ボトルネックとして、能登総合病院かかりつけ医問題がある。

けいじゅヘルスケアシステムの切れ目のないサービス提供において、支障をきたすことが多々あるため、このような場合、患者・家族に対し、積極的にかかりつけ医変更依頼を行う。

二人主治医性についての説明のしかたを学ぶ。

【業務の視点】 能登総合病院からの新しい形の紹介を実施。病院・介護施設で介護相談外来を展開する。

【顧客の視点】 けいじゅヘルスケアシステムのサービスに満足していただくため、顧客の願いを汲み取る。

顧客の多様性を知り、新しいサービスを恐れず創り出す。

【財務の視点】 One keijuとして、稼働率を上げる。

■ 新サービスを創出する

董仙会のあるべき姿の定着を目指す（ITリテラシーの強みを活かす）

【学習と成長の視点】 ITの強みを最大限に生かせる学習の実施

【業務の視点】 オンライン診療やサテライト外来を構築する。遠隔による診療支援も導入する。AI問診を金沢病院、各クリニックにも導入する。金沢病院にもPHR（カルテコ）を導入する。

【顧客の視点】 医療関係者、患者側の満足度を上げ、稼働率改善につなげる。

【財務の視点】 稼働率改善により、収入増となる。

新しい働き方で生産性を上げる（ITリテラシーの強みを活かす）

【学習と成長の視点】 事務・看護業務の作業分解を学習し、RPAに業務を移行する。その過程と効果を学ぶ。

介護ロボットの可能性を正しく理解する。

【業務の視点】 RPA、介護ロボットなど文明の利器を活用し、働き方改革を行い、生産性を上げる。

【顧客の視点】 RPA、介護ロボットによる業務代替による負担軽減を目指す。

【財務の視点】 生産性管理の実施。生産性改善により、支出減となる。

■ 生きるをデザインする

生きるためのトータルコーディネーターとなる

1. 病後のトータルコーディネート 2. 生きるをデザインする 3. 未病 4. 予防 5. 生活支援

【学習と成長の視点】 未来の健康についてアイデアを出し続ける。

【業務の視点】 強みのIT・PHRを活用し、顧客参加の仕組みを作る。

【顧客の視点】 病前病後のトータルコーディネートは、漏れなくダブリなくできているかを確認する。

【財務の視点】 生活・健康・介護・病気 人生の不安を任せられる企業として大きな信頼を得て、顧客増となる。

キャリアデザインを展開し、各部署に3級リーダーを配属する

【学習と成長の視点】 資格要件・業務リーダーの連動について学ぶ。

仕事や役職が自らを育てる事を学ぶ。

【業務の視点】 董仙会の未来を築く3級リーダーを育てる。

【顧客の視点】 やりがい感を醸成する。

【財務の視点】 人材確保により、安定経営が可能。

■ 質を上げる

老朽化施設の改修によるハードの質、専門性・安心・安全のサービスの質、レジリエンスを発揮する経営の質向上

【学習と成長の視点】 自分と家族が受けたいサービスか否かを基準として、上質とは何かを学ぶ。

質が向上するためにはどうすれば良いかを探し出す。どのようにすれば上質にたどり着くのかを考える。

【業務の視点】 業務の質を上げる。

人間の質（人間力）を上げる。

【顧客の視点】 顧客・仲間が心地よさを感じるよう努力を惜しまない。

【財務の視点】 入院・入所・入職希望者が増え、董仙会がさらに成長する。

董仙会本部 事務管理統括部門

董仙会本部

■ 常務理事 ■ 理事長補佐 ■ 本部長
神野 厚美 神野 正隆 進藤 浩美

■ 2022年度のトピックス

「人を責めるな、しきみを責めよ」取り組みを下記に示す。

D X 推 進	<ul style="list-style-type: none"> ・全職員にMicrosoftアカウント付与 ・全職員をTeams「非常事態報告」メンバーに利用推進 ・2023年4月PHS廃止、iPhone500台を本院に先行導入 ・すべてをiPhoneで業務可能となるようにしくみ構築（モバイル電子カルテ、ナースコール、内線、放送） ・本院に入退院支援システム、ポケメド（モバイル診察券、待ち時間連絡、Web予約、Web予防接種予約）導入
	財務部：基幹業務ソフトのクラウド化、RPA 4稼働 総務部：ストレスチェック、労務管理等のオンライン化 情報部：全施設のIT資産統合管理ソフトを導入 企画部：Teams業務拡大
新 型 コ ロ ナ 対 応	<ul style="list-style-type: none"> ・Teams感染クロノロジーにて、情報共有の推進 ・介護施設での新型コロナ患者対応 ・各種補助金の獲得 ・新型コロナ危険手当、休暇の継続
手 当 等 見 直 し	<ul style="list-style-type: none"> ・本院夜間入院手当（オーバーナイト手当等） ・看護職等の地位向上のため処遇改善手当 ・2023年度ベースアップ、事務職資格手当新設などの準備

■ 事業報告

- ① 経営の健全化のため、コンサルを入れての収益改善ミーティングを強化、介護の収益改善ミーティングも開始、経営会議の時間も延長した。中能登町の指定管理のいこいを閉鎖し、ほのぼのと統合した。フランチャイズのペリー七尾店は、クロージング準備に入った。
- ② DX推進と共に働き方改革を主導した。6年連続、健康経営ホワイト500、本院で未許可だった産科・血液浄化センター業務の宿日直許可を取得した。
- ③ 本院に介護部を設立し、介護人材の育成、確保、統合の拠点化とした。初めて特定技能外国人を5名採用（ベトナム2名、ミャンマー3名）、2023年度の受け入れを目指し、ベトナムダナン大学と看護生インターンシッププログラム覚書にも調印した。
- ④ リクルートとして、医師は、本院に初めて、病理診断医1名、心療内科医1名、その他、家庭医療科医1名、金沢病院で人間ドックセンター医1名を採用した。外国人受入れが可能となり、介護の特定技能実習生、インドネシア6名採用した。中国人看護師は2名採用できた。
- ⑤ ホームページのリニューアル、プレスリリースを年で43回、新聞、ラジオ、TVでの広報活動を展開し、「七尾未来アワード」にエントリー最終選考に残り、賞も取得した。

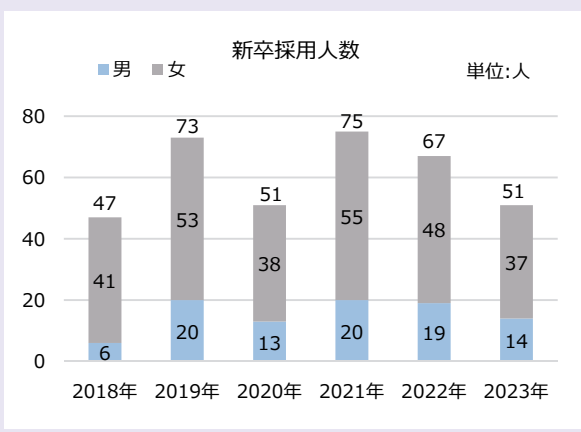
総務部

■部長

松田 久良

■ 2022年度のトピックス

2023年新卒の採用実績は51名と昨年実績よりも減少した。採用活動の中心となる年度初めにコロナ感染症が再度蔓延したこともあって、苦戦した。しかし、採用の活動の幅を広げた結果、既卒者の採用も2名実現した。



■ 事業報告

- ① 産科・透析科の業務に限定して個別に宿日直許可申請を行い、許可を受けた。
- ② 新型コロナ対策として危険手当、入退院の効率化を目指したオーバーナイト手当、看護職等の地位向上のため処遇改善手当などの整備に努めた。また、インフレ進行から、職員の生活を守るため、次年度のベースアップや事務職資格手当新設などに備え、就業規則の改正を行った。
- ③ 新たに職場つみたてNISA制度を導入した。
- ④ 介護部設立やデータセンター創設など組織改編に対応して、組織規程の整備やシステム改編の対応を行った。
- ⑤ 董仙会のFM体制強化のため、総務部内に施設管理係を配置、新しい係長を採用した。
- ⑥ DX推進し、労働保険料申請、ストレスチェック、労務管理のオンライン化を実現した。文書管理のペーパーレス化にも着手した。
- ⑦ 人材の多様化の観点から、特定技能外国人を5名採用（ベトナム2名、ミャンマー3名）。次年度の受け入れを目指し、ベトナムダナン大学と看護生インターンシッププログラムの覚書にも調印した。

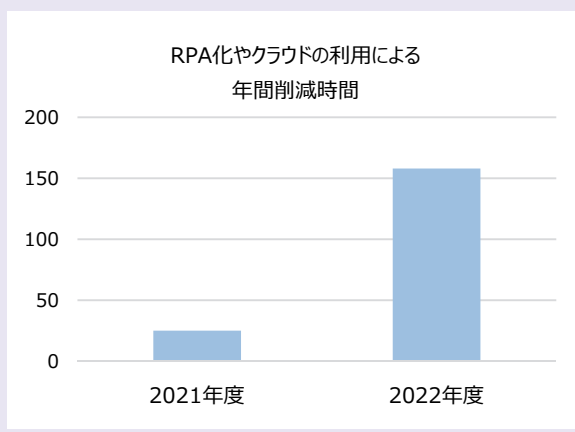
財務部

■部長

安井 智美

■ 2022年度のトピックス

業務の効率化・生産性の向上は、どの部門でも喫緊の課題である。ルーティン業務の「しきみ」を見直し、RPA化やクラウドの利用を進めることにより作業時間の削減を図った。



■ 事業報告

- ① 医薬品SPD業務の新委託先への移行について、各所との調整など支援を行いスムーズに移行を完了する事ができた。引き続き委託先との窓口として良好な関係を維持できるようにサポートを続ける。
- ② 財務部の基幹業務ソフトをクラウド化した事により、資財課では物品の検収業務にもソフトを活用し、作業時間の短縮など業務の効率化を図った。同時にMicrosoftのTeams利用を拡大し、資料の共同編集作業による効率化と情報共有、業務負担の軽減につなげた。
- ③ コロナ禍の影響で延期されていた、恵寿総合病院の副医局並びに副院長室の改修工事が実施され、それに伴い全面的な什器の入れ替えを行った。
- ④ 経理課では業務のRPA化を進め、計4体稼働している。RPAの検討は業務の棚卸しにもつながるため、今後も積極的に取り組んでいきたい。
- ⑤ 各種補助金の獲得に向けて情報収集を行い、省エネ対策の補助金や物価（光熱費）高騰に対する補助金などの申請を行った。また、介護施設のコロナ陽性者施設内療養に関する補助金申請についても取り纏めて申請を行った。

財務部 経理課

■ 課長

河合 隆志

■ 2022年度のトピックス

・物価（水道光熱費）高騰対策関連補助金獲得

市町村別	獲得件数
穴水町	1件
金沢市	1件
中能登町	3件
合計	5件

■ 事業報告

- ① 水道光熱費高騰対策として3市町村合計5件の補助金を獲得した。また、法人として北陸電力節電キャンペーンに参画し、特典金額を獲得した。
- ② 改正電子帳簿保存法対応の準備として、電子取引とスキャナ保存のワークフローを構築した。
- ③ RPAを4体稼働させた。（2021年度1業務+2022年度新規3業務）

財務部 資財課

■ 課長

池岡 一彦

■ 2022年度のトピックス

本院医局改修準備期間(2022/12/15～2023/02/12)

工事期間(2023/02/13～2023/03/14)

荷物減量指定	仮医局1、外部倉庫3箱分の段ボールと指定
仮医局設置	私物棚設置・什器レンタル・ネットワーク整備
私物保管	外部倉庫へ棚設置、段ボール保管
定例改修会議	1回/1～2週、計9回実施
	本院関係者・大成有楽・ITOKI・丸菱・ほくつう・北研エンジニアリング

■ 事業報告

- ① 業務ソフトをクラウド型へ移行、WEBカメラ、Teams等も活用し、業務時間削減と業務負担軽減を実現。
- ② 病院へ導入：本院産科病棟へ新型黄疸光線療法器、金沢病院へマンモグラフィ装置・下部消化管ファイバー、心電図モニター16台総入れ替え
- ③ 介護施設へ導入：移乗支援ロボットHug、全身運動トレーニング機器クロスステップ、昇降式サンディングボード

第2章 法人方針・事業報告（董仙会本部）

企画部

■ 常務理事

神野 厚美

■ 部長

進藤 浩美

■ 2022年度のトピックス

能登地区や七尾市に元気を与え、社会や地域に寄与する優れた活動を表彰する「七尾未来アワード」に、『人生100年時代 Foot活プロジェクト～子どもから大人まで～』でエントリーした。ファイナリスト10組に選ばれ、Foot活プロジェクトの活動や今後実施していきたいイベントについて最終選考会で発表した。結果、会場投票で1番共感を集めた発表として会場共感賞を受賞した。

企画部の主な活動

発表	七尾未来アワード『人生100年時代 Foot活プロジェクト～子どもから大人まで～』
制作物	業績集、広報誌（4,000部/年4回発行）、リクルートブック（全11職種）、恵寿まるわかりブック、検査説明用パンフレット・動画など
メディア出演	ラジオななお（年50回放送）、エフエム石川・金沢ケーブルとFoot活プロジェクトコラボ企画実施

■ 事業報告

- ① マスコミ向けのプレスリリースを年間で43回行い、新聞掲載やテレビ放映を通じて、董仙会のPRに繋がった。
- ② エフエム石川・金沢ケーブルと「健康UP!ACADEMY～歩くチカラをプレゼント～」を企画し、ケーブルテレビやラジオで放送した。
- ③ 2021年度の業績集を作成し、6月中旬に配布した。
- ④ 恵寿まるわかりブック（恵寿総合病院、恵寿金沢病院）を各病院の地域連携担当者の協力のもと作成し、連携医療機関への広報ツールとして配布した。
- ⑤ 地元の高校生に向けて、医療・介護の魅力を紹介するイベント「医療へのいざない」をオンラインで開催した。2つの高校から合計93名の参加があった。
- ⑥ 七尾まちあるきセンター、七尾市、ポニーキャニオンと共同企画した「君は放課後インソムニア複製原画展」を3月に開催した。原画と写真を見比べながら七尾市の風景が楽しめるように展示内容を工夫し、多くの方に見てもらうことができた。
- ⑦ 董仙会、恵寿総合病院、恵寿金沢病院のホームページをリニューアルするために、病院・施設の全部署から情報収集を行った。

情報部 情報管理課

- 部長 進藤 浩美
■ 課長 小澤 竹夫

■ 2022年度のトピックス

全施設	IT資産統合管理ソフト導入
恵寿総合病院	入退院支援システム 院内ネットワーク機器更改 ポケメド導入 予防接種システム導入 NewtonsMobile2導入 パソコン200台入替
病院・クリニック	患者用Wi-Fiの構築
恵寿総合病院・鳩ヶ丘	検査・放射線機器接続

■ 事業報告

- ① 今年度は個人情報保護法の改正対応としてIT資産統合管理システムを導入し、情報システムのセキュリティ強度を高めた。
- ② 電子カルテのサブシステムとして入退院支援システム、ポケメド、予防接種システム、NewtonsMobile2を導入。
- ③ 患者用のWi-Fiを病院・クリニックに設置した。

生活未来部 生活未来課（めぐみ）

- 部長 安井 智美
■ 常務理事 神野 厚美
■ 本部長 進藤 浩美

■ 2022年度のトピックス

めぐみニュース紹介内容
脳活アイス、家族介護用品支給事業
室内シューズ、歩行器
Foot活サンダル、スリッポン、コンタクトレンズ
車いす、手すり、かいごの相談室
福祉用具月間、らくらく点眼、シャワーチェア
脳活アイス、薬用入浴剤、レッグウォーマー
電動車いす・カート、段差昇降用手すり、おむつ支給券

■ 事業報告

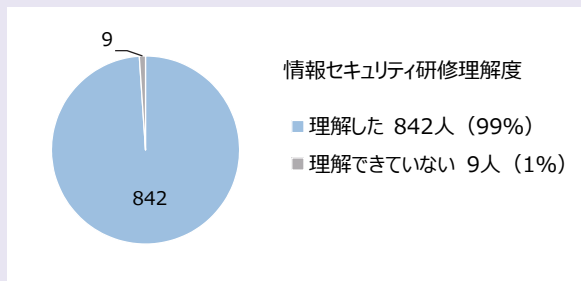
- ① めぐみニュースの発行を通じて、めぐみの取り組みや取り扱い商品を、法人内外の各事業所並びに職員に周知し、利用促進を図っている。
- ② 業務の効率化とトラブル防止のため、情報共有の方法を見直した。

個人情報管理委員会

■委員長・個人情報保護管理者

進藤 浩美

■2022年度のトピックス



■事業報告

- ① DARKTRACE社のセキュリティ診断を受けた。問題なし
- ② 董仙会プライバシーポリシーの見直しをした。
- ③ オンライン画像録画についてのルールを検討。
- ④ 「千年カルテ」事業における、委託業者への指導。
- ⑤ case study研修：USB紛失ヒヤリハット事例とその模範報告書での学び（USBを使用しない）
- ⑥ 情報セキュリティ研修：オンデマンド形式。851名受講

広報委員会

■委員長

進藤 浩美

■常務理事

神野 厚美

■2022年度のトピックス

エフエム石川・金沢ケーブルと「健康UP!ACADEMY～歩くチカラをプレゼント～」を企画し、Foot活についてPRした。

	プロジェクト内容
制作物	広報誌、マンスリーレター、ホームページ、業績集、恵寿まるわかりブック、各種パンフレット・チラシ、動画
メディア	ラジオななお、プレスリリース
特別企画	金沢ケーブル・エフエム石川コラボ特別番組「健康UP!ACADEMY～歩くチカラをプレゼント～」

■事業報告

- ① 恵寿総合病院・恵寿金沢病院ホームページのリニューアルに向けて、委員会で進捗確認を行い、2023年4月に公開できるよう準備をすすめた。
- ② 年間でプレスリリースを43回行い、職員にもメール・ポータルで周知し、法人の活動について情報共有を行った。ラジオななお収録・放送を年間50回実施した。

けいじゅFM委員会

■委員長

安井 智美

■ 2022年度のトピックス

石川県医療機関等省エネ投資緊急支援補助金について、補助対象の設備や規格、省エネ効果など厳しく設定されているため、本院の照明器具LED化を中心に申請した。

種類	場所
非常灯・誘導灯LED	3病棟全体
天井照明LED	3病棟1～3階
天井照明LED	5病棟3～4階
空調機	3病棟2階の一部病室

事業報告

- ① コロナ禍の影響で延期されてきた、本院の副病院長室、医局、医局更衣室の改修工事を実施した。
- ② 設備の老朽化が進んでいる恵寿金沢病院のGHP（電気設備）については調達の目途が付き、気温・天候の落ち着く2023年春の工事を予定すると同時に、不測の事態に対応できる体制も整えた。

福利厚生委員会

■委員長

安井 智美

■ 2022年度のトピックス

職員の財産形成の研修を下記の通りオンラインで実施した。

日時	研修内容
12月15日	職場つみたてNISA説明会
12月29日	DCオンラインセミナー 2023年ほんな年
3月1日	DC新商品・アクティブファンド2銘柄追加
3月8日	4月給与から職場つみたてNISA開始

■事業報告

- ① 12月に例年通り「お楽しみ抽選会」を実施した。
- ② 中止したイベントは、けいじゅヘルスケアシステム大忘年会、七尾港まつり総踊り、ボーリング大会、ソフトバレーボール大会、ストレッチ教室である。
- ③ 企画部とのコラボで、一谷運動指導士による「メンタルに効く！呼吸法とマット運動」をYouTubeにアップした。

TQM委員会

■委員長

安井 智美

■ 2022年度のトピックス

テーマ『人を責めるな、しくみを責める』優秀賞は以下の通り。

2022年9月13日（火）、14日（水）、15日（木）	
1日目	恵寿金沢 臨床検査課、放射線課、人間ドックセンター、管理課
2日目	本院 医療安全管理部会、感染制御課
3日目	本院 サービス課
2023年3月11日（土） 場所：七尾市文化ホール（ハイブリッド）	
セッション1	本院 入退院管理センター-地域連携課
セッション2	本院 入退院管理センター、看護部（6西・5-4・5-5・訪問看護）
セッション3	和光苑

■事業報告

- ① 前期の発表大会は、昨年度に引き続きオンラインによる平日の分散開催を実施した。
- ② 後期の発表大会は、新型コロナウイルス感染症の状況が落ち着いてきた事もあり、2年半ぶりにサンライフプラザでの現地開催を実施した。同時にZoomによる中継も行う、初めてのハイブリッド開催となった。

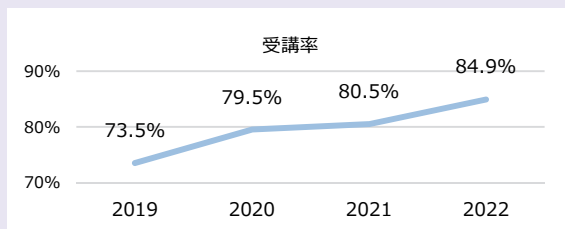
キャリアデザインプロジェクト

■委員長

松田 久良

■ 2022年度のトピックス

E-Learning受講率は年々向上し、本年度は85%となった。



■事業報告

- ① E-Learningコンテンツは必要なものはアップデートし、特に「Teamsの基本操作」については、全面改定した。
- ② E-Learning受講率を人事評価項目に追加したことで、受講率が大きく改善した。
- ③ 新入職員フォローアップ研修のワークショップ研修において初めて外部教材を導入した。内容の充実とスタッフの業務負担軽減につながった。

第2章 法人方針・事業報告（董仙会本部）

健康委員会

■委員長

松田 久良

■ 2022年度のトピックス

健康経営優良法人2023（大規模部門、ホワイト500）に申請して6年連続認定を受けた。



■ 事業報告

- ① けいじゅ健康保険組合とコラボ、運動習慣定着のため、石川県のウォーキングアプリを利用して1ヶ月の歩行歩数を職員で競う「チャレンジ10万歩」を企画し、実行した。
- ② 健保へのレセプト請求額が減少し、健康保険料引き下げを実現した。
- ③ 来年度のオプション検査の健保による半額補助も決定した。

病院・施設委員会

■委員長

吉田 茂和

■ 2022年度のトピックス

委員会で情報共有した主な内容

病院と各施設の稼働状況と、患者・利用者の動向

新型コロナウイルスの最新状況とその対応

各種マイスター研修（Foot活/おむつ/ノーフット）の進捗

オンライン「けいじゅ介護技能グランプリ」の開催

介護ロボットなどの導入効果と情報交換

■ 事業報告

- ① 各施設の感染予防対策などの情報共有
感染者状況の推移などを共有し、その最新対応策や応援体制・検査体制などの情報を共有した。
- ② 始業時体操の周知
職員の労働災害を未然に防ぐ目的などから、始業前に身体をほぐすため、簡単な体操を取り入れることとし、その必要性などについても情報共有・周知を行った。

第2章 法人方針・事業報告（董仙会本部）

給食戦略プロジェクト

■リーダー

神野 厚美

■副リーダー

進藤 浩美

■ 2022年度のトピックス

美味しさの追求のため、様々な取り組みを実施した。

場所	内容
全施設	はじめて創立記念日祝い膳
	じゃがいも品質向上作戦（ゆでてから調理）
恵寿総合病院 地元企業とコラボ	産科病棟： トップ1さんのお弁当 シャトレゼさんの糖質オフ菓子
	人間ドック： シャールベルベさんのサンドイッチ弁当

■ 事業報告

- ① (株)シダックスの事例動画で、当法人の給食が取り上げられ、全国発信となる。
- ② 健康経営としてのスマートミール更新認証を受けた。
- ③ お米などの食材費が値上がりした。
- ④ 本院職員食堂も新型コロナで食数が減ったのと重なり赤字が継続している。
- ⑤ 最低賃金が上がり、各病院、施設管理費を見直した。

クリーン&5Sプロジェクト

■リーダー

神野 厚美

■副リーダー

進藤 浩美

■ 2022年度のトピックス

- ① 初めて みんなで『わくわく草むしり』
(株)明祥裏の草むしりを、パートナー企業(株)明祥、(株)大成有楽不動産、(株)オリックスと職員で実施。
- ② ようやく 本院本館スタッフバックヤードの5S
本院介護部で、バックヤードの5Sのモデル病棟をつくり、平準化をはかった。

■ 事業報告

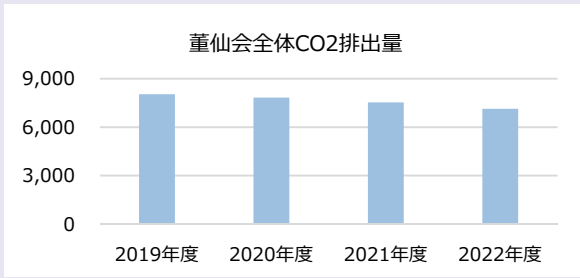
- ① 粗大ごみ回収年間計画、各部署5S支援計画を実施。
- ② (株)オリックスに介護事業所の清掃教室を本年も依頼。
- ③ 新型コロナ対応として、本院本館の換気・湿度のバランス不均衡によるカビ発生や介護施設での陽性者介護のため、感染性廃棄50箱/日の廃棄処理が必要だった。
- ④ 鶴友苑でトロミサーバーのコード小火あり、全施設、コンセントと延長コードを見直し、和光苑対応が必要だった。

地球温暖化対策推進プロジェクト

■エネルギー管理規格推進者

森下 毅

■2022年度のトピックス



■事業報告

- ① 地球温暖化対策 夏・冬大作戦を指示した。
- ② 使用料を経理課が会議フォルダに毎月入力する仕組みとし、電気、重油等のエネルギー使用量を把握、削減できた。
- ③ ECOの補助金を使用したLED化も徐々に実施、CO2排出量は年々減少。エネルギー使用量は、県、中部経済産業局、東海北陸厚生局に報告している。

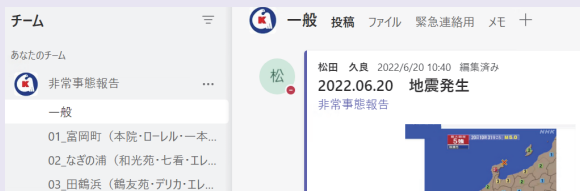
BCMプロジェクト

■リーダー

松田 久良

■2022年度のトピックス

Teams「非常事態報告」を立ち上げ、本格運用開始、有事の報告体制を確立した。



■事業報告

- ① 職員全員にマイクロソフトアカウントを付与することにより、画像データを利用したビジュアルによる報告、共有体制が可能となった。
- ② 多数の職員を管理するためにパワーオートメイトを積極的に活用し、正確性、効率化を確保している。

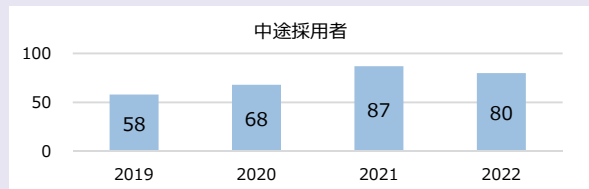
リクルートプロジェクト

■リーダー

松田 久良

■2022年度のトピックス

ジョブシェア、ジョブタスクシフト強化のため、職能を限定した職種の採用に注力した。



■事業報告

- ① 家庭医療科医1名、心療内科医1名、病理診断医1名を採用した。
- ② 毎週リクルート会議を開催し、各部署の適正人員配置に努めた。
- ③ 内定者の就職に必要な提出書類を電子クラウド化し、雇用条件通知書もペーパーレス化実現し、正確性の確保と職員の事務負担軽減を図った。

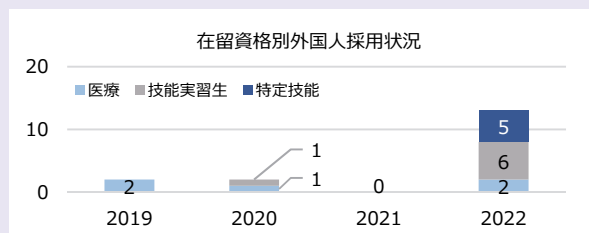
外国人職員受け入れプロジェクト

■リーダー

松田 久良

■2022年度のトピックス

前年度コロナ対策で受入不能だったが、本年度は復活した。



■事業報告

- ① 前年度はコロナ対策で外国人受入不能であったが、本年度は緩和され、合計13名の外国人を採用した。
- ② 今年度は新たに特定技能外国人も5名採用した。
- ③ 国別では中国2名、インドネシア6名、ミャンマー3名、ベトナム2名。
- ④ 次年度はベトナムダナン大学と連携しインターンシップ看護学生を受け入れ予定。

第2章 法人方針・事業報告（董仙会本部）

タスクフォース

- 常務理事 ■ 理事長補佐 ■ 本部長
神野 厚美 神野 正隆 進藤 浩美

■ 2022年度のトピックス

今年動いたタスクフォース

理事長補佐	データ経営・金沢病院収益改善
	カルテコの普及推進
	ペリ-事業対策
常務理事・本部長	RPA推進チーム
	ダナン大学プロジェクト
	金沢病院移転新築
総務部長	BCM
	外国人職員受入れプロジェクト
介護部門長	近未来型 通所創造プロジェクト
	介護ロボット導入・定着プロジェクト

■ 事業報告

- ① 様々なデータを用いて経営の可視化が図られ、経営力強化に繋がった（データ経営）。
- ② 新金沢病院構想として、収益改善を図り、移転先土地取得を図った。
- ③ ベトナムダナン大学とインターンシップ協定を結び、優秀な外国人採用を計画する。
- ④ 外国人介護職員は、10名となった。

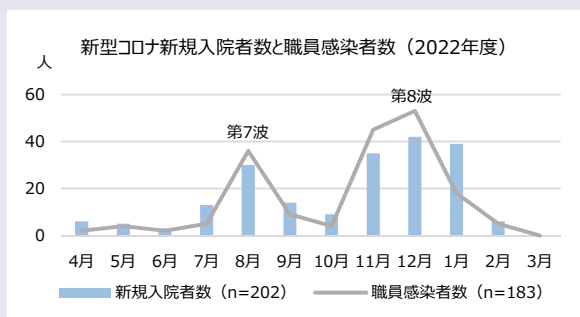
恵寿総合病院

■ 病院長

鎌田 徹

■ 2022年度のトピックス

新型コロナウイルス感染症、第7波と第8波への対応が最大の課題であった。それぞれの流行波では新規入院患者数と職員感染者数がほぼ同数であり、業務負荷とスタッフ不足が深刻であった。全期間で全館面会禁止を継続したが、8月、11月、12月、1月に院内クラスターの感染を経験した。4月に入退院管理センターを設立した。9月には介護部を設立し、治療の一助を担う部署として確立した。



■ 事業報告

- ① 新型コロナ対応について

4月に重点医療機関となった。また診療・検査医療機関としての入院及び外来業務、小児を含む新型コロナワクチン接種などの新型コロナ対応を継続した。
- ② 入院・外来等について（↑：前年比上昇、↓：同低下）

重要な入院指標である病床稼働率、平均在院日数、看護必要度はそれぞれ76.7%↓、11.1日↓、28.9%↓であった。その他救急車受入台数、入院患者数、全身麻酔件数は1,697台↑、6,487人↑、932件↑であった。また地域包括ケア病棟、回復期リハ病棟、障害者病棟の稼働率はそれぞれ88.6%↑、91.9%↑、80.1%↓であった。紹介率・逆紹介率はそれぞれ64.7%↓、74.1%↓であった。地域医療支援病院として、能登地域の他医療機関で眼科、脳外科、糖尿病、循環器などの専門医が診療を継続した。
- ③ 教育・業務改善などについて

看護師特定行為研修・救急事例検討会・研修医および専攻医の臨床研修・オープンカンファレンス・オンライン診療・アシストクルー採用・RPAを継続した。2月には病院機能評価3rdGVer2.0を受審と本格的な防災訓練を行った。

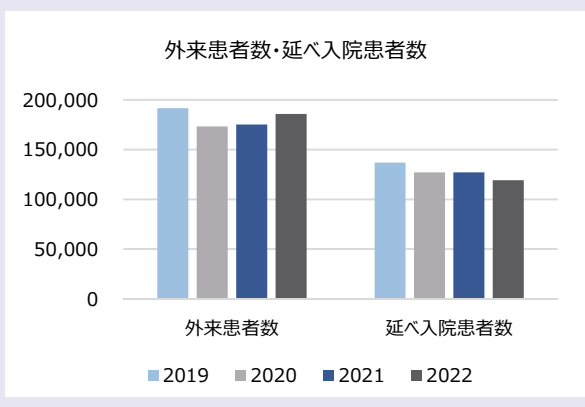
診療部

■診療部長
西澤 永晃

■副部長
森永 敏生（医局長）、伊達岡 要、
山村 健太

■2022年度のトピックス

地域医療支援病院として、連携機関との患者情報共有により密接な医療連携を継続している。新型コロナウイルス感染者の急激な増加傾向の中で、通常診療に加え、2月に全部署協力の元、病院機能評価訪問審査を受審し、更新することができた。



■事業報告

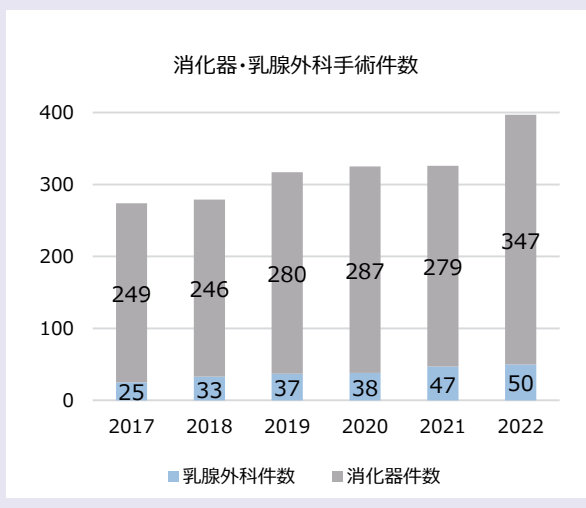
- ① 地域医療支援病院として、連携機関との患者情報共有（72時間以内の返書作成、逆紹介・二人主治医性の推進）により密接な医療連携を継続した。
- ② 新型コロナウイルス感染流行の中、一般病棟への感染症持ち込みを防ぎながら、発熱外来の継続及び新型コロナ陽性患者の入院受け入れを積極的に行った。また、全診療科協力の元、新型コロナワクチン接種を継続して行った。
- ③ 新型コロナウイルス感染者の急激な増加傾向の中で、通常診療に加え、2022年度2月に全部署協力の元、病院機能評価訪問審査を受審、更新することができた。
- ④ 2023年4月から導入されるiPhoneによるモバイルカルテ（NewtonsMobile2）に向けて準備を行った。
- ⑤ 総外来患者数・初診患者数は新型コロナ感染症発生前（2019年度）に近い水準に回復している。在院患者数は減少傾向であったが、新入院患者数は、新型コロナ感染症発生前（2019年度）を上回った。
新入院患者数:6,393→5,678→5,694→6,487
在院患者数:13.7万→12.7万→12.7万→11.9万
外来患者数:19.1万→17.4万→17.8万→18.6万

消化器外科

■所属医師
能登 正浩、久野 貴広、三田 和芳

■2022年度のトピックス

手術件数は昨年度と比べ大幅に増加した。緊急手術も年々増加している。



■事業報告

- ① 胃癌・大腸癌手術や胆のう・ヘルニア手術など外科の主な手術すべてにおいて件数が増加している。特に、胆のう手術は昨年度比132%、大腸癌手術は昨年度比137%の件数となった。
- ② いずれの手術においても、平均手術時間は短縮し、入院期間も短縮している。胃癌症例の場合、平均手術時間は71分短縮、平均在院日数は12.9日短縮した。
- ③ 時間外の手術時間は、前年度145時間から今年度111時間と、34時間分の大幅短縮となった。特に17時以降開始の手術は昨年度より30時間以上短縮した。
- ④ 今年度より医師1名が乳腺外科専任となったため、3名でチーム診療を行った。
- ⑤ 今後は手術手技の定型化を進め、手技の安定、時間短縮を目指していく。最適な診療を提供すべく、消化器内科との連携強化を図る。

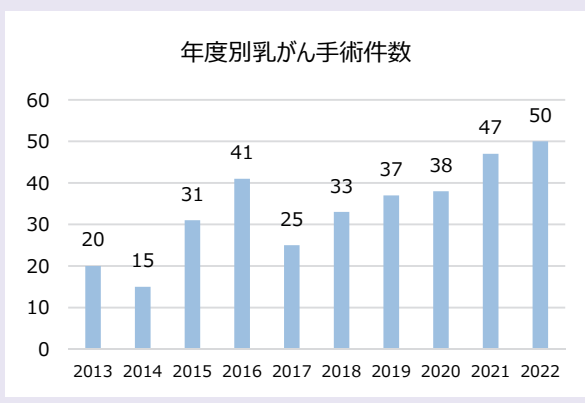
乳腺外科

■所属医師

鎌田 徹、高井 優輝

■2022年度のトピックス

2016年度から当院外科において乳腺外科を専門科として独立し診療を行ってきた。また、本年度より2人体制となり、更に乳腺診療が充実されることとなった。乳癌手術件数も年々増加しており、本年度は50例に達し、それに伴い化学療法症例も増えている。



■事業報告

- ① 2017年以降、年々乳癌手術件数は増加しており、それに伴い術後放射線治療件数、化学療法導入症例数が増えている。紹介や逆紹介を通じて、また患者の評判などにより、当科に対する能登地区での信頼と期待が大きくなってきていると考える。今年度より乳腺科医師が増員となり、外来は二人体制で診療を行っている。これにより患者の受け入れがより拡充できるものと思われる。
- ② マンモグラフィー撮影では技術認定を取得した女性放射線技師の存在やトモシンセシス撮影装置など環境設備も整っており、今後はより一層の診療の充実を図りたい。
- ③ 金沢大学附属病院や金沢医科大学病院の乳腺外科と連携を行い、患者ニーズに応じた医療（治療法）の提供を行っている。
- ④ 乳腺領域での治療法（薬物療法や術式など）の変遷は他の外科領域に比べかなり速く、診療の質（標準とされる治療）を維持することが難しい。これまでは学会や講演会に足を運ぶのも七尾からでは不便であった。しかし昨今はweb講演会が頻繁に行われており、七尾に居ながらにして日々、診療をupdateしていくことが可能となり、積極的に参加している。

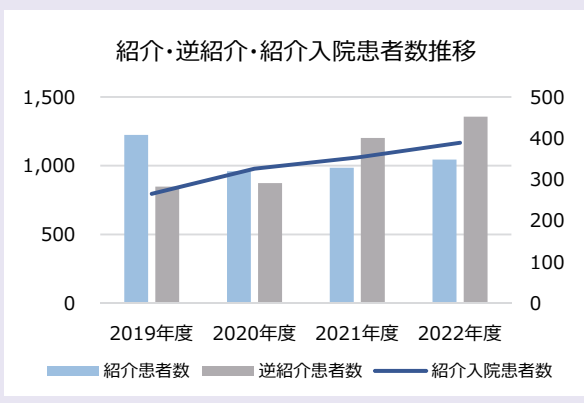
内科

■所属医師

宮本 正治、山崎 雅英、山村 健太、岡田 圭一郎、中川 紀温、熊野 奨、藤井 愛、豊田 洋平、松田 康彦、辻 徹朗、佐久間 愛美

■2022年度のトピックス

専門性の高い診療を維持発展しつつ、新型コロナウイルス感染症対応として、発熱外来対応・陽性者入院主治医の主体を担った。連携医療機関との連絡を密にすることで、紹介・逆紹介患者・紹介入院患者、延べ外来患者数、初診患者数、新入院患者数が増加した。



■事業報告

- ① 新型コロナ感染症対応として、家庭医療科と協力し、発熱外来の実施、新型コロナ感染患者の入院治療を行った。
- ② 各臓器別内科責任者と分担して連携医療機関を訪問し、ご希望を聞き、直接顔の見える関係を構築した。
- ③ その結果、逆紹介患者数、紹介入院患者数は2019年度から2022年度にかけて順調に増加した。
逆紹介患者数：848→873→1,202→1,357
紹介入院患者数：265→326→353→389
- ④ 総外来患者数、新入院患者数も新型コロナ感染による2020年度の落ち込みから回復した。総外来患者数：34,631→29,924→33,939→36,624
新入院患者数：1,708→1,424→1,471→1,704
- ⑤ 一方で急性期病院として入退院支援を充実することにより、延べ入院患者数は減少した。
(41,134→34,929→36,843→36,249)
- ⑥ 初診患者数は発熱外来の開始もあり、激増した。
(1,983→1,128→1,530→3,585)
- ⑦ 同時に金沢大学附属病院、金沢医科大学病院と連携し、専門性の高い診療を維持発展させている。

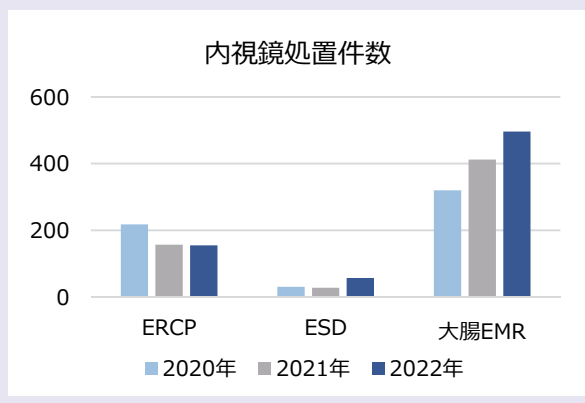
消化器内科

■所属医師

神野 正隆、守護 晴彦、藤原 秀、大溝 知英

■2022年度のトピックス

内視鏡総件数が9,000件を超え、ESD件数は約60件、大腸EMR件数は約500件と新型コロナウイルス感染症による受診抑制の解除の影響かここ数年では最も多い内視鏡検査・治療件数となった。また紹介数は712件、逆紹介数は1,055件と年々増加しており、特に逆紹介に注力している。



■事業報告

- ① 健診における内視鏡検査のニーズに応え、健診内視鏡の受入れ件数を増加させ、また当日内視鏡も検査数の制限を設けず、内視鏡検査数の増加を図った。結果、総件数は9,141件と9,000件を超えた。
- ② 内視鏡治療は引き続き24時間365日体制で能登北部・中部医療圏の連携医療機関からのご紹介に即対応し速やかに治療まで行った。当科への紹介お断り件数は0であった。ERCPは155件と横ばいであったが、ESDは57件、大腸EMRは499件と件数増となった。
- ③ クリニカルパスにおいては、既存パスの見直しおよび新規パスの作成を行い、パス利用率は年間を通してほぼ100%で推移した。治療の標準化、医師・看護師・メディカルスタッフの業務負担軽減、生産性・効率性UPに寄与した。
- ④ 共同購入品を積極的に使用しコスト意識を持ちつつ、その中でより良い処置デバイスを用い、内視鏡処置完遂率も100%に近い成績であった。
- ⑤ データ分析（自病院分析・ベンチマーク分析等）結果を踏まえ、最適治療を心掛け、指標（平均在院日数や1日単価等）の改善を行った。

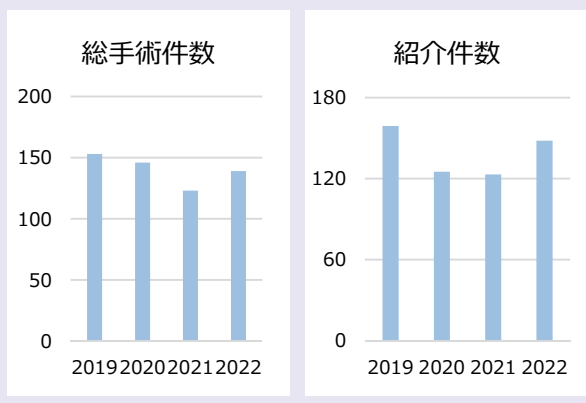
心臓血管外科

■所属医師

西澤 永晃、中嶋 和恵

■2022年度のトピックス

コロナ禍3年目として、待機開心術がストップした状態が続いたものの、心臓大血管手術の適応患者は、金沢医科大学心臓血管外科と連携している。下肢静脈瘤・透析関連の手術件数は回復傾向であった。外来患者数は減少傾向であったが、紹介患者数は徐々に回復している。



■事業報告

- ① 2022年度は講演会活動等ができなかったが、ハートセンターとして循環器内科と合同で、中能登・奥能登地域の医療機関と連携を深めるため、継続的に市民公開セミナー及び連携医療機関での講演会を行っていく。
- ② コロナ禍によること、高齢化率の上昇と人口減少地域であること、開心術がストップしたことを考慮すると手術件数減少の状態であるが、末梢動脈疾患・静脈瘤手術・シャント関連手術の増加により、2021年度より、手術件数は回復している。能登地域の公立病院でシャントトラブルの受け入れ等が開始となった。
- ③ 下肢静脈瘤手術では、レーザー治療に加えて、大伏在静脈硬化療法の新たな導入により、2023年度は手術件数増加が見込まれる。2021年度より重症下肢虚血に対して足関節近位の末梢バイパスを開始したが、開存性50%である。
- ④ 循環器疾患の診療件数の底上げになるように、能登地域で唯一循環器内科との協力体制で心臓血管手術ができる施設であることをアピールする。奥能登地域への出張外来が2022年度で4か所に減ったものの、引き続き連携を継続する。

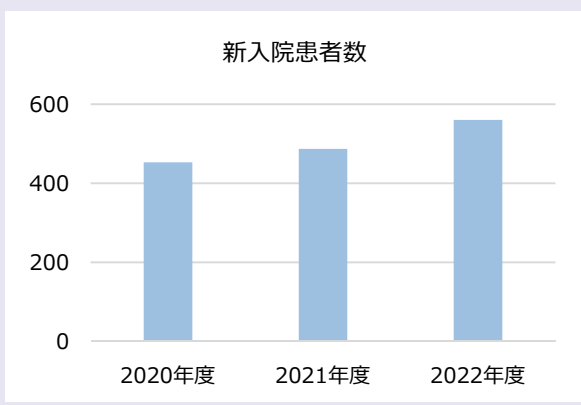
循環器内科

■所属医師

金田 朋也、真弓 卓也、末松 哲郎

■2022年度のトピックス

日本循環器学会専門医が1名増え、全員が有資格者となった。新入院患者数は増加傾向にある。



■事業報告

- ① 外来患者数：7,924人（前年比：104.1%）
初診外来患者数：256人（前年比：96.6%）
延べ入院患者数：8,033人（前年比：92.1%）
新入院患者数：560人（前年比：114.9%）
- ② 治療分野の特化と集中、コスト削減のため、不整脈のカテーテルアブレーション治療から撤退した。
- ③ 患者の高齢化を踏まえ、患者のアウトカムに影響しない高リスクな手術を控え、薬物治療を強化し、安全で最適な治療を追求した。このため手術件数は前年比74.5%に著減した。
- ④ 一方で心不全患者が増加したため、新入院患者数はむしろ増加した。退院後、当院の外来に通院する患者が増加し、外来患者数が増加した。
- ⑤ 以上の結果、患者の再入院が減少し、延べ入院患者数が減少した。

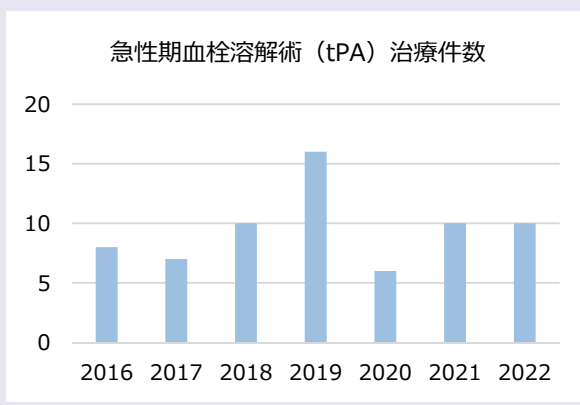
脳神経外科

■所属医師

岡田 由恵、東 壮太郎

■2022年度のトピックス

脳神経内科常勤医不在となったため、脳神経関係の急患に対しては全て脳神経外科で対応した。公立能登総合病院脳神経外科との連携を更に緊密にし、ベストな治療を提供すべく、血栓回収術や開頭手術が必要な症例の転院搬送ならびに、治療後の速やかな転院受け入れを実施した。



■事業報告

- ① 2022年診療実績
新入院患者数：181人
手術件数：11件（慢性硬膜下血腫11例）（ここ数年横ばい）
tPA症例：延べ10件（ここ数年横ばい）
- ② 入院患者数は30人前後を推移している。
- ③ 地域医療構想の方針にのっとり、地域医療支援病院として、能登総合病院脳神経外科での超急性期治療終了後の転院依頼に対し、回復期リハビリ病棟に即座に受け入れられない症例を迅速に受け入れている。
- ④ 毎週木曜にHCUにて、ストロークユニットフィルムカンファレンスを行っている。医師、看護師、リハビリ療法士、研修医等、多職種で症例の病態の理解を深め、情報を共有するとともに、画像を読影する力を深めるために役立っている。
- ⑤ 緊急手術が必要な症例に関しては、公立能登総合病院、金沢大学病院、県立中央病院、等と連携し、迅速に対応できる体制をとっている。
- ⑥ 脳腫瘍、未破裂脳動脈瘤等で、高度な治療が必要な症例に関しては、金沢大学脳神経外科と連携して対応している。

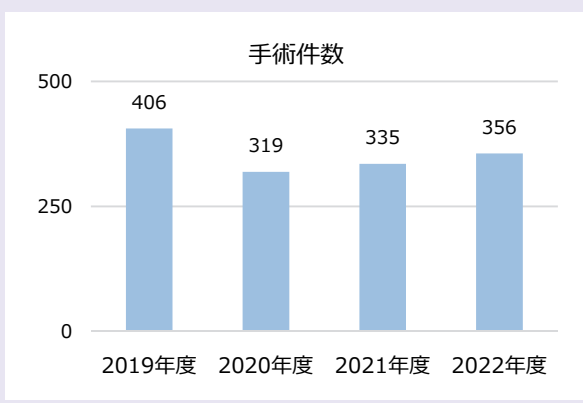
整形外科

■所属医師

森永 敏生、阿部 健作、藤丸 直弥

■2022年度のトピックス

手術は昨年同様、変形性膝関節症に対する人工関節置換術、骨切り術、関節鏡視下手術に力を入れた。また大腿骨近位部骨折に対し、可及的早期に手術を行うように努力した。手術件数、手術関連項目算定金額とも、コロナ前の水準に戻りつつある。



■事業報告

- ① 初診患者数は昨年より3人（0.4%）減とほぼ同数で推移した。新入院数、延べ入院数とも昨年より減少したにもかかわらず単価の高い大きな手術に取り組んだため、昨年比0.4%減、一昨年比7.2%増の結果となった。入院診療をメインで行う病院として、ある意味望ましい形に近づいたと言える。
- ② 毎朝医師3人でカンファレンスを実施、また週に1回は看護師、PT、OT、MSWと合同カンファレンスを実施している。患者の情報をチームで共有するとともに、良質で適切な治療を提供できるように努力を継続している。
- ③ 骨粗鬆症リエゾンチームでの活動を継続している。今年度より、この二次骨折予防活動に対して保険点数が算定できるようになった。実際にどの程度骨折予防効果があったのかを検証し、リエゾン活動の更なる充実化をはかりたい。大腿骨近位部骨折のみならず、他部位の脆弱性骨折患者にも対象を拡大し、二次骨折予防に努めたい。

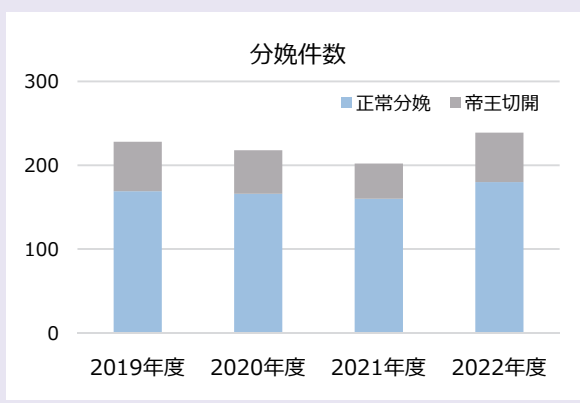
産婦人科

■事業報告

新井 隆成、安田 豊、宮田 康一

■2022年度のトピックス

2019年度と比較して、産婦人科収益は増加安定の状況にある。特に婦人科主要三手術を中心にした診療の安定的な収益が好結果に結びついている。また、人口減少に伴う分娩数の現象は下げ止まりの様相であり、安全な分娩管理への取り組みが産婦人科診療の好結果に結びついている。



■事業報告

- ① 産科におけるハイリスク妊婦へのスクリーニング検査・精査の充実、自然妊娠を目指す女性に寄り添う診療、事故のないハイリスク妊娠・分娩管理の推進により、産科診療実績が好結果につながった。
- ② 婦人科主要三手術の増加、子宮鏡下手術の増加が認められた。後者に関連した帝王切開後の合併症に対するスクリーニングや精査、そして治療体制が整い、当院の女性診療の専門的な領域として定着した。これらは、安全な産科医療の提供という医療サービスにつながるものであり、当院の強みとして、より発展を目指していきたい。そのことによって能登地域の女性の健康に継続的に寄与できるものと期待する。

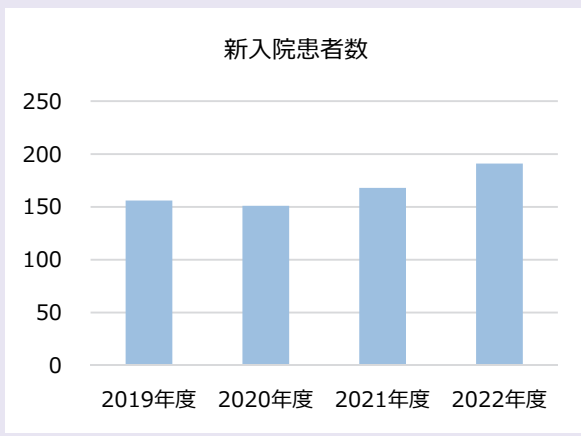
総合診療科（家庭医療）

■所属医師

吉岡 哲也、伊達岡 要、上田 一輝

■2022年度のトピックス

新入院患者が増加した。その内、急性期病棟における患者数が増加している。これまで通り、レスパイト入院も積極的に受け入れており、当院のレスパイト入院件数の62%が家庭医療科で占めている。



■事業報告

- ① 新入院患者数は過去4年で最多、延べ入院患者数もコロナ禍前の件数の水準に回復した。
- ② 主な疾患は、誤嚥性肺炎、腎・尿路感染症であった。在宅あるいは施設への復帰に向けた早期からの対応を心がけており、急性期病棟における平均在院日数は短縮傾向である。
- ③ レスパイト入院も積極的に受け入れている。件数は前年度より減少した。
- ④ 紹介件数が増加し、それに伴う入院件数も増加した。他院からのリハビリ目的の紹介に対しても、リハビリテーション科や脳神経外科のバックアップを行っており、地域の回復期リハビリ機能の体制強化にも関与している。
- ⑤ 積極的に逆紹介を行っている。

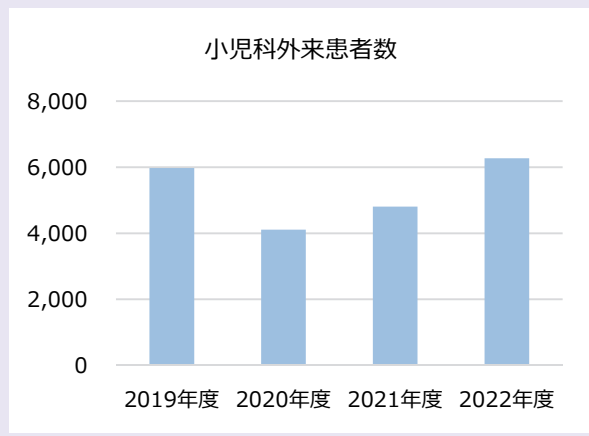
小児科

■所属医師

柳瀬 卓也、中谷 茂和、清水 一秀

■2022年度のトピックス

2022年はコロナ感染の流行に伴い当科発熱外来を受診する患者が、2021年に比して約3倍増加した。そのため年間外来受診数も2021年に比して約1.3倍増加した。外来受診者の増加に伴い、延入院患者数も1.25倍増加した。



■事業報告

- ① 外来患者数は、2021年に比して1.3倍増加し、2019年のコロナ前の水準に戻ったが、専門外来受診者数は堅調で微増に推移した。発熱外来受診者の大幅増（特に新患者数の増加）が外来患者数の増加に寄与している。
- ② 予防接種受診者数は、インフルエンザ予防接種数の減少で2割ほど減少しており今後の課題である。
- ③ 入院患者数は、2021年に比して1.2倍増加したが、新生児入院は増加しておらず、発熱外来受診者の増加に伴う一般小児の入院の増加が目立っている。
- ④ 紹介患者数は、2021年に比して0.9倍と微減だが、後半は増加傾向にあり、今後は関連病院との連携を強化して紹介者数の増加に繋げていきたいと考えている。

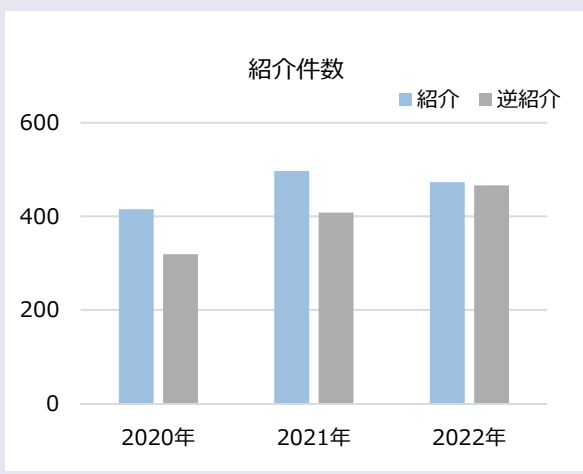
眼科

■所属医師

馬渡 嘉郎

■2022年度のトピックス

紹介件数は昨年度の水準を維持、逆紹介件数は昨年度の件数を上回った。他の医療機関との連携を大切にしながら、外来・入院体制の維持を継続して行っていく。



■事業報告

- ① 連携医療機関の先生方の期待に沿えるよう、最新の知見に基づいた治療の選択肢を提供できるように努力したい。
- ② 白内障を中心に硝子体、眼瞼、緑内障の手術を提供している。ご高齢の方に耐えうる低侵襲の最新の手技を心掛けている。
- ③ 外来診療では特に緑内障の薬物治療の方法論にこだわり、患者負担の少ない投薬、通院の仕方を提供できたらよいと考えている。
- ④ 眼科スリットランプ用カメラシステムを導入し、鮮明に撮影できるカメラで分かりやすい説明が可能となった。
- ⑤ 手術用顕微鏡の更新やパルスレーザー手術装置の導入など、質の高い手術を提供できるよう設備環境を整えた。白内障の手術機器についても来年度の更新を予定している。
- ⑥ 働き方改革に留意した仕事の進め方に注力したい。

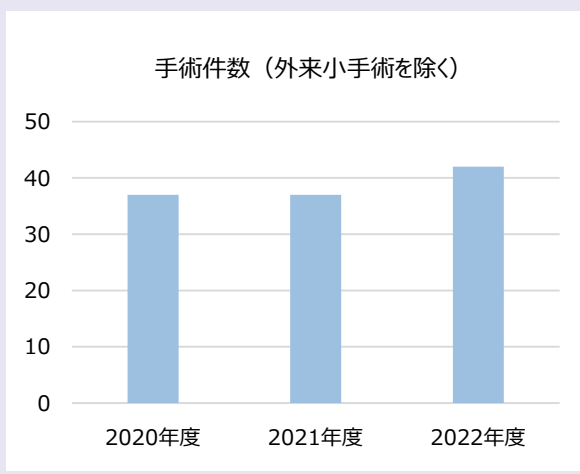
耳鼻咽喉科

■所属医師

山田 和宏

■2022年度のトピックス

手術件数（外来小手術を除く）は、例年と同等の件数であった。



■事業報告

- ① 2022年度
外来患者数：4,767名
初診患者数：307名
新入院患者数：73名
手術件数：112件
- ② 新入院患者数が増加した。
69名（2020年度）→72名（2021年度）→73名（2022年度）
- ③ アレルギー性鼻炎の患者様に対し、内服薬や点鼻薬といった保存的治療以外に、外来日帰り手術の下甲介粘膜焼灼術（アルゴンプラズマ凝固）も提案し、治療の選択の幅を広げている。
- ④ わかりづらい耳鼻咽喉科の疾患について、患者さんに十分に理解していただけるよう、耳・鼻・咽喉頭の解剖の図や模型を用いるなどして丁寧な説明を心がけた。
- ⑤ 引き続き、院内他科や各部署、金沢大学附属病院耳鼻咽喉科などの高次医療機関と連携をはかり、安全で適切な医療を提供するよう努めたい。

麻酔科

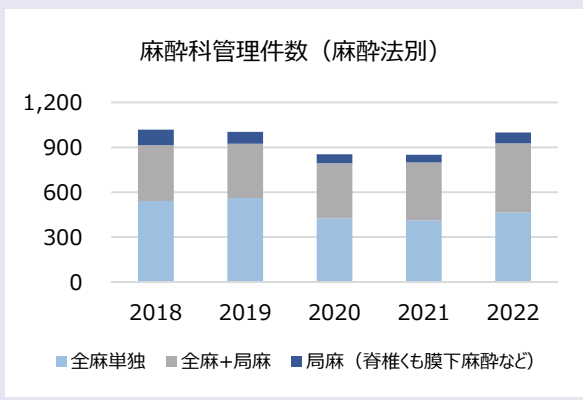
■所属医師

長谷川 公一、櫛田 康彦

■2022年度のトピックス

麻酔科管理件数は増加し、新型コロナウイルス感染拡大以前の数値まで、回復した。

- ①麻酔科管理手術件数 999件（前年度846件）
- ②総麻酔管理時間 2,940時間（前年度2,701時間）
- ③緊急手術割合 36%（前年度32%）



■事業報告

- ① 麻酔科管理件数 999件
前年度比増加した。新型コロナウイルス感染拡大以前の数値まで、回復した。
- ② 総麻酔時間 2,940時間
件数の増加に従い時間数も増加した。内視鏡手術など高度で長時間の手術も増えてきている。
- ③ 緊急手術割合 36%
36%と高い割合を維持している。2名の麻酔科医を有効に配置し、緊急手術に対応した。また、夜間休日の拘束体制を維持した。
- ④ 無痛分娩取扱数
前年度比横ばいの総分娩数の18%を取り扱った。他院からの紹介や遠方よりの受診も見受けられるようになった。出産数が減少傾向のなか、当院の分娩数は増加しており、今後も母体管理体制を整え安全性と質を高め、より潜在的ニーズを拾い上げていきたい。
- ⑤ 緩和ケアチーム対応患者数
前年度比大幅に増加した。これからも、多職種や在宅医療と協力しながら、患者さんが少しでも満足できるよう質の高い対応をしていく。

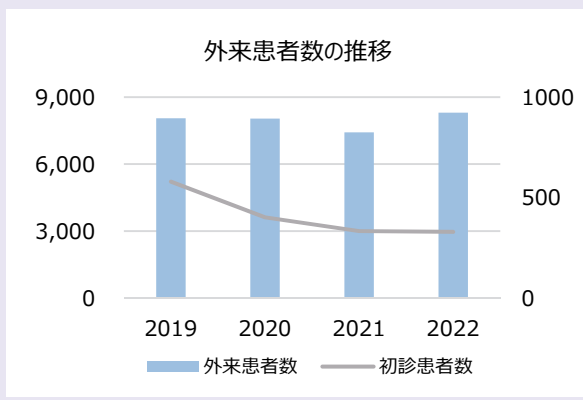
皮膚科

■所属医師

二ツ谷 剛俊

■2022年度のトピックス

外来での新規の取り組みとして、带状疱疹の診断のための抗原検査キットを導入した。外来では総外来患者数が約8,000人、新入院患者数が約80人、新規院内紹介患者数が約1,200人となった。入院患者数はコロナ感染症流行前の2019年と比較しても多くなった。



■事業報告

- ① 患者ニーズにこたえ、带状疱疹、蜂窩織炎に加えて、様々な疾患の治療を入院で行うこととし、新入院患者数の増加に寄与した。
- ② クリニカルパスの見直し（蜂窩織炎、带状疱疹パスの見直し、入院時パス、円形脱毛症のパス療法）を行い、パス利用率は皮膚科として100%となっている。
- ③ 診療での新たな取り組みとして、真菌検査時の培養検査、带状疱疹では抗原検査キットを使用して、患者自身が視覚的に治療の開始に納得いただける検査法を導入した。
- ④ 新規病棟対診として約1,200件の依頼を受けることとなった。褥瘡などについては対診書なしでの診察を行い、看護師、入院主治医の業務負担軽減に取り組んだ。

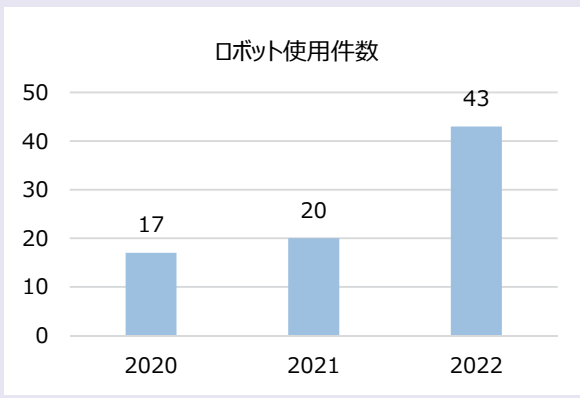
リハビリテーション科

■所属医師

川北 慎一郎、平井 文彦、伊達岡 要

■2022年度のトピックス

新しい脳科学に基づく治療をニューロリハという。当院では、麻痺筋の緊張を和らげるボツリヌス治療や新しい電気刺激装置に加え、リハビリロボットを導入し、回復期リハ患者に使用している。2022年は上肢のリハロボットが加わり、リハロボット使用が増加した。



■事業報告

- ① 入院患者のリハ施行率、リハ処方数は年々増加しており、今年度は入院患者の平均72%実施率となり、年3,400件のリハ処方をおこなった。
- ② 回復期リハ病棟への紹介入院数は次第に増加しており、今年度は82例となった。また転院依頼から転院までの期間を短縮する努力を行った結果、平均18日であったものが平均8日となった。
- ③ ボツリヌス治療患者は年々増加しており、回復期での施注も7例あった。また今年度からボトックスに加えゼオマインの使用が可能となり、十分量の注射がしやすくなった。その結果、年間施行回数は90回となり、注射後2週間の入院リハビリも9名に実施した。
- ④ 認知症ケア回診は毎週継続しており、月に平均9名の回診を行い、月1回症例検討会も実施した。
- ⑤ 訪問リハ実施件数も次第に増加傾向であるが、今年度は月平均817件施行した。
- ⑥ 専門資格取得・学会発表・論文発表もコロナ以降今年度は増加し、それぞれ27・29・5件であった。

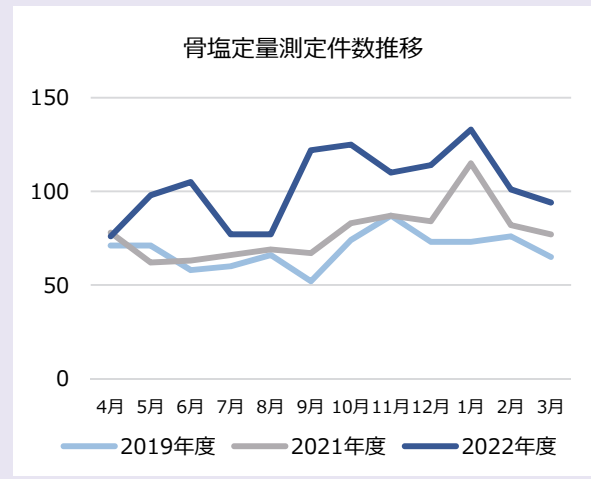
放射線科

■所属医師

角 弘諭

■2022年度のトピックス

整形外科や健診での骨塩定量測定の検査依頼が増え、検査件数が大幅に増加した。



■事業報告

- ① 2022年度診療実績
腹部血管塞栓術件数：33件（前年比71.7%）
CTガイド下生検、CTガイド下ドレナージ件数：24件（前年比49.0%）
CT件数：15,077件（前年比83.4%）
MRI件数：4,207件（前年比96.5%）
マンモグラフィ件数：2,964件（前年比105.0%）
骨塩量測定件数：1,232件（前年比132.0%）
健診胃透視件数：719件（前年比89.9%）
共同利用件数：387件（前年比116.2%）
（CT:163件/MRI:121件/PET-CT:103件）
- ② CT装置1台をAquilion Prime SP (CANON) に更新し、10月より稼働した。
- ③ 共同利用件数 (CT/MRI/PET-CT) が増加した。

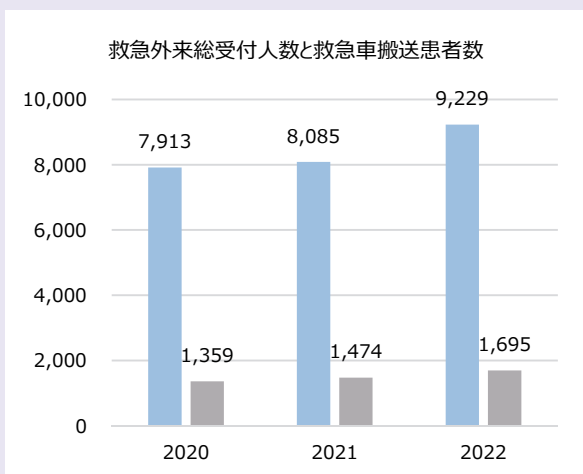
救急救命科

■所属医師

米田 高宏

■2022年度のトピックス

新型コロナウイルス感染症が流行してから救急車搬送患者数は最高値を記録した。救急外来総患者数も増加傾向にある。



■事業報告

- ① 救急搬送患者数は1,695人とコロナ禍では最高値となった。
- ② 救急外来受診数も9,229人とコロナ禍では増加傾向にある。
- ③ 年間入院数は940人(入院率は56%)と増加した。
- ④ 救急医学会専門医、麻酔科学会専門医を更新できている。
- ⑤ 救急車受け入れ不能件数は年間14件と前年比2倍である。
- ⑥ CT・MRIの読影レポート結果確認率100%であり、さらに必要に応じて患者に報告し受診を促したり、入院・外来主治医に直接届くような仕組みを継続できている。
- ⑦ 研修医のER研修は継続して力を入れている。
- ⑧ 救急外来での紹介患者は1,548例だった。
- ⑨ 逆紹介件数は医療秘書課と連携し、さらに順調に数を伸ばして412件となった。
- ⑩ 返書作成日数は1.02日と平均を上回っている。
- ⑪ 「普段かかりつけ医、時々患寿総合病院」というイメージで各医療機関との連携をすすめている。

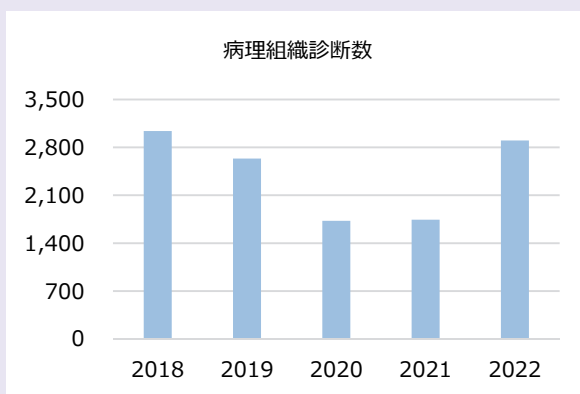
病理診断科

■所属医師

上田 善道

■2022年度のトピックス

病理診断科は、2022年4月から、常勤病理医1名、非常勤病理医1名、常勤細胞診スクリーナー1名、検査技師3名の体制で新たにスタートした。患寿総合病院の病理診断、細胞診診断に加え、アルプ病理の受託診断を通じ、患寿金沢病院ならびに能登地区連携病院の診断も開始した。



■事業報告

- ① 病理組織診断2,901件（上図は最近5年間の病理組織診断数の推移）、術中迅速診断47件、細胞診診断4,985件、病理解剖1件の診断を行った。
- ② 病理組織診断では、免疫染色 794例、in situ hybridization49件、T,Bリンパ球のPCR法による遺伝子解析 8件を実施した。
- ③ 研修医 C.P.C.を1回開催し、レポート作製と論文作成を指導した。
- ④ 患寿金沢病院の病理組織診断と細胞診診断を2023.3月から開始し、病理組織診断24件、細胞診32件を診断した。
- ⑤ アルプ病理受託検体の診断（病理組織診断3,378例；細胞診診断219例）を行い地域連携に貢献した。
- ⑥ アルプ病理組織診断症例を英文医学雑誌に報告し、学術的な貢献を行った。

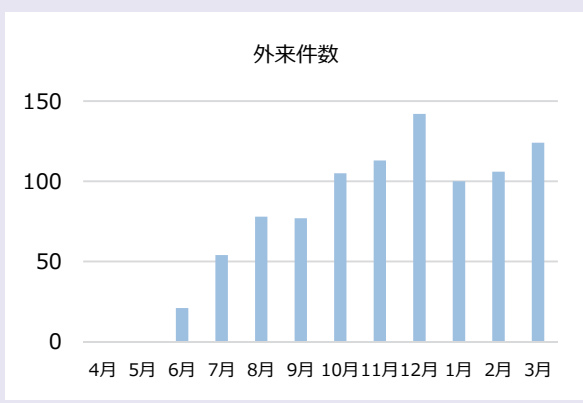
心療内科

■所属医師

中川 東夫

■2022年度のトピックス

本年6月より心療内科を開設した。不安障害、適応障害、強迫性障害、急性ストレス障害、うつ病性障害などを対象に診療を行っている。2名の公認心理士とともに、外来や入院中の患者に対して、心のこもった対応を心掛けている。

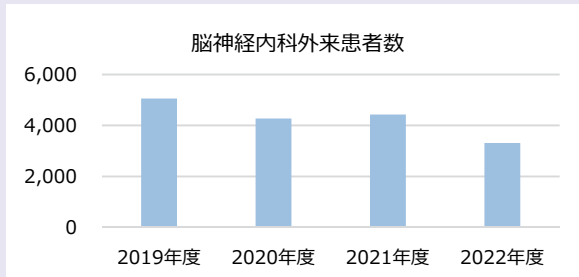


■事業報告

- ① 6月より、月曜日-木曜日の午後に外来診療を開始した。外来件数は100人/月で推移している。初診患者数は10人/程度である。
- ② 認知症やせん妄を中心とした、入院患者に対する診療も行っている。また、救急入院となった患者への迅速な診療体制も整えている。
- ③ 緩和ケアチームにも参画し、がん患者への精神的サポートを行っている。
- ④ 院内には臨床心理課が設置されており、公認心理師が2名在籍している。チーム医療の一員として、心療内科における心理検査だけでなく、がん患者へのこころのケアなど積極的に活動している。
- ⑤ 関連病院とも連携している。恵寿金沢病院と定期的カンファレンスを開催し、問題点の共有、アドバイスを行っている。

脳神経内科

■2022年度のトピックス

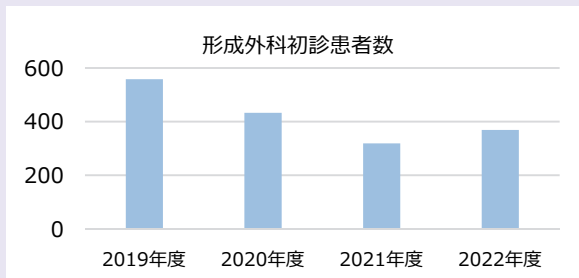


■事業報告

- ① 常勤医が不在となり、金沢大学脳神経内科からの派遣協力による週3日の診療体制となった。
- ② 外来患者数および紹介患者数はやや減少した。
- ③ 脳神経変性疾患を中心とした診療内容である。脳血管障害については、脳神経外科との協働で対応している。

形成外科

■2022年度のトピックス



■事業報告

- ① 金沢医科大学形成外科からの派遣協力のもと診療を行った。初診患者数は、前年度よりやや増加した。
- ② 外来手術を主として、年間463件の手術・処置を行った。創傷処置、皮下腫瘍摘出が主な手術内容である。
- ③ 紹介件数は131件で、昨年度より60件（86%）の増加となった。

緩和ケア科

■所属医師

榎田 康彦

■2022年度のトピックス

金曜日ごとの症例検討会、1～2ヶ月ごとの委員会開催を継続（委員会はZoomを用いたハイブリッド開催）緩和医療科での入院した患者さんに、緩和ケア実施計画書を用いた。

委員会開催8回

緩和ケア紹介患者数 52名

■事業報告

- ① 精神科医として中川医師が緩和ケアチームに加わり、緩和ケア実施計画書を作成後、緩和ケアチームの関与加算が算定できるようになった。
- ② 医療者対象緩和ケア研修会に講師として参加した。

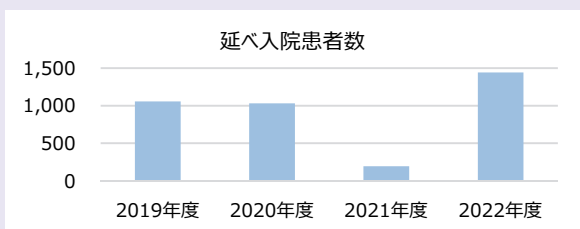
泌尿器科

■所属医師

菅 幸大、川村 研二

■2022年度のトピックス

延べ入院患者数は昨年度より増加した。



■事業報告

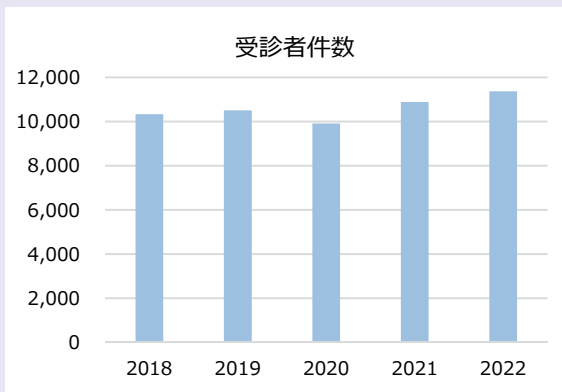
- ① 外来診療に制限をかけることになり、初診患者数が減少はあったものの、入院診療においては、新入院患者数および延べ入院患者数は増加した。また、他科の院内対診の件数も増加した。
- ② 看護師との協働で、排尿自立支援にも力を入れている。

健康管理部

- センター長 ■副センター長
上野 恭一 桐山 正人

■2022年度のトピックス

総受診者数は増加し、コロナ禍以前を上回る件数であった。特に一泊二日人間ドックは、受入枠の拡大により、前年比117%と増加、脳ドックも前年比112%と増加した。本年度は、受診者の皆様に快適に健康診断を受けていただけるように、センター内の環境整備に努めた。



■事業報告

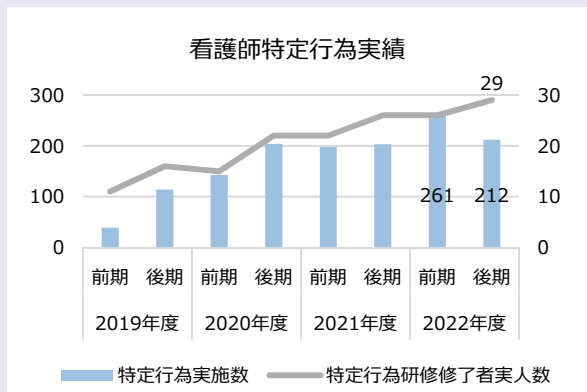
- 2022年度実績
総受診者数：11,373名
一日当たりの受診者数：47名
一泊二日人間ドック受診者数：603名
- 一泊二日人間ドックの充実
検診体制を強化することで、年間約100件の受入増加を可能にし、健康志向が高まる受診者のニーズに対応すると共に様々な検査を提供した。また、専用ラウンジの全面リニューアルを行い、検査の待ち時間を快適にお過ごしいただけるようにした。更に専用ウェアと日替わりランチもリニューアルし、大変好評をいただいている。
- 検診フロアのリニューアル
5Sの観点から、計測コーナーの配置を全面的に見直し、明るく清潔な空間で、ゆとりをもって検査を受けていただける環境を整えた。
- 医師2名が、それぞれ「人間ドック健診専門医」・「人間ドック学会認定医」を取得した。今後も受診者の健康寿命を延伸するために、更に質の高い人間ドック・健康診断を提供していく。

看護部

- 看護部長
本橋 敏美

■2022年度のトピックス

- 看護師特定行為研修修了者（区分追加含む）6名
- 抗がん剤投与実践研修修了7名（在籍者数58名）
- 業務の見直し、タスクシフト/シェア、介護部との協働。
- 新型コロナウイルス感染症重点医療機関登録
コロナ感染症新規入院患者数 144名



■事業報告

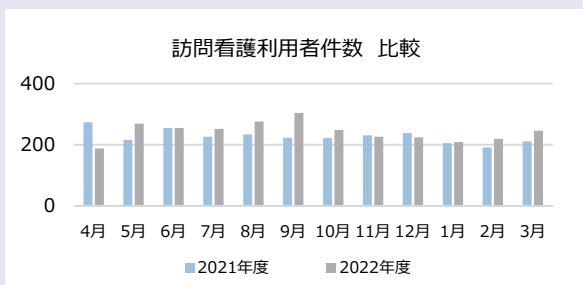
- 業務の効率化、生産性向上にむけて、以下項目について検討・実施した。
 - 入院時看護パス導入による登録の簡素化
 - おむつマイスターの指導により交換回数削減、安眠へ
 - 入院患者外来受診時の待ち時間の短縮
- 業務の洗い出し・業務量調査により業務を見える化した。
 - ルーチン業務頻度見直し（オムツ交換、体重測定）
 - 夜勤帯の検査・外来診察を日勤時間帯へシフトなど
- 業務量の減少・削減を目指し、検討・実施した。
 - 記録の簡素化による看護診断の再検討
 - 気送管の運搬品目の拡大により人的運搬時間削減
- 一つの業務に要する時間を短縮した。
 - 看護部委員会の運営方法の見直し（議案書作成、事前準備、タイム管理）他
- 多職種との協働、タスクシフト/シェアを強化した。9月に介護部が設立され、協働により絆が生まれた。12月からは地ケア病棟看護補助体制充実加算が算定できた。ほかにも、配膳（管理栄養士）、内服薬服用日印字（薬剤師）、早番業務（回復リハ）、体重測定・バイタル測定（セラピスト）、静脈確保（検査技師・放射線技師）などと協働体制を構築できた。

恵寿総合病院訪問看護ステーション

■ 所長

久能 恵美

■ 2022年度のトピックス



■ 事業報告

- ① のべ利用者件数は、4月188件と200件を下回ったが、以後は200件以上をキープし、9月は304件と過去最高となっている。
- ② 介護保険利用者/医療保険利用者ともにやや増加しており、1月～3月までの増加は、ほぼ医療保険利用者件数の増加が反映されている。

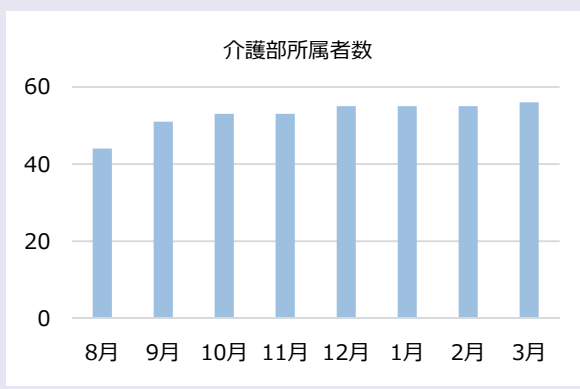
介護部

■ 部長

内田 かおり

■ 2022年度のトピックス

2022年9月、医療・介護・看護の連携で入院患者の生活の質向上を達成するために、生活のお世話を専門とした介護部を設立した。介護職員51人からスタートし、「目指せ！介護部100人！」を掲げ、介護の専門性を活かしたケア提供を実施するため、人数増を目指している。



■ 事業報告

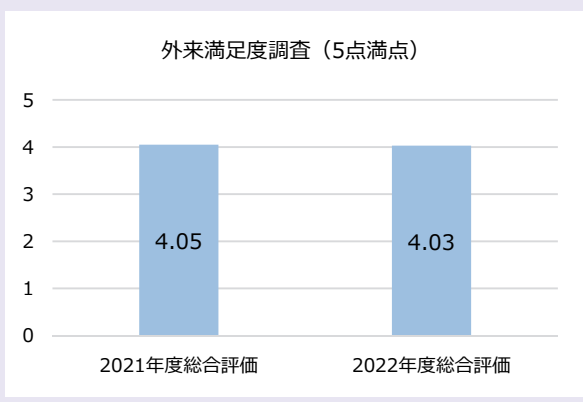
- ① 介護部の定着
看護補助者・看護秘書から、介護部所属となった職員と面接を行い、介護部を理解すること、意識づけすることからスタートした。全員が戸惑っていたが、現在は介護部として、それぞれが目標を持ち、課題に取り組んでいる。
- ② 5Sの意識付けと実施
リーダー会にて周知徹底し、全病棟で断捨離を実施した。本館5階をモデルとし、6階も大がかりな5Sを実施した。今年度は本館のみの実施となった。
- ③ 職員が働きやすい職場（メンタル・腰痛予防）
一人で悩まず、誰かと話す風土づくりを心掛け、「かおりの部屋」には、職種問わず来訪者があった。（延べ67名）。メンタル不調での退職者は1名だった。ノーリフトの推奨を実施し、腰痛での退職者は0人だった。
- ④ 介護の育成
5-5をモデル病棟とし、介護の教育を実施した結果、夜勤介護スタッフが3人から8人に増員した。
- ⑤ 加算取得
看護補助加算を新たに取得できる体制を整備した。夜間看護加算は未取得。介護職員の新規増員は12名で、合計は44名から56名となった。（3月時点）

事務部

- 事務部長
森下 毅

■ 2022年度のトピックス

発熱外来業務、コロナ感染患者数が昨年度を上回り、全部門協働で対応した。そんな中、患者サービスを低下させないよう心掛けている。外来患者および入院患者満足度調査を行った。総合評価は、昨年度と同等の結果となった。外来の初診受付に係る待ち時間が短縮した。



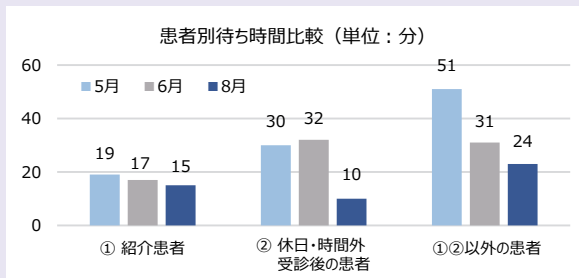
■ 事業報告

- ① マイナンバーカードによる健康保険証利用状況は、年間を通して低調であったが、年度末から利用数が増加傾向にある。
- ② コロナ感染の第7波・8波において、発熱外来患者数が、昨年度を上回り、多忙を極めた。その中で、タブレット端末を活用した保険証の確認など、業務の工夫などを行いながら対応した。
- ③ 外来受診に関する選定療養費が10月より値上げとなった。算定件数は、4月～9月が954件、10月～3月が552件と下半期は42%減少した。
- ④ ISO更新審査を受審した。事務部関連では、外来・入院管理・請求プロセス、医療情報管理・診療情報管理プロセス、病院管理・支援プロセス、受付・窓口プロセスにおいて要観察事項等の指摘は無かった。本部事務局、本院事務部門全般において、RPAを用いた業務改善、DX化推進の取り組みなど評価された。
- ⑤ 患者サポートアプリ「ポケメド」を導入。外来の診察待ち人数を、患者自身のスマホで確認できるようになった。WEB予約機能も搭載しており、実運用を目指している。

けいじゅサービスセンター サービス課

- 課長
寺尾 美樹

■ 2022年度のトピックス



■ 事業報告

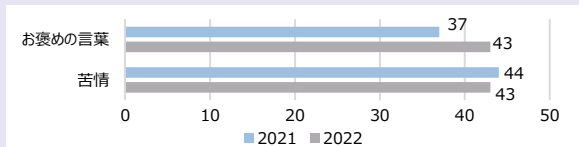
- ① 初診・再診予約外患者の受付待ち時間を短縮する仕組み作りに取り組んだ。患者の利便性の強化、繁忙状況に応じた人員調整等で受付待ち時間を短縮することができた。
- ② コロナ患者が増加した8月より、発熱外来の電話問い合わせに対応し、受診希望者の予約業務を行った。

医療情報事務センター 管理課

- 課長
松木 尊紀法

■ 2022年度のトピックス

ご意見箱の投書内容は前年度より「お褒めの言葉」が増えている。事例は医療安全管理委員会が発行する「医の用心」にも毎月掲載しており、モチベーションのアップにつながっている。



■ 事業報告

2024年から実施予定の医師の働き方改革に向けて各種対応を実施した。

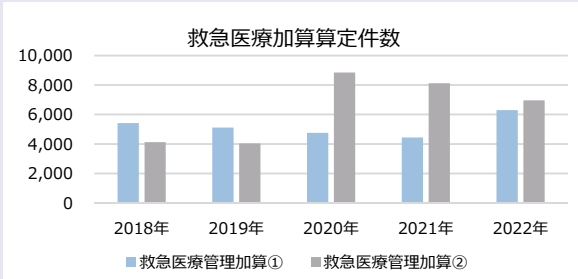
- ① 時間外労働時間の集計とシミュレーションの実施。
- ② 産婦人科、血液浄化センターの宿日直日誌を新設した。
- ③ 労働基準監督署より、産婦人科の宿日直勤務許可、血液浄化センターの日直勤務許可を取得した。

医療情報事務センター 医事課

■課長

竹田 慎一

■ 2022年度のトピックス



■ 事業報告

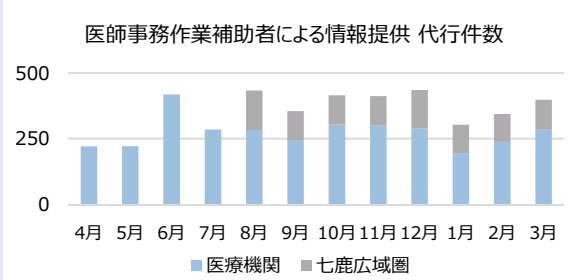
- ① 救急医療管理加算の算定に力を入れ、医師との連携を強化し、2022年度は特に救急医療管理加算の①を算定することを強く意識した。その結果①の件数が増加した。
- ② 発熱外来運営マニュアルを他部署（診療部、コールセンター、医療秘書課、看護部）と協力し作成を行った。

医療情報事務センター 医療秘書課

■課長

三浦 有紀

■ 2022年度のトピックス



■ 事業報告

- ① 8月から七尾鹿島広域圏へのフィードバックを実施。代行作成にて迅速な情報提供に努めた。
- ② 診療情報管理室では538件のがん登録を行った。
- ③ 新たにドクターズクラーク3名、院内がん登録実務初級認定者1名、社会福祉士1名、医療メディエーター2名が誕生した。

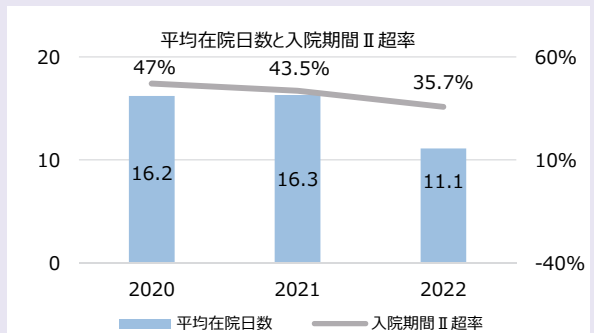
入退院管理センター

■部門代表者

神野 正隆、宮田 琴江、櫻 さおり

■ 2022年度のトピックス

PFM（Patient Flow Management）の仕組みの確立・強化のため入退院管理センターを設立した。入院～退院までの流れ（院内PFM）が滞らないように一元管理し、さらに地域全体の視点でも当院と連携医療機関、介護関連施設間での患者の流れ（院外PFM）がスムーズにいくような管理体制を構築した。



■ 事業報告

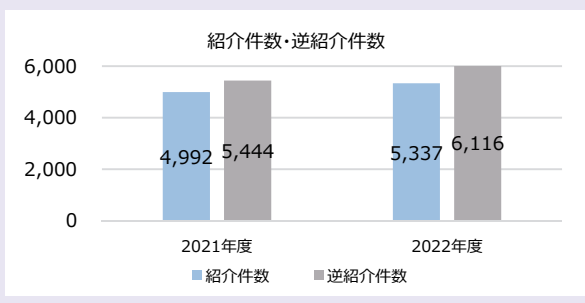
- ① 入退院に関わる指標の徹底的な可視化を行い、エビデンスをもとに転棟・退院・転院のルール作りを行った。センターは院内ベッドコントロール機能をもつコマンダー、入院時支援看護師、診療情報管理士、地域連携課、医療福祉相談課で構成するOne Teamとした。
- ② 予定入院患者で退院困難な要因をもつ患者には入院前から退院を意識した介入を開始し、また緊急入院患者に対しては、入院時のスクリーニングの見直しと共に退院に至るまでの一連の流れを網羅するフローを作成し、入院初期から積極的介入を行った。
- ③ 入退院の指標をReal Timeで見られるモニターを内製化し、ベッドコントロールの明確なルールを決めた。全入院患者を常に俯瞰し、DPC期間や日当点等を総合的に加味し、最適なタイミングでの転棟・退院を促進した。
- ④ 挨拶回り等連携医療機関との連携強化を図りながら、退院/転院に向けての出口戦略も強化し、退院支援対象者に適宜介入が可能となり退院支援が強化できた。
- ⑤ 結果、センター設立前と比較し平均在院日数は16日→11日程度まで短縮し、1日入院単価の大幅なUP、そして紹介入院患者数は増加し、病院機能の質向上、増収増益に繋がった。

入退院管理センター 地域連携課

■課長

細谷 幸治

■ 2022年度のトピックス



■ 事業報告

- ① 「まるわかりブック」を作成し、連携医療機関へ配布することで当院の強みのアピール、理解度向上が図れた。
- ② 紹介・逆紹介・紹介入院・入院収益などを抽出可能なデータベースを作成し地域連携分析を行えるようにした。
- ③ 「医師主導の攻めの挨拶回り」を実施した。訪問先の医師より、具体的な症例の相談を受けるなど有意義な訪問となった。

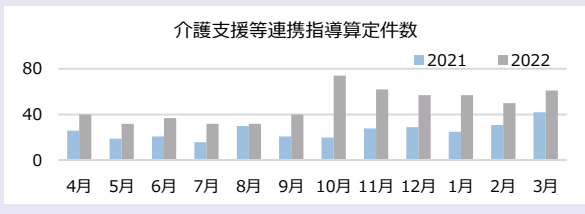
入退院管理センター 医療福祉相談課

■課長

中川 一美

■ 2022年度のトピックス

入院時より地域のケアマネジャー等との連携を推進し、オンラインも含め介護支援等連携指導を年間574件実施した。



■ 事業報告

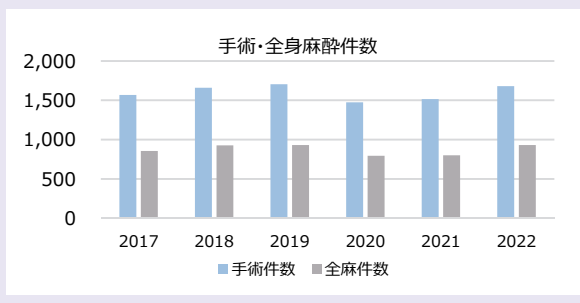
- ① 入退院管理センターによるPFMの実施、また入退院支援システムの導入と活用により患者支援の仕組みが更に充実した。入退院支援加算の算定件数は2,199件、前年度比161%であった。
- ② 両支支援コーディネーター2名、医療対話推進者2名資格を取得し、患者相談の専門性向上を図った。

手術センター

■部門代表者

長谷川 公一、中田 淳也

■ 2022年度のトピックス



■ 事業報告

- ① 手術件数は1,680件、前年度と比較するとプラス9.8%と増加し、コロナ前とほぼ同じ件数に回復した。
- ② 麻酔件数は932件と施設基準を満たすことができている。
- ③ 本年度より手術総合モニタリングシステムを導入し効率的に手術運営を行うことができた。

血液浄化センター

■部門代表者

熊野 奨、菅野 則之

■ 2022年度のトピックス

恵寿総合病院理学療法士監修のもと、透析中の体操動画を作成しYouTubeにアップした。



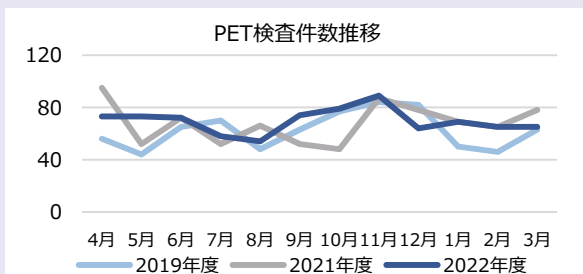
■ 事業報告

- ① 2023年1月20日より腎臓リハビリテーションを開始した。食事療法と水分管理、薬物療法だけでなく、この運動療法を加えることによって、透析患者さんがもったいききと生活できるようになればと考えている。上写真は、恵寿総合病院理学療法課監修の動画の一場面である。
- ② 新聞社2社の取材も受け、地域へPRすることができた。

PET・CTリニアックセンター

■部門代表者
角 弘諭、坂下 純司

■ 2022年度のトピックス



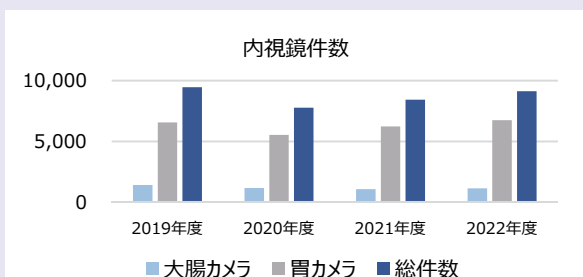
■ 事業報告

- PET-CT件数は835件(前年比102.6%)であった。
- 核医学検査件数は330件(前年比97.1%)であった。
- 放射線治療照射回数は1,532回(前年比102.2%)であった。
- 新たに1名が、放射線治療専門放射線技師の認定を受けた。

内視鏡センター 内視鏡課

■部門代表者
守護 晴彦、水口 賢

■ 2022年度のトピックス



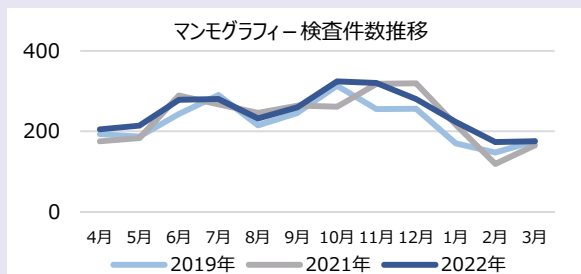
■ 事業報告

- 内視鏡総件数 9,132件 (前年度比 108%) に増加している。
- 全大腸内視鏡検査 1,141件 (前年度比 105%) に増加している。(目標は1,200件)
- 大腸ポリープ切除術は499件 (前年度比 111%) に増加し、且つ非常に高い切除率 (43.7%) であった。

放射線センター 放射線課

■部門代表者
角 弘諭、坂下 純司

■ 2022年度のトピックス



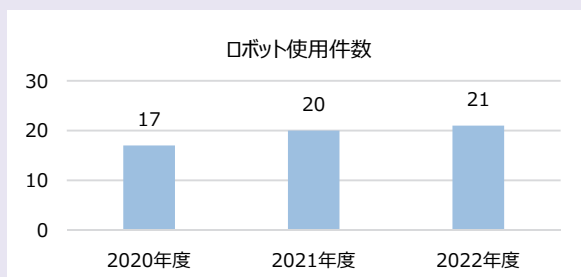
■ 事業報告

- 検診マンモグラフィ撮影認定診療放射線技師に、新たに2名が合格した。
- RPAを利用して、CT/MRI/PET-CT検査の読影結果を依頼医が確認できるしくみをつくり、運用した。
- 業務拡大に伴う告示研修を、対象となる技師全てが修了し、CT造影検査時等の静脈路確保・抜針業務を開始した。

リハビリテーションセンター 理学療法課

■部門代表者
川北 慎一郎、田中 秀明

■ 2022年度のトピックス



■ 事業報告

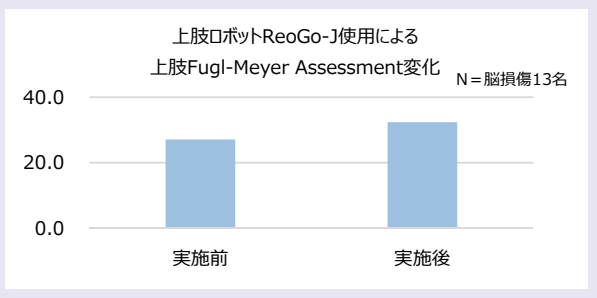
- 回復期リハ病棟の実績指数にかかわるデータをタイムリーにモニタリングできるシステムを作成した。
- ボツリヌス入院リハ患者数が9例となった。
- 法人内でオンラインでの症例検討会を6回開催した。
- 車椅子移乗介助の方法を検討し、2人介助が必要な患者の基準を作成した。

リハビリテーションセンター 作業療法課

■部門代表者

川北 慎一郎、川上 直子

■2022年度のトピックス



■事業報告

- ① 上肢ロボット型運動訓練装置ReoGO-J実施数は21名で、脳損傷者19名、頸髄損傷者2名だった。平均実施期間38日（3月末継続中5名を除く）
- ② 手指精密知覚機能検査研修受講者が2名増加した。
- ③ 学術活動、地域貢献（ケア会議アドバイザーや認定審査委員会など）を継続した。

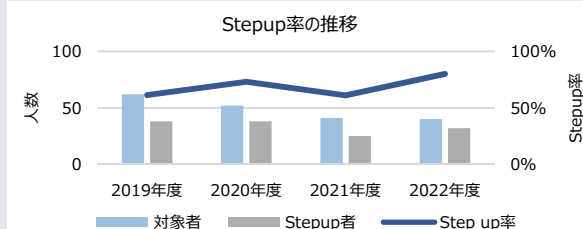
リハビリテーションセンター リハビリテーション教育研修センター

■部門代表者

川北 慎一郎、井舟 正秀

■2022年度のトピックス

職員共通評価のStepup率は徐々に向上している。



■事業報告

- ① 職員共通評価のFeedback実施率を高め、その際の資料の段階付の解説集を作成した。
- ② 臨床データの分析強化として、臨床データの蓄積、各文書における入力省力化の取り組みを進めた。
- ③ 指導/評価料の取得漏れなくすべく、取得漏れ防止が容易にできる仕組みを構築した。

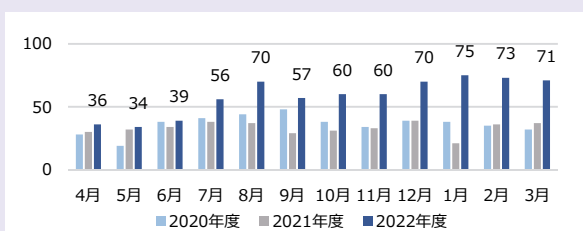
リハビリテーションセンター 言語療法課

■部門代表者名

川北 慎一郎、諏訪 美幸

■2022年度のトピックス

摂食機能療法対象者が、システム構築により増加した。



■事業報告

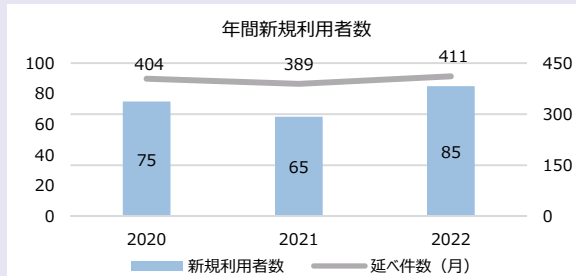
- ① 摂食機能療法の対象者抽出システムを構築し、看護師と連携し8月より運用開始した。前年同月期間に比し2倍以上増加（実人数の平均33名⇒67名）した。
- ② 学会・研究会で4演題（オンライン3含む）発表した。研修会平均参加数は15回/療法士数であった。

訪問リハビリステーション

■部門代表者

川北 慎一郎、小川 正人

■2022年度のトピックス



■事業報告

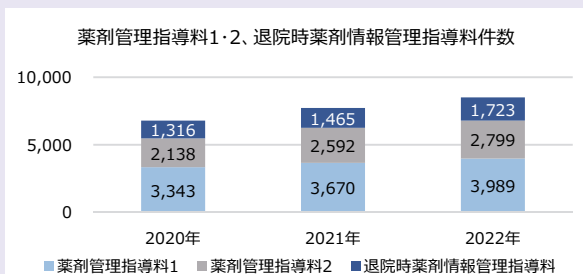
- ① 年間終了者数が68件から77件と増加した。目標達成者が多く終了へと繋がった。（前年度比13%増）
- ② 医師参加型の訪問リハビリ会議を積極的に開催、148/285件から178/328件へと増加した。
- ③ 訪問リハビリ会議の効率化を図るためICTを活用、オンライン会議が52件から70件に増加した。

薬剤管理センター 薬剤課

■部門代表者

神野 正隆、室宮 智彦

■2022年度のトピックス



■事業報告

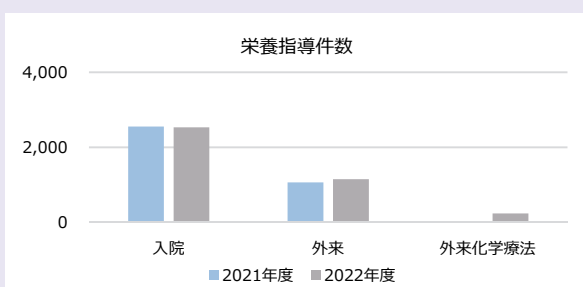
- ① 薬剤管理指導料の算定件数が増加した。
1：前年比108.7%、2：前年比108.0%
- ② 退院時薬剤情報管理指導は前年比117.6%と増加。
- ③ 連携充実加算の算定開始し、486件算定した。
- ④ 後発医薬品使用率は90%以上だった。
- ⑤ 持参薬運用のしくみ改革として調剤事務を採用した。
次年度は他職種タスクシフトを予定している。

栄養管理センター 臨床栄養課

■部門代表者名

豊田 洋平、前田 美穂

■2022年度のトピックス



■事業報告

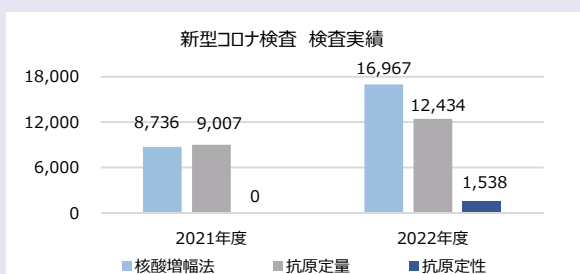
- ① 栄養指導の件数は、入院および外来、集団とも前年度と同程度であった。がん専門管理栄養士による栄養指導を新たに算定した。
- ② 周術期栄養管理実施加算が算定可能となり、周術期の栄養管理マニュアルに沿って栄養管理を行った。栄養サポートチームによる栄養管理も継続している。

検査管理センター 臨床検査課

■部門代表者

西澤 永晃、尾田 真一

■2022年度のトピックス



■事業報告

- ① 検体検査総件数 299,292件 前年比 +5.9%
生体検査総件数 32,931件 前年比 +2.9%
- ② 新型コロナウイルス検査体制の強化
実施総件数 31,210件
- ③ 日本臨床衛生検査技師会主催のタスクシフティング業務啓発事業における実技研修に17名受講した。

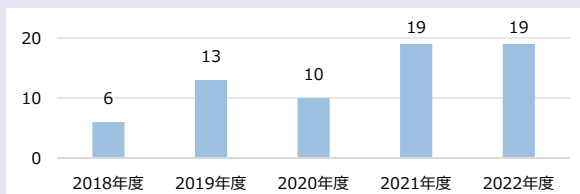
臨床工学センター 臨床工学課

■部門代表者

長谷川 公一、栃原 康則

■2022年度のトピックス

条件付きMRI対応の植込み型心臓不整脈デバイス患者に対するMRI撮像は、増加傾向を示している。



■事業報告

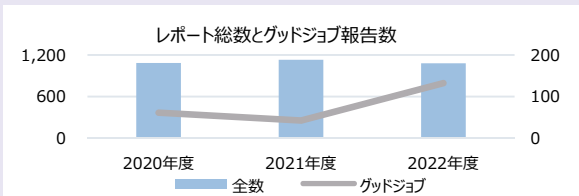
- ① 循環器・放射線科医師、診療放射線技師、臨床工学技士が所定の研修を修了して「MRI対応植込み型心臓不整脈デバイス患者のMRI検査の施設基準」を満たし、今日まで継続更新して対応を行っている。
- ② 今年度は臨床工学技士が植込み型心臓不整脈デバイス認定士を取得し、植込・交換手術、外来フォローと、シームレスにデバイス管理へ介入し診療支援を行った。

医療安全管理センター 医療安全管理課

■部門代表者
岡田 由恵、小谷 薫

■2022年度のトピックス

ミス未然に防いだ事例を報告するグッドジョブ報告数が大幅に増加した。



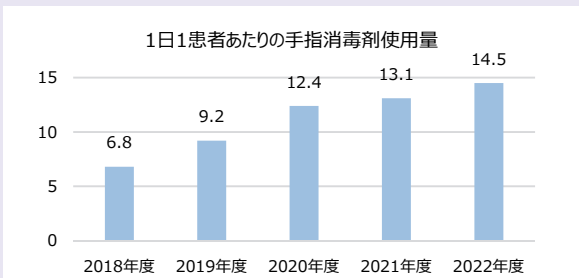
■事業報告

- ① タスクシフト・シェアの取り組みを放射線課、臨床検査課スタッフとともに進めた。タスクメンバーとして28名が活動している（TQM活動報告）
- ② 「医療安全文化調査」を実施し、強み・弱みを明らかにし、リスクマネジャーとともに医療安全文化醸成への働きかけを実施した。

感染制御センター 感染制御課

■部門代表者
山崎 雅英、谷田部 美千代

■2022年度のトピックス



■事業報告

- ① 新型コロナウイルス感染症病床確保体制が、重点医療機関に変更され、積極的な入院受け入れを支援した。
- ② 新型コロナウイルス感染症入院時パスの作成を行い、約99%の使用率がある。
- ③ 経口抗菌薬適正使用指針作成し周知した。
- ④ 新たに1名が抗菌化学療法認定薬剤師資格を取得した。

第2章 法人方針・事業報告（恵寿総合病院）

臨床研修センター

■部門代表者
新井 隆成、松木 尊紀法

■2022年度のトピックス

3/24に臨床研修修了式を開催、2年次5名が修了した。5名全員が2年間で論文作成、学会発表を行った。

研修医の推移	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年
1年次基幹型	6	5	4	5	3
1年次協力型	1	2	2	1	1
2年次基幹型	1	6	5	4	5

■事業報告

- ① 第8回VHJ機構 臨床研修医・指導医交流会（主管：松波総合病院）に参加した。
- ② リクルート活動
リアル：2/26レジナビ金沢、3/19レジナビ東京
オンライン：10/5レジナビオンライン、2/25エムスリー
- ③ 実習、病院見学の受け入れ実績
実習：11名、病院見学：12名

看護師特定行為研修センター

■部門代表者
鎌田 徹、本橋 敏美、松木 尊紀法

■2022年度のトピックス

受講生	第2期生	第3期生	第4期生	第5期生	第6期生	第7期生
開始年月	2017年10月	2018年10月	2019年10月	2020年10月	2021年10月	2022年10月
院内	6	5	7	5	3	5
院外	1	1	2	0	2	2

■事業報告

- ① 第6期生5名と追加受講生4名が修了した。6期生のうち2名が外部施設からの受け入れであった。
- ② 院内の特定行為看護師は29名（10/5時点）となった。
- ③ 第7期生7名の受講を開始した。外部施設からも受講希望があり、センターの認知度が高まっている。

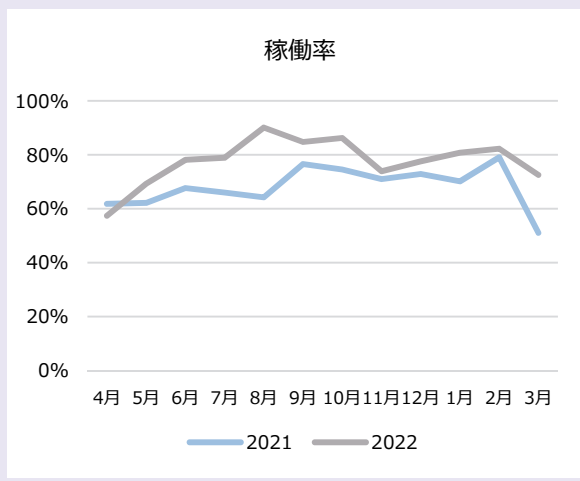
恵寿金沢病院

■病院長

上田 幹夫

■2022年度のトピックス

一般内科ポストアキュート・サブアキュート、緩和ケア（終末期医療）にも力を注ぎ、病床稼働率は10%上昇した。当院の特徴である外来化学療法は460件実施した。



■事業報告

- ① 昨年度の病床稼働率低下を受け、対策として2022年度より一般内科疾患でポストアキュート・サブアキュートや終末期患者を積極的に受け入れた結果、稼働率が前年比114%に回復した。今後も高齢人口の増加に伴いポストアキュート・サブアキュート・終末期患者の増加が予想され、血液病診療に加え地域のニーズに応える診療を展開する方針である。診療医師も金沢大学から循環器、呼吸器、消化器、糖尿病担当医師の派遣を受け充実した。
- ② 2022年度も新型コロナ拡大で第6波、第7波を経験し、職員・患者で感染が確認された。院内でクラスターは発生せず病院事業に多大な影響はなかったが、入院患者が陽性の場合個室ゾーニングで対応した。院内感染予防のため、PPEは元より頻回のPCR検査など多大な労力を要した。血液病患者のコロナPCR陰性化には月単位の長期を要する方が多く、血液病治療に難渋した。
- ③ ドック受検者2,206人の82%がPHR（カルテコ）登録を完了した。画像データや健診結果が自分のスマホで管理できるため、かかりつけ医と共有している方などから好評を得ている。

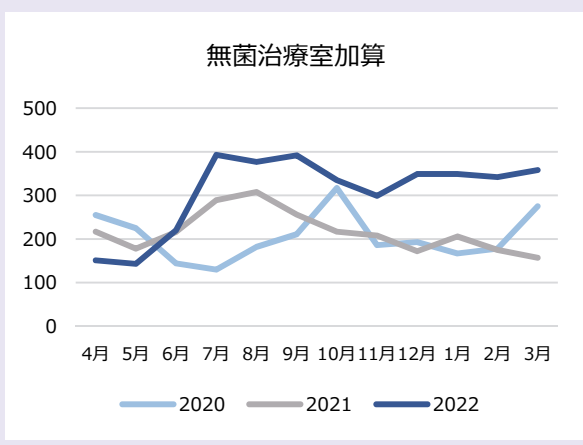
内科、血液疾患・骨髄腫センター

■所属医師

村田 了一、上田 幹夫、佐賀 務、山下 剛史、齋藤 千鶴、高橋 稚奈

■2022年度のトピックス

収益改善のため集患活動を行った。金沢大学との連携をさらに強化し紹介が回復した。無菌加算の積極的取得も奏功し収益の改善につながった。今後も集患活動を行っていく。



■事業報告

- 前年度末に発生した新型コロナウイルスによる院内クラスターの影響で、年度初めは入院患者数は大きく減少しましたが、集患活動などにより血液内科以外の患者も多く受け入れ、前年度を上回る入院患者数となった。
入院患者数：18,219人（前年比：102.0%）
入院化学療法：2,905件（前年比：98.5%）
- 同じく前年度末の院内クラスターの影響で、年度初めは患者数が減少しましたが、集患活動の効果により昨年度を上回る外来患者数となった。
外来患者数：10,501人（前年比：102.2%）
外来化学療法：389件（前年比：69.1%）

外科

■所属医師

道輪 良男

■2022年度のトピックス

エンド・オブ・ライフケア目的の入院は12例で、前年の5例より増加した。紹介元の診療科には歯科口腔外科があり、日常の診療で全身管理をあまり行っていない診療科による終末期医療は困難であろうことを改めて考えさせられた。

2022年度エンド・オブ・ライフケア症例（入院）

症例数	12例
年齢（歳）	53-98（中央値：86）
性（男：女）	6：6
悪性：非悪性*	9：3
紹介**	8例（67%）
看取り	8例（67%）
手術	1例（8%）

*原疾患：肺癌(2)、大腸癌(2)、肝癌(1)、乳癌(1)、卵巣癌(1)、頰部有棘細胞癌(1)、前立腺癌(1)、胃GIST(1)、認知症(1)、脳梗塞(1)

**紹介元診療科：呼吸器内科(2)、消化器内科(1)、消化器外科(1)、乳腺外科(1)、泌尿器科(1)、歯科口腔外科(1)、脳外科(1)

■事業報告

- 患者数は、入院・外来ともに増加した。
入院患者数：1,823人
（前年比：697人増加、161.9%）
外来患者数：1,517人
（前年比：218人増加、116.8%）
- 手術（大腸内視鏡を含む）件数は190件で、前年比55件増加、140.7%の増加であった。
- エンド・オブ・ライフケア目的の入院は12例（前年比：7人増加）で、他院の様々な診療科から紹介をいただいた。非がんの症例も経験することができた。
- 日本乳癌学会学術総会でoligometastasisに関する発表をした。乳癌のoligometastasisについては、大規模な臨床研究が行われているようである。
- 当院がんサロン（こもれびサロン）で「がんと漢方」について講演をした。

整形外科・リウマチ科

■所属医師

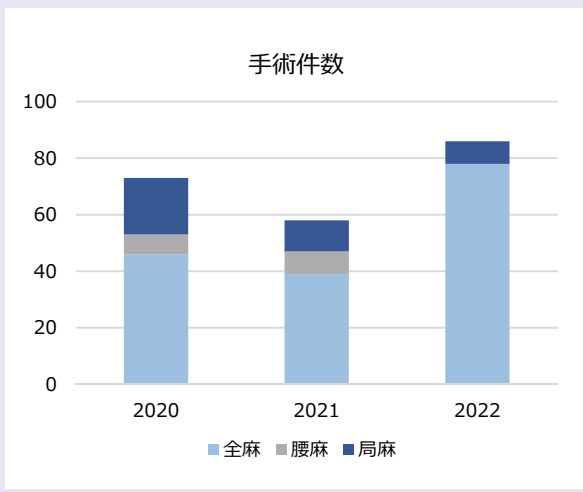
米澤 克隆、相馬 大輔、辻口 友貴

■2022年度のトピックス

手術件数 86件

(前年度比 148.3% 28件増加)

※全麻件数 78件、前年度比 200.0%



■事業報告

- ① 2022年度7月より科長が交代となり、一人体制での診療を行っている。
入院患者数：4,997人
(前年比：2,180人増加、177.4%)
外来患者数：7,083人
(前年比：779人減少、90.1%)
- ② 現在は当院外来患者を中心に診療を行っている。また、金沢医科大学病院や県立中央病院などの病診連携を密とし安静加療目的の患者の転院を積極的に受け入れている。当院患者をはじめ近医よりご紹介いただいた患者や救急搬送された患者の早期の手術加療を行う事が可能である体制を整えているため、新型コロナ感染症流行期であったが、手術数は増加した。
- ③ 今後は新型コロナ感染症に十分留意しながら、入院手術加療の拡充を計画していく。

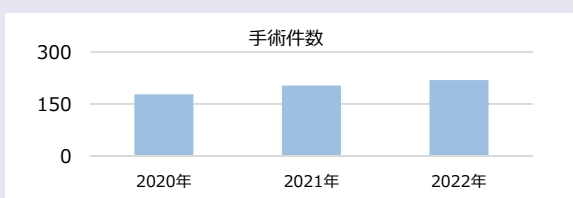
眼科

■所属医師

繰納 勉

■2022年度のトピックス

涙道手術を中心に、金沢大学病院眼科の協力のもとでの角結膜手術をより積極的に行い、手術件数を増加させた。



■事業報告

- ① 引き続き新型コロナウイルス感染状況に留意しながら診療を行っている。
- ② 入院患者数：233人（前年比：84.7%）
- ③ 外来患者数：2,356人（前年比：102.5%）
- ④ 手術件数：219件（前年比：107.9%）

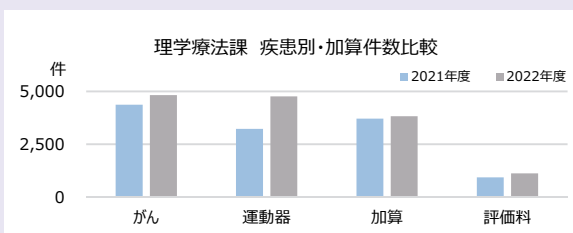
理学療法課

■部門代表者

諏訪 勝志

■2022年度のトピックス

リハ依頼患者数増のため病棟カンファレンスに参加した。



■事業報告

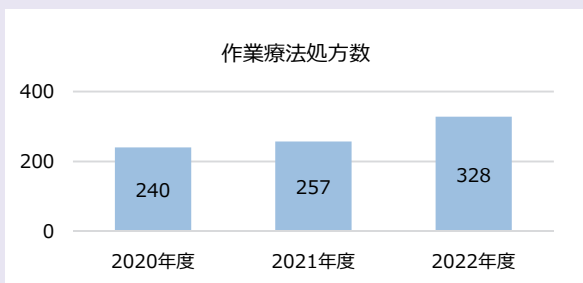
- ① 病棟Ns、MSWと連携し、病棟カンファレンス等でリハビリの必要な患者を検討し、主治医に相談し指示依頼したことでPT実施患者数が増加した。
- ② 訪問リハビリでは、新規利用者数13名中12名が院内スタッフからの紹介で、スムーズな退院・在宅生活へ繋げることができた。

作業療法課

■部門代表者

東川 哲朗

■2022年度のトピックス



■事業報告

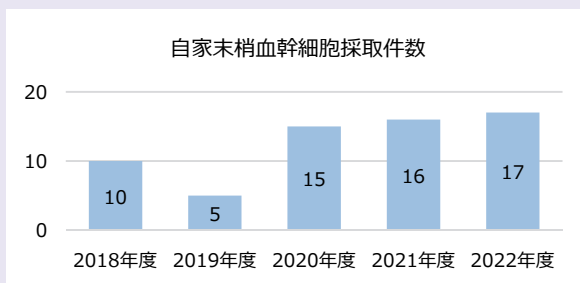
- ① カンファレンスの参加や他職種からの情報収集を行い、OT処方者の獲得に繋げている。算定単位数は前年度比109%であった。
- ② 短期入院者にも早期介入できるよう働きかけ、がんリハの算定件数は前年度比157%、単位数も前年度比126%に増加した。

臨床検査課

■部門代表者

長面 佳央理

■2022年度のトピックス



■事業報告

- ① 悪性リンパ腫や多発性骨髄腫等の血液疾患患者に対する自家末梢血幹細胞採取を17件実施した。また現在では、恵寿総合病院をはじめとした他病院からも採取・移植目的の紹介患者を受け入れている。
- ② 院内での新型コロナウイルス核酸検査を約600件実施した。

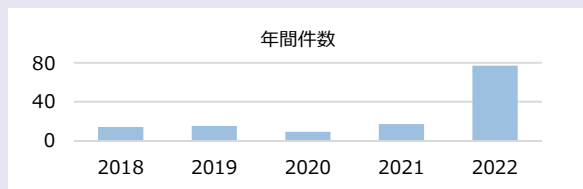
放射線課

■部門代表者

武村 真弓

■2022年度のトピックス

医師と連携し、糖尿病患者への頸動脈エコーを開始した。年間77件施行。



■事業報告

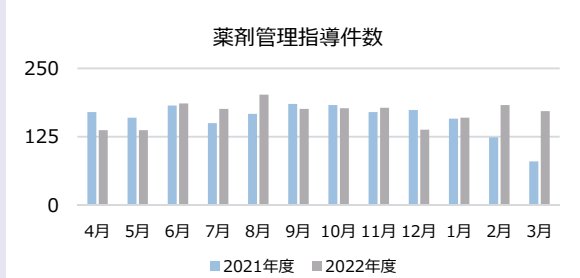
- ① CTを11月に機種更新した。
2,626件（前年比98.3%）
- ② マンモグラフィ3月に機種更新した。2023年度4月よりドック新オプショントモシンセシスを導入予定。
979件（前年比103%）
- ③ 日本放射線技師会主催の告示研修（実技）を4名受講した。

薬剤課

■部門代表者

宮森 久志

■2022年度のトピックス



■事業報告

- ① 2022年度薬剤管理指導件数で前年度比106%。
- ② ファーマシークラーク（PC）を採用し、薬剤師業務の負担軽減の取り組みを開始した。
- ③ 抗体薬投与時のフロー見直しを行い、医療の質を保ちつつ医療スタッフ負担の軽減を実現した。

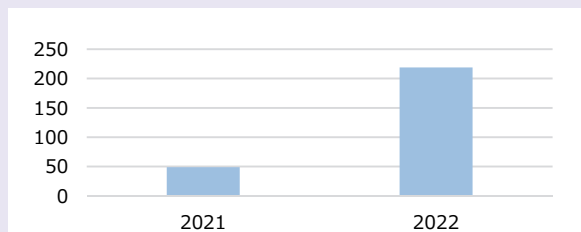
臨床栄養課

■部門代表者名

羽根 由子

■2022年度のトピックス

外来栄養指導実施件数



■事業報告

① 外来栄養指導の実施

2021年度実績49件に対し、2022年度は219件と積極的に実施した。

② 臨地実習生受け入れ

2023年3月に1名の臨地実習生を受け入れ地域に貢献した。

人間ドックセンター

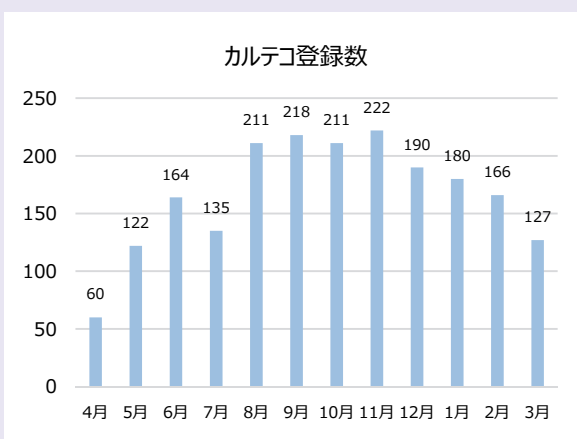
■所属医師

上田 幹夫、土田 達、垣内 博成、佐賀 務

■2022年度のトピックス

人間ドック受検者数 2,206人（前年度2,222人）

コース比率は1泊2日が73.4%、1日が15.9%、半日が7.8%だった。カルテコ登録者数は2,006人（ドック1,858人、健診148人）だった。



■事業報告

- ① コロナ禍の影響により今年度の人間ドック受検者数は2,206人で前年度より16人減少した。一方、腫瘍マーカー検査がドックコアコースの基本に、子宮がん検診が女性コースの基本に加えられたことにより、それぞれの件数は前者で3.4倍、後者で1.1倍に増加した。
- ② 体質や将来の病気（がん、生活習慣病、脳や神経のなど）の発症リスクを遺伝子解析によって示すGenovision検査は429人（全体の20%）が受検した。高額な検査ではあるが20%の人が受検されており、当院のドック受検者の健康志向の強さを示していると思われる。
- ③ 2022年4月からドック・健診受検者を対象にカルテコの登録を開始した。カルテコとはドック検査での身体計測、各種血液検査結果、レントゲン・CT・内視鏡などの画像所見を自分のスマホで管理出来ていつでも見ることができるシステムである。また、登録者に問題となる異常があれば受診勧奨が届いている。自分の健康管理や疾病の早期発見・早期治療つながれば、健康寿命の延伸にもつながる。今までに82%の受検者が登録している。「自分のデータが持ち歩いて、かかりつけ医にも見ていただき大変有用である」との声も聞かれている。

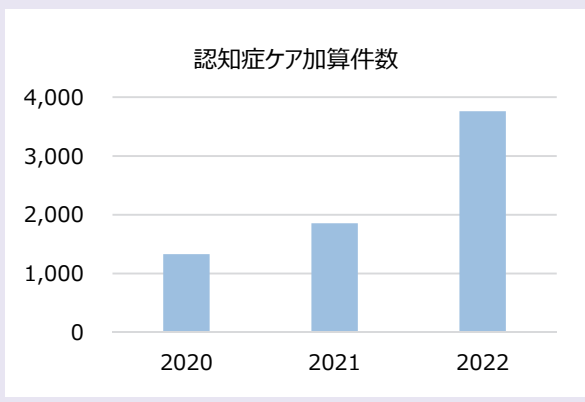
看護部

■看護部長

前大道 綾子

■2022年度のトピックス

行った看護への評価という視点に立った加算取得へ向けて、院内の勉強会、意識合わせを行いスタッフ個々が意識して取り組むことができた。認知症ケア加算は医事課と協働して取り組み昨年度より増加した。無菌室加算は医師との認識合わせを再度行い師長主導のもと、加算割合が増加した。



■事業報告

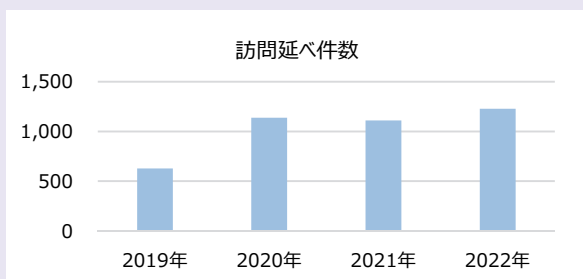
- ① 稼働率の上昇へ向け、病院全体で取り組んだ。昨年度に比べ9.5%上昇した。
- ② 8月～9月にかけて稼働率が90%となり、退院調整の必要性を強く感じ多職種で協働し、退院調整に取り組んだ。そのツールとして看護部主体で退院調整進捗シートの活用に取り組んだ。
- ③ 6月より2交代制を導入した。導入当初は超過勤務が前月より一人平均3.3時間減少した。2交代制導入により長日勤務の負担感が課題となり、師長・主任会で負担軽減に取り組んだ。
- ④ 新型コロナウイルスへの対応を継続して行った。入院前の検査がルーチンとなったが、入院後に発覚するケースや感染既往のある患者より陽性が判明し対応するケースなどがあった。看護師は、感染対応に追われたが感染が拡大することはなかった。
- ⑤ 看護師長、医事課で協働し入院業務のタスクシフト・シェアに取り組んだ。
- ⑥ 病棟・外来の応援体制が活発化した。特に、病棟の人員の少ない時間帯に、外来スタッフの応援があり大いに手助けとなった。

けいじゅ金沢訪問看護ステーション

■部門代表者

藪内 照美

■2022年度のトピックス



■事業報告

- ① 訪問延べ件数は100件/月を超えるようになった。
- ② 居宅介護支援センターや開業医に年間で53ヶ所の営業訪問を行った。
- ③ 退院共同指導加算を52回取得する事が出来た。
- ④ 利用者個々のカンファレンスを行い、ケアマネとの情報共有を積極的に行った。
- ⑤ 資格：終末期ケア専門士 1名

事務部

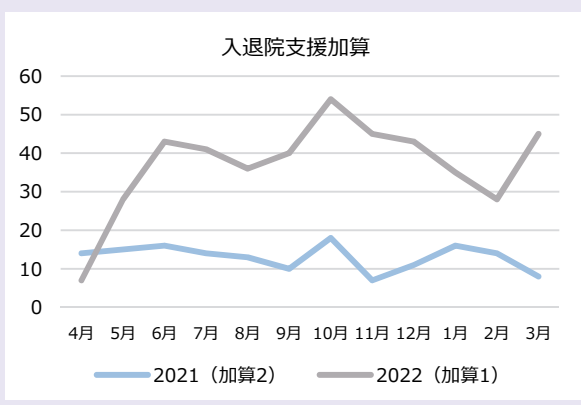
■ 部長

森田 均

■ 2022年度のトピックス

日々の医療行為に対し、加算の算定基準・方法を見直し、仕組みを構築した。

特に「入退院支援加算」については、MSWを1名増員し、「加算1」の基準を満たし、より多くの患者へ退院支援を行った結果、156件から445件へ増加した。



■ 事業報告

① 地域連携活動

患寿まるわかりブックを作成し、地域の基幹病院やクリニックへ当院の医師と共に訪問して、アピールを行った。当院は以前から血液内科の印象が強いようだが、一般内科や緩和ケア、整形外科やリハビリテーションの他、ポストアキュート・サブアキュートの患者受け入れが可能であること理解していただき、紹介数アップに繋がった。

② オンライン面会実施

コロナ禍で入院患者への面会を制限せざるを得ない中、オンラインによる面会の仕組みを整え、患者・患者家族の満足度向上に繋がった。面会の仕組みについて前期TQMで発表を行った。

③ タスクシフト・タスクシェア

管理課から看護部へのシーツ交換手伝いを継続実施した。更に今年度は入院時の看護部の業務を一部医事課へタスクシフトし、結果を後期TQMで発表した。また、検査課の検体ラベル貼り業務を管理課とタスクシェアし、専門職種が業務に専念できる環境を構築した。

医療事業統括部門 クリニック

田鶴浜診療所

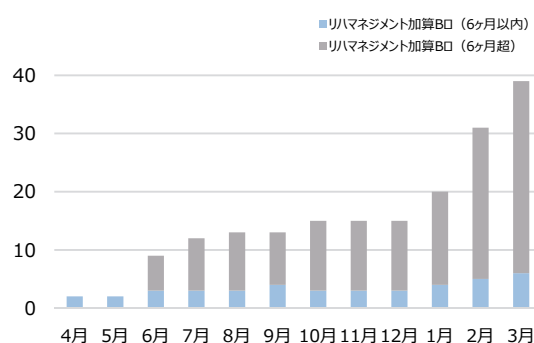
■所属医師

廣正 修一

■2022年度のトピックス

コロナ禍での受診控え、長期処方が増加などにより診察患者数は減少した。その中で、付属の鶴友苑の通所リハビリとの連携強化を行い、リモートによるリハビリ関連の加算取得を積極的に行った。

リハビリマネジメント加算B 算定件数



■事業報告

- ① 定期的に検査を実施し、疾病管理を行っている。
- ② 心臓、血管系などを中心とした生活習慣病、睡眠障害、骨粗鬆症などのスクリーニング検査及び管理を前面に出し、「元気で長生きするために」をテーマに掲げ、プライマリ医療を実践している。
- ③ 新型コロナウイルスワクチン接種及びインフルエンザワクチン接種に積極的に取り組み、地域住民の感染予防及び健康管理に貢献している。

新型コロナウイルスワクチン接種：775件

インフルエンザワクチン接種：447件

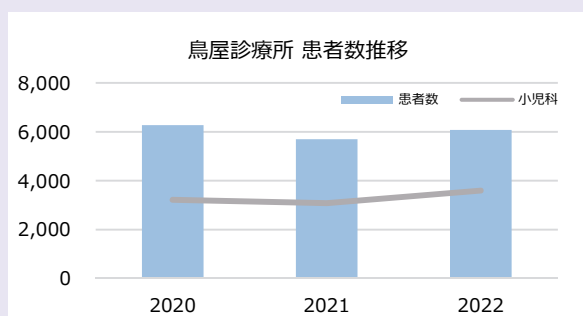
鳥屋診療所いきいき

■所属医師

斎藤 靖人、中谷 茂和

■2022年度のトピックス

- ① 鳥屋診療所
初診・再診の増加を目指す。定期検査を行い、疾病管理を継続した。患者数は年々減少の傾向ではあるが、小児科については、前年度より増加した。
- ② いきいき
リハビリ会議を開催して、ケアマネ、家族、医師と目標を共有した。



■事業報告

- ① 鳥屋診療所
総外来患者数は、前年度（5,778人）を上回る6,076人であった。このうち小児科患者数が514名増加（小児科患者数増加率は17%）した。これは、コロナ感染症やインフルエンザ感染症疑いの患者が増加したためである。本院との連携により、感染対策を整え、コロナ感染症患者の対応を行った。
- ② いきいき
延人数（予防）871人、延人数（介護）2,053人
延人数合計：2,924人
稼働率：62.0%
今年度の1単位平均数は、4月：9.4人から3月：10.9人まで平均数を伸ばすことができた。理学療法士・作業療法士・介護福祉士が中心となり、一人ひとりの体力や健康状態に配慮しながらリハビリを提供している。いきいきのスペースでは、常に利用者の笑い声や笑顔があふれており、専門知識に長けたスタッフと共に目標達成（目標達成証書授与）に向けて取り組んでいる。

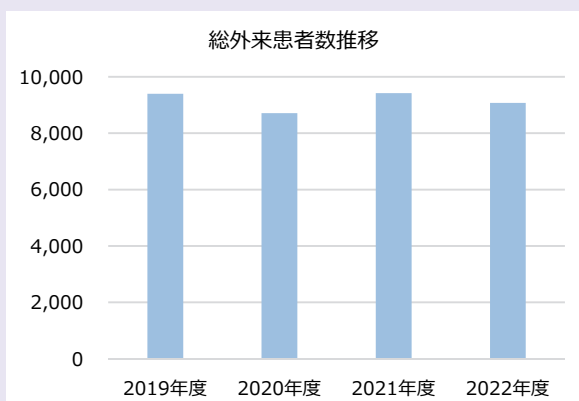
恵寿ローレルクリニック

■所属医師

吉岡 哲也、伊達岡 要、上田 一輝

■2022年度のトピックス

総外来患者数は前年度に比べてやや減少した。新型コロナワクチン接種対応を継続して行った。訪問診療件数も前年度実績をやや下回った。今後も、恵寿総合病院訪問看護ステーションとの連携と強化し、終末期の訪問診療にも対応していく。



■事業報告

- ① 2022年度実績
総外来患者数：9,074人（前年度比96%）
訪問診療件数：576件（前年度比89%）
- ② 新型コロナワクチン接種
前年度に引き続いて、新型コロナワクチン接種対応を行った。前年度と比べて接種件数は減少した。
- ③ 感染対策について
本院感染制御センターとの連携で、感染防止体制の強化を行った。新たに外来感染対策向上加算、連携強化加算の算定を開始した。
- ④ 高血圧治療補助アプリの導入
通院と通院の間の生活習慣の修正をサポートするアプリの導入により、患者個別のニーズに合わせて、治療方法の多様性を図る。
- ⑤ 今後の在宅医療について
在宅支援診療所として、がん患者さんの終末期診療にも対応すべく、在宅がん医療総合診療料の施設基準申請を行った（2023年4月から実施可能）。

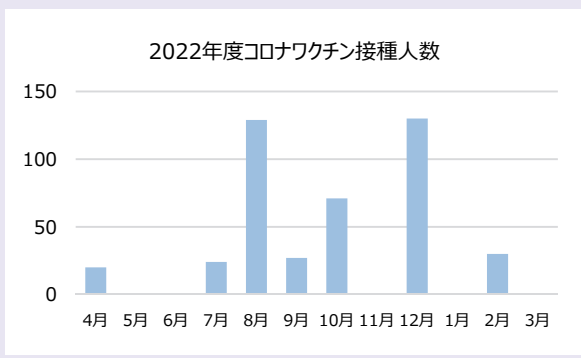
恵寿鳩ヶ丘クリニック

■所属医師

宮本 正俊

■2022年度のトピックス

患者数1,236人（2021年度650人、2020年度630人）。今期も昨年に引き続き主にコロナワクチン接種が事業の中心となった。年間接種件数は、431件。患者数が倍増したのは、インフルエンザ予防接種に関して、当ヘルスケアシステム穴水地区職員分を当クリニックで一元的に管理する流れとしたためである。



■事業報告

- ① 新型コロナワクチン接種事業について、主に穴水ライフサポートセンター・介護医療院恵寿鳩ヶ丘入所者、職員を対象に行い、入所者の感染予防に万全を期した。
- ② インフルエンザ予防接種事業について、今年度当ヘルスケアシステム穴水地区職員分を一元的に管理する流れとした。
- ③ 主に恵寿鳩ヶ丘入所者のレントゲン一般・CT撮影を行い、病気の早期発見・治療に努めた。また入所者の胃瘻交換及び経鼻経管栄養患者の胃管カテーテル交換後の造影撮影等を行った。
- ④ 徳充会穴水ライフサポートセンターの入所者の嘱託医として診察・検査・処方を行い、健康管理に努めた。診察・検査の結果、専門医療機関への受診が必要と判断された方については、恵寿総合病院はじめ地域の医療機関と連携を図った。
- ⑤ 穴水町の特定健診事業及び近隣市町の肺炎球菌ワクチン等の予防接種事業に参加し、地域住民への予防医療に努めた。

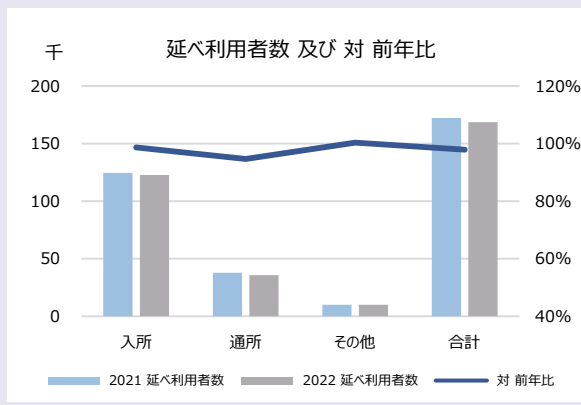
介護事業統括部門

■部門代表者

吉田 茂和

■2022年度のトピックス

本年度も新型コロナウイルスの感染拡大による利用者・職員・職員家族などの感染者が続出し、その対応などに悩まされる年となった。地域の感染拡大により、在宅系サービスへの影響が顕著にみられ、感染を恐れた利用控えなどもあり、特に通所系サービスの利用が停滞した。



■事業報告

① 「けいじゅ介護技能グランプリ」の開催

介護スタッフのスキルアップなどを目的に、8月に「けいじゅ介護技能グランプリ」を開催した。各施設で「食事」「入浴」「排泄」のいずれかの部門について予選会を実施。各部門の優秀者が法人主催の本選に出場した。さらに、この「けいじゅ介護技能グランプリ」の各部門で最優秀となったスタッフが、10月に県で行われた「いしかわ介護フェスタ」の「介護技能グランプリ」に出場。和光苑からの選出者が入浴部門の「技能賞」に輝いた。

② マイスター研修の継続実施

コロナ禍ではあったがリモート環境などを活用し、「おむつマイスター」「Foot活マイスター」「ノーリフトマイスター」の3つのマイスター研修を実施し、スキルアップを図った。

③ 「けいじゅヘルスケアシステムスポーツフェス2022」の開催

介護の日（11月11日）にちなんで、「スタッキングタワー」や「ピンポンカップイン」などの簡単な4種目を実施するスポーツイベントを開催。石川県作業療法士会主催の「リハスポーツフェス2022」のプレ大会として実施し、けいじゅヘルスケアシステムの介護施設など計17事業所から、延べ554名が参加した。

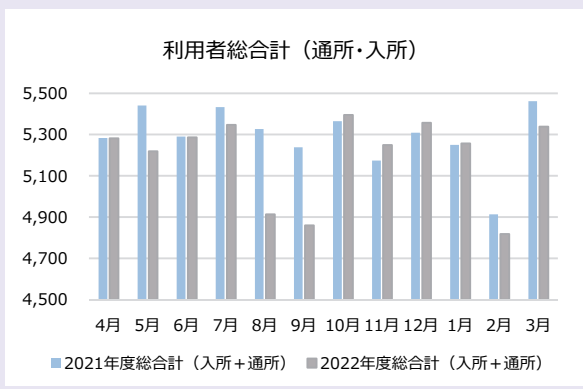
介護老人保健施設 和光苑

■部門代表者

渡邊 博之、奥本 健司

■2022年度のトピックス

インドネシアの技能実習生6名が新しく仲間として加わり、3フロアに2名ずつ配置する事ができ、親切で優しいと入所者からとても喜ばれている。また、本年度はInstagramを開設し、入所、通所問わず当苑の取り組み、行事、利用者の笑顔等、幅広く発信することができた。



■事業報告

① 今期目標と達成度

入所稼働率 98.4%（前年比+0.2%）

通所稼働率 72.7%（前年比-4.5%）

入所は1年を通じて、ベッドコントロールが上手くできた。しかし、8～9月にかけての新型コロナ感染者が続出、クラスターとなったが施設内療養にて離脱者も出さず乗り切った。しかし、通所の営業をしばらくの間、中断せざるを得なく、利用人数、稼働率にかなり影響があった。

② 教育研修

介護福祉士4名（高卒3・既職1）、技能実習指導員3名、技能実習生活指導員2名、介護福祉士養成施設実習指導者研修2名、介護技能実習初級試験合格5名、スマート介護士2名、リスクマネジャー1名

③ 今後の課題

今年度は昨年の転倒予防システムネオスケアに続き、移乗サポートロボットHugを導入し、腰痛予防、ノーリフトケアに取り組んだ。次年度は移乗支援機器、HALやサスケなどの導入を予定しているが、介護DXは待たないと考える。AI・IOT・ICTのデジタル技術を取り入れ、介護業務のワークフローを変革し、是非とも利用者、職員の笑顔を増やしたい。

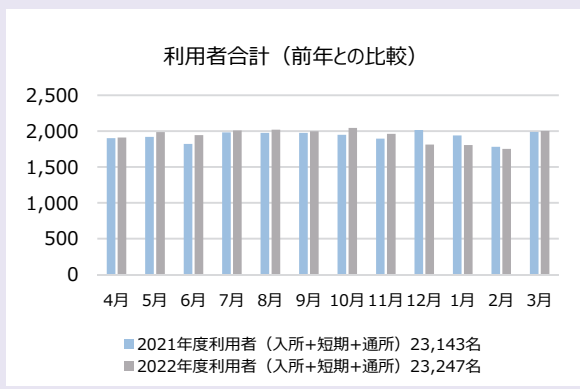
介護老人保健施設 鶴友苑

■部門代表者

廣正 修一、古木 恵実子

■2022年度のトピックス

新型コロナウイルスのクラスター発生により一時的に落ち込んだ時期はあったが、利用者数全体としては前年度に比べ増加させることができた。通所においては、リハビリ関連の加算取得件数の増加した。Instagramを開設し、日々の出来事や利用者の様子を投稿し、情報発信に努めた。



■事業報告

① 今期目標と達成度

入所稼働率 95.7%（前年比-0.1%）

通所稼働率 76.1%（前年比+0.5%）

利用延人数(入所:短期入所) 17,474名

（前年比-0.1%）

”（通所リハビリ） 5,773名（前年比+2.2%）

リハビリマネジメント加算B186件（前年比+186件）

認知症・短期集中個別リハビリ加算

134件（前年比+33件）

生活行為向上加算 22件（前年比+22件）

褥瘡マネジメント加算Ⅱ 141件（前年比+141件）

排泄支援加算Ⅱ・Ⅲ 108件（前年比+26件）

療養食加算 48,615件（前年比+1,455件）

再入所栄養連携加算 4件（前年比+4件）

② 在宅復帰率は平均61.4%で、在宅復帰者60名（前年比+11名）だった。

③ ノーリフトマイスター研修1名、Foot活マイスター研修3名が修了した。

④ 田鶴浜地区の3ヶ所で介護者教室を開催し、介護相談や認知症予防体操等を企画し、地域の方とふれあうことができる取り組みを行った。

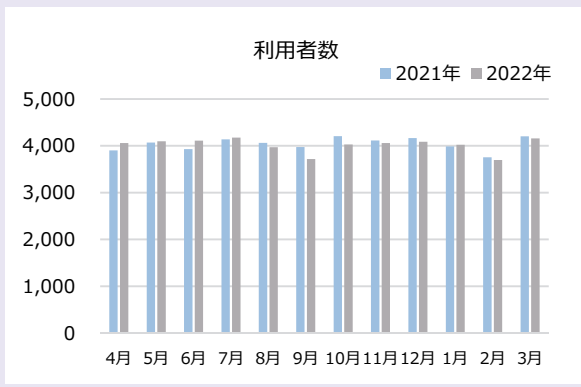
介護医療院 恵寿鳩ヶ丘

■部門代表者

宮本 正俊、岡田 亮一

■2022年度のトピックス

8月末から9月初めに新型コロナの影響で利用者数が落ち込んだが、その後さらに徹底した感染対策を行い、早期に収束、年間延べ利用者数はほぼ前年並みとなった。年間を通じてACPの仕組みづくり強化に力を入れ、BCPを見直し各種災害訓練の機会を増やし安全安心を目指した。



■事業報告

- ① 年間延べ利用者数は48,180人（前年比99.3%）
- ② アドバンスドケアプランニング（ACP）の充実に取り組んだ。終末期における医療やケアだけでなく、最期までその人らしく「生きる」に重点を置き、一人ひとりに寄り添ったケア、PDCAサイクルに基づく実践の確立を目指した。
I 他職種の役割の明確化、記録様式の作成。
II 私のこれからシートの見直し。
ACPカンファレンスの実施回数 25件。
- ③ BCPIに基づく各種災害訓練を実施した。
防災訓練（地震火災）前年度2回→今年度6回
感染対策訓練 前年度2回→今年度5回
- ④ 介護の質の向上に向けて、各種マイスター認定取得を推進した。結果、ノーリフトマイスターは7人に増加、Foot活マイスターは3名に増加した。おむつマイスターは新たに1名誕生した。
- ⑤ コロナの周辺状況を見ながら、スタッフ独自のレクリエーション（ミニ春まつり・ミニ秋まつり等など）を実施した。
- ⑥ シルバー世代の採用をはじめ、多様な働き方を定着させるため、介護専門職との役割分担の見直しを継続した。
- ⑦ 次年度は「鳩ヶ丘におけるDXへの取り組み」をテーマに取り組んでいく。

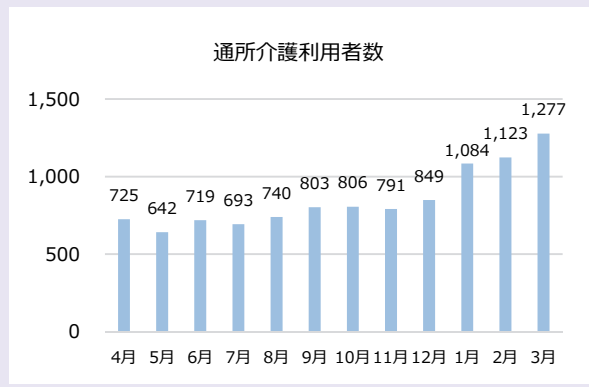
在宅複合施設 ほのぼの

■部門代表者

一谷 真澄

■2022年度のトピックス

2023年1月より、いこいとほのぼのデイサービスが統合し、新ほのぼのがスタートした。利用者職員がともに元気になれる事業所を目標として、中能登町の利用者・ご家族がこの住み慣れた町で安心・信頼してご利用できる場所（選ばれる場所）としてほのぼの全職員で体制を整えお迎えしていく。



■事業報告

- ① 今期の目標と達成度
稼働率目標値：通所介護85.0% 短期入所85.0%
通所介護稼働率：77.5% 達成度91.1%
短期入所稼働率：76.5% 達成率90.0%
今年度は、通所介護及び、短期入所ともに定員数の変動があり、比較は困難であった。
- ② 教育研修
介護福祉士2名、Foot活マイスター2名が資格を取得し、業務や職員指導へと活かしている。オンライン研修受講や研修会等へ積極的に参加した。また、今年度はLIFEの取り組みを強化し、一人ひとりの利用者をいろいろな角度から分析できる仕組みづくりに着手した。
- ③ 今後の課題
来年度は、通所介護は定員数65名→55名、短期入所21床→24床と定員数を変更し、1日平均人数の確保に努める。通所介護では、ほのぼのの強みを出すために、来年4月から理学療法士の専従が決定しており、心も身体（足腰）も元気になる施設を目指していく。短期入所では、見守り介護ロボット「ネオスクア」の積極的な活用により、転倒・転落件数の減少につなげ、安心・安全な施設であることを外部にアピールしていきたい。

けいじゅ一本杉

■部門代表者

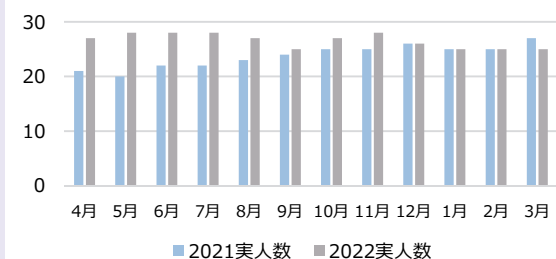
高木 ひとみ

■2022年度のトピックス

登録者数について、月平均26.6名で達成度は97.7%だった。今年度は地域と防災意識を高める仕組み作りを行った。

- ① お便りを発信し、災害時の注意事項を呼びかけた。
- ② 地域の防災避難訓練に参加した。
- ③ 「けいじゅ一本杉」の防災避難訓練に地域住民にも参加していただいた。

登録者数比較表



■事業報告

- ① 地域の清掃活動や避難訓練に参加するなど、地域との関係作りに注力した。お便りでの情報発信や地域行事への参加で「けいじゅ一本杉」をより知ってもらうことができ、近隣住民からの利用相談が増え、登録者数の増加に繋がった。
- ② 「けいじゅ一本杉」の防災避難訓練に地域住民にも参加していただいた。車いすの操作体験会や介護の疑問や不安に答える時間を設けた。地域の方と改めて防災意識を高め、関係を深めることができた。
- ③ 11月に開催されたななお健康&福祉まつりに出展し、施設の説明や活動の様子を紹介するパネル展示を行った。地域に向けて施設のPRをすることができた。
＜今年度の活動＞
鳥居醤油店見学、梅干しづくり、ジャガイモ掘り、夏祭り、感謝祭、柚子みそ作り、年忘れお楽しみ会（卓球バレー大会）、年賀状作り、防火訓練、みそ作り、節分豆まき、ひな祭り、お茶会
- ④ 事業所運営について、収支のバランスを図ることが重要課題である。

恵寿みおや

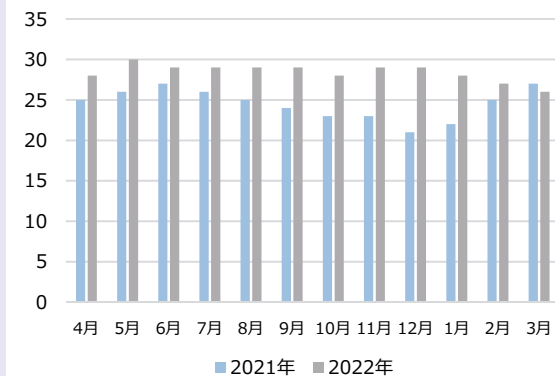
■部門代表者

愛徳 亜矢

■2022年度のトピックス

登録者数について、居宅事業所へのアピールを続け、年間を通して、前年比116%と伸ばすことができた。ただ、年明け以降、施設入所者が6名と続き、やや減少となった。

登録者数比較表



■事業報告

- ① 今期目標と達成度
目標登録者数29名のところ、月平均28.4名（前年比+3.9名）で達成率は97.9%だった。目標稼働率95%のところ、94.2%（前年比+14.9%）で達成率は99.2%であった。
- ② 教育研修
おむつマイスター1名、ノーリフトマイスター1名取得し、勉強会で伝達講習を行った。県の介護グランプリに1名参加し、介護技術を披露した。
- ③ 今後の課題
安定した稼働率を確保するために、地域の事業所も含め、PR活動を継続していく。オンラインツールを活用し、職員間の情報共有の場を増やしていく。また、利用者・家族との情報交換や発信の手段として活用できるよう、職員全員が学んでいく。提供するサービスを見える化し、質の向上に取り組んでいく。

ケアマネステーション恵寿

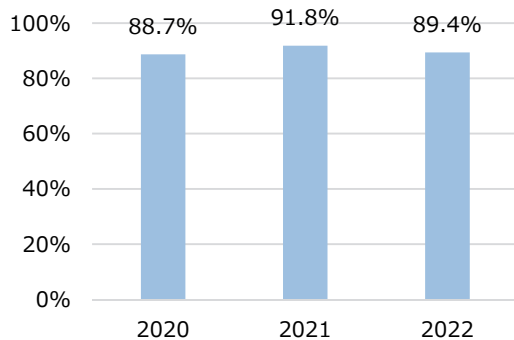
■部門代表者

清水 光代

■2022年度のトピックス

- ① 新しく理学療法士のケアマネジャー1名が配属となり、総勢12名で居宅介護支援業務にあたった。
- ② 今年度から「かいごの相談室」を開設し、外来患者・家族、地域の方の介護に関する相談受付を始めた。

利用率



■事業報告

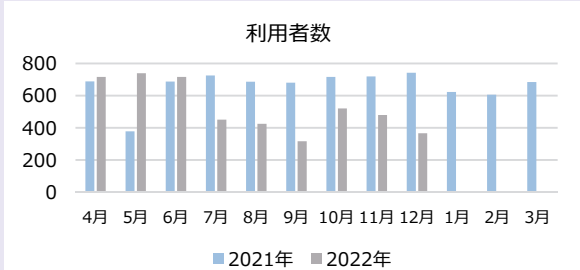
- ① 年間延べ利用者数 5,063人（前年比：97.8%）
新規利用者 145人（前年比：113.3%）
- ② 加算
初回加算 118件
入院時情報連携加算 252件
退院・退所加算 259件
通院時情報連携加算 61件
ターミナルケアマネジメント加算 2件
医療との連携に注力し、通院時や入院時には病院へ訪問し、病院職員との連携を図ることで、在宅介護における利用者・家族の不安等の相談援助やサービス調整を行った。
- ③ 「気づきの事例検討会」
年4回実施し、介護支援専門員の資質向上に努めた。
- ④ 資格
主任介護支援専門員 5名
介護支援専門員 7名（うち4名更新研修受講）

デイサービスセンター いこい

■部門代表者

吉田 茂和

■2022年度のトピックス



■事業報告

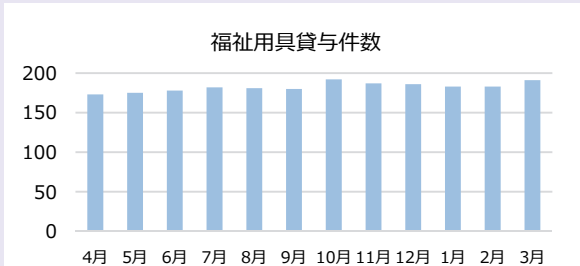
- ① 中能登地区 デイサービス事業を統合
中能登町の通所事業の利用実態に合わせ、限りある介護資源を集約する意味からも、同町で同じ通所介護（デイサービス）を展開する「ほのぼの」と、事業を統合することとなり、「いこい」は12月末日をもって営業を終了した。

レンタルステーション恵寿

■部門代表者

安井 智美

■2022年度のトピックス



■事業報告

- ① 福祉用具新卒者の加入と理学療法士の加入
新戦力として、新卒の福祉用具専門相談員と経験豊富な理学療法士が加入したことで、利用者の状態に応じた、丁寧な福祉用具レンタルの相談が可能となった。
- ② 「めぐみニュース」の活用
「めぐみニュース」を通じて、利用者には有用な福祉用具の紹介を行った。

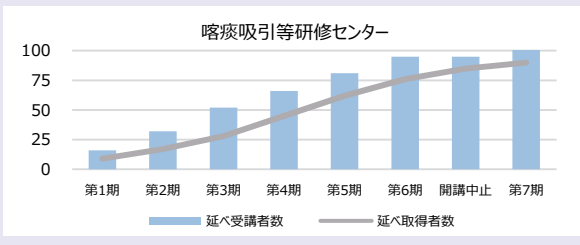
喀痰吸引等研修センター

■部門代表者

吉田 茂和

■ 2022年度のトピックス

受講者と資格取得者の推移



■ 事業報告

- ① 2017年度に開講してから、今年度で第7期を迎え、これまでに延べ103名の修了生を輩出した。
- ② このうち 2022年度までに実地研修を含むすべての研修を修了し、修了証を発行した受講生は、のべ人数で90名となった。

社会事業統括部門

- 部門長 ■ オブザーバー
- 進藤 浩美 神野 厚美

■ 2022年度のトピックス

2022.10.5 デリカサプライセンター機器診断 厳しい状況。

テストキッチン	スチコン	手入れ必要
	氷温庫	入替必要
下処理	冷蔵庫1.2	手入れ必要
	冷凍庫1.2.3	経年劣化
保存	冷蔵庫1.2.3.4	手入れ必要
	冷凍庫1.2.3	経年劣化

■ 事業報告

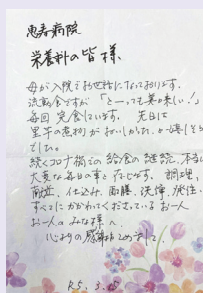
- ① 医師会立七尾看護専門学校との経営協力のため、事務長の出向を行い、本院の医師、看護部、医療技術部門から講師を派遣継続している。
- ② 全施設のおかずを週5日稼働のけいじゅデリカサプライセンターで5,000食/日生産している。
- ③ 医療福祉ショップめぐみとベンリーは、生活未来部として、事業統括部門管理とした。

けいじゅデリカサプライセンター

■ 部門代表者

神野 厚美、進藤 浩美

■ 2022年度のトピックス



シダックス様の励みになる
お褒めの手紙

■ 事業報告

- ① シダックスグループで、全国に技能実習生を配置する中、初めてベトナム人女性2名の実習生を受け入れた。
- ② 大型機器として、冷凍庫、冷水をつくる機器を更新した。
- ③ 2023.1.26低温、水道管の問題により、七尾市から供給される水が赤水となり何度も貯水タンクの水の入れ替えが必要となったが、各施設への食材配送に影響なし。

七尾看護専門学校

■事務長

山崎 茂弥

■2022年度のトピックス

26名が卒業し、能登地域の病院には14名（内 恵寿総合病院7名）就職した。加賀地域の病院が11名、病院以外への就職が1名だった。

入学者の状況

	能登	加賀	富山県	福井県	他県	合計
2021	22	7	3	0	1	33
2022	21	4	1	0	0	26

卒業生の就業先

	能登 (養仙会)	加賀	富山県	福井県	他県	病院 以外	進学、 その他	合計
2021	24 (9)	11	2	0	2	0	2	41
2022	14 (7)	11	0	0	0	1	0	26

■事業報告

- ① 出願者数41名、受験者数38名、入学者数26名と昨年より7名減少した。出身別では、能登北部7名、能登中部14名、石川中央3名、南加賀1名と県内は25名、県外は富山県1名であった。新入生のうち能登中部は54%だった。
- ② 入学生確保のため、11月19日推薦入学試験、1月19日一次入学試験、2月16日二次入学試験、3月1日三次入学試験を実施した。
- ③ 2023年度修学支援新制度の対象校となった。これにより、世帯収入等の要件を満たすと授業料、入学金の免除または減額と返還を要しない給付型奨学金が受けられる。
- ④ 本校の教育活動や学校運営等の質の向上を図ることを目的とした第1回学校関係者評価委員会を開催した。
- ⑤ 委員と自己評価・自己点検自己評価・自己点検、学生募集等について意見交換を行った。

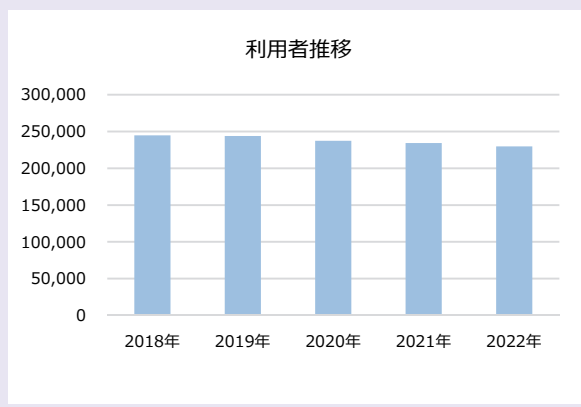
徳充会

■部門代表者

今寺 忠造

■2022年度のトピックス

コロナ感染拡大の影響で、全体の延べ利用者件数は229,676件で、昨年より4,637件減少した。過去最低。通所系・短期入所系の休止や利用者の利用控えが大きく影響した。ロボット導入の新しい試みや社会貢献交流を再開した。事務局は、時代に見合う仕組みの改善・考案を実行した。



■事業報告

- ① 「人を責めるな、仕組みを責めろ！」をテーマに、各事業所が強みを活かし、一致結束して取り組んだ。
- ② 障がい者事業局：入所施設2ヶ所でクラスターが発生したが、最低限で食い止めた。高齢化・重度化が進み、医療的ケアのニーズが年々高く入院が多くなっている。通所系は日中活動・働くニーズが高く、時代に見合った支援、オンラインイベント、テイクアウト等を推進した。
- ③ 高齢者事業局：通所・入所でクラスター発生。応援体制で凌いだ。新しい価値観・ニーズに対応するため、情報発信の強化、Foot活の強化、カルチャー教室、看取り・ターミナル期の訪問入浴、ロボット活用、イルミネーションの点灯等、時代に合った新しいチャレンジを行った。
- ④ 事務局：コロナ対策の応援（人的・物的・制度的）、給与規定等の見直し、職員教育の推進（資格習得支援・Web研修の開催等）、オンラインでの積極的な見学・相談会・採用試験、基盤整備申請、徳充会ボランティアとの継続的な関わりを行った。処遇改善加算による賃上げの実施。技能実習生の受け入れ。補助金等の効果的申請・活用。
- ⑤ 地域貢献：創意工夫をして積極的に推進した。
- ⑥ コロナ：一致結束して感染・クラスター対応に取り組んだ。

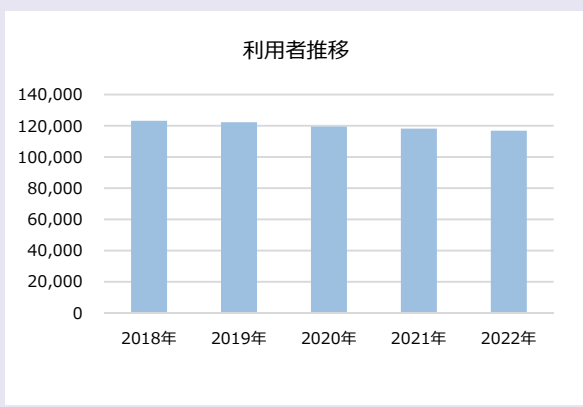
障がい者事業局

■部門代表者

今寺 忠造

■2022年度のトピックス

新型コロナ感染拡大の影響もあり、クラスターが発生した。各事業の創意工夫と適切な対応で、幸い重症者を出さずに済んだ。通所・短期入所の利用者数は減少したが、各事業所時代に見合ったコロナ禍での新しい創造とサービスの提供を推進した。



■事業報告

- ① 「人を責めるな、仕組みを責めろ！」を意識し、全事業所、コロナ禍の支援と感染予防に努めた。
- ② さいこうえんの障害者生活支援センター：リハセンターと同一敷地内に移転。相談支援事業はキララ（穴水）と一体運営で経営基盤安定。
- ③ セレレーナ青山：現状維持。
- ④ 青山彩光苑リハセンター：多機能型通所事業開始、就労移行支援：6名就職し、就職定着率は高水準。
- ⑤ ワークセンター田鶴浜：新規利用者8名、洗濯事業は順調。アグリ事業は、資材等高騰。
- ⑥ 青山彩光苑ライフサポートセンター：コロナは別エリアで対応し最小限にとどめた。移動販売、オンライン太鼓の定期開催、リハビリ機器の充実でニーズに対応した。
- ⑦ 青山彩光苑穴水ライフサポートセンター：コロナ対策を徹底し、利用者感染ゼロ。オンラインのスポーツ活動参加、小中学校での出張福祉教育を再開した。
- ⑧ 石川県精育園：7月中旬より130名規模のクラスター発生。施設内療養であったが、重症化しなかった。収束後は、楽しみに繋がるミニ祭り・小グループ旅行、保育園との交流を再開した。自立ホームけいじゅは、短期入所の送迎を2市2町に拡大したが、コロナの影響があった。

第2章 法人方針・事業報告（徳充会）

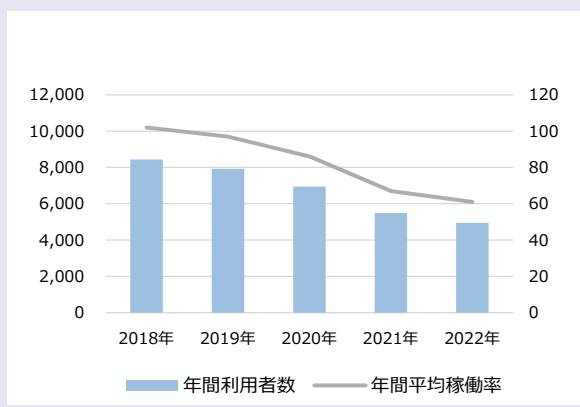
障がい者事業局 青山彩光苑 青山彩光苑リハビリテーションセンター

■部門代表者

久保 奈保

■2022年度のトピックス

2022年4月1日より、多機能型通所事業として新たなスタートを切った。近年機能訓練事業への新規相談の減少が著しかったが、例年に比べ相談件数が微増し、5名の方が新規利用を開始した。



■事業報告

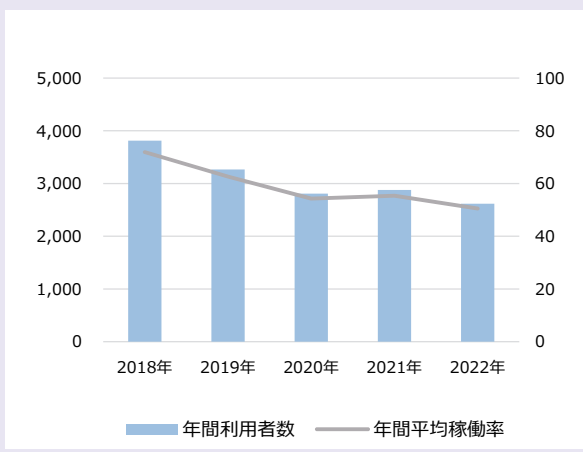
- ① 目標と達成度
機能訓練稼働率を100%以上とする
→61%であったため、達成度としては61%
就労移行支援稼働率を100%以上とする
→61%であったため、達成度としては61%
- ② 2023年度より、七尾市任意事業地域生活支援事業生活訓練（機能訓練）開始に向けて、準備を行った。
- ③ 就労移行支援事業については、6名の利用者が就職し、6ヶ月以上の定着者も3月時点で5名と高水準の結果となった。このことから2023年度も報酬単価最高値となった。今年度は利用が短期間で、就職するケースもあり、稼働率の維持に苦慮したが、4月以降の新規相談もあり複数名あり、稼働率の上昇に向けて取り組んでいる。

障がい者事業局 青山彩光苑
さいこうえんの障害者生活支援センター

■部門代表者
前田 奈津子

■2022年度のトピックス

4月に七尾市袖ヶ江町から青山町に移転したことに伴い、地域活動支援センターでは高階地域の一員として地域に根差した活動に取り組んだ。また、相談支援事業ではキララと一体的運営を行うことで安定した経営基盤が確保できた。



■事業報告

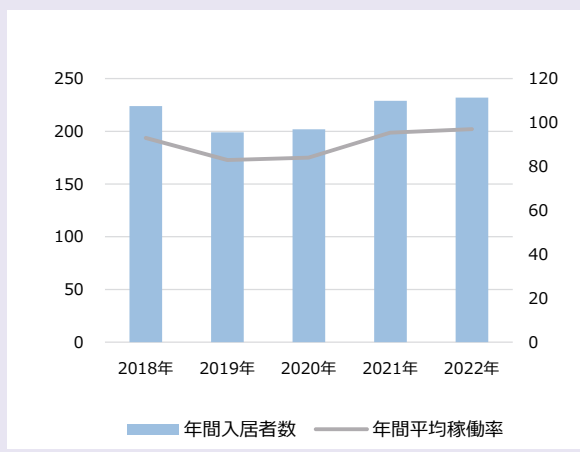
- ① 七尾市・中能登町からの委託を受け、地域活動支援センター I 型事業を実施している。地域で生活している障がい者が通所し日中活動を行っている。従来通りの生産（作業）活動や創作活動の他、今年度は高階地区コミュニティーセンター協力のもと手話や太鼓など新しい活動や、青山彩光苑リハビリテーションセンターと合同でのスポレク活動、敷地を活用しての畑作業など充実したプログラムを展開した。
- ② 相談支援事業（指定特定・指定一般・指定障害児）は、障がいのある人の様々な相談に応じ必要な情報提供、障害福祉サービス利用等の支援を行った（年間相談件数 6,558件）。今年度から穴水町のキララと一体化したほか、七尾市・中能登町他相談支援事業所と協定を結ぶことで、相談支援専門員の資質向上や地域の障がい福祉の発展に寄与することができた。
- ③ 障害者就業・生活支援センター事業は障がい者・企業からの就職に係る相談・職場定着に係る相談、これらに伴う生活の相談を受け、その課題解決に向けて必要な情報提供、助言等の支援を実施した（年間相談件数 2,111件、就職件数32件、職場実習研修32件）。

障がい者事業局 青山彩光苑
バリアフリーホーム セレーナ青山

■部門代表者
久保 奈保

■2022年度のトピックス

2022年4月は19床から開始し、2023年3月末には18床の稼働となった。多少の入退居はみられたが、年間通じて定員20名に対し、19～20名で推移した。



■事業報告

- ① 退居 2名、新規入居者は1名であった。年間平均稼働率は前年比2%の上昇となった。
- ② 入居者の法人内サービス利用の内訳
※重複利用を含む
【日中活動系】
リハビリテーションセンター：7名
ワークセンター田鶴浜：7名
障害者生活支援センター：1名
【生活支援系】
ローレイルハイツ恵寿（ホームヘルプ）：5名

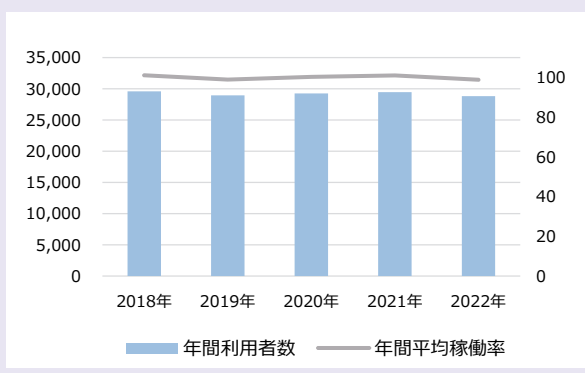
障がい者事業局 青山彩光苑ライフサポートセンター

■部門代表者

瀧野 利徳

■2022年度のトピックス

コロナ禍において、利用者の日常生活への支障を最小限に止めるため、移動販売の導入やオンラインによる太鼓教室を定期的実施してきた。また、リハビリ機器の充実を図り、重度者中心の身体障がい者施設において中程度の身体障がいを抱える方々のニーズを満たすよう努めてきた。



■事業報告

- ① 日中の生活介護事業は、目標稼働率110%に対し、106%で達成率は96.3%であった。施設入所支援事業は、目標稼働率100%に対し稼働率、達成率は98.8%であった。また、短期入所事業は、目標稼働率70%とし、前年度を上回る稼働率を残せたものの53.2%に止まり、達成率は76%という結果であった。入所者の入院が多数出たことで、生活介護と施設入所の数値に大きな影響を及ぼした。また、短期入所では、長期利用者の確保が困難であったことと、緊急受け入れの対象者がなかったことが影響した。
- ② コロナ対策では、感染者に居室エリアではないスペースで療養してもらい、専属職員を置いて対応することで感染の拡大を最小限に押さえることができた。また、地域の感染状況を踏まえ、一時的ではあったが、家族に入所者の生活状況を生で見てもらう機会を提供できた。

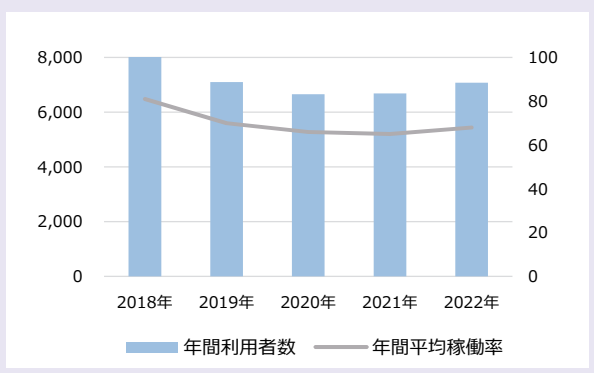
障がい者事業局 青山彩光苑ワークセンター田鶴浜

■部門代表者

細木 俊逸

■2022年度のトピックス

延べ利用者数は、稼働率目標70%に対し、68.3%で昨年対比3%増、利用者数は7,078名で昨年より392名増となった。新規の利用者が増えたこと、コロナ感染対策を行い、感染拡大を防げたことが要因である。総事業活動収入は、横ばいで、授産事業は資材高騰の影響はあるものの調達コストをできるだけ抑え、支出をできるだけ抑えることができた。



■事業報告

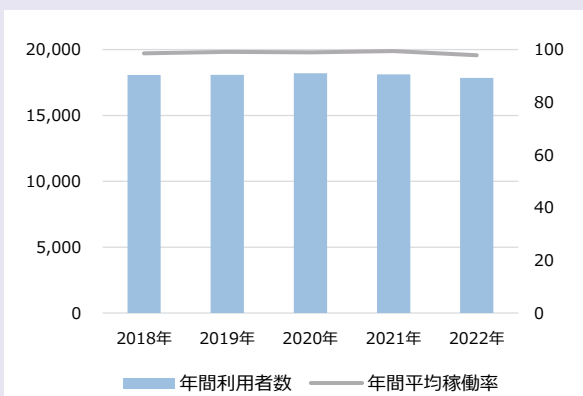
- ① 新規利用者は8名であった。退所者は3名であり、2名は本人の希望、1名は長期入院のための退所であった。利用者の高齢化はすすんでいるが、新規利用者もあり、新たな戦力となっている。「ワークセンターは平均工賃が高水準であること」（2021年度：ワーク平均30,766円石川県平均15,982円）、「作業内容が多く、利用者が仕事を選択できること」を強みとし、利用者の獲得を目指し取り組んでいく。登録者は2023年3月31日時点で34名であり、前年同期と比較すると4名増である。
- ② 授産事業においては、軽作業はコロナ禍の影響から脱し、受注数は戻つつある。受注品を確実に、丁寧に生産することに注力した。アグリ事業（水耕・土耕）においては資材等高騰の影響もあり、収益は低調であった。洗濯事業においては堅調に推移しており、コロナ感染者の洗濯物に関しても、施設側と連携を図り対応を行った。七尾市からの委託業務（ペットボトル圧縮・家具解体）も継続委託を受けており、安定収入となっている。今後はアフターコロナを意識して、基本に忠実に、確実に仕事を行い、依頼主から信頼されるよう事業をすすめていく。

障がい者事業局
青山彩光苑穴水ライフサポートセンター

■部門代表者
今寺 忠造

■2022年度のトピックス

新型コロナ対策を徹底し、利用者の感染者を一人も出さなかった。利用者支援では、自粛していた活動を感染対策を行いながら再開させ、スポーツ大会や交流会などの地域企画にも参加した。社会貢献の一環として、福祉教育事業で出張教室を地元小・中学校で実施した。



■事業報告

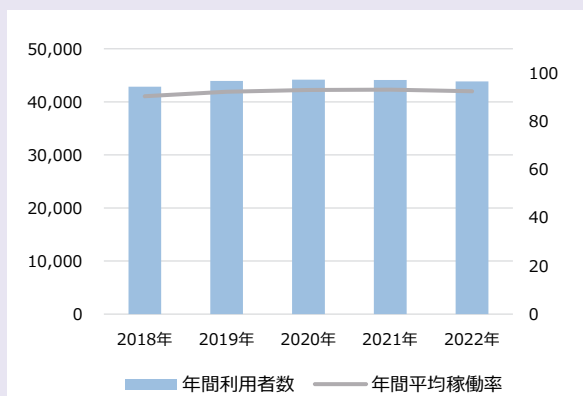
- ① 施設入所支援事業は、稼働率の実績は97.9%であり、前年度比98.6%で入院者が多く目標値に至らなかった。通所事業は稼働率86.5%、前年度比128.4%。短期入所事業は稼働率52.3%、前年度比は118.2%で、コロナの影響で利用を控えていた方が徐々に再開され昨年度より持ち直した。短期入所は、近年の動向や稼働率を鑑みて来年度からは定員を1減らす予定。
- ② 「変革と進化」をテーマのもと先入観を無くし可能性を広げる支援を推進してきた。日中活動では、コロナ禍でも充実した生活を送れるよう、感染対策を講じながらカラオケや足浴、調理や外出など実施した。地域交流では、中止していた夏祭りを秋フェスにし地域発表を企画したが、周囲の感染が収まらず内容を変更して行った。その他、県のスポーツ大会や北信越ボッチャ大会への参加、施設間交流ではボッチャ大会の実施やオンラインでのフライングディスク大会の参加ができた。昨年度好評であった衣料品店の訪問販売や地元の飲食店のテイクアウトも、頻度を増やし、地域方々との交流の場を設けることができた。

障がい者事業局
石川県精育園・自立ホームけいじゅ

■部門代表者
今寺 忠造

■2022年度のトピックス

コロナ禍での感染対策を継続していたが、7月中旬よりクラスターが発生した。入所者122名中87名が感染。全員施設内療養で、幸い重症化する方もなく約2ヶ月後に収束した。地域貢献の一環としては、いしかわ百万石文化祭2023穴水町プレイベントへ利用者と職員で参加した。



■事業報告

- ① 利用者の社会参加への支援として、穴水地区の海岸沿いのゴミ拾いやバス停の清掃活動を行った。利用者の参加意欲も高く、次年度も継続していきたい。
- ② 口腔嚥下プロジェクトにて、専門医による職員向け勉強会をオンラインで実施し、利用者向けの歯磨き教室を年2回実施した。また、歯科衛生士による訪問も導入し、口腔内点検、歯石除去や助言等受けることで、職員や利用者の口腔ケアに対する意識が高まり、要治療者については、適切な歯科通院支援が実施できた。
- ③ コロナ禍で県内外で実施される研修への参加を控えている状況が続いていたため、富山県の施設とオンラインで交流機会を作り、お互いの施設の取り組みや支援の工夫等について情報交換や意見交換する機会をつかった。
- ④ 権利擁護委員会の取り組みで、法人内施設の部長に協力を得て、月1回施設内の巡視を行った。面会制限により外部の目が入りにくい状況で、管理監督職の視点による確認と助言は、職員の意識向上に繋がった。
- ⑤ コロナ収束後には、ミニ夏祭り、ハロウィン喫茶、小グループ毎での秋の日帰り旅行、地元保育園とのリモート交流や園内レクリエーション等、利用者の楽しみに繋がる支援を提供することができた。

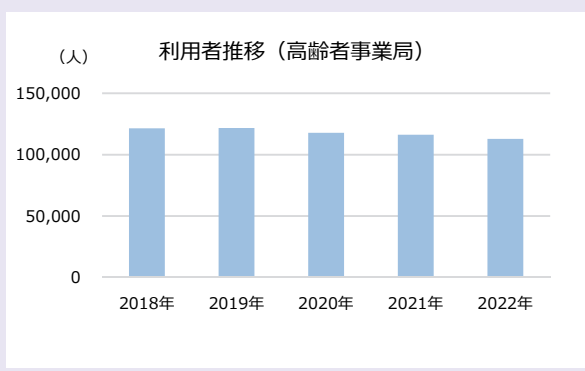
高齢者事業局

■部門代表者

吉田 茂和

■2022年度のトピックス

本年度は、前年にも増して新型コロナウイルスによる影響が拡大した。入所施設に感染者が発生したほか、在宅サービスでも本人・家族の感染が複数見られ、サービスの中止や利用控えなどへの影響が大きくあったが、そのような中であっても生活を支える支援が途切れることのないようにと、サービス提供のあり方に苦悩した年であった。



■事業報告

- ① エレガントなぎの浦・アンジェリィなぎの浦：新型コロナの発生や拡大を防ぐため、積極的な検査と施設内感染防止対策を徹底した。コロナ禍であっても利用者が楽しむことができるようフロア単位での行事や、ケアハウスでは、焼き立てパンの提供など、食への楽しみにも努めた。
- ② エレガントたつるはま・もみの木苑：特養では、上期は比較的好調だったものの、下期には新型コロナの感染が広がり入院者が増加。年間の利用率は前年並みとなった。もみの木苑もコロナ禍の中、活動や参加にポイントを付与する「まんぷく大作戦」が好評で参加者が増加した。
- ③ ふれあいの里：コロナ禍で厳しい状況であったが、趣味や興味を引き出す支援を提供することで、楽しく利用できるデイサービスとして定着してきた。訪問入浴は在宅での看取り対象利用者が増加。配食は他社の参入やコンビニ活用などがあり、利用件数は減少傾向となった。
- ④ ローレルハイツ恵寿：他の施設と同様に、新型コロナウイルスによる職員不足などに苦慮したが、ヘルパー事業所との連携や、各階に感染対策必需品カートを設置するなどにより窮地をしのいだ。一方では、ロボット活用としてpepperを導入。レク体操の幅が広がり、談話コーナーではコミュニティづくりの一助ともなった。

第2章 法人方針・事業報告（徳充会）

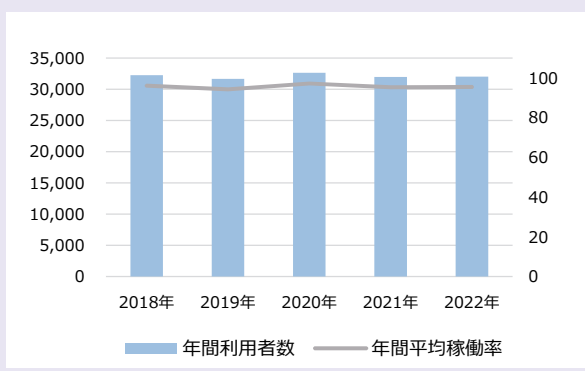
高齢者事業局 エレガントなぎの浦・アンジェリィなぎの浦

■部門代表者

藤澤 優子

■2022年度のトピックス

本年度は、8月、1月に新型コロナウイルスのクラスター発生による影響で、ショートステイ、デイサービスの受け入れ中止や利用控えなどがあり、稼働率目標を大きく下回った。デイサービスにおいては、実利用者数の減少及び利用率が低下し、年間を通して稼働率が伸び悩んだ。



■事業報告

- ① クラスター発生により、新型コロナウイルスの発生を可能な限り食い止めるため、積極的な検査を実施するとともに、施設内感染防止対策を改めて徹底することとした。できる限りフロア別での勤務に取り組み職員の行き来を最小限にし、安全・安心のサービスを展開した。
- ② コロナ禍で、大きな行事を行うことはできなかったが、フロアごとで行事を実施することで、利用者・職員ともに楽しむことができた。ケアハウスでの月1回の食事の有料メニューでは、焼き立てパンを提供するなど食への新たな提供も実施した。
- ③ タブレットの使用普及により、オンライン面会の継続、個別支援や娯楽等での取り組みを行うとともに、勉強会でも積極的に活用し、Web配信での講義を取り入れた。Teams、Zoomを使用し、オンライン会議や連絡などに積極的に活用した。
- ④ インドネシアより外国人技能実習生1名を受け入れ、3名となり介護技術の継承及び指導者のスキルアップにも繋がっている。

高齢者事業局 エレガントつるはま・もみの木苑

■部門代表者
芳原 哲弥

■2022年度のトピックス

入所事業は12月中旬から約1ヶ月間、コロナ感染が蔓延し入院者・退所者が増加したが、年間の稼働率は前年度並みの96.3%となった。通所事業はコロナ禍によるサービス利用控えの影響があり前年度比で約10%低下する。新プログラムを増やすと共にSNSによる情報発信を積極的に実施することで年度後半は新規紹介者数が増加傾向にあった。



■事業報告

【エレガントつるはま】

- ① 上半期は稼働率100%を記録する月も多く安定した運営ができていたが、下半期に入りコロナ感染が広がり、入院者が激増し年間平均稼働率は昨年度並みとなった。
- ② 気付きの共有を目的に実施した「ありがとうレポート」は報告件数19件であった。内容は、業務中のポジティブな言動や行動に対しての「イネ」が中心だった。
- ③ デジタル・リモートを活用しコロナ禍でも家族との絆をつなぐためにZoomやLINEを使用した面会や映像等の提供等を実施した。

【デイサービスセンターもみの木苑】

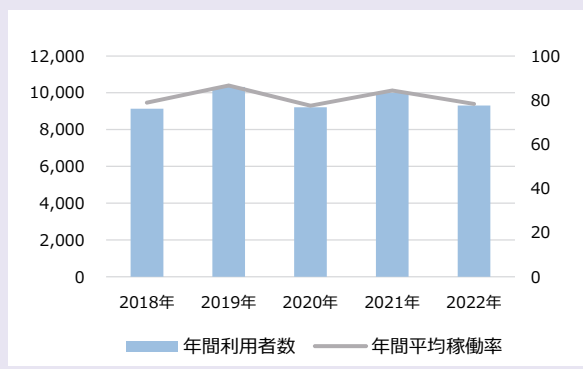
- ① Foot活プロジェクトの参加利用者11名。
- ② 活動（Foot活も含）や参加に応じてポイントを付与する表彰制度『まんぷく大作戦』では前年度を大きく上回る63名のご利用者が参加。最多ポイント賞も含めて、23名のご利用者を表彰。
- ③ プログラムの充実を図るべく職員のスキルを取り入れたメニューを導入、年度当初14項目だったメニューも年度末には40項目に増加し、選んで参加していただく体制づくりが軌道に乗った一年であった。

高齢者事業局 ふれあいの里

■部門代表者
江澤 恵太

■2022年度のトピックス

通所介護は、目標稼働率87%に対して78.3%であった。前年度比は92.7%であった。年度当初から徐々に稼働率が上昇したがコロナクラスターにより、休止や縮小したことが大きく影響した。訪問入浴は、前年度比101%であった。利用中止となっても新規利用者の獲得にて安定した稼働となった。



■事業報告

- ① 通所介護事業は、新型コロナウイルスのクラスターの影響により、稼働目標は達成できなかった。しかし、利用者の趣味や興味が持てるような支援等を様々な内容で提供した。結果、利用者のみならず、ケアマネの方からも活動的で楽しく利用できるデイサービスとして認識していただき、当デイサービスを選択していただいた。どのような支援でも目的、遊び心、達成感など、実施した後に「またやりたい」という気持ちで帰宅していただくことができた。意欲が引き出されたことで、休むことが減少し、また行きたいと思うことが身体的、精神的維持につながった。
- ② 訪問入浴事業は、利用件数が前年より増加。これまでも看取り介護の利用者の方はいたが、入院していた方が、最期は自宅で看取りたいと単発もしくは数回の利用の方が増えた。そのような方に対して、迅速に対応し、入浴を提供後に看取ることができたケースもあった。
- ③ 配食事業については、七尾市の委託事業である。配食件数は、前年より減少した。新たな形での弁当提供事業者も増え、コンビニの活用などニーズが減少してきている傾向である。
- ④ 地域との交流等は、コロナ禍で実施できなかったが、ホームページやInstagramなどで取り組みを発信した。

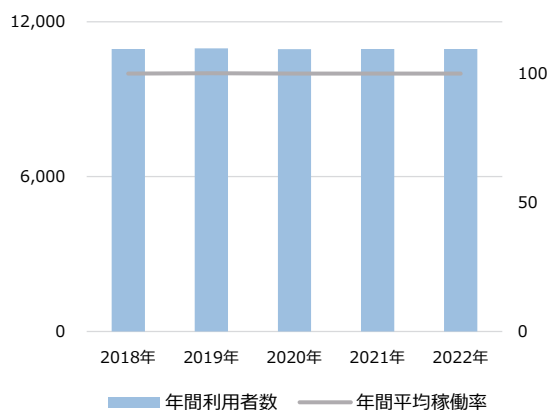
高齢者事業局 ローレルハイツ恵寿

■部門代表者

松井 智子

■2022年度のトピックス

『安心して暮らせるしくみづくり』を目標に、コロナ禍でもご家族様との関わりが途切れないよう支援した。平均稼働率は特定ケアハウス99.9%、一般ケアハウス99.9%、サ高住94.4%。ヘルパー平均延べ人数635人。



■事業報告

- ① 安心・安全なしくみ
コロナ感染による職員不足に見舞われ、施設内で応援体制をとり、またヘルパーは適宜、支援中止するなど施設内感染防止に努めた。引きこもり予防として、レクや各種教室の実施やFoot活測定・体操を毎月実施。自主的に歩行訓練を行う方が増えた。2のつく日に職員がFoot活サンダルを履き、良さをアピールしメディアにも取り上げられた。特定ケアハウスでは個別機能訓練を実施し加算取得開始。こうした取り組みを行うが転倒・骨折による入院や退居となるケースも多かつた。
- ② 安心・安全に過ごせる5S
感染発生時にすみやかな対応ができるよう、各階に感染必需品カートを設置した。入居者の健康面のサポートとして、健康教室を毎月実施し、多くの参加があった。
- ③ 人が集まるしくみ
ロボット活用としてpepperを導入し、レク体操の幅が広がり、談話コーナーではコミュニティづくりの一助にもなった。12月にはクリスマス会の実施、地域交流として恒例のイルミネーションを点灯した。また、介護実習生34名の受入れを行った。

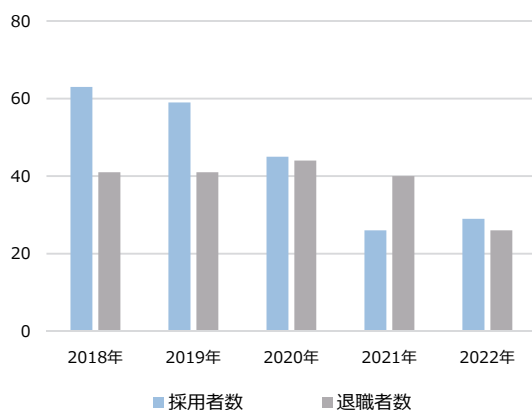
事務局

■部門代表者

山下 賢

■2022年度のトピックス

2022年度における採用者数は29名、また退職者数は26名で差し引き+3名であった。期首の職員総数は436名、期末の職員総数は439名。



■事業報告

- ① 職能資格等級表のスリム化（全9等級→全8等級）の実施。
- ② 介護職員処遇改善加算により賃上げの実施、介護職員等特定処遇改善加算による年度末手当支給、介護職員等ベースアップ等支援加算による月次手当支給。
- ③ 外国人介護職員として技能実習生1名（インドネシア）を受入れ。
- ④ 石川県精育園指定管理第三期公募申請による受託決定。
- ⑤ 石川県監査委員監査及び会計監査人の監査を実施。
- ⑥ 感染症対策として、情報の共有と法人内職員間の応援体制の拡充。
- ⑦ 補助金受入れ
 - ・新型コロナウイルス感染症流行下における介護サービス事業所等のサービス提供体制確保事業（石川県）
 - ・新型コロナウイルス感染症に係る障害福祉サービス事業所等に対するサービス継続支援事業（石川県）
 - ・抗原定性検査キットを活用した高齢者施設等従事者の検査事業（石川県）
 - ・省エネ投資緊急支援事業（石川県）
 - ・自動車事故被害者受入環境整備事業（国土交通省）
 - ・省エネルギー投資促進支援事業補助金（経済産業省）

事務局 総務部

- 部門代表者
畑中 浩樹

■2022年度のトピックス

- ① 職務基準能力チェックシートの新規作成、既存等級の見直しを実施
- ② 内定者の集いを2022年12月10日に初開催（オンライン）
- ③ 産業医不在事業場への医師派遣事業の活用
- ④ 2023年度新卒内定者（介護5名、事務1名）

■事業報告

- ① 2021年度に作成した『職能資格等級制度構成表』を踏まえて、職務遂行能力チェックシートは8、7等級の新設と6-4等級の見直し。3-1等級は実状業務と職種毎に見直しを行う。2023年度より運用開始。
- ② 小規模事業所職員の健康診断結果に基づいた健康管理等の指導、助言サービスを活用。全職員への健康管理体制を確立。

事務局 経営企画部

- 部門代表者
松下 清寛

■2022年度のトピックス

- ① 新型コロナウイルス感染予防のための衛生用品、自己検査等の備品確保
- ② 感染拡大予防にかかる経費等の補助申請（石川県）「介護サービス事業所等のサービス提供体制確保事業」「障害福祉サービス事業所等に対するサービス継続支援事業」

■事業報告

- ① 会計処理の内部統制強化（特定仕分の承認等）
- ② 銀行業務の効率化（WEBの活用）
- ③ コスト増への対応（電気契約、委託料等見直し）
- ④ スキル向上（オンライン研修の活用）
- ⑤ 理事会・評議員会開催（6月、3月）
- ⑥ 法人登記手続き
- ⑦ 監査対応（石川県指導監査、会計監査人監査）

教育研修委員会

- 委員長
畑中 浩樹

■2022年度のトピックス

日程	内容
4月1、15日	新人職員研修
6月15日	管理監督者研修（課長以上） ※オンライン
7月8日	主任研修
7月29日	新人職員フォローアップ研修
10月17-28日	ハラスメント研修（主任以下）※動画配信
11月16日	アンガーマネジメント研修 ※オンライン
11-1月	介護福祉士受験対策講座 ※対面、オンライン対応

■事業報告

- ① 新たな階層別研修として、主任研修を追加。また、2023年度に向けて、中堅職員研修を新たに体系化するための企画案を検討した。
- ② 外国人技能実習生の日本語教育について、七尾市国際交流協会の協力のもと企画。2022年7月より月1～2回の頻度で開催。技能実習生3名の内、1名が日本語能力試験N3に合格。

福利厚生委員会

- 委員長
百成 公美子

■2022年度のトピックス

2022年度も新型コロナウイルスの影響で、旅行・イベントは中止とした。代わりに、職員間の親睦・日頃の運動不足解消・免疫力を高めることを目的としてヨガ教室を開催した。月1回講師の先生に来てもらい七尾会場および穴水会場、オンラインでの参加も可能とした。

■事業報告

- ① 感染拡大の為、10回中5回の開催となった。
- ② 参加した職員からは次の日調子が良い、気分転換になった等好評であった。コロナ禍のためリモートで行えたこともよかった。
- ③ 勤務等で参加できない職員も多く、全員が受けられる取り組みをしてほしいとの意見もあった。

事例研究大会

■委員長

松柳 満城子

■ 2022年度のトピックス

大会テーマ「人を責めるな、仕組みを責めろ」で、2023年2月10日（金）、新型コロナウイルスの感染及び拡大防止のため、Zoomを利用し開催した。1事業所1事例。発表、質疑応答を録画、後日法人内職員が視聴できるよう配信した。

■ 事業報告

- ① 感染症が落ち着いてもZoomでの開催が良いとの意見と、直接発表を聴講し質疑したかったとの意見の双方があった。
- ② 昨年よりブラッシュアップできているという意見もあったが、機器の不備についての指摘も多かった（聴き辛いなど）。
- ③ 動画視聴後のレポートでは、他事業所の事例を参考にこれからの支援に活かしていきたいとの感想が多数あった。



第 3 章

医療部門

診療統計・医療の質

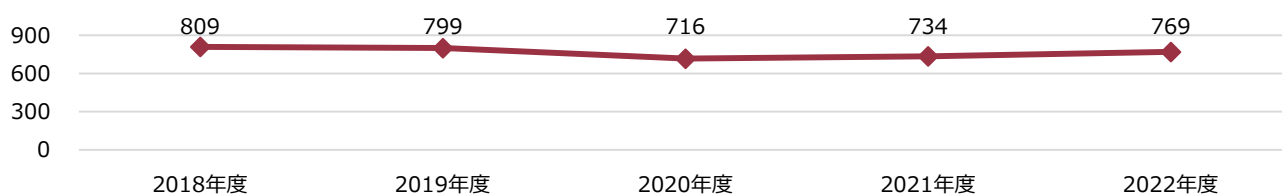
外来患者数（恵寿総合病院）

外来患者数の推移

※上段：患者延数 下段：1日当たりの平均患者数 単位：人

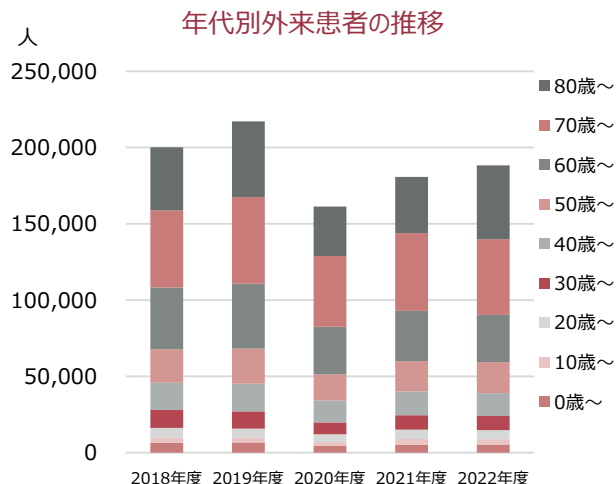
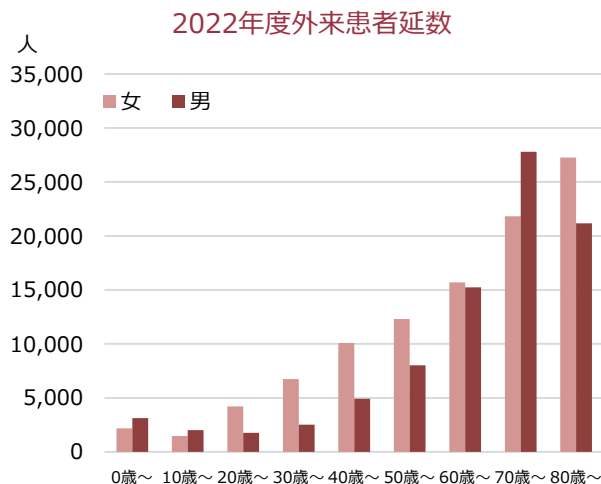
	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
形成外科	4,392	4,322	4,064	3,739	3,583
	18	18	17	15	15
脳神経外科	4,892	4,467	3,976	4,254	4,387
	20	19	16	17	18
心血管外科	2,850	2,880	2,547	2,598	2,450
	12	12	10	11	10
消化器外科	8,194	8,079	8,443	8,678	8,538
	34	34	34	35	35
整形外科	14,971	15,712	14,175	14,814	14,424
	62	66	58	60	60
内科	35,364	34,630	29,924	33,939	36,624
	146	145	123	136	151
産婦人科	14,221	13,287	10,773	9,985	9,652
	59	56	44	41	40
耳鼻咽喉科	7,124	6,395	5,265	5,240	4,767
	29	27	22	21	20
眼科	12,765	12,634	11,831	13,166	13,151
	53	53	49	54	54
泌尿器科	9,712	8,850	8,765	6,759	7,338
	40	37	36	28	30
小児科	5,951	5,976	4,109	4,809	6,271
	24	25	17	20	26
麻酔科	2,288	2,187	1,942	1,902	2,297
	9	9	8	8	10
透析科	18,672	19,114	18,686	18,647	18,040
	77	80	77	76	75
脳神経内科	5,061	5,059	4,272	4,433	3,314
	21	21	17	18	14
皮膚科	7,420	8,053	8,041	7,419	8,301
	31	34	33	30	34
循環器内科	8,816	7,799	7,303	7,607	7,924
	36	33	30	31	33
リハビリテーション科	12,064	11,222	9,062	9,462	12,055
	50	47	37	39	50
家庭医療科	9,593	8,801	8,821	9,584	10,259
	39	37	36	39	42
放射線科	419	383	359	383	472
	2	2	1	2	2
胸部呼吸器外科	1,462	590	771	756	1,003
	6	2	3	3	4
緩和医療科	0	0	0	0	0
	0	0	0	0	0
消化器内科	10,254	10,590	10,918	9,481	10,171
	42	44	45	39	42
心療内科					1,025
					4
合計	196,485	191,030	174,047	177,655	186,046
日当たり合計	809	799	716	734	769
稼働日	243	239	243	242	242

外来患者数1日あたり平均



第3章 医療部門：診療統計・医療の質（恵寿総合病院）

年代別（男女別）外来患者数



救急外来患者数（恵寿総合病院）

救急外来患者数の推移

単位：人

	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
形成外科	439	474	349	325	310
脳神経外科	479	432	392	415	435
心血管外科	41	44	17	21	21
消化器外科	152	162	144	113	144
整形外科	920	1,079	834	856	831
内科	3,376	3,369	1,854	2,113	2,809
産婦人科	155	176	115	88	86
耳鼻咽喉科	255	303	188	203	145
眼科	49	49	37	47	18
泌尿器科	181	188	157	120	105
小児科	984	971	488	567	900
麻酔科	2	14	1	4	3
透析科	0	0	0	0	0
脳神経内科	154	170	153	142	65
皮膚科	231	317	267	207	236
循環器内科	365	394	327	341	343
リハビリテーション科	1	0	2	12	0
家庭医療科	63	61	60	70	86
胸部呼吸器外科	0	0	3	1	1
緩和医療科	0	0	0	0	0
心療内科	-	-	-	-	1
消化器内科	836	800	691	587	684
合計	8,683	9,003	6,079	6,232	7,223

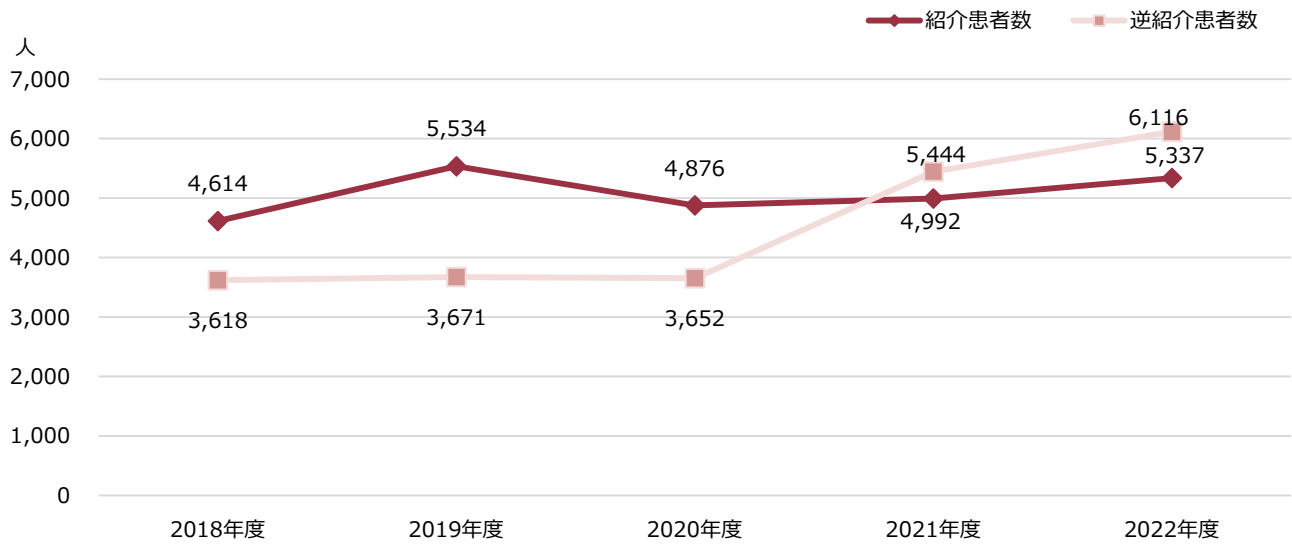
救急車受け入れ台数の推移

	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
救急搬送件数 (件)	1,533	1,527	1,359	1,474	1,696
入院率 (%)	58%	59%	64%	61%	57%

紹介患者数（恵寿総合病院）

紹介患者数・逆紹介患者数の推移

	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
紹介率	56.02%	67.30%	86.40%	82.80%	64.70%
逆紹介率	29.38%	44.64%	64.7%	90.3%	74.1%

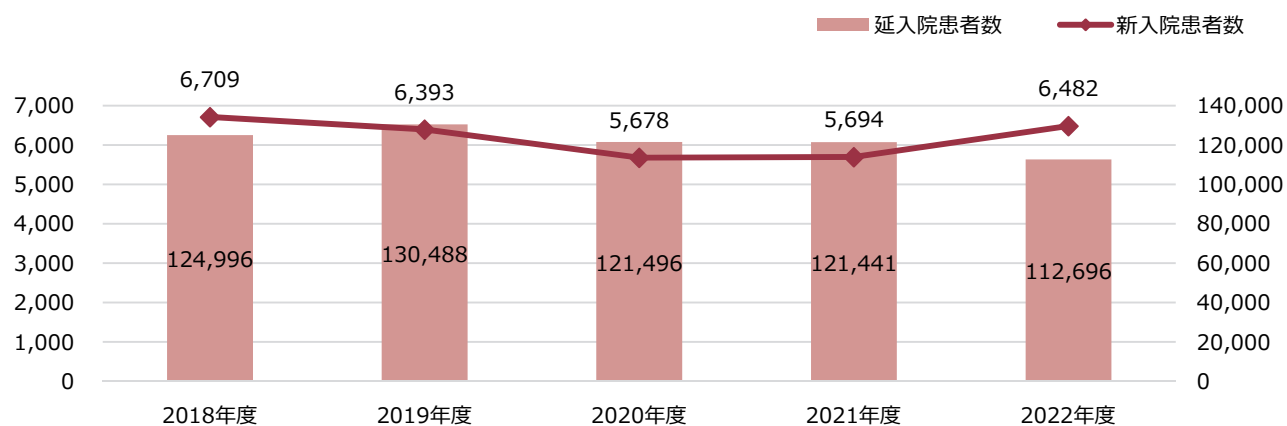


入院患者数（恵寿総合病院）

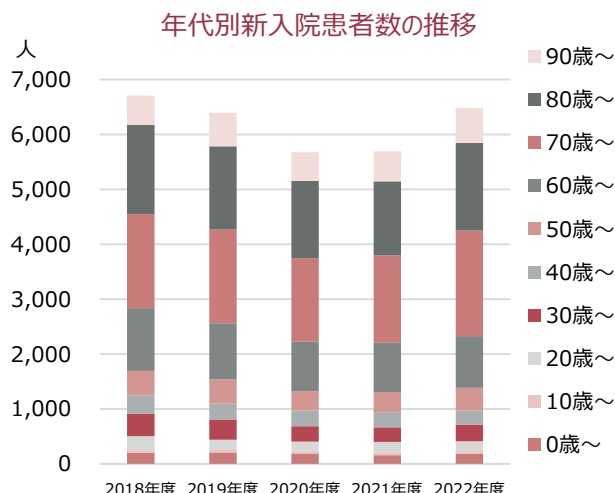
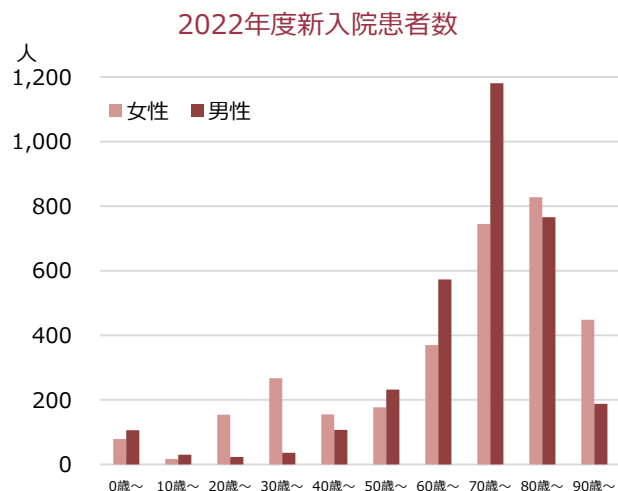
新入院患者数・延入院患者数の推移

単位：人

	2018年度		2019年度		2020年度		2021年度		2022年度	
	新入院	延入院	新入院	延入院	新入院	延入院	新入院	延入院	新入院	延入院
形成外科	63	619	37	423	1	1	0	0	0	0
脳神経外科	192	9,470	183	12,679	193	12,692	193	17,036	168	12,113
心臓血管外科	172	2,026	168	2,392	143	1,818	131	2,002	145	2,180
消化器外科	487	7,786	500	8,726	488	8,881	500	8,320	595	7,353
整形外科	576	19,188	575	20,201	556	19,014	590	20,723	545	19,543
内科	1,634	36,227	1,706	39,467	1,423	33,575	1,468	35,431	1,699	34,538
産婦人科	658	5,687	552	4,307	493	4,702	463	4,293	503	4,915
耳鼻咽喉科	101	829	94	607	69	484	72	464	73	719
眼科	473	1,194	460	1,128	382	933	455	1,063	472	1,074
泌尿器科	249	1,245	150	904	134	891	36	158	108	1,330
小児科	194	1,144	197	1,106	181	933	154	855	185	1,080
麻酔科	5	52	4	42	2	13	8	123	2	38
脳神経内科	115	6,120	105	5,516	82	6,056	58	3,450	0	0
皮膚科	30	388	43	597	62	1,924	58	1,172	89	1,078
循環器内科	592	7,913	495	7,089	453	7,424	489	8,198	559	7,455
リハビリテーション科	64	6,193	67	6,563	64	7,370	65	6,036	89	6,009
家庭医療科	168	6,795	156	6,168	151	5,755	168	5,600	191	5,984
緩和医療科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
消化器内科	936	12,120	901	12,573	801	9,030	786	6,517	1,058	7,286
心療内科	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1
合計	6,709	124,996	6,393	130,488	5,678	121,496	5,694	121,441	6,482	112,696
月当たり平均/日当たり平均	559 / 342		533 / 357		473 / 333		475 / 334		540 / 310	



年代別（男女別）新入院患者数

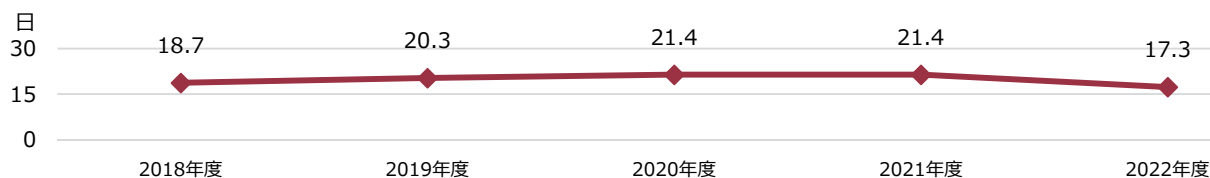


平均在院日数・病床稼働率

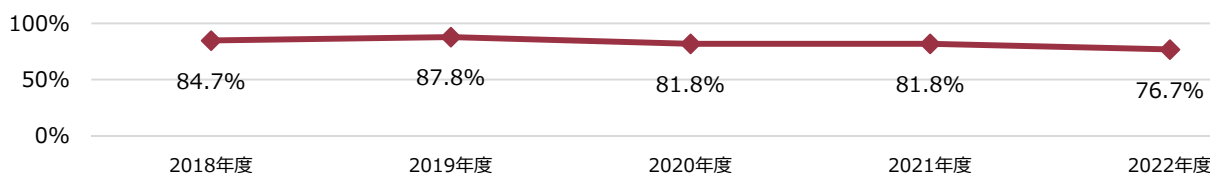
平均在院日数（全病棟）

単位：日

	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
形成外科	9.9	11	1	0	0
脳神経外科	49.3	70.1	69.4	89.4	67.9
心臓血管外科	11.9	14.3	12.8	15.5	14.7
消化器外科	15.9	17.2	17.7	16	12.2
整形外科	34.3	34.7	34.1	36	36.5
内科	22.5	23.5	24.3	24.8	20.4
産婦人科	8.6	7.8	9.5	9.3	9.7
耳鼻咽喉科	8.2	6.5	6.9	6.6	10
眼科	2.5	2.5	2.5	2.3	2.3
泌尿器科	5	5.9	6.5	4.4	12
小児科	5.9	5.6	5.2	5.6	5.8
麻酔科	10.4	10.5	8.7	13.7	15.2
脳神経内科	53	49.9	70.8	54.8	0
皮膚科	12.7	14.4	32.1	20	12.3
循環器内科	13.5	14.3	16.3	16.2	13.2
リハビリテーション科	90.4	94.4	103.8	88.8	68.3
家庭医療科	37.4	37.3	36.7	33.1	30.4
緩和医療科	-	-	-	-	-
消化器内科	12.9	13.6	11.1	8.2	6.9
月当たり平均	18.7	20.3	21.4	21.4	17.3



病床稼働率（全病棟）



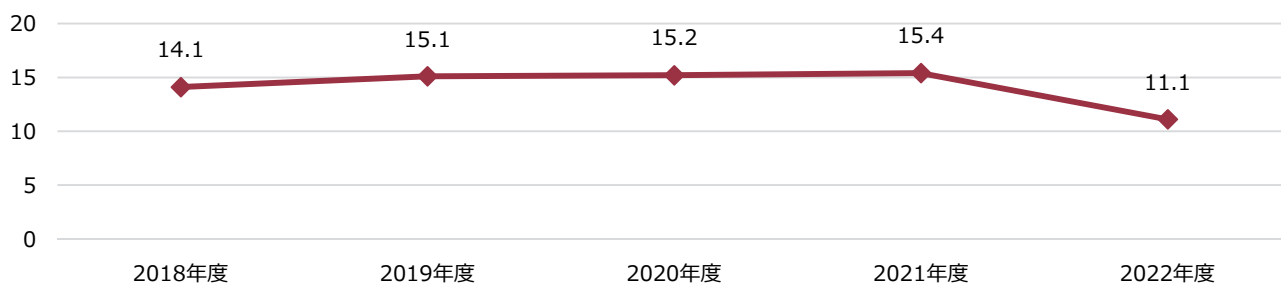
第3章 医療部門：診療統計・医療の質（恵寿総合病院）

病床機能別在院日数

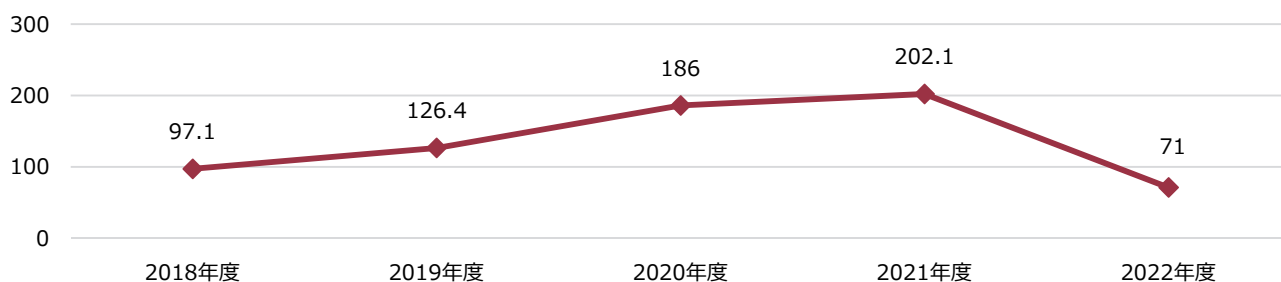
単位：日

	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
一般（7：1）	14.1	15.1	15.2	15.4	11.1
障害者	97.1	126.4	186	202.1	71
地域包括ケア	21.9	21.7	19.4	17.5	16.3
回復期リハビリテーション	59.9	61.4	59.7	62.1	52.1

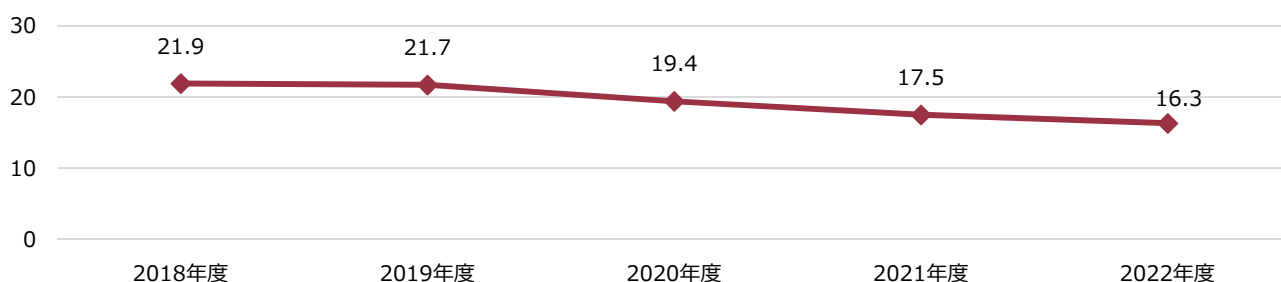
■ 平均在院日数（一般）



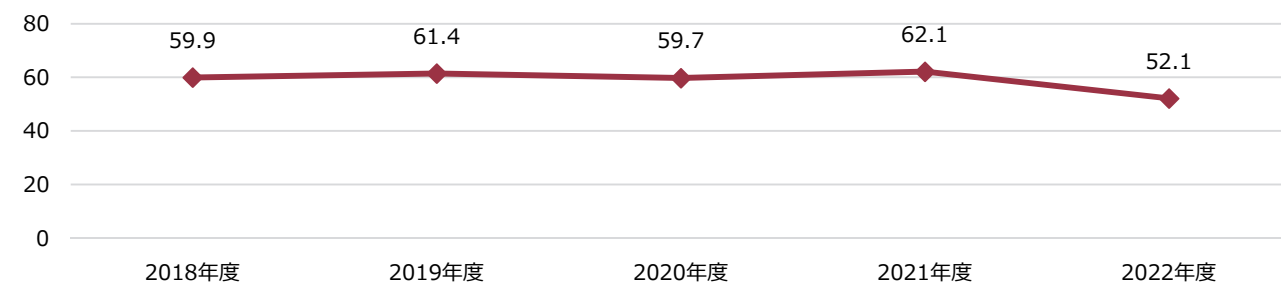
■ 平均在院日数（障害者）



■ 平均在院日数（地域包括ケア）



■ 平均在院日数（回復期リハビリテーション）



手術件数（恵寿総合病院）

手術件数・麻酔件数の推移

■手術件数

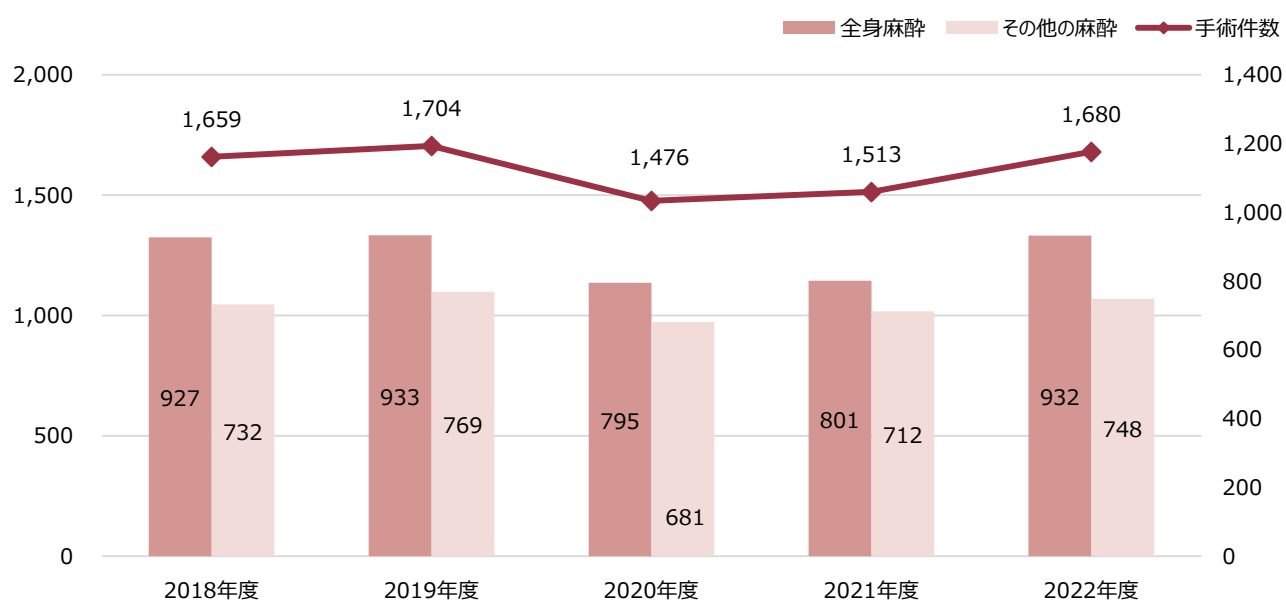
※手術室での件数 単位：件

	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
消化器外科	279	317	325	326	397
整形外科	330	406	319	335	356
形成外科	54	52	35	31	28
眼科	478	476	387	478	488
胸部呼吸器外科	0	0	0	0	0
産婦人科	180	146	146	152	164
耳鼻咽喉科	41	34	31	32	39
脳神経外科	13	19	10	7	11
泌尿器科	126	92	81	16	57
心臓血管外科	157	161	142	134	138
麻酔科	0	0	0	1	2
その他	1	1	0	1	0
合計	1,659	1,704	1,476	1,513	1,680

■麻酔件数

単位：件

	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
全身麻酔	927	933	795	801	932
その他麻酔	732	769	681	712	748

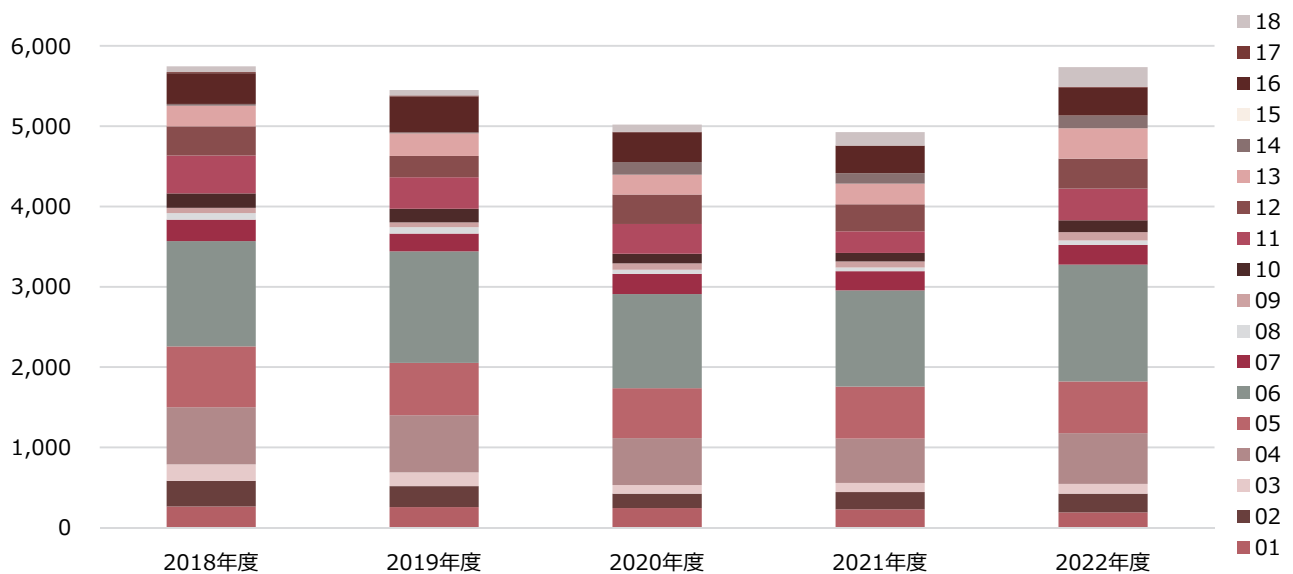


MDC別（恵寿総合病院）

MDC別件数

単位：件

	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
01 神経系疾患	266	257	245	230	192
02 眼科系疾患	317	261	179	215	233
03 耳鼻咽喉科系疾患	206	171	108	113	121
04 呼吸器系疾患	711	712	584	553	632
05 循環器系疾患	757	651	622	647	643
06 消化器系疾患、肝臓・胆道・膵臓疾患	1,313	1,389	1,172	1,197	1,455
07 筋骨格系疾患	266	222	251	239	245
08 皮膚・皮下組織の疾患	81	79	52	46	57
09 乳房の疾患	67	60	80	77	102
10 内分泌・栄養・代謝に関する疾患	179	170	118	104	148
11 腎・尿路系疾患及び男性生殖器系疾患	473	392	371	269	394
12 女性生殖器系疾患及び産褥期疾患・異常妊娠分娩	362	266	367	337	373
13 血液・造血器・免疫臓器の疾患	257	281	247	258	380
14 新生児疾患、先天性奇形	22	12	158	131	154
15 小児疾患	1	0	0	1	2
16 外傷・熱傷・中毒	381	446	370	339	348
17 精神疾患	14	14	6	3	10
18 その他	72	67	91	167	247
合計	5,745	5,450	5,021	4,926	5,736



疾病分類別患者数（恵寿総合病院）

単位：人

コード	大分類（基本体系）項目	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
I	感染症及び寄生虫症	132	171	131	158	160
II	新生物<腫瘍>	1,162	1,165	1,098	956	1,307
III	血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	27	36	43	60	62
IV	内分泌、栄養及び代謝疾患	154	128	101	123	151
V	精神及び行動の障害	21	23	13	6	18
VI	神経系の疾患	172	140	121	147	114
VII	眼及び付属器の疾患	482	469	383	466	479
VIII	耳及び乳様突起の疾患	83	73	52	40	47
IX	循環器系の疾患	921	865	880	912	942
X	呼吸器系の疾患	594	571	419	418	433
XI	消化器系の疾患	914	778	789	832	980
XII	皮膚及び皮下組織の疾患	58	43	52	45	66
XIII	筋骨格系及び結合組織の疾患	183	150	191	183	188
XIV	腎尿路生殖器系の疾患	445	431	346	308	364
XV	妊娠、分娩及び産じょく<褥>	458	363	364	326	365
XVI	周産期に発生した病態	177	172	161	131	163
XVII	先天奇形、変形及び染色体異常	10	8	7	7	5
XVIII	症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	11	14	0	7	25
XIX	損傷、中毒及びその他の外因の影響	531	529	527	508	556
XX I	健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	391	313	250	248	280
XX II	特殊目的用コード	0	0	4	110	183
	合計	6,926	6,442	5,932	5,991	6,888

年代別死亡退院患者数（恵寿総合病院）

2022年度

単位：人

国際分類	性別 年齢階層（歳）	男性							女性								
		20代以下	30代	40代	50代	60代	70代	80代以上	計	20代以下	30代	40代	50代	60代	70代	80代以上	計
I	感染症及び寄生虫症						2	4	6					1	1		2
II	新生物<腫瘍>				2	5	23	46	76		1	2	5	11	30		49
III	血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害								0								0
IV	内分泌、栄養及び代謝疾患							1	1								0
V	精神及び行動の障害						1		1								0
VI	神経系の疾患								0								0
IX	循環器系の疾患					4	7	19	30				3	9	18		30
X	呼吸器系の疾患				1	2	16	31	50				1	5	26		32
XI	消化器系の疾患				1		1	1	3					1	5		6
XII	皮膚及び皮下組織の疾患								0								0
XIII	筋骨格系及び結合組織の疾患								1	1							0
XIV	腎尿路生殖器系の疾患							4	4			1	1		4		6
XVI	周産期に発生した病態								0								0
XVII	先天奇形、変形及び染色体異常								0								0
XVIII	症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの				1		1	5	7				1	6	6		13
XIX	損傷、中毒及びその他の外因の影響							3	3								0
XX	傷病及び死亡の外因								0								0
XX II	特殊目的用コード							2	2						1		1
	合計	0	0	0	5	11	51	117	184	0	0	1	3	12	33	90	139

第3章 医療部門：診療統計・医療の質（恵寿総合病院）

疾病分類（中分類）別上位疾病（恵寿総合病院）

2022年度

コード	病名	患者数（人）	構成比（%）
H25	老人性白内障	446	6.5%
K63	腸のその他の疾患	393	5.7%
I50	心不全	251	3.6%
C34	気管支及び肺の悪性新生物	193	2.8%
U07	COVID-19	183	2.7%
C83	非ろく濾> 胞性リンパ腫	161	2.3%
C18	結腸の悪性新生物	154	2.2%
J69	固形物及び液状物による肺臓炎	148	2.1%
I20	狭心症	138	2.0%
I63	脳梗塞	138	2.0%
	その他	4,683	68.0%
合計		6,888	100.0%

2021年度

コード	病名	患者数（人）	構成比（%）
H25	老人性白内障	425	7.1%
K63	腸のその他の疾患	264	4.4%
I50	心不全	212	3.5%
I63	脳梗塞	157	2.6%
C34	気管支及び肺の悪性新生物	150	2.5%
J18	肺炎、病原体不詳	133	2.2%
I20	狭心症	118	2.0%
C18	結腸の悪性新生物	112	1.9%
U07	COVID-19	110	1.8%
J69	固形物及び液状物による肺臓炎	105	1.8%
	その他	4,205	70.2%
合計		5,991	100.0%

2020年度

コード	病名	患者数（人）	構成比（%）
H25	老人性白内障	344	5.8%
I50	心不全	188	3.2%
C34	気管支及び肺の悪性新生物	183	3.1%
I63	脳梗塞	169	2.8%
K63	腸のその他の疾患	157	2.6%
J69	固形物及び液状物による肺臓炎	138	2.3%
K80	胆石症	135	2.3%
C18	結腸の悪性新生物	119	2.0%
S32	腰椎及び骨盤の骨折	111	1.9%
I20	狭心症	101	1.7%
	その他	4,287	72.3%
合計		5,932	100.0%

2019年度

コード	病名	患者数（人）	構成比（%）
H25	老人性白内障	420	6.5%
K63	腸のその他の疾患	180	2.8%
I50	心不全	179	2.8%
C34	気管支及び肺の悪性新生物	175	2.7%
J69	固形物及び液状物による肺臓炎	170	2.6%
I63	脳梗塞	159	2.5%
J18	肺炎、病原体不詳	152	2.4%
C16	胃の悪性新生物	136	2.1%
Z12	新生物（腫瘍）の特殊スクリーニング検査	136	2.1%
C18	結腸の悪性新生物	110	1.7%
	その他	4,635	71.8%
合計		6,452	100.0%

2018年度

コード	病名	患者数（人）	構成比（%）
H25	老人性白内障	425	6.1%
K63	腸のその他の疾患	247	3.6%
I50	心不全	190	2.7%
J69	固形物及び液状物による肺臓炎	172	2.5%
I63	脳梗塞	167	2.4%
C16	胃の悪性新生物	152	2.2%
C34	気管支及び肺の悪性新生物	144	2.1%
J18	肺炎、病原体不詳	141	2.0%
Z13	その他の疾患及び障害の特殊スクリーニング検査	138	2.0%
I20	狭心症	111	1.6%
	その他	5,039	72.8%
合計		6,926	100.0%

悪性新生物の国際疾病別 退院数及び内死亡数（恵寿総合病院）

単位：人

コード	中分類項目	2018年度		2019年度		2020年度		2021年度		2022年度	
		退院	死亡	退院	死亡	退院	死亡	退院	死亡	退院	死亡
C03	歯肉の悪性新生物	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
C05	口蓋の悪性新生物	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
C06	その他及び部位不明の口腔	-	1	-	-	1	1	-	-	-	-
C12	梨状陥凹<洞>の悪性新生物<腫瘍>	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-
C15	食道	26	5	33	3	7	-	13	1	8	1
C16	胃	152	13	136	13	99	19	83	12	120	13
C17	小腸	9	1	7	1	7	-	4	3	4	-
C18	結腸	73	7	110	12	119	15	112	10	154	11
C19	直腸S状結腸移行部	1	-	-	-	1	-	1	-	5	-
C20	直腸	41	6	62	3	63	9	62	2	61	4
C21	肛門および肛門管の悪性新生物	2	-	-	-	1	1	-	-	-	-
C22	肝及び肝内胆管	40	4	35	4	37	4	37	3	35	5
C23	胆のう<嚢>	10	2	7	3	5	2	4	-	-	1
C24	その他及び部位不明の胆道	29	4	23	6	39	6	18	8	19	3
C25	膵	40	10	49	16	40	15	35	8	64	9
C26	その他及び部位不明確の消化器の悪性新生物	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-
C31	副鼻腔	-	-	1	-	-	-	-	-	1	1
C32	喉頭	2	-	-	-	-	-	1	-	5	-
C34	気管支および肺	144	30	175	25	183	34	150	29	193	31
C37	胸腺	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-
C38	心臓、縦隔及び胸膜	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
C41	その他及び部位不明の骨及び関節軟骨	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
C43	皮膚の悪性黒色腫	1	-	-	-	-	-	-	-	3	1
C44	皮膚のその他	4	-	6	-	2	-	-	-	2	-
C45	中皮腫	1	-	2	-	2	1	-	-	1	-
C48	後腹膜及び腹膜	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-
C49	その他の結合組織及び軟部組織	7	-	2	1	-	-	1	1	2	1
C50	乳房	71	3	65	5	78	4	89	7	103	3
C51	外陰（部）	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-
C53	子宮頸部	7	-	2	-	1	-	6	-	4	2
C54	子宮体部	7	-	2	-	14	1	7	1	5	-
C55	子宮の悪性新生物、部位不明	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-
C56	卵巣	5	2	9	3	4	2	1	-	5	2
C61	前立腺	47	-	35	1	28	-	6	1	23	4
C62	精巣<睪丸>	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
C64	腎盂を除く腎	4	1	1	-	4	2	-	1	2	3
C65	腎盂	1	-	3	-	1	1	-	-	-	-
C66	尿管	3	1	1	2	1	-	1	1	1	-
C67	膀胱	67	1	45	4	36	3	8	1	38	2
C71	脳	1	1	2	1	-	-	-	-	3	1
C73	甲状腺	-	-	-	-	3	-	3	-	8	-
C77	リンパ節の続発性及び部位不明	1	-	1	-	1	-	5	-	3	-
C78	呼吸器及び消化器の続発性悪性新生物<腫瘍>	18	2	4	-	7	1	8	-	20	1
C79	その他の部位及び部位不明の続発性悪性新生物<腫瘍>	9	-	7	-	20	-	12	-	7	-
C80	悪性新生物<腫瘍>、部位が明示されていないもの	4	2	1	1	4	-	-	1	2	-
C81	ホジキン<Hodgkin>リンパ腫	1	1	6	-	3	-	1	-	-	-
C82	ろ<濾>胞性リンパ腫	10	-	21	-	6	-	14	-	25	-
C83	非ろ<濾>胞性リンパ腫	74	4	60	3	78	-	81	6	161	7
C84	成熟T/NK細胞リンパ腫	11	1	15	2	23	1	6	1	17	1
C85	非ホジキン<non-Hodgkin>リンパ腫のその他及び詳細不明の型	7	3	8	3	12	5	6	2	9	4
C86	T/NK細胞リンパ腫のその他の明示された型	12	1	11	-	4	-	3	-	2	-
C88	悪性免疫増殖性疾患	1	-	3	-	2	-	3	-	9	-
C90	多発性骨髄腫及び悪性形質細胞性新生物<腫瘍>	26	6	35	8	23	3	19	3	46	1
C91	リンパ性白血病	6	-	3	1	4	-	2	-	1	-
C92	骨髄性白血病	28	3	30	4	19	5	39	4	54	7
C93	単球性白血病	-	-	1	-	1	-	-	-	2	1
C95	細胞型不明の白血病	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-
C96	リンパ組織、造血組織及び関連組織のその他及び詳細不明	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-
D04	皮膚の上皮内癌	2	-	-	-	-	-	1	-	-	-
D06	子宮頸（部）の上皮内癌	2	-	1	-	-	-	1	-	-	-
合計		1,010	115	1,021	127	989	136	848	106	1,229	120

※5年間件数なしの項目は省略

48時間以内死亡患者数（恵寿総合病院）

単位：人

	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
退院患者数	6,660	9,723	5,671	5,682	6,532
死亡患者数	337	368	363	364	391
入院後48時間以内死亡患者数	40	31	29	44	44

2022年度死亡要因上位件数（中分類）（恵寿総合病院）

全体

コード	病名	死亡患者数 (人)	構成比 (%)
R54	老衰	46	11.8%
J69	固形物及び液状物による肺臓炎	43	11.0%
C34	気管支及び肺の悪性新生物	34	8.7%
I50	心不全	32	8.2%
J18	肺炎、病原体不詳	26	6.6%
C16	胃の悪性新生物	13	3.3%
I21	急性心筋梗塞	11	2.8%
C18	結腸の悪性新生物	11	2.8%
I63	脳梗塞	9	2.3%
C25	膵の悪性新生物	9	2.3%
	その他	157	40.2%
	合計	391	100.0%

男性

コード	病名	患者数 (人)	構成比 (%)
J69	固形物及び液状物による肺臓炎	26	12.5%
C34	気管支及び肺の悪性新生物	25	12.0%
I50	心不全	15	7.2%
J18	肺炎、病原体不詳	13	6.3%
R54	老衰	13	6.3%
I21	急性心筋梗塞	8	3.8%
C18	結腸の悪性新生物	7	3.4%
C16	胃の悪性新生物	6	2.9%
J84	その他の間質性肺疾患	6	2.9%
C22	肝及び肝内胆管の悪性新生物	5	2.4%
	その他	84	40.4%
	合計	208	100.0%

女性

コード	病名	患者数 (人)	構成比 (%)
R54	老衰	33	18.0%
J69	固形物及び液状物による肺臓炎	17	9.3%
I50	心不全	17	9.3%
J18	肺炎、病原体不詳	13	7.1%
C34	気管支及び肺の悪性新生物	9	4.9%
C16	胃の悪性新生物	7	3.8%
I63	脳梗塞	6	3.3%
C25	膵の悪性新生物	6	3.3%
N39	尿路系のその他の障害	5	2.7%
I61	脳内出血	4	2.2%
	その他	66	36.1%
	合計	183	100.0%

医療Quality Indicator (恵寿総合病院)

区分	項目	2020年度		2021年度		2022年度		計算式	
		件数	母数	件数	母数	件数	母数		
		率		率		率			
基本情報	新入院患者数		5,678		5,694		6,482		
	述べ入院患者数		121,496		121,441		112,696		
	退院患者数		5,671		5,682		6,532		
	①死亡退院患者率	345	5,671	314	5,682	323	6,532	死亡退院患者数/月間退院患者	
			6.1%		5.5%		4.9%		
	②退院後2週間以内の入院サマリ完成率	5,654	5,932	5,793	5,991	6,461	6,888	退院後2週間以内の入院サマリ完成件数/退院患者件数(転科含む)	
			95.3%		96.7%		93.8%		
	③バス適用率	2,556	5,678	2,707	5,694	5,908	6,482	電子バス適用件数/新入院患者数	
			45.0%		47.5%		91.1%		
	④入院24時間以内の死亡	18	5,678	23	5,694	30	6,482	24時間以内の死亡数/新入院患者数	
			0.3%		0.4%		0.5%		
	⑤紹介率	4,876	5,642	4,992	6,028	5,337	8,254	他施設からの二次健診+初診紹介件数/初診患者数-(時間内救急車数+休日時間外初診)	
			86.4%		82.8%		64.7%		
⑥逆紹介率	3,652	5,642	5,444	6,028	6,116	8,254	逆紹介患者数/初診患者数-(時間内救急車数+休日時間外初診)		
		64.7%		90.3%		74.1%			
⑦医師返書3日以内作成達成率	2,957	3,430	3,293	3,632	3,548	3,922	返書が必要とされる紹介状件数/紹介日を1日として3日以内に返書が作成された数		
		86.2%		90.7%		90.5%			
⑧職員の健診受診率(全職員)	732	732	770	770	840	840	全職員健診受診件数/全職員数(休職者を除く)		
		100%		100%		100%			
(1) 病院全体	(医師)	71	71	68	68	62	62	医師健診受診件数/常勤医師数	
			100.0%		100%		100%		
	⑨苦情件数率(全体)	63	134	44	100	53	117	苦情件数/相談件数(アドボカシー相談件数)	
	アドボカシー室		47.0%		44.0%		45.3%	※内容によっては複数職種の場合	
	(診療部)	7	24	5	13	5	11		
			29.2%		38.5%		45.5%		
	(看護部)	25	52	13	29	22	45		
			48.1%		44.8%		48.9%		
	(事務部)	7	10	7	15	6	9	苦情件数/相談件数(アドボカシー相談件数)	
			70.0%		46.7%		66.7%		
	(医療技術部)	1	6	2	8	1	3		
			16.7%		25.0%		33.3%		
	(その他)	23	42	17	35	19	49		
		54.8%		48.6%		38.8%			
⑩救急車受け入れ不能件数(月平均)率	3(0.25)	1,285	7(0.6)	1,422	23(1.9)	1,642	救急車受け入れ不能件数(月平均)/救急車受け入れ要請件数		
		0.2%		0.5%		1.4%			
⑪七鹿広域圏救急搬送件数、率	1,082	2,684	1,194	2,966	1,376	3,514	七鹿広域圏救急搬送件数、率		
		40.3%		40.3%		39.2%			
⑫救急搬送入院率	791	1,286	844	1,422	913	1,642	救急搬送により入院した患者数/救急搬送件数(広域圏)※他病院救急車を除く		
		61.5%		59.4%		55.6%			
⑬入院患者のリハビリ実施率	81,823	121,496	85,316	121,441	80,990	112,696	リハビリ実施延べ人数/延べ入院患者数		
		67.3%		70.3%		71.9%			
(2) 医療安全	①転倒転落件数、転倒転落率	414(12)	121,496	405(17)	121,441	373(8)	112,696	延べ転倒転落数(リスクレベル3b以上)/延べ入院患者数	
			0.34%(0.01%)		0.33%(0.01%)		0.33%(0.01%)		
	②アクシデントレポート提出件数、提出率	1,075	121,496	1,118	121,441	1,043	112,696	アクシデントレポート提出件数/延べ入院患者数	
			0.88%		0.92%		0.93%		
	③24時間以内の再手術率	1	1,487	1	1,515	2	1,683	24時間以内の再手術患者数/手術実施患者数	
			0.07%		0.07%		0.12%		
	④手術後24時間以内の死亡率	5	1,487	4	1,515	4	1,683	手術24時間以内の死亡患者数/手術実施患者数	
			0.34%		0.26%		0.24%		
	⑤褥瘡推定発生率	32	3,825	31	3,892	31	3,619	褥瘡保有者数-新規自宅発生件数/患者数(月末)	
			0.8%		0.8%		0.9%		
	⑥血液・体液曝露(針刺し)件数		32		26		25		
	(3) 感染対策	①中心ライン関連血流感染(CLABSI)発生率	6	5,271	10	5,485	8	6,043	(中心静脈カテーテル関連血流感染患者数/カテーテル延べ使用日数)×1000 集計対象：3-2Fと5-4Fを除く病棟
				1.1		1.8		1.3	
②血液培養2セット率		1,842	1,992	1,767	1,868	1,786	1,905	2セット数/入院・外来患者を含む全血液培養提出数	
			92.5%		94.6%		93.8%		
③モニタリング抗菌薬投与前検体提出率		587	644	657	705	693	757	抗菌薬*1投与前培養検体*2提出入院患者数/モニタリング抗菌薬使用入院患者数×100*1抗菌薬とは、先行抗菌薬開始時orモニタリング抗菌薬開始時・変更時*2培養検体とは、血液・喀痰・尿とする	
			91.1%		93.2%		91.5%		
④血液培養陽性率		276	2,010	228	1,868	253	1,905	血液培養陽性数/入院・外来患者を含む全血液培養提出数	
		13.7%		12.2%		13.3%			
⑤擦式アルコール手指消毒剤使用量	1,505.8ℓ	121,496	1,567.4ℓ	121,441	1,583.6ℓ	112,696	擦式アルコール手指消毒剤使用量/延べ入院患者数		
		12.4ml		12.9ml		14.1ml			
⑥特定抗菌薬届出率	411	411	449	449	505	505	特定抗菌薬届出数/特定抗菌薬処方患者数		
		100.0%		100%		100%			
(4) 安全衛生	①落下針件数		4		2		3		

第3章 医療部門：診療統計・医療の質 (恵寿総合病院)

外来患者数（恵寿金沢病院）

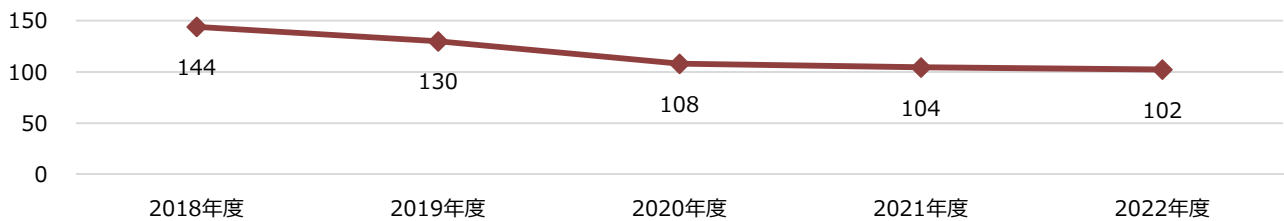
外来患者数の推移

※上段：患者延数 下段：1日当たりの平均患者数 単位：人

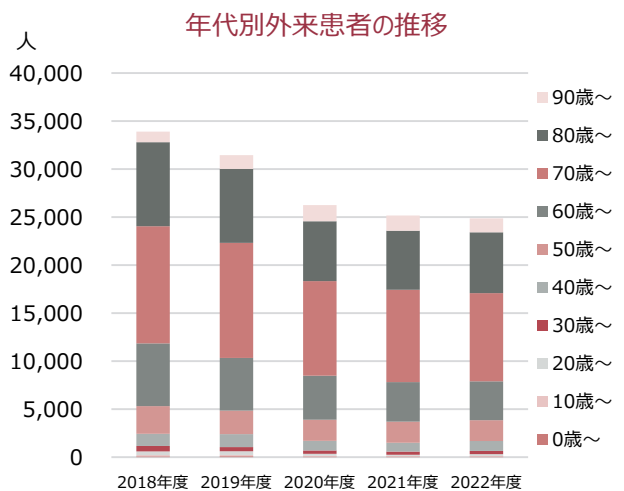
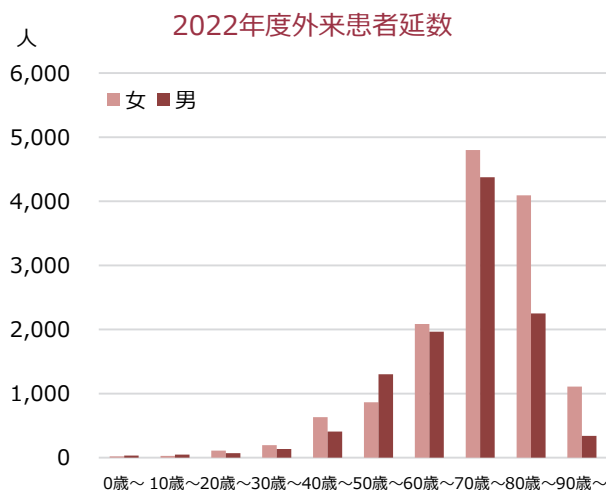
	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
内科	12,430	11,925	11,256	10,774	10,934
外科	1,209	1,036	2,490	1,724	1,965
整形外科	17,385	14,703	9,273	9,324	8,650
眼科	3,468	3,428	2,977	3,120	3,024
耳鼻咽喉科	395	352	239	218	290
合計	34,887	31,444	26,235	25,160	24,863
日当たり合計	144	130	108	104	102
稼働日	242	242	243	241	243

2018年4月より、耳鼻咽喉科外来診療体制は週1日（火曜日午後のみ）に変更した。

外来患者数1日あたり平均



年代別（男女別）外来患者数

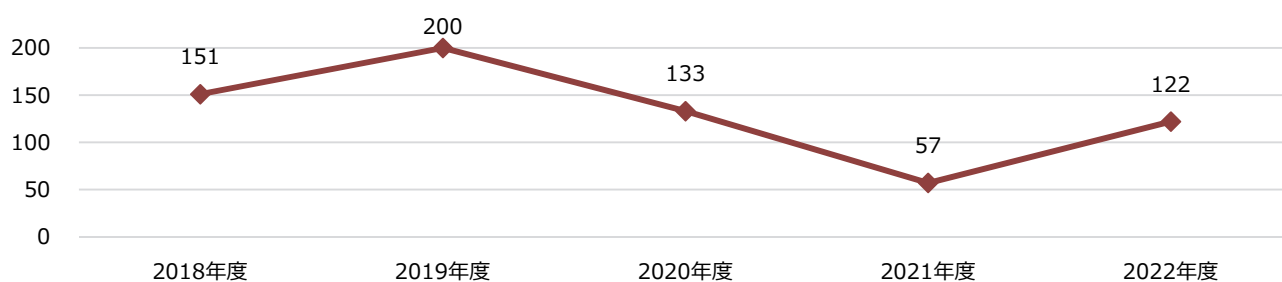


救急外来患者数（恵寿金沢病院）

救急外来患者数の推移

単位：人

	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
内科	83	96	77	45	82
外科	6	18	7	3	8
整形外科	53	84	48	7	30
眼科	9	2	1	2	2
総計	151	200	133	57	122



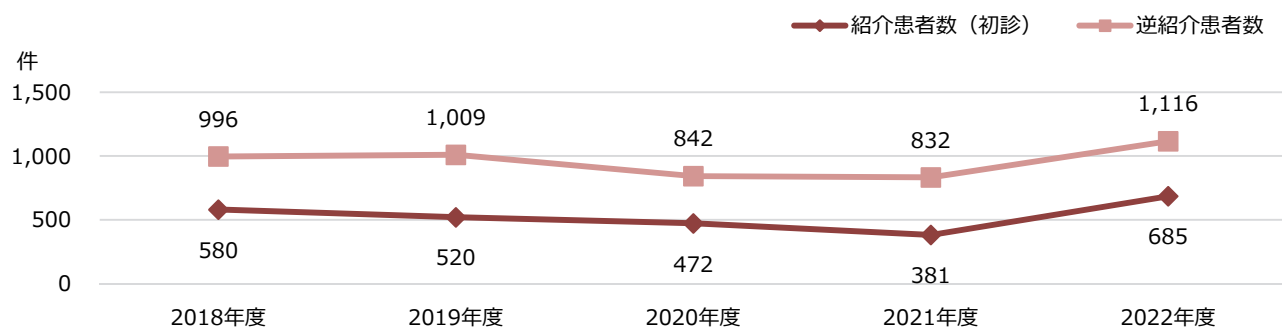
救急車受け入れ台数の推移

	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
救急搬送件（件）	100	89	69	45	69
入院率（%）	61.0%	63.0%	53.6%	82.2%	76.8%

紹介患者数（恵寿金沢病院）

紹介患者数・逆紹介患者数の推移

	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
紹介率	32.7%	33.2%	38.8%	37.3%	42.8%
逆紹介率	47.8%	55%	60.4%	72.7%	85.9%

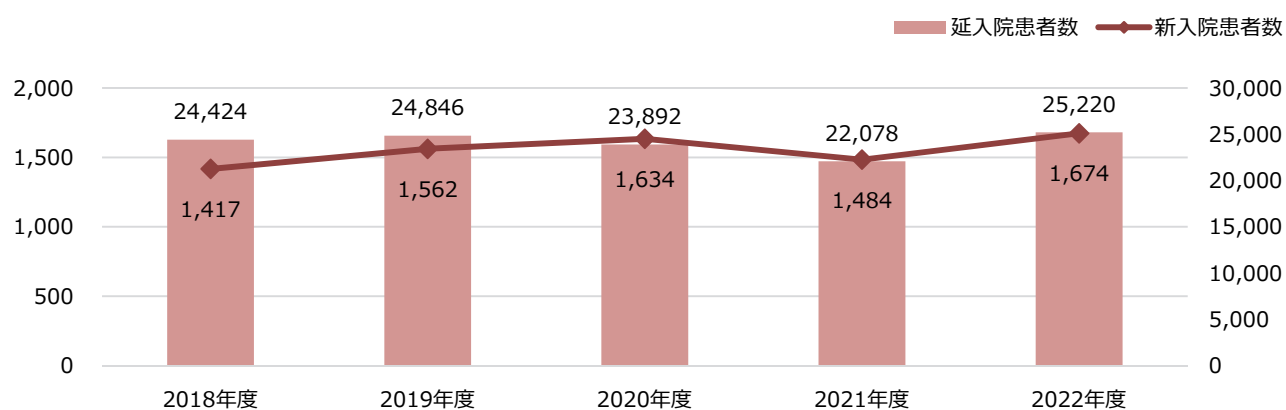


入院患者数（恵寿金沢病院）

新入院患者数・延入院患者数の推移

単位：人

	2018年度		2019年度		2020年度		2021年度		2022年度	
	新入院	延入院	新入院	延入院	新入院	延入院	新入院	延入院	新入院	延入院
内科	1,019	18,926	1,231	19,965	1,299	20,103	1,107	17,891	1,286	18,191
外科	-	-	-	-	125	959	108	1,120	141	1,824
整形外科	267	5,222	207	4,619	105	2,562	108	2,790	153	4,972
眼科	131	276	125	262	105	268	121	277	94	233
合計	1,417	24,424	1,563	24,846	1,634	23,892	1,444	22,078	1,674	25,220
月当たり平均／日当たり平均	118 / 67		130 / 67		136 / 66		120 / 60		139 / 69	

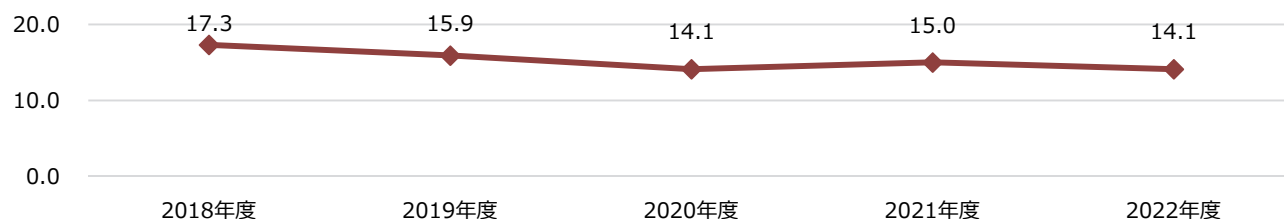


平均在院日数・病床稼働率

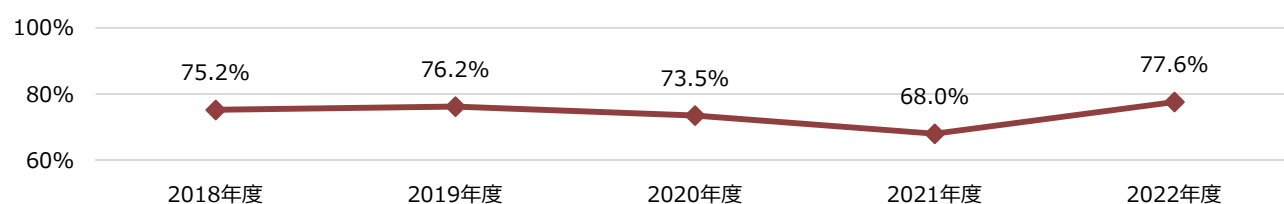
■ 平均在院日数（全病棟）

単位：日

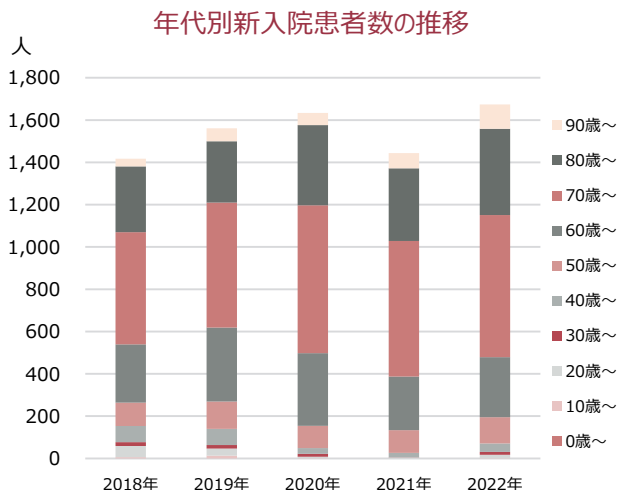
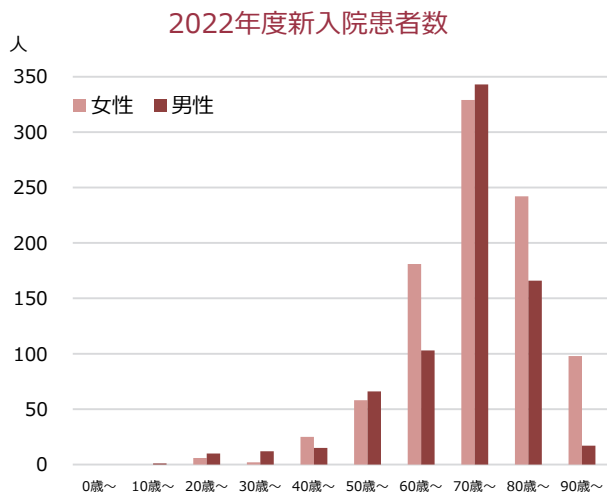
	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
内科	18.7	16.1	14.9	15.3	13.2
外科	-	-	6.4	9.4	12.2
整形外科	19.3	22.6	22.2	23.8	32.2
眼科	2.1	2.0	1.5	1.2	1.5
月当たり平均	17.3	15.9	14.1	15.0	14.1



■ 病床稼働率（全病棟）



年代別（男女別）新入院患者数



手術件数（恵寿金沢病院）

手術件数・麻酔件数の推移

■手術件数

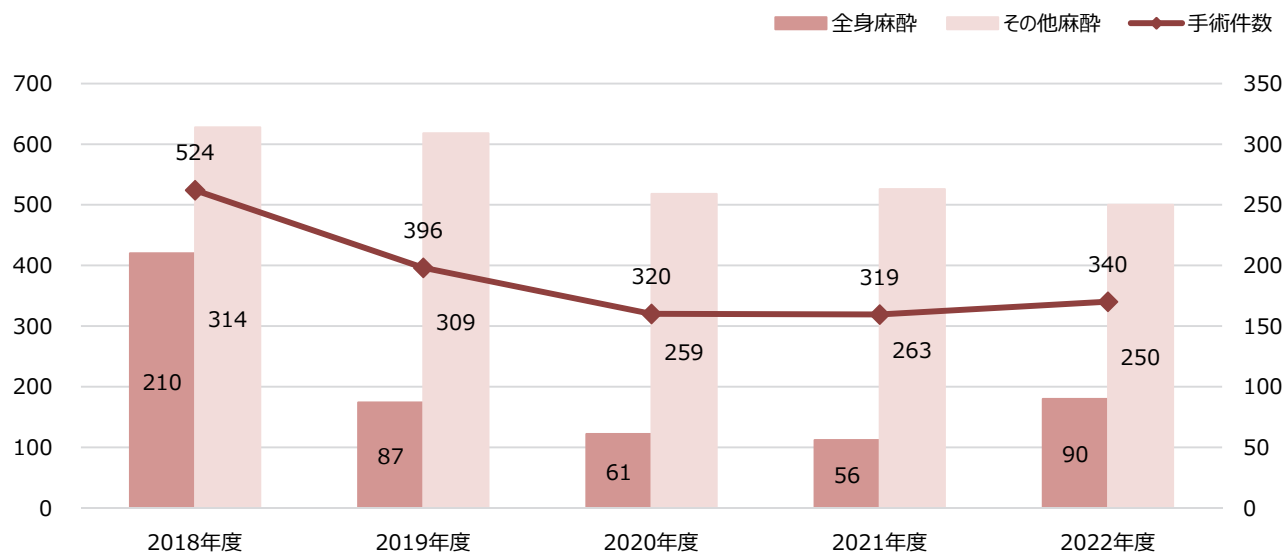
※手術室での件数 単位：件

	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
外科	42	38	69	58	62
整形外科	312	156	73	58	86
眼科	170	202	178	203	192
合計	524	396	320	319	340

■麻酔件数

単位：件

	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
全身麻酔	210	87	61	56	90
その他麻酔	314	309	259	263	250



疾病分類別患者数（恵寿金沢病院）

単位：人

コード	大分類（基本体系）項目	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
I	感染症及び寄生虫症	19	14	33	3	16
II	新生物<腫瘍>	888	1,063	1,180	1,111	1,280
III	血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	18	41	30	19	14
IV	内分泌、栄養及び代謝疾患	6	10	26	8	15
V	精神および行動の障害	5	4	4	5	0
VI	神経系の疾患	6	4	3	0	4
VII	眼及び付属器の疾患	131	122	108	121	92
VIII	耳及び乳様突起の疾患	1	5	4	1	2
IX	循環器系の疾患	13	16	30	8	22
X	呼吸器系の疾患	47	50	34	41	30
X I	消化器系の疾患	10	11	51	15	28
X II	皮膚及び皮下組織の疾患	7	13	19	18	18
X III	筋骨格系及び結合組織の疾患	108	48	45	33	37
X IV	腎尿路生殖器系の疾患	6	6	14	2	11
X V	妊娠、分娩及び産じょく<褥>	0	0	0	0	0
X VI	周産期に発生した病態	0	0	0	0	0
X VII	先天奇形、変形及び染色体異常	0	0	0	0	0
X VIII	症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	5	7	5	0	0
X IX	損傷、中毒及びその他の外因の影響	166	135	75	69	96
X X I	健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	0	1	0	0	0
合計		1,436	1,550	1,661	1,454	1,665

年代別死亡退院患者数（恵寿金沢病院）

2022年度

単位：人

国際分類	性別	男性								女性							
		年齢階層（歳）								年齢階層（歳）							
		20代以下	30代	40代	50代	60代	70代	80代以上	計	20代以下	30代	40代	50代	60代	70代	80代以上	計
C18	結腸の悪性新生物						1		1							1	1
C25	膵の悪性新生物				1				1								0
C34	気管支及び肺の悪性新生物						1		1								0
C44	皮膚のその他の悪性新生物								0							1	1
C56	卵巣の悪性新生物								0							1	1
C79	その他の部位及び部位不明の続発性悪性新生物						1		1								0
C80	部位の明示されない悪性新生物					1			1								0
C83	非濾胞性リンパ腫					1			1				1	2	1	4	
C85	非ホジキンリンパ腫			1		1	2	3	7							3	3
C90	多発性骨髄腫					1		1	2						2	2	4
C92	骨髄性白血病						1	3	4				1	2	3	6	
D46	骨髄異形成症候群							3	3							1	1
D47	リンパ組織、造血組織及び関連組織の性状不詳又は不明その他の新生物								0					1	1	2	
D69	紫斑病及びその他の出血性病態						1		1								0
D75	血液及び造血器のその他の疾患							1	1								0
I27	その他の肺性心疾患								0							1	1
I50	心不全								0							2	2
J15	細菌性肺炎							1	1								0
J18	肺炎							1	1								0
J84	その他の間質性肺疾患						1		1								0
N12	尿細管間質性腎炎、急性又は慢性と明示されないもの							1	1								0
R02	壊疽、他に分類されないもの								0							1	1
合計		0	0	1	1	4	8	14	28	0	0	0	0	2	7	18	27

疾病分類（中分類）別上位疾病（恵寿金沢病院）

2022年度

コード	病名	患者数（人）	構成比（%）
C90	多発性骨髄腫	531	31.9%
C85	非ホジキンリンパ腫	171	10.3%
C83	びまん性非ホジキンリンパ腫	164	9.8%
C82	濾胞性非ホジキンリンパ腫	90	5.4%
D46	骨髄異形成症候群	84	5.0%
D37	口腔及び消化器の性状不詳又は不明の新生物	73	4.4%
C92	骨髄性白血病	56	3.4%
H04	涙器の障害	42	2.5%
H25	老人性白内障	40	2.4%
	その他	414	24.9%
		1,665	100.0%

2021年度

コード	病名	患者数（人）	構成比（%）
C90	多発性骨髄腫	409	24.6%
C85	非ホジキンリンパ腫	386	23.2%
C83	びまん性非ホジキンリンパ腫	103	6.2%
D46	骨髄異形成症候群	82	4.9%
H25	老人性白内障	60	3.6%
C92	骨髄性白血病	44	2.6%
D37	口腔及び消化器の性状不詳又は不明の新生物	44	2.6%
H04	涙器の障害	29	1.7%
C82	濾胞性非ホジキンリンパ腫	29	1.7%
	その他	456	27.5%
合計		1,661	100.0%

2020年度

コード	病名	患者数（人）	構成比（%）
C85	非ホジキンリンパ腫	409	24.6%
C90	多発性骨髄腫	386	23.2%
D46	骨髄異形成症候群	103	6.2%
C83	びまん性非ホジキンリンパ腫	82	4.9%
H25	老人性白内障	60	3.6%
H04	涙器の障害	44	2.6%
D37	口腔及び消化器の性状不詳又は不明の新生物	44	2.6%
C82	濾胞性非ホジキンリンパ腫	29	1.7%
C92	骨髄腫白血病	29	1.7%
J18	肺炎	19	1.1%
	その他	456	27.5%
合計		1,661	100.0%

2019年度

コード	病名	患者数（人）	構成比（%）
C85	非ホジキンリンパ腫	461	29.8%
C90	多発性骨髄腫	265	17.1%
D46	骨髄異形成症候群	79	5.1%
C83	びまん性非ホジキンリンパ腫	71	4.6%
H25	老人性白内障	63	4.1%
H04	涙器の障害	56	3.6%
C82	濾胞性非ホジキンリンパ腫	48	3.1%
C92	骨髄腫白血病	46	3.0%
C81	ホジキン病	38	2.5%
C91	リンパ性白血病	33	2.1%
	その他	389	25.1%
合計		1,549	100.0%

2018年度

コード	病名	患者数（人）	構成比（%）
C85	非ホジキンリンパ腫	428	29.8%
C90	多発性骨髄腫	180	12.5%
H25	老人性白内障	78	5.4%
C92	骨髄性白血病	66	4.6%
C82	濾胞性リンパ腫	63	4.4%
D46	骨髄異形成症候群	54	3.8%
H04	涙器の障害	50	3.5%
C91	リンパ性白血病	39	2.7%
S52	前腕の骨折	31	2.2%
M48	その他の脊椎障害	29	2.0%
	その他	418	29.1%
合計		1,436	100.0%

48時間以内死亡患者数（恵寿金沢病院）

単位：人

	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
退院患者数	1,415	1,554	1,649	1,454	1,665
死亡患者数	47	44	49	45	54
入院後48時間以内死亡患者数	0	0	0	0	1

2022年度死亡要因上位件数（中分類）（恵寿金沢病院）

全体

コード	病名	死亡患者数 (人)	構成比 (%)
C85	非ホジキンリンパ腫	10	18.2%
C92	急性骨髄性白血病	10	18.2%
C90	多発性骨髄腫	6	10.9%
C83	濾胞性リンパ腫	5	9.1%
D46	骨髄異形成症候群	4	7.3%
C18	結腸の悪性新生物	2	3.6%
D47	リンパ組織、造血組織及び関連組織の性状不詳又は不明のその他の新生物	2	3.6%
	その他	16	29.1%
合計		55	81.8%

男性

コード	病名	患者数 (人)	構成比 (%)
C85	非ホジキンリンパ腫	7	25.0%
C92	急性骨髄性白血病	4	14.3%
D46	骨髄異形成症候群	3	10.7%
	その他	14	50.0%
合計		28	100.0%

女性

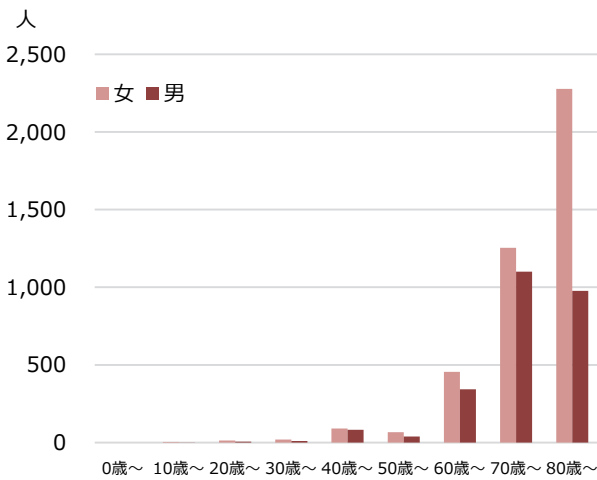
コード	病名	患者数 (人)	構成比 (%)
C92	急性骨髄性白血病	6	22.2%
C83	濾胞性リンパ腫	4	14.8%
C90	多発性骨髄腫	4	14.8%
C85	非ホジキンリンパ腫	3	11.1%
	その他	10	37.0%
合計		27	100.0%

医療Quality Indicator (恵寿金沢病院)

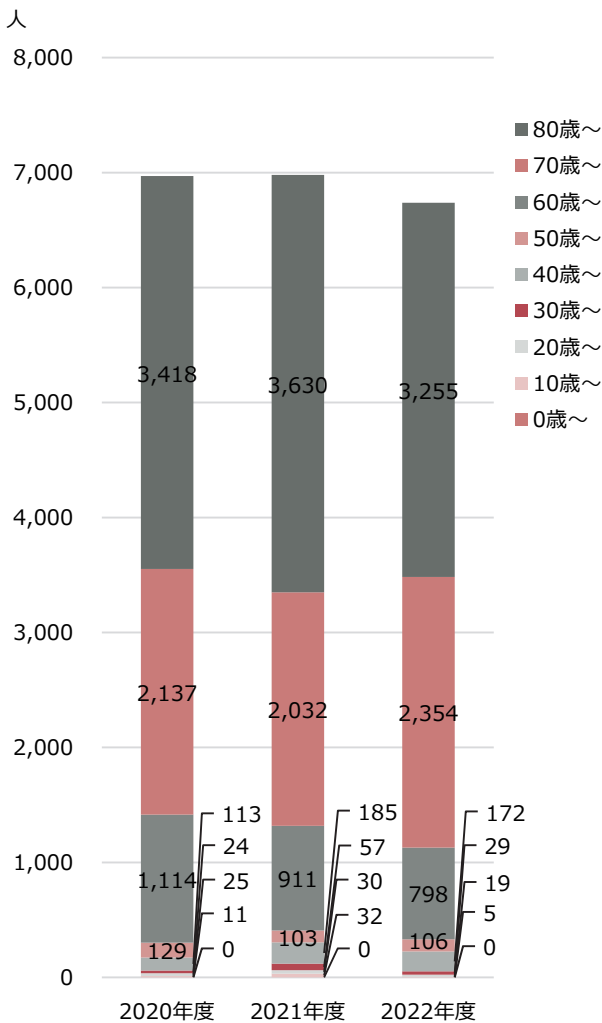
区分	項目	2020年度		2021年度		2022年度		計算式
		件数	母数	件数	母数	件数	母数	
		率		率		率		
基本情報	新入院患者数(ドック除く)		1,634		1,444		1,674	
	述べ入院患者数		23,892		21,976		25,272	
	退院患者数(ドック除く)		1,649		1,454		1,665	
(1) 病院全体	①死亡退院患者率	49	1,649	45	1,454	54	1,665	死亡退院患者数/月間退院患者(ドック除く)
			3.0%		3.1%		3.2%	
	②退院後2週間以内の入院サマリ完成率	1,502	1,661	1,338	1,454	1,568	1,665	退院後2週間以内の入院サマリ完成件数/退院患者件数(転科含む)
			90.4%		92.0%		94.2%	
	③入院24時間以内の死亡	0	1,634	0	1,444	1	1,674	24時間以内の死亡数/新入院患者数(ドック除く)
			0.0%		0.0%		0.1%	
	④紹介率	541	1,393	427	1,144	554	1,307	紹介患者数+救急患者数+二次健診数/初診患者数
			38.8%		37.3%		42.4%	
	⑤逆紹介率	842	1,393	832	1,144	1,116	1,307	逆紹介患者数/初診患者数
			60.4%		72.7%		85.4%	
(2) 医療安全	⑥職員の健診受診率(全職員)	144	144	129	129	130	130	全職員健診受診件数/全職員数(休職者を除く)
			100.0%		100.0%		100.0%	
	(医師)	11	11	11	11	9	9	医師健診受診件数/常勤医師数
			100.0%		100.0%		100.0%	
	⑦医師返書作成日数		3.4日		3.6日		3.8日	返書作成平均日数
	⑧入院患者のリハビリ実施率	14,212	23,892	11,898	21,976	14,942	25,272	リハビリ実施延べ人数/延べ入院患者数
			59.5%		54.1%		59.1%	
(3) 感染対策	①転倒転落件数、転倒転落率	0	23,892	2	21,976	2	25,272	延べ転倒転落数(リスクレベル3b以上)/延べ入院患者
			0.00%		0.01%		0.01%	
	②インシデント・アクシデントレポート提出件数、提出率	255	23,892	193	21,976	204	25,272	アクシデントレポート提出件数/延べ入院患者数
			1.1%		0.9%		0.8%	
	③24時間以内の再手術率	0	320	0	319	0	340	24時間以内の再手術患者数/手術実施患者数
		0%		0%		0%		
④手術後24時間以内の死亡率	0	320	0	319	0	340	手術24時間以内の死亡患者数/手術実施患者数	
		0%		0%		0%		
⑤褥瘡推定発生率	3	710	4	672	13	750	褥瘡保有者数-新規自宅発生件数/患者数(月末)	
		0.4%		0.6%		1.7%		
(4) 栄養	①MRSA感染症新規発生率	9	1,634	5	1,444	4	1,674	MRSA感染症新規発生患者数/新入院患者(ドック除く)
			0.6%		0.3%		0.2%	
	②中心静脈カテーテル関連血流感染(CLABSI)発生率	9	4,176	9	2,477	5	1,224	(中心静脈カテーテル関連血流感染患者数/カテーテル延べ使用日数)×1000
			2.2%		3.6%		4.1%	
	③緑膿菌の薬剤耐性率(MDRP)	0	4	0	8	0	4	緑膿菌の各種薬剤に対する耐性株数/緑膿菌検出件数
		0%		0%		0%		
④血液・体液暴露(針刺し)件数		0		2		1		
⑤特定抗生剤届出率	220	220	181	181	126	126	特定抗生剤届出数/特定抗生剤処方患者数	
		100%		100%		100%		
(4) 栄養	①特別食比率	31,348	63,114	29,325	57,632	37,760	66,319	特別食提供件数/食事提供件数
			49.7%		50.9%		56.9%	

田鶴浜診療所

年代別（男女別）外来患者数

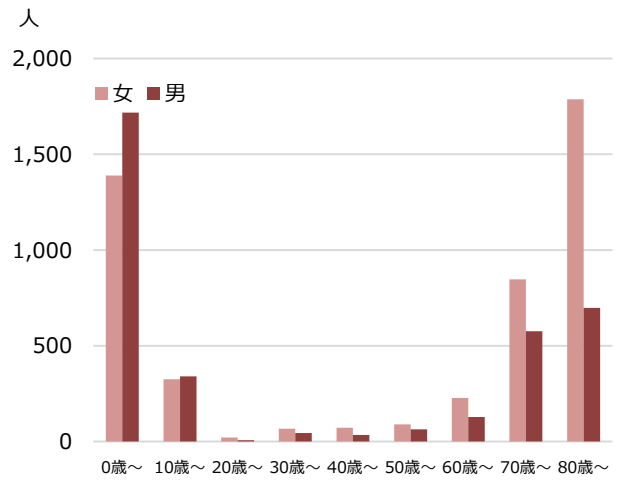


年代別外来患者数の推移

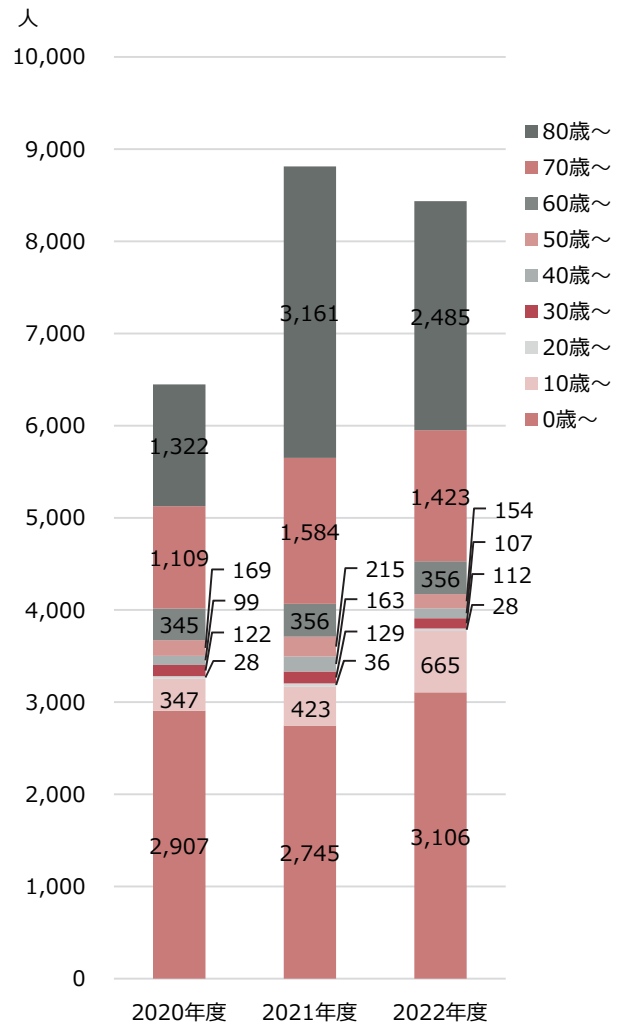


鳥屋診療所 いきいき

年代別（男女別）外来患者数

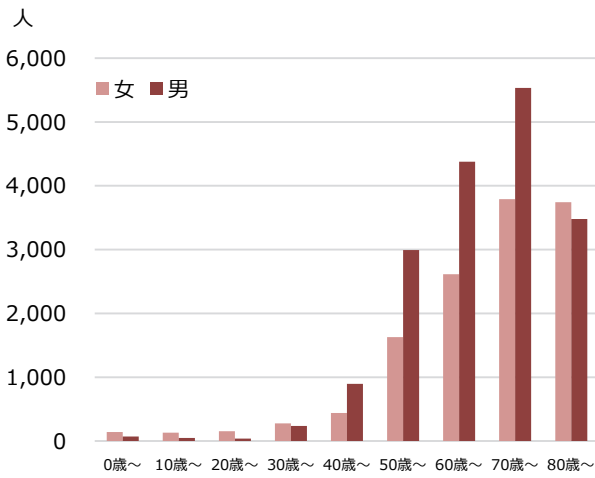


年代別外来患者数の推移



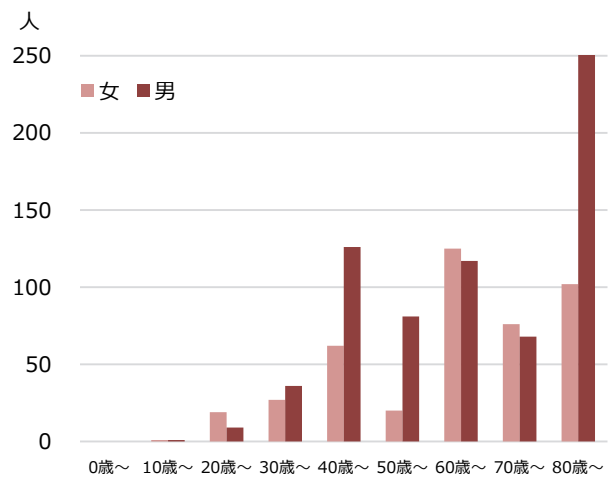
恵寿ローレルクリニック

年代別（男女別）外来患者数

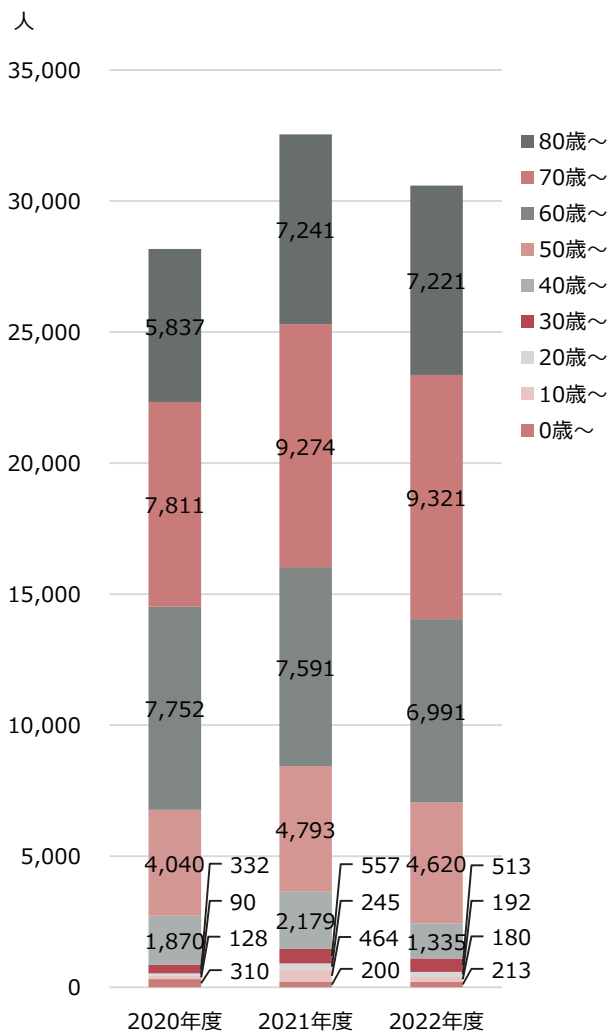


恵寿鳩ヶ丘クリニック

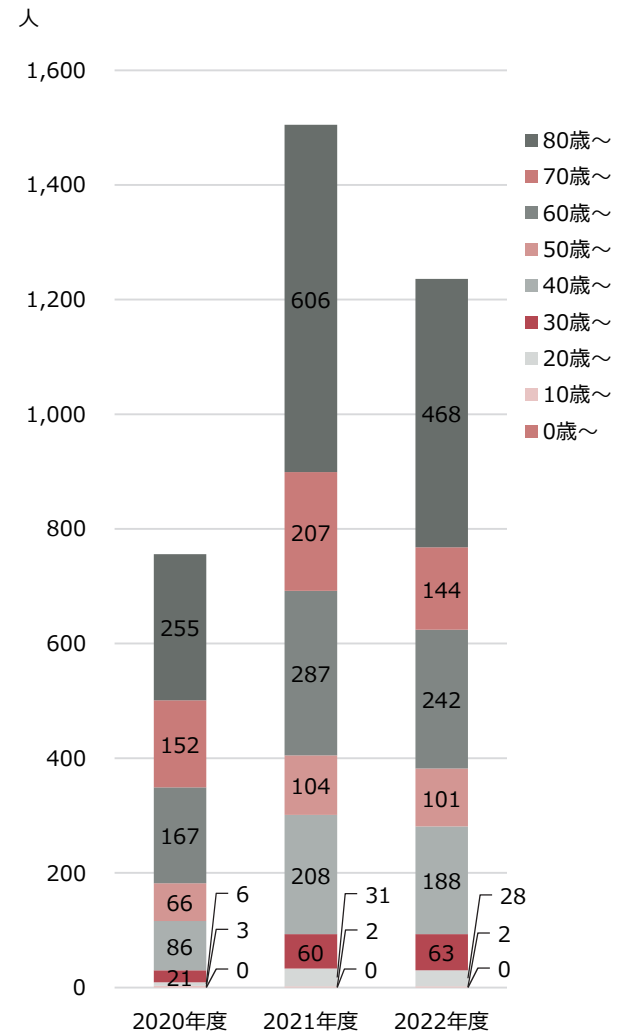
年代別（男女別）外来患者数



年代別外来患者数の推移



年代別外来患者数の推移





第 4 章

介護部門

利用統計・介護の質

利用統計

入所の推移

単位：人

延人数	2020年度	2021年度	2022年度
恵寿鳩ヶ丘（135床）	44,367	44,360	44,196
鶴友苑（50床）	16,154	16,274	16,207
和光苑（150床）	53,690	53,844	53,785
エレガントなぎの浦	32,636	31,971	32,048
アンジェリイなぎの浦	10,908	10,349	10,503
エレガントたつるはま	8,797	8,891	8,847
ローレルハイツ恵寿（ケアハウス）	7,231	7,255	7,300
ローレルハイツ恵寿（特定ケアハウス）	10,935	10,941	10,940
ローレルハイツ恵寿（サ高住）	17,451	16,696	16,845
総計	201,490	200,581	200,671

短期入所の推移

単位：人

延人数	2020年度	2021年度	2022年度
ほのぼの	8,148	8,525	6,906
恵寿鳩ヶ丘	131	236	290
鶴友苑	1,142	1,141	1,267
和光苑	59	58	107
エレガントなぎの浦	3,769	3,775	3,337
エレガントたつるはま	3	34	5
総計	13,249	13,769	11,912

通所リハビリテーションの推移

単位：人

延人数	2020年度	2021年度	2022年度
恵寿鳩ヶ丘	3,579	3,903	3,694
鶴友苑	6,100	5,651	5,773
和光苑	10,158	9,607	8,453
いきいき	2,184	2,561	2,924
総計	22,021	21,722	20,844

通所介護の推移

単位：人

延人数	2020年度	2021年度	2022年度
ほのぼの	8,323	8,157	10,252
いこい	8,235	7,934	4,792
エレガントなぎの浦	8,904	8,066	6,407
もみの木苑	6,684	6,019	5,654
ふれあいの里	9,216	10,002	9,307
総計	41,362	40,178	36,412

小規模多機能型居宅介護（延べ登録人数）の推移

単位：人

延人数	2020年度	2021年度	2022年度
恵寿みおや	7,995	8,388	9,202
けいじゅ一本杉	7,722	8,387	9,133
総計	15,717	16,775	18,335

介護Quality Indicator (恵寿鳩ヶ丘)

区分	項目	2020	2021	2022	計算式
(1) 施設 全体	①在宅復帰率	7.5% (6/80)	10.5% (6/57)	6.3% (4/63)	在宅退所者数/退所者数
	②短期集中リハビリ率 (認知症短期集中リハビリ含)	12.5% (5,539/44,438)	10.0% (4,446/44,599)	7.9% (3,491/44,740)	リハ実施延べ人数/ 延べ入所者数
	③重度者(介護4・5)割合率	59.0% (899/1,523)	60.8% (921/1,516)	63.2% (952/1,506)	要介護4・5の人数/ 実利用者数
	④認知症Ⅲa以上の割合率	62.8% (956/1,523)	66.8% (1,012/1,516)	65.7% (990/1,506)	認知症Ⅲ以上延べ人数/ 実利用者数
	⑤ターミナルケア率	3.0% (45/1,523)	2.0% (30/1,516)	2.3% (35/1,506)	ターミナル実人数/ 実利用者数
	⑥介護福祉士率	82.9% (403/486)	83.3% (410/492)	87.1% (465/534)	介護福祉士資格者数/ 介護職員数
	⑦介護実習指導者率	19.8% (96/486)	22.0% (108/492)	24.7% (132/534)	介護実習指導者数/ 介護職員数
	⑧介護プロフェッショナルキャリア段位 (アセッサー) 取得者率	14.8% (72/486)	14.6% (72/492)	11.2% (60/534)	キャリア段位認定者数/ 介護職員数
(2) 安全・ 安心 対策	①入所者の転倒・転落発生率	0.3% (125/44,138)	0.2% (104/44,599)	0.2% (102/44,470)	転倒転落件数/ 延べ入所者数
	②入所者の転倒・転落による 損傷発生率(レベル3以上)	0.0% (3/44,138)	0.0% (9/44,599)	0.0% (7/44,470)	転倒転落件数(リスクレベル3 以上)/延べ入所者数
	③ひやりはっと発生率	0.5% (228/44,138)	0.4% (184/44,599)	0.4% (195/44,470)	ひやりはっと件数/ 延べ入所者数
	④褥瘡推定発生率	1.9% (27/1,458)	2.4% (35/1,470)	1.7% (25/1,453)	褥瘡保有者数/入所者数 (月末)
	⑤特定行為従事者認定者率 (喀痰吸引)	34.6% (168/486)	41.5% (204/492)	36.0% (192/534)	特定行為認定者数/ 介護職員数
(3) 感染 対策	①インフルエンザ罹患率(職員)	0.0% (0/1,045)	0.0% (0/950)	0.0% (0/983)	インフルエンザ罹患職員数/ 全職員数
	②新型コロナウイルス罹患率 (職員)	0.0% (0/1,045)	0.1% (1/950)	1.6% (16/983)	新型コロナウイルス 罹患職員数/全職員数
	③血液・体液暴露(針刺し)件数	0	1	0	発生件数
(4) 栄養	①経口維持Ⅰ・Ⅱ比率	25.9% (395/1,523)	27.2% (413/1,516)	28.0% (422/1,506)	経口維持Ⅰ・Ⅱ対象者数/ 実利用者数
	②療養食比率	57.3%	61.5%	60.6%	特食回数/食事回数

介護Quality Indicator (鶴友苑)

区分	項目	2020	2021	2022	計算式
(1) 施設 全体	①在宅復帰率	45.2% (33/73)	61.7% (50/81)	59.8% (58/97)	在宅退所者数/退所者数
	②短期集中リハビリ率 (認知症短期集中リハビリ含)	17.0% (2,936/17,238)	16.3% (2,662/16,283)	15.9% (2,735/17,158)	リハ実施延べ人数/ 延べ入所者数
	③重度者(介護4・5)割合率	31.8% (189/594)	30.6% (189/617)	36.3% (222/612)	要介護4・5の人数/ 実利用者数
	④認知症Ⅲa以上の割合率	31.0% (184/594)	36.3% (224/617)	49.3% (302/612)	認知症Ⅲ以上延べ人数/ 実利用者数
	⑤ターミナルケア率	0.5% (3/594)	0.3% (2/617)	0.3% (2/612)	ターミナル実人数/ 実利用者数
	⑥介護福祉士率	97.1% (234/241)	81.4% (193/237)	85.7% (209/244)	介護福祉士資格者数/ 介護職員数
	⑦介護実習指導者率	39.8% (96/241)	32.9% (78/237)	34.8% (85/244)	介護実習指導者数/ 介護職員数
	⑧介護プロフェッショナルキャリア段位 (アセッサー) 取得者率	10.0% (24/241)	5.1% (12/237)	9.8% (24/244)	キャリア段位認定者数/ 介護職員数
(2) 安全・ 安心 対策	①入所者の転倒・転落発生率	0.3% (44/17,238)	0.4% (63/16,283)	0.3% (47/17,158)	転倒転落件数/ 延べ入所者数
	②入所者の転倒・転落による 損傷発生率(レベル3以上)	0.0% (7/17,238)	0.0% (1/16,283)	0.1% (11/17,158)	転倒転落件数(リスクレベル3 以上)/延べ入所者数
	③ひやりはっと発生率	0.1% (20/17,238)	0.2% (40/16,283)	0.3% (51/17,158)	ひやりはっと件数/ 延べ入所者数
	④褥瘡推定発生率	0.7% (4/594)	0.0% (0/617)	2.0% (12/612)	褥瘡保有者数/入所者数 (月末)
	⑤特定行為従事者認定者率 (喀痰吸引)	52.6% (120/228)	45.6% (108/237)	34.4% (84/244)	特定行為認定者数/ 介護職員数
(3) 感染 対策	①インフルエンザ罹患率(職員)	0.0% (0/454)	0.0% (0/466)	0.0% (0/440)	インフルエンザ罹患職員数/ 全職員数
	②新型コロナウイルス罹患率 (職員)	0.0% (0/454)	0.0% (0/466)	3.9% (17/440)	新型コロナウイルス 罹患職員数/全職員数
	③血液・体液暴露(針刺し)件数	0	0	0	発生件数
(4) 栄養	①経口維持Ⅰ・Ⅱ比率	61.1% (363/594)	60.8% (375/617)	66.2% (405/612)	経口維持Ⅰ・Ⅱ対象者数/ 実利用者数
	②療養食比率	93.0%	88.9%	93.4%	特食回数/食事回数

介護Quality Indicator (和光苑)

区分	項目	2020	2021	2022	計算式
(1) 施設 全体	①在宅復帰率	6.8% (5/74)	9.0% (7/78)	8.6% (6/70)	在宅退所者数/退所者数
	②短期集中リハビリ率 (認知症短期集中リハビリ含)	12.4% (6,657/53,690)	10.0% (5,374/53,811)	9.2% (4,958/53,785)	リハ実施延べ人数/ 延べ入所者数
	③重度者(介護4・5)割合率	68.6% (1,261/1,839)	61.8% (1,143/1,851)	62.4% (1,154/1,848)	要介護4・5の人数/ 実利用者数
	④認知症Ⅲa以上の割合率	75.4% (1,386/1,839)	79.6% (1,473/1,851)	78.1% (1,443/1,848)	認知症Ⅲ以上延べ人数/ 実利用者数
	⑤ターミナルケア率	1.0% (18/1,839)	1.2% (23/1,851)	1.7% (31/1,848)	ターミナル実人数/ 実利用者数
	⑥介護福祉士率	81.0% (506/625)	79.8% (531/665)	71.9% (499/694)	介護福祉士資格者数/ 介護職員数
	⑦介護実習指導者率	32.6% (204/625)	28.9% (192/665)	28.4% (197/694)	介護実習指導者数/ 介護職員数
	⑧介護プロフェッショナルキャリア段位 (アセッサー) 取得者率	19.2% (120/625)	12.6% (84/665)	0.0% (0/694)	キャリア段位認定者数/ 介護職員数
(2) 安全・ 安心 対策	①入所者の転倒・転落発生率	0.2% (118/53,690)	0.2% (105/53,811)	0.2% (103/53,785)	転倒転落件数/ 延べ入所者数
	②入所者の転倒・転落による 損傷発生率(レベル3以上)	0.0% (3/53,690)	0.0% (5/53,811)	0.0% (4/53,785)	転倒転落件数(リスクレベル3 以上)/延べ入所者数
	③ひやりはっと発生率	0.3% (145/53,690)	0.2% (127/53,811)	0.2% (105/53,785)	ひやりはっと件数/ 延べ入所者数
	④褥瘡推定発生率	4.7% (86/1,839)	5.2% (92/1,770)	3.9% (69/1,774)	褥瘡保有者数/入所者数 (月末)
	⑤特定行為従事者認定者率 (喀痰吸引)	40.3% (252/625)	34.3% (228/665)	31.4% (218/694)	特定行為認定者数/ 介護職員数
(3) 感染 対策	①インフルエンザ罹患率(職員)	0.0% (0/1,222)	0.0% (0/1,433)	0.2% (2/1,265)	インフルエンザ罹患職員数/ 全職員数
	②新型コロナウイルス罹患率 (職員)	0.0% (0/1,222)	0.0% (0/1,433)	2.8% (35/1,265)	新型コロナウイルス 罹患職員数/全職員数
	③血液・体液暴露(針刺し)件数	0	0	0	発生件数
(4) 栄養	①経口維持Ⅰ・Ⅱ比率	52.4% (963/1,839)	54.7% (1,013/1,851)	54.1% (1,000/1,848)	経口維持Ⅰ・Ⅱ対象者数/ 実利用者数
	②療養食比率	62.6%	64.1%	65.8%	特食回数/食事回数

介護Quality Indicator（エレガンテなぎの浦）

区分	項目	2020	2021	2022	計算式
(1) 施設 全体	①重度者（介護4・5）割合率	91.0% (1,020/1,121)	89.7% (1,014/1,131)	83.7% (945/1,129)	要介護4・5の人数/ 実利用者数
	②認知症Ⅲa以上の割合率	69.0% (773/1,121)	69.2% (783/1,131)	71.1% (803/1,129)	認知症Ⅲ以上人数/ 実利用者数
	③介護福祉士率	84.0% (435/518)	80.8% (424/525)	81.6% (431/528)	介護福祉士資格者数/ 介護職員数
	④介護実習指導者率	4.6% (24/518)	4.6% (24/525)	6.8% (36/528)	介護実習指導者数/ 介護職員数
	⑤介護プロフェッショナルキャリア段位 （アセッサー）取得者率	2.3% (12/518)	2.3% (12/525)	2.3% (12/528)	キャリア段位認定者数/ 介護職員数
(2) 安全・ 安心 対策	①入所者の転倒・転落発生率	0.2% (65/32,684)	0.1% (40/31,971)	0.1% (45/32,033)	転倒転落件数/ 延べ入所者数
	②入所者の転倒・転落による 損傷発生率（レベル3以上）	0.0% (5/32,684)	0.0% (8/31,971)	0.0% (8/32,033)	転倒転落件数（リスクレベル3 以上）/延べ入所者数
	③ひやりはっと発生率	0.7% (223/32,684)	0.0% (3/31,971)	0.0% (1/32,033)	ひやりはっと件数/ 延べ入所者数
	④褥瘡推定発生率	1.8% (20/1,104)	1.4% (16/1,104)	3.5% (39/1,104)	褥瘡保有者数/入所者数 （月末）
	⑤特定行為従事者認定者率 （喀痰吸引）	46.3% (240/518)	70.9% (372/525)	73.9% (390/528)	特定行為認定者数/ 介護職員数
(3) 感染 対策	①インフルエンザ罹患率（職員）	0.0% (0/736)	0.0% (0/686)	0.0% (0/751)	インフルエンザ罹患職員数/ 全職員数
	②新型コロナウイルス罹患率 （職員）	0.0% (0/736)	0.0% (0/686)	3.2% (24/751)	新型コロナウイルス 罹患職員数/全職員数
(4) 栄養	①経口維持Ⅰ・Ⅱ比率	60.7% (680/1,121)	62.8% (710/1,131)	61.3% (692/1,129)	経口維持Ⅰ・Ⅱ対象者数/ 実利用者数
	②療養食比率	56.6%	55.9%	53.7%	特食回数/食事回数

介護Quality Indicator (エレガントたつるはま)

区分	項目	2020	2021	2022	計算式
(1) 施設全体	①重度者（介護4・5）割合率	87.8% (266/303)	93.4% (284/304)	95.4% (292/306)	要介護4・5の人数/ 実利用者数
	②認知症Ⅲa以上の割合率	86.1% (261/303)	78.0% (237/304)	79.4% (243/306)	認知症Ⅲ以上人数/ 実利用者数
	③介護福祉士率	92.9% (156/168)	92.9% (156/168)	92.9% (156/168)	介護福祉士資格者数/ 介護職員数
	④介護実習指導者率	21.4% (36/168)	7.1% (12/168)	7.1% (12/168)	介護実習指導者数/ 介護職員数
	⑤介護プロフェッショナルキャリア段位 （アセッサー）取得者率	7.1% (12/168)	0.0% (0/168)	0.0% (0/168)	キャリア段位認定者数/ 介護職員数
(2) 安全・安心対策	①入所者の転倒・転落発生率	0.2% (19/8,797)	0.1% (7/8,844)	0.1% (8/8,783)	転倒転落件数/ 延べ入所者数
	②入所者の転倒・転落による 損傷発生率（レベル3以上）	0.0% (3/8,797)	0.0% (1/8,844)	0.0% (0/8,783)	転倒転落件数（リスクレベル3 以上）/延べ入所者数
	③ひやりはっと発生率	0.6% (49/8,797)	0.2% (19/8,844)	0.2% (18/8,783)	ひやりはっと件数/ 延べ入所者数
	④褥瘡推定発生率	0.0% (0/303)	1.0% (3/297)	3.9% (12/306)	褥瘡保有者数/入所者数 （月末）
	⑤特定行為従事者認定者率 （喀痰吸引）	78.8% (132/168)	92.9% (156/168)	92.9% (156/168)	特定行為認定者数/ 介護職員数
(3) 感染対策	①インフルエンザ罹患率（職員）	0.0% (0/228)	0.0% (0/243)	0.0% (0/228)	インフルエンザ罹患職員数/ 全職員数
	②新型コロナウイルス罹患率 （職員）	0.0% (0/228)	0.0% (0/243)	2.2% (5/228)	新型コロナウイルス 罹患職員数/全職員数
(4) 栄養	①経口維持Ⅰ・Ⅱ比率	54.8% (166/303)	63.8% (194/304)	64.1% (196/306)	経口維持Ⅰ・Ⅱ対象者数/ 実利用者数
	②療養食比率	59.7%	70.1%	86.7%	特食回数/食事回数

介護Quality Indicator（恵寿鳩ヶ丘通所リハ）

区分	項目	2020	2021	2022	計算式
(1) 施設全体	①介護改善率	18.2% (6/33)	15.6% (7/45)	10.7% (3/28)	認定改善者数/ 認定更新者数
	②リハビリマネジメント加算(A)イ算定率	—	9.1% (50/550)	7.1% (39/547)	算定者数/要介護者数
	③リハビリマネジメント加算(A)ロ算定率	—	55.1% (303/550)	67.8% (371/547)	算定者数/要介護者数
	④リハビリマネジメント加算(B)イ算定率	—	3.8% (21/550)	2.6% (14/547)	算定者数/要介護者数
	⑤リハビリマネジメント加算(B)ロ算定率	—	19.1% (105/550)	22.5% (123/547)	算定者数/要介護者数
	⑥短期集中リハビリテーション実施加算（認知症短期集中リハビリ含）	10.8% (49/453)	7.3% (40/550)	5.1% (28/547)	算定者数（加算Ⅰ・Ⅱ）/ 要介護者数
	⑦中重度者比率（介護度3以上）	27.4% (124/453)	24.5% (135/550)	26.5% (145/547)	要介護度3・4・5の人数/ 要介護者数
	⑧認知症自立度Ⅲa以上の割合	2.1% (12/567)	4.9% (33/671)	7.5% (52/694)	認知症自立度Ⅲa以上の数/ 実利用者数
	⑨生活行為向上リハビリテーション実施加算Ⅰ・Ⅱ	2.1% (12/567)	4.8% (32/671)	1.3% (9/694)	算定者数（加算Ⅰ・Ⅱ）/ 実利用者数
	⑩介護福祉士率	65.7% (46/70)	50.0% (36/72)	83.3% (60/72)	介護福祉士数/ 介護職員数
⑪介護プロフェッショナルキャリア段位（アセッサー）取得者率	0.0% (0/70)	0.0% (0/72)	0.0% (0/72)	キャリア段位認定者数/ 介護職員数	
(2) 安全・安心対策	①通所者の転倒・転落発生率	0.3% (11/3,579)	0.1% (4/3,903)	0.1% (3/3,694)	転倒転落件数/ 延べ通所者数
	②通所者の事故発生による損傷発生率（レベル3以上）	0.0% (0/3,579)	0.0% (0/3,903)	0.0% (0/3,694)	転倒転落件数（リスクレベル3以上）/ 延べ通所者数
	③ひやりはっと発生率	0.6% (22/3,579)	0.3% (11/3,903)	0.3% (10/3,694)	ひやりはっと件数/ 延べ通所者数
	④特定行為従事者認定者率（喀痰吸引）	14.3% (10/70)	1.4% (1/72)	1.4% (1/72)	特定行為認定者数/ 介護職員数
(3) 感染	①インフルエンザ罹患率（職員）	0.0% (0/70)	0.0% (0/73)	0.0% (0/84)	インフルエンザ罹患職員数/ 職員数
	②新型コロナウイルス罹患率（職員）	0.0% (0/70)	0.0% (0/73)	2.4% (2/84)	新型コロナウイルス罹患職員数/ 職員数
(4) 栄養	①栄養改善取組率	2.8% (16/567)	0.0% (0/671)	0.0% (0/694)	改善取組者数/ 実利用者数
	②口腔機能向上取組率	0.0% (0/567)	0.0% (0/671)	0.0% (0/694)	向上取組者数/ 実利用者数

第4章 介護・福祉部門：利用統計・介護の質

介護Quality Indicator（鶴友苑通所リハ）

区分	項目	2020	2021	2022	計算式
(1) 施設全体	①介護改善率	13.0% (7/54)	10.9% (5/46)	17.6% (6/34)	認定改善者数/ 認定更新者数
	②リハビリマネジメント加算(A)イ算定率	-	0.0% (0/603)	0.0% (0/577)	算定者数/要介護者数
	③リハビリマネジメント加算(A)ロ算定率	-	65.5% (395/603)	67.8% (391/577)	算定者数/要介護者数
	④リハビリマネジメント加算(B)イ算定率	-	0.0% (0/603)	0.0% (0/577)	算定者数/要介護者数
	⑤リハビリマネジメント加算(B)ロ算定率	-	0.0% (0/603)	32.1% (185/577)	算定者数/要介護者数
	⑥短期集中リハビリテーション実施加算（認知症短期集中リハビリ含）	2.8% (18/654)	2.3% (14/603)	4.5% (26/577)	算定者数（加算Ⅰ・Ⅱ）/ 要介護者数
	⑦中重度者比率（介護度3以上）	29.5% (193/654)	26.0% (157/603)	35.7% (206/577)	要介護度3・4・5の人数/ 要介護者数
	⑧認知症自立度Ⅲa以上の割合	29.3% (196/668)	20.3% (153/753)	18.9% (138/731)	認知症自立度Ⅲa以上の数/ 実利用者数
	⑨生活行為向上リハビリテーション実施加算Ⅰ・Ⅱ	0.0% (0/654)	0.0% (0/603)	3.0% (22/731)	算定者数（加算Ⅰ・Ⅱ）/ 実利用者数
	⑩介護福祉士率	100.0% (72/72)	92.3% (72/78)	75.6% (65/86)	介護福祉士数/ 介護職員数
	⑪介護プロフェッショナルキャリア段位（アセッサー）取得者率	16.7% (12/72)	0.0% (0/78)	0.0% (0/86)	キャリア段位認定者数/ 介護職員数
(2) 安全・安心対策	①通所者の転倒・転落発生率	0.2% (12/6,099)	0.1% (3/5,651)	0.1% (5/5,773)	転倒転落件数/ 延べ通所者数
	②通所者の事故発生による損傷発生率（レベル3以上）	0.0% (1/6,099)	0.0% (0/5,651)	0.1% (3/5,773)	転倒転落件数（リスクレベル3以上）/ 延べ通所者数
	③ひやりはっと発生率	0.2% (10/6,099)	0.1% (7/5,651)	0.0% (1/5,773)	ひやりはっと件数/ 延べ通所者数
	④特定行為従事者認定者率（喀痰吸引）	50.0% (36/72)	0.0% (0/78)	14.0% (12/86)	特定行為認定者数/ 介護職員数
(3) 感染	①インフルエンザ罹患率（職員）	0.0% (0/108)	0.0% (0/120)	0.0% (0/134)	インフルエンザ罹患職員数/ 職員数
	②新型コロナウイルス罹患率（職員）	0.9% (1/108)	0.0% (0/120)	1.5% (2/134)	新型コロナウイルス罹患職員数/職員数
(4) 栄養	①栄養改善取組率	14.5% (125/864)	4.8% (36/753)	4.1% (30/731)	改善取組者数/実利用者数
	②口腔機能向上取組率	2.4% (21/864)	1.5% (11/753)	1.6% (12/731)	向上取組者数/実利用者数

介護Quality Indicator（和光苑通所リハ）

区分	項目	2020	2021	2022	計算式
(1) 施設全体	①介護改善率	13.7% (13/95)	17.6% (13/74)	10.7% (8/75)	認定改善者数/ 認定更新者数
	②リハビリマネジメント加算(A)イ算定率	—	3.0% (30/984)	0.0% (0/881)	算定者数/要介護者数
	③リハビリマネジメント加算(A)ロ算定率	—	16.0% (157/984)	16.1% (142/881)	算定者数/要介護者数
	④リハビリマネジメント加算(B)イ算定率	—	9.7% (95/984)	0.0% (0/881)	算定者数/要介護者数
	⑤リハビリマネジメント加算(B)ロ算定率	—	54.5% (536/984)	83.9% (739/881)	算定者数/要介護者数
	⑥短期集中リハビリテーション実施加算（認知症短期集中リハビリ含）	29.7% (324/1,091)	5.2% (51/984)	7.8% (69/881)	算定者数（加算Ⅰ・Ⅱ）/ 要介護者数
	⑦中重度者比率（介護度3以上）	23.3% (254/1,091)	24.0% (236/984)	23.2% (204/881)	要介護度3・4・5の人数/ 要介護者数
	⑧認知症自立度Ⅲa以上の割合	13.4% (181/1,348)	10.2% (130/1,279)	9.1% (108/1,182)	認知症自立度Ⅲa以上の数/ 実利用者数
	⑨生活行為向上リハビリテーション実施加算Ⅰ・Ⅱ	0.0% (0/1,348)	0.0% (0/1,279)	0.6% (7/1,182)	算定者数（加算Ⅰ・Ⅱ）/ 実利用者数
	⑩介護福祉士率	70.0% (84/120)	60.0% (81/135)	79.5% (93/117)	介護福祉士数/ 介護職員数
	⑪介護プロフェッショナルキャリア段位（アセッサー）取得者率	10.0% (12/120)	8.9% (12/135)	0.0% (0/117)	キャリア段位認定者数/ 介護職員数
(2) 安全・安心対策	①通所者の転倒・転落発生率	0.2% (18/10,158)	0.1% (12/9,600)	0.2% (18/8,453)	転倒転落件数/ 延べ通所者数
	②通所者の事故発生による 損傷発生率（レベル3以上）	0.0% (1/10,158)	0.0% (0/9,600)	0.0% (1/8,453)	転倒転落件数（リスクレベル 3以上）/延べ通所者数
	③ひやりはっと発生率	0.1% (9/10,158)	0.1% (10/9,600)	0.0% (2/8,453)	ひやりはっと件数/ 延べ通所者数
	④特定行為従事者認定者率 （喀痰吸引）	10.0% (12/120)	0.0% (0/135)	10.3% (12/117)	特定行為認定者数/ 介護職員数
(3) 感染	①インフルエンザ罹患率（職員）	0.0% (0/156)	0.0% (0/171)	0.0% (0/252)	インフルエンザ罹患職員数/ 職員数
	②新型コロナウイルス罹患率 （職員）	0.0% (0/156)	0.0% (0/171)	3.2% (8/252)	新型コロナウイルス罹患 職員数/職員数
(4) 栄養	①栄養改善取組率	5.9% (79/1,348)	4.5% (57/1,279)	4.9% (58/1,182)	改善取組者数/実利用者数
	②口腔機能向上取組率	6.8% (91/1,348)	6.1% (78/1,279)	4.6% (54/1,182)	向上取組者数/実利用者数

第4章 介護・福祉部門：利用統計・介護の質

介護Quality Indicator（鳥屋診療所いきいき通所リハ）

区分	項目	2020	2021	2022	計算式
(1) 施設全体	①介護改善率	0.0% (0/35)	2.8% (1/36)	17.5% (7/40)	認定改善者数/ 認定更新者数
	②リハビリマネジメント加算(A)イ算定率	-	0.6% (2/345)	1.3% (5/383)	算定者数/要介護者数
	③リハビリマネジメント加算(A)ロ算定率	-	0.0% (0/345)	1.6% (6/383)	算定者数/要介護者数
	④リハビリマネジメント加算(B)イ算定率	-	55.1% (190/345)	18.0% (69/383)	算定者数/要介護者数
	⑤リハビリマネジメント加算(B)ロ算定率	-	37.4% (129/345)	73.1% (280/383)	算定者数/要介護者数
	⑥短期集中リハビリテーション実施加算（認知症短期集中リハビリ含）	3.1% (8/254)	0.6% (2/345)	0.0% (0/383)	算定者数（加算Ⅰ・Ⅱ）/ 要介護者数
	⑦中重度者比率（介護度3以上）	15.7% (40/254)	22.3% (77/345)	19.1% (72/377)	要介護度3・4・5の人数/ 要介護者数
	⑧認知症自立度Ⅲa以上の割合	4.7% (18/380)	6.1% (29/472)	0.0% (0/581)	認知症自立度Ⅲa以上の数/ 実利用者数
	⑨生活行為向上リハビリテーション実施加算Ⅰ・Ⅱ	0.0% (0/380)	0.0% (0/472)	0.0% (0/581)	算定者数（加算Ⅰ・Ⅱ）/ 実利用者数
	⑩介護福祉士率	100.0% (36/36)	100.0% (36/36)	100.0% (36/36)	介護福祉士数/ 介護職員数
	⑪介護プロフェッショナルキャリア段位（アセッサー）取得者率	0.0% (0/36)	33.3% (12/36)	33.3% (12/36)	キャリア段位認定者数/ 介護職員数
(2) 安全・安心対策	①通所者の転倒・転落発生率	0.0% (0/2,184)	0.0% (0/2,561)	0.0% (0/2,924)	転倒転落件数/ 延べ通所者数
	②通所者の事故発生による 損傷発生率（レベル3以上）	0.0% (0/2,184)	0.1% (2/2561)	0.0% (0/2,924)	転倒転落件数（リスクレベル 3以上）/延べ通所者数
	③ひやりはっと発生率	0.0% (0/2,184)	0.0% (0/2,561)	0.0% (0/2,924)	ひやりはっと件数/ 延べ通所者数
	④特定行為従事者認定者率 （喀痰吸引）	0.0% (0/36)	33.3% (12/36)	33.3% (12/36)	特定行為認定者数/ 介護職員数
(3) 感染	①インフルエンザ罹患率（職員）	0.0% (0/84)	0.0% (0/36)	0.0% (0/36)	インフルエンザ罹患職員数/ 職員数
	②新型コロナウイルス罹患率 （職員）	0.0% (0/84)	0.0% (0/36)	0.0% (0/36)	新型コロナウイルス罹患 職員数/職員数
(4) 栄養	①栄養改善取組率	0.0% (0/380)	0.0% (0/472)	0.0% (0/581)	改善取組者数/実利用者数
	②口腔機能向上取組率	0.0% (0/380)	0.0% (0/472)	7.2% (42/581)	向上取組者数/実利用者数

介護Quality Indicator（ほのぼの通所介護）

区分	項目	2020	2021	2022	計算式
(1) 施設 全体	①通所介護利用率	77.5% (8,323/10,745)	76.2% (8,157/10,710)	77.5% (10,252/13,230)	利用延べ人数/ (通所定員×営業日数)
	②要支援者比率	23.7% (237/1,000)	19.2% (177/920)	16.2% (206/1,269)	要支援者数/利用実人数
	③要介護者比率	76.3% (763/1,000)	80.8% (743/920)	84.0% (1,066/1,269)	要介護者数/利用実人数
	④中重症者比率 (介護度3以上)	42.5% (324/763)	42.9% (319/743)	40.4% (435/1,077)	要介護度3・4・5の人数/ 要介護者数
	⑤認知症自立度Ⅲa以上の割合	18.7% (187/1,000)	17.3% (159/920)	10.7% (136/1,269)	認知症自立度Ⅲa以上の数/ 利用実人数
	⑥介護度改善率	2.6% (2/77)	0.0% (0/77)	8.5% (8/94)	認定改善者数/ 認定更新者数
	⑦介護福祉士率	78.6% (132/168)	84.6% (132/156)	87.9% (109/124)	介護福祉士数/ 全介護職員数
	⑧介護プロフェッショナルキャリア 段位（アセッサー含む）取得者率	7.7% (13/168)	0.0% (0/156)	0.0% (0/124)	キャリア段位認定者数/ 全介護職員数
(2) 安全・ 安心 対策	①通所者の転倒・転落発生率	0.1% (9/8,323)	0.1% (6/8,157)	0.1% (9/8,975)	転倒転落件数/延べ通所者数
	②通所者の事故発生による 損傷発生率（レベル3以上）	0.0% (0/8,323)	0.0% (2/8,157)	0.0% (1/10,252)	事故件数（リスクレベル3 以上）/延べ通所者数
	③ひやりはっと発生件数	0.3% (27/8,323)	0.2% (15/8,157)	0.1% (9/10,252)	ひやりはっと件数/ 延べ通所者数
(3) 感染	①インフルエンザ罹患率(職員)	0.0% (0/228)	0.0% (0/156)	0.6% (1/156)	インフルエンザ罹患者数/ 通所職員数
	②新型コロナウイルス罹患率(職員)	0.0% (0/228)	1.3% (2/156)	8.3% (13/156)	新型コロナウイルス罹患者数/ 通所職員数
(4) 栄養	①栄養改善取組率	5.4% (54/1,000)	0.0% (0/920)	1.6% (20/1,269)	改善取組者数/利用実人数
	②口腔機能向上取組率	9.4% (94/1,000)	12.7% (117/920)	20.3% (257/1,269)	向上取組者数/利用実人数

介護Quality Indicator (デイサービスセンターいこい通所介護)

区分	項目	2020	2021	2022 (4月-12月)	計算式
(1) 施設 全体	①通所介護利用率	76.7% (8,238/10,745)	76.0% (7,928/10,430)	65.5% (4,792/7,315)	利用延べ人数/ (通所定員×営業日数)
	②要支援者比率	28.7% (240/837)	24.6% (211/856)	23.3% (148/634)	要支援者数/利用実人数
	③要介護者比率	71.3% (597/837)	75.4% (645/856)	76.7% (486/634)	要介護者数/利用実人数
	④中重症者比率 (介護度3以上)	26.8% (160/597)	25.1% (162/645)	29.0% (141/486)	要介護度3・4・5の人数/ 要介護者数
	⑤認知症自立度Ⅲa以上の割合	22.8% (191/837)	20.0% (171/856)	19.7% (125/634)	認知症自立度Ⅲa以上の数/ 利用実人数
	⑥介護度改善率	5.6% (4/72)	5.0% (3/60)	30.8% (4/13)	認定改善者数/ 認定更新者数
	⑦介護福祉士率	62.5% (90/144)	53.8% (84/156)	100.0% (72/72)	介護福祉士数/ 全介護職員数
	⑧介護プロフェッショナルキャリア 段位 (アセッサー含む) 取得者率	0.0% (0/144)	0.0% (0/156)	0.0% (0/72)	キャリア段位認定者数/ 全介護職員数
(2) 安全・ 安心 対策	①通所者の転倒・転落発生率	0.0% (3/8,238)	0.0% (3/7,928)	0.1% (3/4,792)	転倒転落件数/延べ通所者数
	②通所者の事故発生による 損傷発生率 (レベル3以上)	0.0% (1/8,238)	0.0% (2/7,928)	0.0% (0/4,792)	事故件数 (リスクレベル3 以上) /延べ通所者数
	③ひやりはっと発生件数	0.0% (4/8,238)	0.0% (0/7,928)	0.0% (0/4,792)	ひやりはっと件数/ 延べ通所者数
(3) 感染	①インフルエンザ罹患率(職員)	0.0% (0/207)	0.0% (0/240)	0.0% (0/153)	インフルエンザ罹患者数/ 通所職員数
	②新型コロナウイルス罹患率(職員)	0.0% (0/207)	0.8% (2/240)	3.9% (6/153)	新型コロナウイルス罹患者数/ 通所職員数
(4) 栄養	①栄養改善取組率	0.0% (0/837)	0.0% (0/856)	0.0% (0/634)	改善取組者数/利用実人数
	②口腔機能向上取組率	6.8% (57/837)	7.9% (68/856)	15.1% (96/634)	向上取組者数/利用実人数

介護Quality Indicator (エレガントなぎの浦通所介護)

区分	項目	2020	2021	2022	計算式
(1) 施設 全体	①通所介護利用率	76.8% (8,903/11,595)	71.9% (8,066/11,225)	64.5% (6,422/9,955)	利用延べ人数/ (通所定員×営業日数)
	②要支援者比率	21.9% (268/1,226)	25.6% (282/1,100)	27.0% (253/937)	要支援者数/利用実人数
	③要介護者比率	73.7% (903/1,226)	74.4% (818/1,100)	73.0% (684/937)	要介護者数/利用実人数
	④中重症者比率 (介護度3以上)	25.1% (227/903)	24.4% (200/818)	25.7% (176/684)	要介護度3・4・5の人数/ 要介護者数
	⑤認知症自立度Ⅲa以上の割合	16.3% (200/1,226)	23.6% (260/1,100)	20.7% (194/937)	認知症自立度Ⅲa以上の数/ 利用実人数
	⑥介護度改善率	12.7% (7/55)	24.6% (16/65)	9.4% (6/64)	認定改善者数/ 認定更新者数
	⑦介護福祉士率	88.9% (96/108)	79.5% (93/117)	87.8% (108/123)	介護福祉士数/ 全介護職員数
	⑧介護プロフェッショナルキャリア 段位(アセッサー含む)取得者率	0.0% (0/108)	0.0% (0/117)	0.0% (0/123)	キャリア段位認定者数/ 全介護職員数
(2) 安全・ 安心 対策	①通所者の転倒・転落発生率	0.1% (5/8,903)	0.1% (11/8,066)	0.1% (4/6,422)	転倒転落件数/延べ通所者数
	②通所者の事故発生による 損傷発生率(レベル3以上)	0.0% (1/8,903)	0.0% (0/8,066)	0.0% (0/6,422)	事故件数(リスクレベル3 以上)/延べ通所者数
	③ひやりはっと発生件数	0.3% (27/8,903)	0.0% (1/8,066)	0.0% (2/6,422)	ひやりはっと件数/ 延べ通所者数
(3) 感染	①インフルエンザ罹患率(職員)	0.0% (0/181)	0.0% (0/168)	0.0% (0/144)	インフルエンザ罹患者数/ 通所職員数
	②新型コロナウイルス罹患率(職員)	0.0% (0/181)	0.6% (1/168)	5.6% (8/144)	新型コロナウイルス罹患者数/ 通所職員数
(4) 栄養	①栄養改善取組率	0.0% (0/1,226)	0.0% (0/1,100)	0.0% (0/937)	改善取組者数/利用実人数
	②口腔機能向上取組率	3.9% (48/1,226)	5.6% (62/1,100)	1.7% (16/937)	向上取組者数/利用実人数

介護Quality Indicator (もみの木苑通所介護)

区分	項目	2020	2021	2022	計算式
(1) 施設 全体	①通所介護利用率	75.6% (6,644/8,790)	68.7% (6,016/8,760)	64.2% (5,654/8,810)	利用延べ人数/ (通所定員×営業日数)
	②要支援者比率	11.7% (93/797)	17.7% (143/810)	16.8% (120/715)	要支援者数/利用実人数
	③要介護者比率	88.3% (704/794)	82.3% (667/810)	83.2% (595/715)	要介護者数/利用実人数
	④中重症者比率 (介護度3以上)	29.1% (205/704)	28.5% (190/667)	28.4% (169/595)	要介護度3・4・5の人数/ 要介護者数
	⑤認知症自立度Ⅲa以上の割合	19.7% (157/797)	18.0% (146/810)	18.9% (135/715)	認知症自立度Ⅲa以上の数/ 利用実人数
	⑥介護度改善率	18.8% (9/48)	14.0% (6/43)	12.5% (2/16)	認定改善者数/ 認定更新者数
	⑦介護福祉士率	70.0% (84/120)	65.6% (84/128)	63.7% (72/113)	介護福祉士数/ 全介護職員数
	⑧介護プロフェッショナルキャリア 段位(アセッサー含む)取得者率	10.0% (12/120)	9.4% (12/128)	0.0% (0/113)	キャリア段位認定者数/ 全介護職員数
(2) 安全・ 安心 対策	①通所者の転倒・転落発生率	0.1% (5/6,644)	0.1% (4/6,016)	0.1% (7/5,654)	転倒転落件数/延べ通所者数
	②通所者の事故発生による 損傷発生率(レベル3以上)	0.0% (1/6,644)	0.0% (2/6,016)	0.0% (1/5,654)	事故件数(リスクレベル3 以上)/延べ通所者数
	③ひやりはっと発生件数	0.6% (37/6,644)	0.0% (2/6,016)	0.5% (31/5,654)	ひやりはっと件数/ 延べ通所者数
(3) 感染	①インフルエンザ罹患率(職員)	0.0% (0/192)	0.0% (0/204)	0.0% (0/197)	インフルエンザ罹患者数/ 通所職員数
	②新型コロナウイルス罹患率(職員)	0.0% (0/192)	2.0% (4/204)	2.0% (4/197)	新型コロナウイルス罹患者数/ 通所職員数
(4) 栄養	①栄養改善取組率	7.7% (61/797)	0.0% (0/810)	0.0% (0/715)	改善取組者数/利用実人数
	②口腔機能向上取組率	0.0% (0/797)	12.5% (101/810)	0.0% (0/715)	向上取組者数/利用実人数

介護Quality Indicator (ふれあいの里通所介護)

区分	項目	2020	2021	2022	計算式
(1) 施設 全体	①通所介護利用率	77.5% (9,216/11,890)	84.3% (10,002/11,860)	78.3% (9,307/11,890)	利用延べ人数/ (通所定員×営業日数)
	②要支援者比率	18.4% (194/1,057)	16.8% (187/1,100)	15.3% (163/1,068)	要支援者数/利用実人数
	③要介護者比率	81.6% (863/1,057)	83.2% (923/1,100)	84.7% (905/1,068)	要介護者数/利用実人数
	④中重症者比率 (介護度3以上)	25.4% (219/863)	23.4% (216/923)	27.6% (250/905)	要介護度3・4・5の人数/ 要介護者数
	⑤認知症自立度Ⅲa以上の割合	14.4% (152/1,057)	15.2% (169/1,100)	17.8% (190/1,068)	認知症自立度Ⅲa以上の数/ 利用実人数
	⑥介護度改善率	10.5% (6/57)	19.0% (11/58)	10.3% (6/58)	認定改善者数/ 認定更新者数
	⑦介護福祉士率	47.6% (69/145)	49.2% (60/122)	61.1% (66/108)	介護福祉士数/ 全介護職員数
	⑧介護プロフェッショナルキャリア 段位 (アセッサー含む) 取得者率	0.0% (0/145)	0.0% (0/122)	0.0% (0/108)	キャリア段位認定者数/ 全介護職員数
(2) 安全・ 安心 対策	①通所者の転倒・転落発生率	0.2% (23/9,216)	0.3% (32/10,002)	0.2% (19/9,307)	転倒転落件数/延べ通所者数
	②通所者の事故発生による 損傷発生率 (レベル3以上)	0.0% (4/9,216)	0.0% (4/10,002)	0.0% (0/9,307)	事故件数 (リスクレベル3 以上) /延べ通所者数
	③ひやりはっと発生件数	0.7% (62/9,216)	0.7% (71/10,002)	0.1% (11/9,307)	ひやりはっと件数/ 延べ通所者数
(3) 感染	①インフルエンザ罹患率(職員)	0.0% (0/181)	0.0% (0/158)	0.0% (0/228)	インフルエンザ罹患者数/ 通所職員数
	②新型コロナウイルス罹患率(職員)	0.0% (0/181)	0.0% (0/158)	3.9% (9/228)	新型コロナウイルス罹患者数/ 通所職員数
(4) 栄養	①栄養改善取組率	0.0% (0/1,057)	0.0% (0/1,110)	0.0% (0/1,068)	改善取組者数/利用実人数
	②口腔機能向上取組率	3.7% (39/1,057)	0.0% (0/1,110)	0.0% (0/1,068)	向上取組者数/利用実人数

福祉Quality Indicator（青山彩光苑ライフサポートセンター）

区分	項目	2020	2021	2022	計算式
(1) 施設 全体	①重症者（支援区分5・6）割合率	92.1% (904/982)	86.4% (854/988)	86.1% (838/973)	支援区分5・6の人数/ 実利用者数
	②介護福祉士率	70.0% (408/583)	71.7% (381/536)	72.7% (384/528)	介護福祉士数/ 全介護職員数
	③特定行為従事者認定者率 （喀痰吸引）	51.8% (302/583)	51.9% (278/536)	50.4% (266/528)	特定行為認定者数/ 全介護職員数
(2) 安全 ・ 安心 対策	①入所者の転倒・転落発生率	0.2% (62/29,254)	0.2% (61/29,482)	0.2% (65/29,572)	転倒転落件数/延べ入所者数
	②入所者の事故発生による 損傷発生率（レベル3以上）	0.0% (1/29,254)	0.0% (6/29,482)	0.0% (2/29,572)	転倒転落件数（リスクレベル3 以上）/延べ入所者数
	③褥瘡推定発生率	0.9% (9/982)	1.2% (12/988)	1.2% (12/973)	褥瘡保有者数/ 入所者数（月末）
(3) 感 染	①インフルエンザ罹患率（職員）	0.0% (0/754)	0.0% (0/755)	0.0% (0/723)	インフルエンザ罹患職員数/ 全職員数
	②新型コロナウイルス罹患率（職員）	0.0% (0/754)	0.1% (1/755)	1.9% (14/723)	新型コロナウイルス 罹患職員数/全職員数
(4) 栄 養	①経口維持 I 比率	4.5% (44/982)	14.2% (140/988)	18.6% (181/973)	経口維持 I 数/実人数
	②療養食比率	62.4%	58.8%	57.5%	特食回数/食事回数

福祉Quality Indicator（穴水ライフサポートセンター）

区分	項目	2020	2021	2022	計算式
(1) 施設 全体	①重症者（支援区分5・6）割合率	70.9% (433/611)	71.1% (436/613)	71.2% (435/611)	支援区分5・6の人数/ 実利用者数
	②介護福祉士率	58.5% (217/371)	53.6% (199/371)	57.6% (232/403)	介護福祉士数/ 全介護職員数
	③特定行為従事者認定者率 （喀痰吸引）	33.4% (124/371)	44.5% (165/371)	39.5% (159/403)	特定行為認定者数/ 全介護職員数
(2) 安全 ・ 安心 対策	①入所者の転倒・転落発生率	0.4% (73/18,202)	0.4% (77/18,117)	0.5% (83/17,857)	転倒転落件数/延べ入所者数
	②入所者の事故発生による 損傷発生率（レベル3以上）	0.0% (5/18,202)	0.0% (1/18,117)	0.0% (5/17,857)	転倒転落件数（リスクレベル3 以上）/延べ入所者数
	③褥瘡推定発生率	3.4% (21/609)	2.0% (12/613)	2.1% (13/611)	褥瘡保有者数/ 入所者数（月末）
(3) 感 染	①インフルエンザ罹患率（職員）	0.0% (0/539)	0.0% (0/522)	0.2% (1/537)	インフルエンザ罹患職員数/ 全職員数
	②新型コロナウイルス罹患率（職員）	0.0% (0/539)	0.8% (4/522)	1.5% (8/537)	新型コロナウイルス 罹患職員数/全職員数
(4) 栄 養	①経口維持 I 比率	0.0% (0/612)	11.1% (68/613)	12.8% (78/611)	経口維持 I 数/実人数
	②療養食比率	38.0%	38.2%	44.6%	特食回数/食事回数

福祉Quality Indicator (精育園)

区分	項目	2020	2021	2022	計算式
(1) 施設 全体	①重症者(支援区分5・6)割合率	53.4% (794/1,486)	54.3% (807/1,485)	54.4% (798/1,467)	支援区分5・6の人数/ 実利用者数
	②介護福祉士率	58.9% (507/861)	64.2% (563/877)	58.7% (596/1,015)	介護福祉士数/ 全介護職員数
	③特定行為従事者認定者率 (喀痰吸引)	4.2% (36/861)	0.0% (0/877)	0.0% (0/1,015)	特定行為認定者数/ 全介護職員数
(2) 安全 ・ 安心 対策	①入所者の転倒・転落発生率	0.0% (21/44,195)	0.1% (53/44,464)	5.9% (87/1,467)	転倒転落件数/延べ入所者数
	②入所者の事故発生による 損傷発生率(レベル3以上)	0.0% (7/44,195)	0.0% (14/44,464)	0.6% (9/1,467)	転倒転落件数(リスクレベル3 以上)/延べ入所者数
	③褥瘡推定発生率	0.0% (0/1,486)	0.1% (2/1,485)	1.0% (14/1,467)	褥瘡保有者数/ 入所者数(月末)
(3) 感 染	①インフルエンザ罹患率(職員)	0.0% (0/993)	0.0% (0/1,000)	0.0% (0/1,015)	インフルエンザ罹患職員数/ 全職員数
	②新型コロナウイルス罹患率(職員)	0.0% (0/993)	0.0% (0/1,000)	4.3% (44/1,015)	新型コロナウイルス 罹患職員数/全職員数
(4) 栄 養	①経口維持I比率	5.7% (84/1,486)	8.4% (125/1,485)	7.2% (106/1,467)	経口維持I数/実人数
	②療養食比率	26.9%	27.9%	29.4%	特食回数/食事回数



2022年10月8日 介護技能グランプリ



第 5 章
研究・業績

【理事長 神野 正博】

論文

- セカンドキャリアの制度設計－健康経営から定年制廃止病院 Vol.81 No.5:427-432,2022.
- チーム医療の推進と看護師特定行為の今後の方向性 日本呼吸ケア・リハビリテーション学会誌 30巻3号:271-279,2022.

寄稿

- 30周年のCOMLに期待する COML 認定NPO法人ささえあい医療人権センター 30周年記念誌:39,2022.
- 歓迎のごあいさつ 国際ロータリー第2610地区 2021-22年度地区大会「未来のロータリーを築こう」:2022.
- かかりつけ医と主治医 日本病院会雑誌 Vol.69 No.6:3,2022.
- 帽子を投げてごらん Governor's Monthly Letter 2022.6 vol.12:2022.
- 医療経営士へ贈ることば Vol.27 「医療経営士」情報誌 理論と実践 Vol.46:1,2022.
- 窮すれば 日本病院会雑誌 Vol.69 No.7:25,2022.
- 地区大会略報Ⅴ 第2610地区 「Rotary」ロータリーの友8月号:35,2022.
- 推薦のことば 医師事務作業補助者実践入門BOOK 2022-23年度版:2022.
- 「まさか」の時代に応せよ 週刊 病院新聞 第2711号,2022.8.4
- 事例1 地方の病院はいかに持続可能性を図るべきか 病院羅針盤 2022年8月1日・15日合併号:11-17,2022.
- 役員挨拶 日本社会医療法人協会ニュースNo.29:2022.10.3
- I serve の公共イメージ コーディネーターNEWS 2023年1月号
- 年頭所感 全日病ニュース 2023.1.1/15合併号:2023.
- DXのための3つのR 週刊 病院新聞 第2730号,2023.1.1
- 課題に対して最適な選択 必要なのは適度の緊張感

最新医療経営 PHASE3 4月号:27,2023.

- 混乱と混沌の次元 日本病院会ニュース 第1092号,2023.3.25
- 世界史の中で……想定外を覚悟せよ！ 週刊日本医事新報 No.5111:56,2022.
- 情報 vs 第六感 週刊日本医事新報 No.5117:63,2022.
- これからの遠隔医療のかたち 週刊日本医事新報 No.5121:63,2022.
- 令和の大仏開眼 週刊日本医事新報 No.5127:59,2022.
- 言葉の力 週刊日本医事新報 No.5130:64,2022.
- 急性期病院における介護部創設 週刊日本医事新報 No.5135:59,2022.
- 女王陛下のご尊顔 週刊日本医事新報 No.5140:56,2022.
- 私見『かかりつけ医機能を担う医療機関』 週刊日本医事新報 No.5144:56,2022.
- カードいろいろ 週刊日本医事新報 No.5146:60,2022
- 診療報酬を中間年に見直す時 週刊日本医事新報 No.5153:61,2023.

インタビュー

- 2022年度改定を踏まえた医療現場の対応 入退院支援や多職種チーム医療の強化は必須 ミクス 2022年4月号:6-19,2022.
- 注目集まる急性期病棟の介護職の役割 日経ヘルスケア 2022年12月号:50-52,2022.
- 患寿総合病院が「介護部」創設、患者の生活支援充実へ 「在宅復帰率アップ」「平均在院日数の短縮」を期待 MEDIFAX 8811号:1,2022.9.1
- 事例に学ぶ！「患寿総合病院」のRPA活用例 fundbook HEALTHCARE MAGAZINE:13-15,2023.
- 絶えずイノベーションに挑み続け、患者の人生に寄り添う ヘルスケア・イノベーション3:224-231,2023.

対談・鼎談・座談会・シンポジウム

- これからの病院の外来機能をどう考えるか（武田 俊彦 ポストンコンサルティンググループ シニア・アドバイザー×神野 正博）病院Vol.81 No.6:467-472,2022.

- ・「モノ」から「コト」へ医療系商社に期待する役割（木村 真敏 エム・シー・ヘルスケアホールディングス株式会社代表取締役社長×神野 正博）
La・Sante 創刊号 2022年夏:12-15,2022.
- ・医療提供体制の危機管理から考える病院BCP（松本 尚 日本医科大学特任教授/衆議院議員×神野 正博）
病院Vol.81 No.9:765-740,2022.
- ・新春座談会 医療・介護のDX（生田 正幸 関西学院大学 大学院人間福祉研究科 講師×廣江 晃 全国社会福祉法人経営者協議会ICT戦略等特命チームリーダー/社会福祉法人こうほうえん理事長×神野 正博）
月刊 WAM 1月号:2-9,2022.
- ・北陸の外科医絶滅の危機（藤井 努 富山大学学術研究部医学系 消化器・主要・総合外科 教授×稲木 紀幸 金沢大学医薬保健研究域医学系 消化管外科学/乳腺外科学 教授×藤井 久丈 医療法人社団藤聖会 親和会理事長×神野 正博）
La・Sante 2023年冬:4-12,2023.
- ・病院を狙うサイバー犯罪の脅威とセキュリティ対策の重要性（永井 庸次 株式会社日立製作所ひたちなか総合病院前院長×米澤 祥子 SOMPOLリスクマネジメント株式会社サイバーセキュリティ事業本部 主任コンサルタント×神野 正博）
病院羅針盤 2022.2/15号:13-00,2023.
- ・DXでタスク・シフトせよ 働き方改革の打開策（石川 賀代 社会医療法人石川記念会HITO病院理事長×神野 正博） 病院 Vol.82 No.4:279-285,2023.

イベントレポート

- ・社会医療法人トップ・ミドルマネージメント研修
日本社会医療法人協議会ニュース 第28号 2022.4.1
- ・職域確立と人材育成に向け新たな一步を踏み出す
月刊機関誌 医療経営士ニュース
MMS MEWS 8月号 Vol.138,2022.

講演録

- ・アフターコロナ禍のグレート・リセット、新しい日本の医療を考える（2021.8.21 講演）
全日本病院協会雑誌 Vol.32-2 2021:27-,2022.
- ・コロナ禍・超少子高齢人口減少時代、持続可能へのチャレンジ！～地域医療構想調整会議における、ダウンサイジング・再編・連携・統合の検証～（2021.8.21 講演）
全日本病院脅威会雑誌 Vol.32-2 2021:74-,2022.
- ・日本医療経営職域対策協議会設立記念フォーラムオンラインセミナー-経営部門の職域確立と人材育成を目指し協議会の設立フォーラムを開催（2022.8.6 講演）

月刊医療経営士 9月号:58-61,2022.

- ・日本医療経営職域対策協議会設立記念フォーラム
最新医療経営 PHASE3 10月号 Vol.458:
70-71,2022.
- ・特別レポート これからの病院のあり方と医療経営士の役割・職業を考える（2022.11.1 オンデマンド配信）
月刊 医療経営士 2023年1月号:4-,2022.
- ・医療経営士の職域確立とこれからの人材教育（2022.11.1 講演）
理論と実践 2023 No.47:5,2023.
- ・働き方改革にDX不可欠（2023.3.7 講演）
日経スペシャルセミナー21 医療・介護マネジメント最前線 第20回記念公演 新たな医療のカたちへ
日本経済新聞,2023.3.31

【常務理事 神野 厚美】

インタビュー

- ・七尾100プロジェクト 会場共感賞
ななお会議所だより No.619:6-7,2022.

【理事長補佐 神野 正隆】

論文

- ・当院におけるかかりつけ医との連携強化・診療情報提供数（逆紹介率）UPの試み,国際医療福祉大学・医療経営戦略コース（hMBA）修士論文,2023.1

著者

- ・働き方改革＝仕組み改革
－患寿総合病院の新たな試み－
社会保険旬報No.2881:24-30,2023.

インタビュー

- ・早期ならほぼ治る大腸がん「検便」は超優秀の理由
東洋経済ONLINE:2022.10.19
- ・理事長補佐がデータ経営推進の患寿総合病院、入院症例の1日単価が1万円以上上昇し増収増益
GHC事例紹介:2023.1
- ・事例に学ぶ！「患寿総合病院」のRPA活用例
fundbook HEALTHCARE MAGAZINE:13-15,2023.

【本部 本部長 進藤 浩美】

インタビュー

- ・定年制の撤廃は人事制度見直しの一環
「全世代型」の仕組みづくりを
月間医療経営士6月号:16-19,2022.

- 全職員の賃金体系などを見直し 上限年齢なく
正職員として働ける制度を導入
エルダー4月号:27-30,2022.

【恵寿総合病院 病院長 鎌田 徹】

論文

- 当院における新型コロナウイルス感染症対応クロノジー
恵寿総合病院医学雑誌 Vol.11:1-10,2023.

【恵寿総合病院 内科】

論文

- 中川 紀温、山崎 雅英
Leukemic phase as the initial presentation
ALK-positive anaplastic large-cell lymphoma
complicated by lactic acidosis
Clinical Case Reports. 2023;11:e6948
- 山崎 雅英、宮田 潤、上田 善道
Complete remission after concurrent single-
agent S-1 chemoradiotherapy for stage III B
esophageal cancer: an autopsy case report.
Clinical Journal of Gastroenterology. 2022
Aug;15(4):688-693.

【恵寿総合病院 消化器内科】

論文

- 早川 希、藤原 秀、神野 正隆、守護 晴彦
FDG-PET/CTが診断の契機となった膵神経内分泌腫瘍
(pNET, G1) の1例
ENDOSCOPIC FORUM for digestive disease 38
(1) :49-57, 2022.

【恵寿総合病院 産婦人科】

論文

- 安田 豊、宮田 康一、新井 隆成
子宮収縮抑制と切迫早産治療
恵寿総合病院医学雑誌 Vol.11:17-25,2023.

【恵寿総合病院 家庭医療科】

論文

- Jun Miyata, Ehab Salah Eshak, Tetsuya
Yoshioka, Hiroyasu Iso. Movement of the
superior mesenteric artery in patients with
superior mesenteric artery syndrome: A case-
reference study. Clin Anat. 2022 g

Oct;35(7):891-898. doi: 10.1002/ca.23885.

- Jun Miyata, Mitsumasa Umesawa, Tetsuya
Yoshioka, Hiroyasu Iso. Systolic Blood Pressure
and Objective Hearing Thresholds Among
Japanese Middle-Aged Adults: A Facility-Based
Retrospective Cohort Study. Otol Neurotol.
Accepted for publication.
- Jun Miyata, Masahide Yamazaki, Yoshimichi
Ueda. Complete remission after concurrent
single-agent S-1 chemoradiotherapy for stage
IIIB esophageal cancer: an autopsy case report.
Clin J Gastroenterol. 2022 Aug;15(4):688-693.
doi: 10.1007/s12328-022-01634-4.
- Jun Miyata, Kaname Dateoka, Tetsuya Yoshioka.
Acute airway obstruction by a mucus plug in a
patient with a 12-year history of inserting a
double cannula tracheostomy tube: A case
report. SAGE Open Med Case Rep. 2022 May
20;10:2050313X221100874.
doi:10.1177/2050313X221100874.

共著

- 西村 真子、伊達岡 要
不妊について相談されたら？ 第2章 Q09
産後に尿失禁があるとされたら？ 第2章 Q20
尿失禁や頻尿を相談されたときは？ 第3章 Q32
Q&Aで学ぶジェネラリストのための女性診療BASIC:井上
真智子 編著.金芳堂,京都,72-78,160-164,245-
250,2022.
- 吉岡 哲也
妊娠中のコモンプロブレムの対応とは？ 第2章 Q12
妊娠中の過ごし方について相談されたら？ 第2章 Q14
Q&Aで学ぶジェネラリストのための女性診療BASIC:井上
真智子 編著.金芳堂,京都,94-101, 116-122,2022.
- 伊達岡 要
産後の痔のケアについて 第2章 コラム
Q&Aで学ぶジェネラリストのための女性診療BASIC:井上
真智子 編著.金芳堂,京都,165,2022.

【恵寿総合病院 リハビリテーション科】

論文

- 川北 慎一郎
認知症 (アルツハイマー型認知症、レビー小体型認知症を
中心に) JOURNAL OF CLINICAL
REHABILITATION 32 (2) :160-164,2023.

共著

- 川北 慎一郎
下肢切断術後のリハビリテーションと退院支援
四肢切断術のすべて:田中 康仁・富村 奈津子編集.メジカルビュー社,東京都,28-33,2023.

【恵寿総合病院 病理診断科】

論文

- 上田 善道
Solitary extrahepatic hepatocellular carcinoma in vertebrae without a primary lesion in the liver might originate from bone marrow: a case report and new hypothesis based on a review of the literature and the latest findings.
Clin.J.Gastroenterol.2022.
<https://doi.org/10.1007/s12328-022-01701-w>
- 上田 善道
造影CTにて遅延濃染像を呈する線維化領域を伴った膵管内乳頭粘液性腺癌 (IPMC) ,非浸潤性の1 例.膵臓 Vol.37,265-273,2022.
- 上田 善道
The possibility of IPC to prevent ischemic-reperfusion Injury in skeletal muscle in a rat.
J.Clin.Med.Vol.12,1501,2023.
<https://doi.org/10.3390/jcm12041501>

【恵寿総合病院 心療内科】

論文

- 中川 東夫
臨床医学におけるデモリゼーションの重要性
—その概念と治療的関わり (対応・対処法) を中心に—
恵寿総合病院医学雑誌 Vol.11:11-16,2023.
- 中川 東夫
デモリゼーションと精神疾患
最新精神医学 第28巻 第1号:75-83,2023.

【恵寿総合病院 看護部】

論文

- 山本 美保
TPPV管理中の呼吸状態のアセスメントとケア
みんなの呼吸器 Respica 第20巻 6号:27-33,2022.

寄稿

- 本橋 敏美
「オーバーナイトベッド」の運用と

夜間緊急入院患者受入れ時のインセンティブの確立
看護2022.11臨時増刊号,Vol.74 No.14:74-78,2022.

【恵寿総合病院 介護部】

インタビュー

- 内田 かおり
注目集まる急性期病棟の介護職の役割
日経ヘルスケア 2022年12月号:50-52,2022.

【恵寿総合病院 事務部長 森下 毅】

論文

- RPAを用いた業務削減と新規見える化による
医療の質の向上
病院Vol.82 No.4:342-346,2023.

インタビュー

- けいじゅヘルスケアシステムで救急から生活支援までを支える
医療経営白書2022年版,日本医療企画,東京都,30-33,2022.

【恵寿総合病院 臨床栄養課】

インタビュー

- 西川 麻里奈
お仕事まるわかり辞典 2022石川版:57,2022.

【恵寿総合病院 臨床検査課】

論文

- 北野 可那子、川村 研二、古木 孝二、窪 亜紀、
谷内 正人、尾田 真一
急性単純性膀胱炎におけるESBL産生菌の分離頻度の
年次変化
恵寿総合病院医学雑誌 Vol.11:26-31,2022.

【恵寿総合病院 作業療法課】

論文

- 五十嵐 満哉
新たな生活様式で日課や役割の獲得、運動ジムへの参加
を図り社会的フレイルを予防できた事例
～入院・フレイルドック・個別運動教室でのOTの関わり～
石川県作業療法学術雑誌 31:17-22,2022.

【恵寿総合病院 医療安全管理部】

論文

- 小谷 薫
エスカレーター上での転倒
患者安全推進ジャーナル 2022 No.69

【恵寿総合病院 臨床研修センター】

論文

- 林 瑞樹、宮本 正治、豊田 洋平
視床下部性と推測される出産後下垂体前葉機能低下症
の1症例
恵寿総合病院医学雑誌 Vol.11:32-36,2022.
- 勝山 結慧、貫井 友貴、近川 由衣、山崎 雅英、
神野 正隆、川村 研二、上田 善道、石山 謙
血液免疫芽球性T細胞性リンパ腫の単剤抗腫瘍薬
purine nucleoside phosphorylase 阻害薬によりEB
ウイルス関連B細胞性リンパ腫（DLBCL）を合併した1例
恵寿総合病院医学雑誌 Vol.11:37-42,2022.
- 滝川 達也、新井 隆成、上田 善道、中条 裕一、宮澤 攻、
宮田 康一、安田 豊
同種免疫性胎児肝障害が疑われた胎児死亡の1例
恵寿総合病院医学雑誌 Vol.11:43-48,2022.
- 加藤 彰悟、安田 豊、尾山 量子、上田 善道、宮田 康一、
新井 隆成
絨毛膜血管炎病変を伴う高度絨毛膜羊膜炎を認めた
子宮内胎児死亡の1例
山梨産科婦人科学会雑誌 第13巻（2）:7-15, 2023.

【介護医療院 恵寿鳩ヶ丘】

論文

- Yoji Kokura
Prevalence of Malnutrition Assessed by the
GLIM Criteria and Association with
Activities of Daily Living in Older
Residents in an Integrated Facility for
Medical and Long-Term Care
Nutrients 14(17) 3656-3656 2022.

学会発表

【理事長補佐 神野 正隆】

- 新型コロナへの対応と仕組み作りによる病院経営
第21回日本医療経営学会学術集会・総会 シンポジウム
2022.11.4-5 会津若松市

【本部 本部長 進藤 浩美】

- 軌跡を振り返って後輩たちに伝えたいメッセージ
第30回石川県作業療法学会 シンポジウム
2022.7.2 金沢市

【本部 総務課】

- 中川 豪
人生100年プロジェクト～定年制の廃止と健康経営～
第63回全日本病院学会in静岡
2022.10.1-2 浜松市

【本部 企画課】

- 磯野 和香
Microsoft Teamsを使用した業務効率化
第63回全日本病院学会in静岡
2022.10.1-2 浜松市

【恵寿総合病院 内科】

- 山崎 雅英
学会認定医を中心とした輸血適正化の取り組み
第70回日本輸血・細胞治療学会学術総会
2022.5.27-29 オンライン
- 山村 健太、本江 真人、辻 徹朗、松田 康彦、野村 俊一、笠原 寿郎、矢野 聖二
メトレキサート投与中に胸水貯留を呈した関節リウマチの1例
第88回呼吸器合同北陸地方会
2022.5.29 オンライン
- 山崎 雅英
当院における高齢者新型コロナウイルス感染症
第64回日本老年医学会学術集会
2022.6.2-4 オンライン
- 林 瑞樹、宮本 正治
視床下部性と推測される出産後
下垂体前葉機能低下の1症例
第95回日本内分泌学会 2022.6.4 熊本市

- 山崎 雅英、谷田部 美千代
新型コロナウイルスワクチン接種とスパイク抗体価の推移
第37回日本環境感染学会
2022.6.16-18 オンライン
- 松田 雄斗、藤井 愛、岡田 圭一郎、山崎 雅英、野村 和利、宮竹 敦彦、向井 清孝、藤本 圭司、足立 浩樹、古市 賢吾
維持血液透析症例にみられた好酸球性胃腸炎の1例
第247回日本内科学会北陸地方会
2022.6.19 オンライン
- 宮本 正治
恵寿総合病院でのオンライン糖尿病診療の経験
第63回全日本病院学会in静岡
2022.10.1-2 浜松市
- 宮本 正治
90歳以上の高齢1型糖尿病 2例の治療経験
第33回日本老年病学会北陸地方会
2022.10.8 金沢市
- 山崎 雅英
COVID-19抗体価は新型コロナウイルス感染症院内感染の感染経路推定に利用できるか？
第69回日本臨床検査医学会学術集会
2022.11.18-20 オンライン
- 畠山 洋輔、辻 徹朗、松田 康彦、山村 健太、山崎 雅英、岡田 由恵、山口 浩輝
抗リン脂質抗体症候群を合併した好酸球性多発血管炎性肉芽腫の1例
第249回日本内科学会北陸地方会
2023.3.5 金沢市

【恵寿総合病院 消化器内科】

- 藤原 秀、大溝 知英、神野 正隆、守護 晴彦
胆管ステント留置後にステント圧迫に伴う炎症を契機とした胆道狭窄を生じた一例
第134回日本消化器病学会北陸支部例会
2022.10.16 金沢市
- 大溝 知英、藤原 秀、神野 正隆、守護 晴彦
上部消化管内視鏡的に確認し得た
大動脈十二指腸瘻の1例
第119回日本消化器内視鏡学会北陸支部例会
2022.11.27 金沢市

【恵寿総合病院 循環器内科】

- 金田 朋也、末松 哲郎、真弓 卓也
造影剤アレルギーによるKounis症候群が疑われた1例
日本循環器学会第160回東海・第145回北陸合同
地方会
2022.10.15-16 金沢市

【恵寿総合病院 整形外科】

- 阿部 健作、森永 敏生、河合 慈
術前作図の重要性を改めて実感した1例
第3回北信越Knee Osteotomy研究会
2022.4.16 富山市
- 阿部 健作、森永 敏生、河合 慈
内側半月板断裂に対するpullout修復術における脛骨骨
孔の解剖学的ベクトルの検討と臨床における可能性
第14回日本関節鏡・膝・スポーツ整形外科学会、
第48回日本整形外科学会スポーツ医学学会学術集会
2022.6.16-18 札幌市
- 河合 慈、森永 敏生、阿部 健作
上腕骨骨幹部骨折に対する髓内釘固定後に生じた
偽関節の一例
第139回中部日本整形外科学会災害外科学会
2022.10.28-29 大阪市
- 藤丸 直弥、森永 敏生、阿部 健作
当院におけるCPPアプローチでの人工骨頭挿入術の経験
第222回北陸整形外科集談会
2023.2.26 内灘町

【恵寿総合病院 産婦人科】

- 佐藤 友美、新井 隆成、宮田 康一、安田 豊
帝王切開癒痕症候群の症例集積研究
第50回北陸産科婦人科学会
2022.6.11-12 福井市
- 加藤 彰悟、安田 豊、尾山 量子、上田 善道、宮田 康一
新井 隆成
絨毛膜羊膜炎が原因と考えられた子宮内胎児死亡の1例
第50回北陸産科婦人科学会
2022.6.11-12 福井市

【恵寿総合病院 皮膚科】

- ニツ谷 剛俊、多賀 史晃、竹田 公信、安澤 数史、
望月 隆、清水 晶
MALDI-TOF MS（質量分析器）による

黒色真菌迅速同定

第66回日本医真菌学会総会・学術集会

2022.10.1 岐阜県

- ニツ谷 剛俊
恵寿総合病院における乾癬患者の集計と課題
第20回能登の皮膚科医会
2022.11.18 七尾市

【恵寿総合病院 リハビリテーション科】

- 川北 慎一郎
能登脳卒中連携協議会データベースについて
stroke web seminar
2022.5.25 金沢市
 - 川北 慎一郎
2021年度事業報告 会計報告・2022年度事業計画
能登脳卒中地域連携セミナー
2022.6.25 七尾市
 - 川北 慎一郎
難治性疼痛の脳内変化とアプローチ
stroke web seminar
2022.8.24 七尾市
 - 川北 慎一郎
チームでアプローチするボツリヌス治療
日本ボツリヌス治療学会
2022.9.17 オンライン/東京都
 - 川北 慎一郎
能登脳卒中連携協議会5年のあゆみ
能登脳卒中連携フォーラム
2022.10.29 七尾市
 - 川北 慎一郎
能登エリアの脳卒中地域連携の現状
第17回日本海脳卒中連携セミナー
2022.11.12 七尾市
 - 川北 慎一郎
当院回復期リハ病棟の認知症診断・治療
第41回日本認知症学会 2022.11.26 東京都
- #### 【恵寿総合病院 健康管理部】
- 新木 可奈子、上野 恭一、桐山 正人、川北 慎一郎、吉
岡 哲也、一谷 真澄、前多 亜佐子
多職種介入による検診と予防を組み合わせた
フレイルドックの取り組み
日本人間ドック学会
2022.9.2-3 千葉県

【恵寿総合病院 看護部】

- 石出 舞
不育症女性の心理についての文献研究
第38回石川県母性衛生学会総会・学術集会
2022.6.26 金沢市
- 川江 辰徳、櫻 栄一郎
特定看護師による人工呼吸器離脱や
気管チューブ抜去へ向けた介入がもたらす効果とは
第63回全日本病院学会in静岡
2022.10.1-2 浜松市
- 船山 真理子
安全な特定行為の実施のための手順書と
医師が看護師特定行為の指示を出しやすい仕組み
第63回全日本病院学会in静岡
2022.10.1-2 浜松市
- 藤井 有華、大谷 咲月
終末期に全人的苦痛を抱えるがん患者の苦痛緩和を目的
とした関わり -ACPと臨床倫理の4分割法を用いた事例-
中能登看護研究発表会
2022.11.12 七尾市
- 大野木 結菜、高本 一枝
タイジと噛んだ
ALSO-Japan学術集会
2022.11.22 オンライン
- 川江 辰徳
看護師の臨床推論に関する調査から見えてきた
思考プロセスの現状
第16回北陸地区脳神経リハビリテーション看護研究会
2022.12.17-2023.1.16 オンライン/YouTube配信

【恵寿総合病院 理学療法課】

- 小谷 恭平
脳幹出血により運動失調を呈した一症例
石川県理学療法士会 症例検討会
2022.10.14 オンライン
- 遠藤 海音
当院回復期リハビリテーション病棟における
入棟時重症者が退院時に改善する要因の調査
第31回石川県理学療法学会
2023.2.26 オンライン
- 大向 杜
当院回復期リハビリテーションにおける
下肢ボツリヌス注射施行症例と非施行症例の比較
第31回石川県理学療法学会

2023.2.26 オンライン

- 鹿野 志歩
開大式高位脛骨骨切り術後患者に対し
破局的思考尺度を用いて疼痛コントロールを行った一症例
第31回石川県理学療法学会
2023.2.26 オンライン
- 杉田 響
心疾患に対する理学療法士の認識について
第31回石川県理学療法学会
2023.2.26 オンライン
- 竹本 俊太郎
全失語を呈する急性期中大脳動脈血栓症患者に対し
座位時、立位時で言語反応を比較した一症例
第31回石川県理学療法学会
2023.2.26 オンライン
- 能美 葵
頸椎症性筋萎縮症近位型と診断され、
保存療法を選択し、外来リハに通院している一症例
第31回石川県理学療法学会
2023.2.26 オンライン
- 細口 智之
中能登町スーパー元気アップ塾 ～対象者選定医療機関と
通所&訪問一体型サービスの効果～
市町事業に関わるリハ専門職育成研修
2023.3.5 オンライン

【恵寿総合病院 作業療法課】

- 竹村 健太郎
視覚失認・記憶障害を呈した事例の回復期リハ病棟での
ADL獲得に向けた介入
第30回石川県作業療法学会
2022.7.2-3 金沢市
- 今井 菜央
歩行補助具を再検討し排泄自立を獲得できたことで
自宅退院つながった一例
第30回石川県作業療法学会
2022.7.2-3 金沢市

【恵寿総合病院 言語療法課】

- 荒尾 祐希
右後頭葉脳梗塞により連合型視覚失認を呈した矯正
右利き患者の一例
第513回北陸言語障害研究会
2022.7.9 七尾市

- 荒尾 祐希、諏訪 美幸、木村 聖子、真田 はるか、
数下 千穂、川北 慎一郎、東 壮太郎
矯正右利き右損傷で生じた視覚失認の一例
第20回北陸言語聴覚学術集会
2022.10.10 オンライン
- 数下 千穂、木村 聖子、諏訪 美幸、荒尾 祐希、
真田 はるか、川北 慎一郎
左側頭葉梗塞により聴覚失認が疑われた一失語症例
第11回石川県言語聴覚学術集会
2022.11.27 オンライン
- 真田 はるか
左被殻出血後に特徴的な呼称の誤りを認めた一例
第515回北陸言語障害研究会
2023.1.14 七尾市

【恵寿総合病院 臨床検査課】

- 井下 侑一郎
透徹工程における代替キシレンの影響
第71回日本医学検査学会
2022.5.21-22 オンライン併用
- 片倉 友美
当院におけるタスクシフト事業の推進
第48回石川県医学検査学会
2023.3.21 オンライン併用

【恵寿総合病院 臨床研修センター】

- 林 瑞樹
視床下部性と推測される出産後
下垂体機能前葉低下の1症例
第95回日本内分泌学会学術総会
2022.6.3 別府市
- 加藤 彰悟
絨毛膜羊膜炎が原因と考えられた子宮内胎児死亡の1例
第50回北陸産婦人科学会
2022.6.11 福井市
- 岩井 勝矢
心電図所見と乖離した左室肥大が診断の契機となった
アミロイドーシスの2例
第248回北陸地方会
2022.9.4 富山市

【恵寿金沢病院 外科】

- 道輪 良男
再発後長期経過観察可能であった乳癌

oligometastasis 3 例の検討
第30回日本乳癌学会学術総会
2022.6.30-7.2 オンライン併用

- 道輪 良男
乳癌内分泌療法により甲状腺機能異常を認めた2例
第74回北陸乳癌懇話会
2022.12.17 金沢市

【恵寿金沢病院 作業療法課】

- 生田 隆倫
デイケア卒業に不安があった事例の移行支援に向けた多職
種連携について
日本作業療法士協会
2023.1.19

【恵寿金沢病院 薬剤課】

- 宮森 久志、高橋 稚奈、山下 剛史、三坂 亜希、
稲葉 由美子、高倉 美穂
当院におけるポリコナゾールの投与設計I
第63回全日本病院学会in静岡
2022.10.1-2 浜松市
- 三坂 亜希、山下 剛史、高橋 稚奈、高倉 美穂、
稲葉 由美子、宮森 久志
当院におけるポリコナゾールの投与設計II
第63回全日本病院学会in静岡
2022.10.1-2 浜松市

【恵寿金沢病院 臨床栄養課】

- 羽根 由子、小蔵 要次
造血器腫瘍患者においてグルタミンの経口摂取は
口腔粘膜障害と下痢を軽減するか
第26回日本病態栄養学会年次学術集会
2023.1.13-15 京都市

【介護老人保健施設 和光苑】

- 福井 朱美
ベッド上生活から離床に向けた認知症事例への関わり
～本人の合意と多職種連携によるADL向上を目指して～
全国老人保健施設大会
2022.9.22-23 神戸市
- 畑中 聡子
介護老人保健施設で褥瘡を発生した超高齢入所者に
多職種で介入治療した一例
日本病態栄養学会 2023.1.13 オンライン

【介護医療院 恵寿鳩ヶ丘】

- 小蔵 要司
肥満脳卒中患者における体重減少とADL改善の関連
能登脳卒中地域連携セミナー
2022.6.25 七尾市
- 小蔵 要司
低栄養やサルコペニア患者に対する攻めの栄養療法の
概念、適用と禁忌
第26回日本病態栄養学会年次学術集会 シンポジウム
2023.1.15 京都市
- 小蔵 要司
介護医療院におけるGLIM基準低栄養の有病率および
日常生活動作との関連
第26回日本病態栄養学会年次学術集会
2023.1.15 京都市

【青山彩光苑リハビリテーションセンター】

- 宮本 あい
『やりたい』『できる』に着目して
～ガーデニング活動の取り組み～
中部ブロック 身体障害者自立訓練事業所研修会
2022.10.7 オンライン

【青山彩光苑ライフサポートセンター】

- 山口 雅大
自力摂取向上に向けて
～職員の関わりの工夫で変わる～
東海北陸地区 身体障害者施設研究大会
2022.11.17-18 岐阜市

【青山彩光苑穴水ライフサポートセンター】

- 幸崎 吉敏
コロナ禍における新しいサービスの創造
～人との交流の大切さ～
東海北陸地区 身体障害者施設職員研究大会
2022.11.17-18 岐阜市

講師・座長・パネリスト等

【理事長 神野 正博】

- ・ 診療報酬改定から考える、これからの地域医療～人口減少・超高齢社会における持続可能な医療とは～（講師）
一般社団法人サードパス「診療報酬改定から考える、これからの地域医療」2022.4.14 オンライン
- ・ 電子カルテと地域連携システム（2）：
患寿グループの取り組み（講師）
#04 医療・介護におけるDXと働き方改革
（最新の医療福祉の動向 I）2022.6.27 オンライン
- ・ 第72回日本病院学会 一般口演 30（座長）
2022.7.7-8 オンライン/松江市
7.25-8.27 オンデマンド配信
- ・ 受診者のニーズを踏まえた地域医療提供におけるICT等の活用（シンポジスト）
国際モダンホスピタルショー2022
2022.7.13-15 オンライン/東京都
- ・ 国際ロータリーPolicy StatementとしてのDEIを考える
（講師）七尾ロータリークラブ 第3224回例会
2022.8.5 七尾市
- ・ 経営部門の職域の確立と専門人材の育成のない医療機関に未来はない（講師）
日本医療経営職域対策協議会 設立記念フォーラム
2022.8.6 オンライン
- ・ 地域創生!!逆参勤交代が導く七尾市の未来
～次世代を育むステージへ～「未来をつくるため これからの求められる行動とは」（パネリスト）
YATAGOUピレッジセカンド大学 まちづくりフォーラム
2022.8.25 オンライン/七尾市
- ・ 働き方改革に対応したメンタルヘルスについて、変則的宿日直許可について（講師）
医師の働き方改革に関するセミナー
～2024年制度施行に向けて～
2022.8.31 オンライン
- ・ 切迫する医業経営の危機と経営戦略（講師）
一般社団法人 南多摩医療圏病院管理研究会
2022.9.1 オンライン
- ・ DXは病院の働き方改革にいかにかに寄与するか（講師）
第33回 DPCマネジメント研究会学術大会
2022.9.3 オンライン
- ・ 時代に合わせて進化し続け、選ばれる病院へ（講師）
Hospital Management Japan Summit 2022
2022.9.7-8 東京都
- ・ 第1回 看護師特定行為に係る指導者リーダー養成研修会（ディレクター）
全日本病院協会
2022.9.11 オンライン
- ・ 患寿総合病院における地域医療/介護システムの取り組み（講師） 第20回Think-in
2022.9.22 オンライン/東京都
- ・ 地域包括ヘルスケアシステム構築の取組み（パネリスト）
第63回全日本病院学会in静岡
2022.10.1-2 浜松市
- ・ どうする？データヘルス集中改革（座長）
第63回全日本病院学会in静岡
2022.10.1-2 浜松市
- ・ 急性期病院における介護部設立の意義（講師）
医療介護福祉政策研究フォーラム 第87回医療研究会
2022.10.5 オンライン
- ・ ロータリーの魅力を語れるか（講師）
国際ロータリー第2610地区 地区大会
指導者育成セミナー 2022.10.22 富山市
- ・ 今後の地方における医療機関のあるべき姿（講師）
株式会社日本経営 東北事務所開設記念セミナー
2022.10.28 仙台市
- ・ 医療経営士の職域確立とこれからの人材教育（講師）
第11回全国医療経営士実践研究大会 WEB大会
2022.11.1-30 オンライン配信
- ・ with/postコロナ時代の医療のあり方を考える（講師）
第16回日本薬局学会学術総会 2022.11.5 福岡市
- ・ 働き方改革・タスクシフティングとパス（シンポジスト）
第22回日本クリニカルパス学会学術集会
2022.11.12 岐阜市
- ・ これからの地域医療をデザインする（講師）
医療デザインサミット2022 BEYOND BORDERS
2022.11.18 オンライン
- ・ 日本の医療の未来
～多様な価値に寄り添うための テクノロジー～（講師）
第10回 大阪府看護学会
2022.11.26-2023.1.12 Web配信
- ・ 医療 DX の必然性を問う（講師）
インテル® IoT プラネット オンラインセミナー
2022.11.29 オンライン

- 病院運営における医療DXの活用（講師）
国家公務員共済組合連合会（KKR）病院戦略会議
2022.12.2 大阪市
 - これからの病院経営と恵寿総合病院の戦略（講師）
朋遠会12月度セミナー
2022.12.18 オンライン
 - 働き方改革と医師需給（講師）
2022年度 全日本病院協会総合医育成プログラム 医療
運営コース 2023.1.8 オンライン
 - 恵寿総合病院のデザイン経営は
応用展開できるか？（講師）
地域医療デザインフォーラム
2023.1.22
 - DMZネットワークを基盤とした仮想デスクトップ型
電子カルテの活用（講師）
医療ITの現状と課題WEBセミナー
2023.1.22 オンライン
 - 少ない人員で最大の効果を上げる生産性向上を目的と
したDX/医療DX推進事例及び、新時代のヘルスケアと
働き方改革（講師）
JPIセミナー 2023.2.2 オンライン
 - 病院・医療のDXを進めよ（講師）
Hospital Director Conference in 北海道
2023.2.3 オンライン
 - 今後の医療方向性について 2024年トリプル改定、
第8次医療計画、医療のDX（講師）
令和4年度第1回経営管理研究会
2023.2.8 オンライン
 - 医療DXが病院経営と薬剤処方適正化に
与える影響（講師）
医療DXが病院経営と薬剤処方適正化に与えるセミナー
2023.2.10-3.13 オンデマンド配信
 - Diversityでつくる地域社会（講師）
七尾商工会議所女性会新春会員懇談会
2023.2.13 七尾市
 - 院内から地域へ特定行為研修修了者の
活躍を考える（座長）
看護師の特定行為に係る指定研修機関連絡会総会
2023.2.15 オンライン
 - ローターのパーパスを考える（講師）
国際ローター第2610地区石川第2グループIM
2023.3.5 能美市
 - 医療DX推進の必然性を問う
新時代のヘルスケアと働き方改革（講師）
 - 日経健康セミナー21スペシャル
「医療・介護マネジメント最前線」第20回記念講演
2023.3.7 東京都
 - 石川県地域医療セミナー2023（座長）
2023.3.17 オンライン
 - 医療の動向と働き方改革、タスクシフト/シェア（講師）
第7回滋賀医科大学特定行為フォーラム
2023.3.21 オンライン
 - 病院におけるDX戦略の考え方と導入事例（講師）
医療DXとどう向き合うか
～病院のDX戦略、働き方改革、ロボット活用～
2023.3.31 オンライン
- 【本部 本部長 進藤 浩美】**
- 職業倫理（講師）
石川県作業療法士会現職者共通研修会
2022.8.28 オンライン
- 【恵寿総合病院 病院長 鎌田 徹】**
- 新型コロナウイルス感染症と
ロコモティブシンドロームのお話し（講師）
なぎの浦講演会
2022.6.19 七尾市
 - “ヒトを責めずに、仕組みを変えよう”
—恵寿総合病院における取組について—（講師）
日本海総合病院 業務改善委員会主催講演会
2022.10.7 山形県
 - 疼痛コントロールに困ることはありますか？
—神経障害性疼痛について—（座長）
能登 がんのトータルケアセミナー
2022.10.21 オンライン
 - これからの地域を支える在宅医療に向けて
特定行為研修の意義とこれから（講師）
県医師会 在宅医療研修会
在宅医療のさらなる広がりを目指して
2022.11.2 七尾市/オンライン
 - HER2陽性転移再発乳癌治療の
ネクストステージ（座長）
能登乳がんWebセミナー
2023.2.8 オンライン
- 【恵寿総合病院 内科】**
- 山崎 雅英
当院におけるがん化学療法（講師）

- 病診薬局連携がん化学療法カンファレンス
2022.6.22 七尾市
- 山崎 雅英
血液悪性腫瘍に対する新しい化学療法
—多発性骨髄腫を中心に— (講師)
病診薬局連携がん化学療法カンファレンス
2022.9.12 七尾市
 - 山村 健太
肺がんに対する薬物療法の変遷 (講師)
病診薬局連携がん化学療法カンファレンス
2022.10.27 七尾市
 - 山崎 雅英
免疫チェックポイント阻害薬副作用 (irAE) について
(講師)
病診薬局連携がん化学療法カンファレンス
2022.11.24 七尾市
 - 山崎 雅英
気道感染症に対する 実臨床における
経口抗菌療法 (講師)
患寿オープンカンファレンス/病診感染症連携カンファレンス
2022.11.28 オンライン併用
 - 宮本 正治
心臓リハビリテーションを行った
心不全合併糖尿病例 (研究会)
七緒の会 令和4年度 第1回糖尿病懇談会
2022.11.29 七尾市
 - 宮本 正治
患寿総合病院での高齢者糖尿病診療の経験 (講師)
輪島・穴水地区 糖尿病診療セミナー
2022.12.1 輪島市
 - 山崎 雅英
尿路感染症・皮膚軟部組織感染症 (講師)
患寿オープンカンファレンス/病診感染症連携カンファレンス
2023.2.27 オンライン併用

【患寿総合病院 消化器内科】

- 守護 晴彦
当院のウイルス性肝炎患者拾い上げの現状 (講師)
HCV Elimination Web Meeting
2022.4.14
- 守護 晴彦
肝臓を生き生きと もうこわくないB型とC型 (講師)
石川県能登北部保健所
令和4年度肝炎ウイルス感染者等支援事業

- 2022.11.18 輪島市/2022.12.9 七尾市
- 守護 晴彦
能登地区C型肝炎講演会 (座長)
2022.12.8 七尾市
 - 守護 晴彦
七尾市医師会学術講演会 (座長)
2022.12.22 七尾市
- #### 【患寿総合病院 循環器内科】
- 末松 哲郎
診療における疑問点を解消する (講師)
PCI Expert Meeting in Ishikawa
2022.5.27 オンライン
 - 金田 朋也
日本循環器学会第144回北陸地方会 (座長)
2022.6.25 金沢市
 - 金田 朋也
当院における循環器内科の取り組みについて (講師)
心臓病地域連携WEBセミナー
2022.8.31 オンライン
 - 末松 哲郎
左総腸骨動脈のEVT後骨盤内出血の止血に
難渋した一例 (講師)
3施設合同症例検討会 2022.9.8 オンライン
 - 金田 朋也
日本循環器学会第160回東海・第145回北陸合同
地方会 (座長)
2022.10.15-16 金沢市
 - 金田 朋也
糖尿病と心不全 (講師)
令和4年度第1回糖尿病懇談会
2022.11.29 オンライン
 - 真弓 卓郎
当院における心不全患者の動向 (講師)
能登循環器疾患研究会
2023.3.14 オンライン

【患寿総合病院 整形外科】

- 森永 敏生
骨粗鬆症セミナーin能登 (座長)
2022.6.8 オンライン/七尾市
- 森永 敏生
医科歯科連携オンラインセミナーin能登 (座長)
2022.9.1オンライン/七尾市

- 森永 敏生
骨粗鬆症 臨床セミナー（講師）
アステラス製薬株式会社 社内勉強会
2022.9.13 オンライン/七尾市
- 森永 敏生
整形外科疾患を考える会
～能登エリアでの骨粗鬆症診療～（座長）
2022.11.16 オンライン/七尾市
- 森永 敏生
第一三共製薬株式会社 社内勉強会（講師）
2023.1.20 オンライン/七尾市
- 阿部 健作
OLS Seminar from NOTO（座長）
2023.2.17 オンライン/七尾市
- 森永 敏生
骨粗鬆症トータルマネジメント
Online Seminar（座長）
2023.3.3 オンライン/七尾市

【恵寿総合病院 産婦人科】

- 新井 隆成
第4回 能登母子保健・医療連携ネットワーク研究会
BLSOプロバイダーコース能登（講師）
2023.2.18-19 七尾市

【恵寿総合病院 家庭医療科】

- 伊達岡 要
外来での抗菌薬適正使用～レボフロキサシン～
恵寿オープンカンファレンス/病診感染症連携カンファレンス
2023.10.24 オンライン併用

【恵寿総合病院 皮膚科】

- ニツ谷 剛俊
真菌薬内服のタイミングを見逃さない（講師）
佐藤製薬 医師奨励講演会
2022.6.24 金沢市
- ニツ谷 剛俊
真菌薬内服のタイミングを見逃さない（講師）
爪白癬診療セミナーin石川
2022.7.8 金沢市
- ニツ谷 剛俊
能登地区における乾癬治療の実態（講師）
能登地区乾癬病診連携の会
2022.10.14 金沢市

- ニツ谷 剛俊
爪白癬診療を成功させるには（パネリスト）
爪白癬診療ディスカッションin金沢
2022.12.15 金沢市
- ニツ谷 剛俊
ドボベット®フォームの当院における使用経験（講師）
第2回Psoriasis Forum in Kanazawa
2023.3.3 金沢市

【恵寿総合病院 リハビリテーション科】

- 川北 慎一郎
心原性脳塞栓症急性期診療とESUS（座長）
能登脳卒中地域連携セミナー
2022.6.25 七尾市
- 川北 慎一郎
がんリハ研修会ワークショップ（座長）
2022.7.2 七尾市
- 川北 慎一郎
第3回能登摂食・嚥下栄養研究会（座長）
2022.7.13 七尾市
- 川北 慎一郎
高次脳機能障害の障害部位とリハビリ（講師）
高次脳機能障害支援担当者研修会
2022.9.9 金沢市
- 川北 慎一郎
エコーガイド下の施注の手順（講師）
北陸ボツリヌス療法セミナー
2022.9.22 金沢市
- 川北 慎一郎
超高齢社会における適切な抗血栓療法（座長）
能登脳卒中連携フォーラム
2022.10.29 七尾市
- 川北 慎一郎
慢性疼痛の病態と治療
（脳卒中後疼痛を中心に）（講師）
疼痛診療オンラインセミナー
2023.3.15 オンライン
- 川北 慎一郎
上下肢痙縮へのボツリヌス治療アップデート（講師）
- 北陸ボツリヌス治療ワークショップ
2023.3.20

【恵寿総合病院 病理診断科】

- 上田 善道
間質性肺疾患の病理（講師）
金沢医科大学系統講義「呼吸器系ユニット」
2022.5.11 内灘町
- 上田 善道
心不全の病理（講師）
金沢医科大学系統講義「循環器系ユニット」
2022.6.17 内灘町
- 上田 善道
腎疾患の病理（講師）
金沢医科大学系統講義「腎・泌尿器系ユニット」
2022.6.22 内灘町

【恵寿総合病院 看護部】

- 船山 真理子
病態疾病論 呼吸機能障害看護（講師）
石川県立田鶴浜高等学校 衛生看護専攻科
2022.4月-7月 七尾市
- 本橋 敏美
経営分析に基づいた組織管理（講師）
公益社団法人 大阪府看護協会
認定看護管理者教育課程 セカンドレベル研修
2022.6.18,9.17 大阪府
2022.12.7 オンライン/大阪府
- 船山 真理子
特定行為研修支援と活用のしくみについて（講師）
特定行為研修普及啓発事業研修
石川県医師会 2022.11.2 オンライン/七尾市
- 川江 辰徳
院内から在宅へ！在宅領域で活躍する特定看護師の
基盤づくり～栄養及び水分管理に係る薬剤投与に関連
に焦点をあてて（講師）
特定行為研修普及啓発事業研修
石川県医師会 2022.11.2 オンライン/七尾市
- 中河 健一
病院内での医師との連携や活動状況等について（講師）
特定行為研修普及啓発事業研修
石川県医師会 2022.11.2 オンライン/七尾市
- 櫻 さおり
中能登町地域包括ケアに向けて
「いま」を知りたい！（講師） 2022.11.12 中能登町
- 本橋 敏美
看護サービスの質管理（講師）

公益社団法人 石川県看護協会
認定看護管理者教育課程 ファーストレベル研修
2022.11.16,11.21 金沢市

- 戸田 秀之
成人看護学Ⅱ 血液・造血器看護（講師）
石川県立田鶴浜高等学校 衛生看護専攻科
2022.11月-12月 七尾市
- 山田 志都子
老年看護学Ⅱ 認知症看護（講師）
石川県立田鶴浜高等学校 衛生看護専攻科
2022.11月-12月 七尾市
- 半浦 聖香
高齢者の糖尿病について（講師）
能登地区訪問看護連絡会
2023.1.20 オンライン
- 山崎 道恵
脱水に対する輸液による補液管理（講師）
石川県看護師の特定行為に係る指定研修機関連携会
第1回特定行為研修了看護師実践報告
2023.2.4 オンライン併用

【恵寿総合病院 介護部】

- 形田 晃子
ゼロからはじめる 介護職入門セミナー
基本的な介護の方法（講師）
石川県社会福祉協議会
福祉の仕事マッチングサポートセンター
2022.12.13-14 七尾市

【恵寿総合病院 事務部長 森下 毅】

- 職員やりがい度調査結果から見える当院の課題（講師）
公益財団法人日本医療機能評価機構
職員やりがい度活用支援セミナー
2023.2.28 オンライン
2023.3.28- オンデマンド配信
- 看護情報学
七尾看護専門学校

【恵寿総合病院 管理課】

- 松木 尊紀法
第1回特定行為研修了看護師実践報告（座長）
石川県看護師の特定行為に係る指定研修機関連携会
2023.2.4 オンライン併用

【恵寿総合病院 入退院管理センター】

- 宮田 琴江
中能登町地域包括ケアに向けて「いま」を知りたい!
2022.11.12 中能登町

【恵寿総合病院 放射線課】

- 山口 健二
半導体PETにおける高血糖患者の
FDGPET画像についての検討 (講師)
第3回石川県診療放射線技師会学術研修会
2022.6.23 石川県

【恵寿総合病院 理学療法課】

- 桶 拓貴
口述発表 訪問リハビリテーション「運動器」(座長)
第20回日本訪問リハビリテーション協会学術大会in長崎
2022.6.5 オンライン
- 田中 秀明
臨床実習指導者講習会 (講師)
石川県理学療法教育協議会
2022.9.10-11/2022.11.11-12 オンライン
- 久保 佳子
石川県立田鶴浜高等学校
健康福祉科「リハビリテーションと介護」(講師)
石川県立田鶴浜高等学校
2022.10.12-14 七尾市
- 田中 秀明
第20回日本神経理学療法学術大会 (座長)
日本神経理学療法学会
2022.10.15-16 大阪市
- 桶 拓貴
中能登町地域リハビリテーション活動支援事業 (講師)
中能登町高齢者支援センター
2023.1.24 中能登町
- 大森 光紗
中能登町地域リハビリテーション活動支援事業 (講師)
中能登町高齢者支援センター
2023.1.30 中能登町
- 室野 翔太
中能登町地域リハビリテーション活動支援事業 (講師)
中能登町高齢者支援センター
2023.2.23 中能登町
- 細口 智之
市町事業に関わるリハビリテーション専門職

育成研修② (講師)

石川県理学療法士会・作業療法士会・言語聴覚士会
連絡会

2023.3.5 オンライン

- 三平 拓矢
中能登町地域リハビリテーション活動支援事業 (講師)
中能登町高齢者支援センター
2023.3.27 中能登町
- 石川 貴士
中能登町地域リハビリテーション活動支援事業 (講師)
中能登町高齢者支援センター
2023.3.27 中能登町
- 有吉 一弘
中能登町地域リハビリテーション活動支援事業 (講師)
中能登町高齢者支援センター
2023.3.30 中能登町

【恵寿総合病院 作業療法課】

- 五十嵐 満哉
老年期作業療法の治療的枠組み (講師)
石川県作業療法士会現職者選択研修会
「老年期の作業療法」
2022.9.11 オンライン
- 北谷 涉
退院後に通所リハを利用し、上手く地域資源に
つなげられなかった症例 (講師)
石川県作業療法士会地域保健福祉部保健研修会「地域
包括ケアシステムとは～退院支援ケースを通して学ぼう～」
2023.1.21 オンライン
- 五十嵐 満哉
ミニレクチャー押さえておきたい!
運転再開支援の基礎④「実車評価」 (講師)
石川県作業療法士会運転と作業療法に係る委員会
第2回勉強会 2023.3.3 オンライン
- 永井 亜希子
当院の取り組みを踏まえ、2022年度改定を振り返る
～急性期～ (講師)
石川県作業療法士会診療報酬介護報酬改定研修会
2023.3.25 オンライン
- 北谷 涉
診療報酬改定後の実践報告
恵寿総合病院の取り組み (回復期) (講師)
石川県作業療法士会診療報酬介護報酬改定研修会
2023.3.25 オンライン

【恵寿総合病院 言語療法課】

- 木村 聖子
障害認識とコミュニケーション
～学齢期から青年期～（講師）
NPO法人難聴と共に歩む親子の会 金沢方式研究会
18期 金沢方式総会 2022.5.22 オンライン併用
- 諏訪 美幸
言語聴覚療法の動向（講師）
石川県言語聴覚士会 障害学習基礎講座
2022.10.9 オンライン
- 木村 聖子
第1回 親御さんの現在の気持ちを伺う、心配なことをお聞きして、先輩親とSTからアドバイス（講師）
NPO法人難聴と共に歩む親子の会 金沢方式研究会
新入会員向け講習会
2022.10.29,2023.3.4 オンライン
- 木村 聖子
介護福祉基礎（講師）
石川県立田鶴浜高等学校健康福祉科
2022.11.16,12.15 七尾市
- 木村 聖子
治療論 言語療法（講師）
七尾看護専門学校
2022.11.8,11.15 七尾市
- 真田 はるか
かみかみ百歳体操の指導と口腔機能講話（講師）
中能登町地域リハビリテーション活動支援事業
2023.2.16 中能登町
- 荒尾 祐希
かみかみ百歳体操の指導と口腔機能講話（講師）
中能登町地域リハビリテーション活動支援事業
2023.3.14 中能登町
- 諏訪 美幸
かみかみ百歳体操の指導と口腔機能講話（講師）
中能登町地域リハビリテーション活動支援事業
2023.3.23 中能登町

【恵寿総合病院 リハビリテーション教育研修センター】

- 井舟 正秀
リハビリテーション看護（理学療法関係）（講師）
七尾看護専門学校 2022.10.4,11 七尾市
- 井舟 正秀
市民公開講座 最新の脳卒中治療とリハビリテーション
（座長）2023.3.11 七尾市

【恵寿総合病院 薬剤課】

- 室宮 智彦
腎臓病の地域連携を考える会in能登エリア（座長）
2022.12.8 オンライン

【恵寿総合病院 臨床栄養課】

- 前田 美穂
日本栄養士会 2022年度
静脈経腸栄養（TNT-D）（講師）
管理栄養士研修会 スキルアップセミナー インストラクター
2022.5.29,10.23
- 前田 美穂
日本栄養士会 2022年度 静脈経腸栄養（TNT-D）
（講師）管理栄養士認定研修会 インストラクター
2022.6.18,7.9,12.17
- 前田 美穂
高齢糖尿病患者の問題点と食事支援（講師）
輪島・穴水地域糖尿病診療セミナー
2022.12.6 オンライン
- 田中 裕子、前田 美穂
オンライン栄養指導の実施（講師）
令和4年度糖尿病患者を助け合う地域連携協議会・
七緒の会 糖尿病懇談会 2022.3.8 七尾市

【恵寿総合病院 臨床検査課】

- 尾田 真一
講義（講師）
七尾看護専門学校
2022.12.20,2023.1.10,17,24 七尾市
- 橋 ひとみ
講義（講師）
七尾看護専門学校
2023.1.31,2.7,14 七尾市

【恵寿総合病院 感染制御課】

- 谷田部 美千代
COVID-19感染対策を活かそう
～ピンチがチャンスに～（講師）
第38回 石川感染対策フォーラム
2022.5.27 オンライン
- 谷田部 美千代
清潔保持と感染予防（講師）
介護職員等による喀痰吸引・経管栄養研修
2022.10.12 七尾市

- 谷田部 美千代
感染管理認定看護師教育課程 実習指導
石川県立看護大学附属看護キャリア支援センター
2022.10.24-11.25 七尾市

【恵寿金沢病院 内科】

- 村田 了一
AMLフォーラム in 石川 (パネリスト)
2022.10.25 オンデマンド・YouTube配信
- 村田 了一
特別講演 多発性骨髄腫における維持療法の意義
～MRDの見地から～ (座長)
北陸血液疾患Forum 2023.1.23

【恵寿金沢病院 外科】

- 道輪 良男
第29回石川NST研究会 (座長)
2023.3.18 金沢市

【恵寿金沢病院 理学療法課】

- 諏訪 勝志
主任介護支援専門員としての実践の振り返りと指導及び
支援の実践/リハビリテーションや福祉用具の活用に関する
事例 (講師)
石川県社会福祉協議会 令和4年度主任介護支援
専門員更新研修
2022.11.11,14 オンライン
- 諏訪 勝志
ケアマネジメントの展開/
脳血管疾患に関する事例 (講師)
石川県社会福祉協議会 令和4年度介護支援専門員
専門実務研修・更新研修B・再研修
2022.1.25 オンライン
- 諏訪 勝志
ケアマネジメントの展開/
内臓の機能不全に関する事例 (講師)
石川県社会福祉協議会 令和4年度介護支援専門員
専門実務研修・更新研修B・再研修
2023.2.13 オンライン

【恵寿金沢病院 作業療法課】

- 米山 千尋
金沢市介護予防支援会議 (アドバイザー)
2022.12.28 金沢市

- 東川 哲朗
臨床実習新時代の幕開け (講師)
石川県作業療法教育協議会・石川県作業療法士会
2022年度診療参加型実習に関する研修会
2023.1.27 石川県

- 米山 千尋
体力測定 (講師)
金沢市そくさい出前講座
2023.2.10,3.10 金沢市

- 東川 哲朗
元気で長生き (講師)
金沢市そくさい出前講座 (三和公民館)
2023.2.13 金沢市

- 東川 哲朗
認知症予防教室 (講師)
金沢市スポーツ事業団転ばん元気な体づくり教室
2023.2.21 金沢市

【恵寿金沢病院 看護部】

- 井上 直美
コロナ関連施設へ就業する看護職のための
スキルアップ研修会 (講師)
2022.6.27,7.23,8.7,9.5 金沢市
- 酢野 亜由子
中小規模病院における院内教育体制構築のための
教育担当者養成研修 (講師)
2022.7.6 オンライン
- 前大道 綾子
高齢者施設等感染症対応力強化事業における助言者
2022.7.27 金沢市
- 井上 直美
高齢者施設等感染症対応力強化事業における助言者
2022.10.25 金沢市
- 前大道 綾子
高齢者施設等感染症対応力強化事業における助言者
2022.11.25 金沢市
- 清水 ちえみ
仕事探しシェルパ 職業講話
ジョブカフェ石川 2022.12.9 金沢市
- 濱下 朋子
各施設における各認知症患者のケアマネジメントの
実際について学ぶ (講師)
令和4年度専門的看護実践能力研修
【認知症看護】事業 2023.2.3 かほく市

【介護医療院 恵寿鳩ヶ丘】

- 鶴野 誠
介護過程の理論と指導方法（ファシリテーター）
令和4年度石川県介護福祉士会
介護福祉士養成実習施設実習指導者特別研修
2022.5.21 金沢市
- 田辺 航也
時代に乗り遅れるなケアマネジャー（ファシリテーター）
石川県介護支援専門員協会 能登中部支部研修会
2022.7.23 オンライン
- 小蔵 要司
体組成の評価（講師）
一般社団法人回復期リハビリテーション病棟協会
第6回管理栄養士スキルアップセミナー
2022.9.5-30 オンデマンド配信
- 鶴野 誠
ケア場面での気づきと助言（ファシリテーター）
令和4年度石川県介護福祉士会
第5回ファーストステップ研修 2022.9.12 金沢市
- 鶴野 誠
介護技能グランプリ（入浴部門審査員）
いしかわ介護フェスタ 2022.10.8 金沢市
- 鶴野 誠
職種間連携の実践的展開（ファシリテーター）
令和4年度石川県介護福祉士会
第9回ファーストステップ研修 2022.10.14 金沢市
- 原田 真梨
にこにこ健康教室（講師）
令和四年度穴水町健康教室 2022.10.17 穴水町
- 東野 優香
パワーアップ教室（講師）
令和四年度一般介護予防事業
2022.10.20,27,12.5 穴水町
- 田辺 航也
家族支援と対人援助（ファシリテーター）
石川県介護支援専門員協会 能登中部支部・
北部合同研修会 2022.10.22 オンライン
- 蒲生 智子
パワーアップ教室（講師）
令和四年度一般介護予防事業
2022.11.10,12.1,2023.1.19 穴水町
- 道邊 要太
輝健康教室（講師）
令和四年度穴水町健康教室 2022.11.16 穴水町
- 鶴野 誠
介護における安全確保（講師）
ゼロからはじめる介護職入門セミナー 2022.12.8 七尾市
- 小蔵 要司
リハビリテーション栄養における診断推論（講師）
東北リハビリテーション栄養懇話会
2022.12.11 オンライン
- 星野 雄太
住吉健康教室（講師）
令和四年度穴水町健康教室 2022.12.13 穴水町
- 田辺 航也
相談援助の専門職としての基本姿勢及び相談援助技術
の基礎/ケアマネジメントのプロセス/ケアマネジメントに
必要な基礎知識及び技術/受付及び相談並びに契約
（ファシリテーター）
令和4年度 石川県介護支援専門員協会 実務研修
2022.12.16 オンライン併用
- 田辺 航也
ケアマネジメントに必要な基礎知識及び技術/居宅サービス
計画等の作成/利用者、多くの種類の専門職等への説明
及び合意（ファシリテーター）
令和4年度 石川県介護支援専門員協会 実務研修
2022.12.23 オンライン併用
- 大崎 志帆
からこ健康教室（講師）
令和四年度穴水町健康教室 2023.1.18 穴水町
- 道邊 要太
おたっしや教室（講師）
令和四年度穴水町健康教室 2023.1.20 穴水町
- 小蔵 要司
シンポジウム リハビリテーションと栄養（座長）
第26回日本病態栄養学会年次学術集会
2023.1.25 京都市
- 大崎 志帆
第31回石川県理学療法学術大会（座長）
2023.2.26 オンライン
- 蒲田 千晴
ブルート健康教室（講師）
令和四年度穴水町健康教室 2023.3.3 穴水町
- 田辺 航也
人と想いを紡ぐ地域づくり
～今一度、権利擁護について考える～（ファシリテーター）
能登地区3団体合同研修会
2023.3.18 オンライン

【徳充会 事務局】

- 畑中 浩樹
令和4年度福祉職員キャリアパス対応生涯研修課程
初任者コース（講師）
石川県社会福祉協議会
2022.10.24-25 石川県

【青山彩光苑リハビリテーションセンター】

- 久保 奈保
令和4年度サービス管理責任者等更新研修演習
（ファシリテーター）
令和3年度サービス管理責任者等更新研修
2022.8.24, 9.22,30 石川県
- 久保 奈保
連携について（パネリスト）
相談支援従事者初任者（基礎）研修
2022.10.18 石川県
- 久保 奈保
サービス提供における利用者主体のアセスメント（講師）
サービス等利用計画と個別支援計画の関係性（講師）
令和4年度サービス管理責任者等基礎研修
2022.11.17-18,12.8-9 石川県
- 久保 奈保
モニタリングの方法・視点（講師）
サービス提供職員への助言・指導（講師）
現場実践におけるスーパービジョン活用について（講師）
サービス担当者会議等におけるサビ児管の役割（講師）
自立支援協議会を活用した地域課題の解決に向けた
取り組み（講師）
令和4年度サービス管理責任者等実践研修
2023.2.14-15,21-22 石川県

【さいこうえんの障害者生活支援センター】

- 前田 奈津子
さいこうえん障害者就業・生活支援センターの
取り組みについて～卒業生の事例を通して～（講師）
令和4年度進路ガイダンス
2022.8.1 石川県
- 越田 美喜子
障害基礎年金・成年後見制度について（講師）
令和4年度七尾特別支援学校高等部保護者
進路研修会
2023.1.23 石川県

【青山彩光苑穴水ライフサポートセンター】

- 船山 和浩
身体障害について（講師）
障害施設初任者研修
2022.6.6,9.2 石川県
- 船山 和浩
サービス管理責任者更新研修（ファシリテーター）
2022.9.9 石川県
- 船山 和浩
事業所での虐待防止取り組み紹介（講師）
障害者虐待防止・権利擁護研修
2022.12.12 石川県

【石川県精育園】

- 田中 こず恵
特記事項記載のポイント（講師）
障害支援区分認定調査員研修
2022.6.14 石川県
- 平譯 麻里
特別支援学校の医療等外部専門家との連携（講師）
2022.6.28, 2023.1.10 石川県
- 谷 良観
強度行動障害支援者養成研修 基礎編（講師）
2022.7-8,14-15 石川県
- 谷 良観
強度行動障害支援者養成研修 実践編
（ファシリテーター）
2022.9.12-13 石川県
- 田中 こず恵
相談支援事業所における運営管理（講師）
主任相談支援専門員養成研修
2023.1.26,30-31,2023.2.27-28 石川県

【エレガントなぎの浦】

- 鎌上 綾
介護職員等による喀痰吸引等の実施のための
研修事業（講師）
2022.6.30 石川県

資格取得

【理事長補佐 神野 正隆】

- ・ 医療経営学修士 (MBA)
- ・ 日本消化器病学会 専門医 (更新)
- ・ 日本消化器内視鏡学会 専門医 (更新)
- ・ 日本消化器内視鏡学会 指導医 (更新)

【本部 本部長 進藤 浩美】

- ・ 認定作業療法士 (終身)

【本部 経理課】

- ・ 河合 隆志 エネルギー管理講習 (更新)

【本部 生活未来課】

- ・ 石渡 利浩 福祉住環境コーディネーター2級

【恵寿総合病院 消化器外科】

- ・ 久野 貴広 検診マンモグラフィ読影認定医

【恵寿総合病院 乳腺外科】

- ・ 高井 優輝 検診マンモグラフィ読影認定医

【恵寿総合病院 内科】

- ・ 山崎 雅英
全日本病院協会 AMAT隊員 (トリアージ) (更新)
- ・ 山村 健太 日本喘息学会 喘息専門医
- ・ 中川 紀温 日本血液学会 血液指導医
- ・ 熊野 奨 日本透析医学会 透析専門医
- ・ 熊野 奨 腎代替療法指導士
- ・ 松田 康彦 日本内科学会 内科専門医
- ・ 藤井 愛 日本透析医学会 透析専門医

【恵寿総合病院 循環器内科】

- ・ 金田 朋也
日本心血管インターベンション治療学会認定医
- ・ 末松 哲郎 日本循環器学会 専門医
- ・ 末松 哲郎 浅大腿動脈ステントグラフト実施医

【恵寿総合病院 家庭医療科】

- ・ 吉岡 哲也
日本専門医機構 総合診療専門医

【恵寿総合病院 リハビリテーション科】

- ・ 川北 慎一郎
日本リハビリテーション医学会専門医 (更新)
- ・ 川北 慎一郎 日本認知症学会 専門医 (更新)

【恵寿総合病院 健康管理部】

- ・ 上野 恭一 人間ドック健診専門医
- ・ 桐山 正人 人間ドック学会認定医
- ・ 伊藤 愛 人間ドック健診情報管理指導士 (更新)
- ・ 小林 豊子 人間ドック健診情報管理指導士 (更新)
- ・ 新木 可奈子 健康経営アドバイザー

【恵寿総合病院 看護部】

- ・ 櫻 さおり 認定看護管理者
- ・ 濱崎 圭吾 心不全認定看護師
- ・ 森下 弘子 脳卒中リハビリテーション看護認定看護師
- ・ 船山 真理子 呼吸器疾患看護認定看護師 (更新)
- ・ 高柳 由香里 認知症認定看護師 (更新)
- ・ 本田 達也 特定行為研修了 (ろう孔、動脈穿刺)
- ・ 宇田 智美
特定行為研修了 (人工呼吸、創傷管理、動脈穿刺)
- ・ 松尾 りえ 特定行為研修了 (動脈穿刺)
- ・ 寺井 文裕 特定行為研修了 (動脈穿刺)
- ・ 松江 仁美 特定行為研修了 (動脈穿刺)
- ・ 半浦 聖香 特定行為研修了 (血糖コントロール)
- ・ 谷内 加奈子 心不全療法指導士
- ・ 高島 ひかり 心不全療法指導士
- ・ 春木 めぐみ 3学会呼吸認定士 (更新)
- ・ 立川 好恵 NST専門療法士 (更新)
- ・ 櫻 栄一郎 3学会呼吸認定士 (更新)
- ・ 松下 逸子 新生児蘇生法専門コース (更新)
- ・ 池高 未来 新生児蘇生法専門コース (更新)
- ・ 中村 愛 日本麻酔科学会 術後疼痛管理研修了
- ・ 菅野 則之 全日本病院協会 AMAT隊員 (更新)
- ・ 丸木 のどか BLSプロバイダー
- ・ 木村 瀬奈 BLSプロバイダー
- ・ 大矢 利恵 BLSプロバイダー
- ・ 西川 侑汰 BLSプロバイダー
- ・ 勝田 悠月 BLSプロバイダー
- ・ 宮川 綾 BLSプロバイダー
- ・ 中道 祥子 BLSプロバイダー

- ・ 園田 眞子 BLSプロバイダー
- ・ 石出 舞 BLSプロバイダー
- ・ 新城 晴子 BLSプロバイダー
- ・ 吉畠 杏美 BLSプロバイダー
- ・ 白澤 葵優 BLSプロバイダー
- ・ 高嶋 瑠香 BLSプロバイダー
- ・ 堀下 あゆみ BLSプロバイダー
- ・ 川元 裕介 BLSプロバイダー
- ・ 伊駒 留美 BLSプロバイダー
- ・ 南 圭一郎 BLSプロバイダー

【恵寿総合病院 事務部長 森下 毅】

- ・ 全日本病院協会認定病院管理士（更新）

【恵寿総合病院 サービス課】

- ・ 寺尾 美樹 ホスピタルコンシェルジュ 3級
 - ・ 金子 幸代 ホスピタルコンシェルジュ 3級
 - ・ 須原 佳志子 ホスピタルコンシェルジュ 3級
 - ・ 亀井 真由美 ホスピタルコンシェルジュ 3級
 - ・ 高城 千春 ホスピタルコンシェルジュ 3級
 - ・ 室矢 寛子 ホスピタルコンシェルジュ 3級
 - ・ 山下 優子 ホスピタルコンシェルジュ 3級
 - ・ 山下 優子
- 【オンライン】医療通訳スキル特化講座《英語》終了
- ・ 中西 理子 外国人患者受け入れ医療コーディネーター

【恵寿総合病院 管理課】

- ・ 松木 尊紀法 AMAT隊員（更新）

【恵寿総合病院 医事課】

- ・ 奥村 華穂
医療事務認定実務者

【恵寿総合病院 医療秘書課】

- ・ 浅野 文恵 ドクターズクラーク
- ・ 角屋 佳代 ドクターズクラーク
- ・ 高野 香菜子 ドクターズクラーク
- ・ 小西 紗奈 社会福祉士
- ・ 角屋 佳代 院内がん登録実務初級認定
- ・ 三浦 有紀 医療対話推進者
- ・ 鷲尾 留美 医療対話推進者
- ・ 大鍋 奈央子 ピンクリボンアドバイザー中級（更新）
- ・ 井上 朱美 石川県肝炎医療コーディネーター（更新）
- ・ 瀬戸 亜矢 石川県肝炎医療コーディネーター（更新）

- ・ 三浦 有紀 石川県肝炎医療コーディネーター（更新）
- ・ 鷲尾 留美 石川県肝炎医療コーディネーター（更新）

【恵寿総合病院 医療福祉相談課】

- ・ 中川 一美 両立支援コーディネーター
- ・ 馬渡 明日香 両立支援コーディネーター
- ・ 岡崎 美穂 医療対話推進者
- ・ 佐藤 恵里子 医療対話推進者

【恵寿総合病院 内視鏡課】

- ・ 水口 賢
タスク・シフト/シェアに関する
厚生労働大臣指定講習会 受講

【恵寿総合病院 放射線課】

- ・ 寺田 晃子
検診マンモグラフィ撮影認定診療放射線技師（更新）
- ・ 前川 真里奈
検診マンモグラフィ撮影認定診療放射線技師
- ・ 安田 愛花 検診マンモグラフィ撮影認定診療放射線技師
- ・ 山下 勝 放射線治療専門放射線技師

【恵寿総合病院 理学療法課】

- ・ 久保 佳子 認知症ケア専門士（更新）
- ・ 石川 貴士 認定理学療法士（運動器）
- ・ 中村 秀哉 認定理学療法士（地域）
- ・ 桶 拓貴 シルバーリハビリ体操指導士養成認定講師
- ・ 浦本 大輔 心不全療養指導士
- ・ 石川 貴士 JIMTEF災害医療ベーシックコース
- ・ 川畑 真司 フレイル対策推進マネジャー
- ・ 川畑 真司 介護予防推進リーダー
- ・ 川畑 真司 地域包括ケア推進リーダー
- ・ 石川 貴士 地域包括ケア推進リーダー
- ・ 石川 貴士 介護予防推進リーダー
- ・ 室野 翔太 介護予防推進リーダー
- ・ 石島 絵里 第一種衛生管理士
- ・ 石島 絵里 3学会合同呼吸療法認定士（更新）
- ・ 今中 瑛理伽 3学会合同呼吸療法認定士
- ・ 関 涼花 BLSヘルスケアプロバイダー
- ・ 高森 未歩 BLSヘルスケアプロバイダー
- ・ 大村 剛史 福祉住環境コーディネーター2級
- ・ 谷 桂吾 福祉住環境コーディネーター2級
- ・ 大村 剛史 赤十字救急法救急員
- ・ 谷 桂吾 赤十字救急法救急員

- ・ 谷内上 誠生 赤十字救急法救急員
- ・ 大村 剛史 赤十字ベシクライフサポーター
- ・ 谷 桂吾 赤十字ベシクライフサポーター
- ・ 谷内上 誠生 赤十字ベシクライフサポーター
- ・ 大村 剛史 NASM-PES

【恵寿総合病院 作業療法課】

- ・ 五十嵐 満哉 認定訪問療法士

【恵寿総合病院 薬剤課】

- ・ 北岡 華奈 日病薬病院薬学認定薬剤師
- ・ 橋本 奈々 日病薬病院薬学認定薬剤師
- ・ 橋本 奈々 骨粗鬆症マネージャー
- ・ 堀井 雄之介 抗菌化学療法認定薬剤師
- ・ 浜田 信太郎 栄養サポートチーム専門療法士 (更新)

【恵寿総合病院 臨床栄養課】

- ・ 田中 裕子 病態栄養専門管理栄養士 (更新)
- ・ 西川 麻里奈 心不全療養指導士 (取得)
- ・ 長谷部 桜子 腎臓病療養指導士 (取得)

【恵寿総合病院 臨床検査課】

- ・ 木戸 薫 血管診療技師
- ・ 今川 智香子 日本不整脈心電学会 心電図検定2級
- ・ 宮崎 寛子 日本不整脈心電学会 心電図検定2級

【恵寿総合病院 臨床工学課】

- ・ 柝原 康則 厚生労働大臣指定による告示研修終了
- ・ 柝原 さとみ 厚生労働大臣指定による告示研修終了
- ・ 柝原 康則 3学会合同呼吸療法認定士 (更新)
- ・ 柝原 康則 植込み型心臓不整脈デバイス認定士

【恵寿総合病院 医療安全管理部】

- ・ 小谷 薫 医療対話推進者

【恵寿金沢病院 理学療法課】

- ・ 柴田 真行 運動器認定理学療法士 (更新)
- ・ 柴田 真行 行動心理士
- ・ 水上 禎己 認知症ケア准専門士
- ・ 諏訪 勝志 地域理学療法専門理学療法士 (更新)
- ・ 諏訪 勝志 予防理学療法専門理学療法士 (更新)
- ・ 諏訪 勝志 支援工学理学療法専門理学療法士 (更新)

【恵寿金沢病院 看護部】

- ・ 菊地 亜耶 栄養サポートチーム専門療法士
- ・ 浅田 香織 終末期ケア専門士
- ・ 木原 景子 医療安全管理者研修 修了
- ・ 藤川 裕美 日本消化器内視鏡学会 消化器内視鏡技師
- ・ 井上 直美 日本消化器内視鏡学会 消化器内視鏡技師

【介護老人保健施設 和光苑】

- ・ 奥本 健司 スマート介護士 Basic
- ・ 水野 夏江 スマート介護士 Basic
- ・ 石倉 星 介護福祉士
- ・ 鹿山 麗衣華 介護福祉士
- ・ 山村 彩華 介護福祉士
- ・ 坂口 ゆかり 介護福祉士
- ・ 川谷内 稚奈 リスクマネジャー
- ・ 近松 亜位 技能実習指導員
- ・ 袋井 明美 技能実習指導員
- ・ 西田 美奈子 技能実習指導員
- ・ 尾蔵 亜矢子 技能実習指導員
- ・ 沢多 絵梨香 介護福祉士養成施設実習指導者
- ・ 春山 江里子 介護福祉士養成施設実習指導者

【介護老人保健施設 鶴友苑】

- ・ 古木 恵実子 スマート介護士 Expert
- ・ 伊藤 祐二 登録理学療法士
- ・ 松本 幸恵 介護福祉士実習指導者
- ・ 福井 雄大 介護福祉士実習指導者
- ・ 岩間 卓也 スマート介護士 Basic
- ・ 鹿山 由紀 介護実務者研修

【介護医療院 恵寿鳩ヶ丘】

- ・ 蒲生 智子 住環境福祉コーディネーター2級
- ・ 東野 優香 認知症ケア専門士
- ・ 大崎 志帆 認知症ケア専門士 (更新)

【在宅複合施設 ほのぼの】

- ・ 石木 礼子 介護福祉士 (通所介護)
- ・ 小崎 英理 介護福祉士 (通所介護)

【小規模多機能型居宅介護事業所 けいじゅ一本杉】

- ・ 坂下 美智子 小規模多機能計画作成担当者研修修了

【青山彩光苑ライフサポートセンター】

- 赤坂 翼 社会福祉士
- 橋本 綾 介護支援専門員

【青山彩光苑穴水ライフサポートセンター】

- 西田 星也 社会福祉士
- 丹羽 俊満 介護福祉士
- 森元 美希 介護福祉士
- 藤井 律子 介護福祉士

【石川県精育園】

- 小泉 利江 介護福祉士
- 中道 菜穂子 介護福祉士

【エレガントなぎの浦】

- 向山 亜友美 社会福祉士
- 鳴海 青空 社会福祉士
- 細川 香織 介護福祉士
- 川島 美佳 介護福祉士
- 堀 雅季 介護福祉士
- 岡野 裕美 介護福祉士
- 向田 紗亜弥 介護福祉士
- 西住 純子 社会福祉主事任用資格

【エレガントたつるはま】

- 渡部 杏凧 介護福祉士

【デイサービスセンターもみの木苑】

- 岡本 恵美 介護福祉士

【ローレルハイツ恵寿】

- 江守 咲子 介護福祉士
- 谷口 亜弥香 介護福祉士

公職

【理事長 神野 正博】

- 公益社団法人 全日本病院協会
副会長
看護師特定行為研修検討プロジェクト委員会委員長
- 一般社団法人 日本病院会
常任理事
- 一般社団法人 日本社会医療法人協議会
副会長
- 一般社団法人 日本専門医機構
財務委員会委員
- 七尾商工会議所
副会頭
- サービス産業生産性協議会（SPRING）
幹事
- 石川県病院協会
副会長
- 特定非営利活動法人VHJ機構
理事
- VHJ研究会
監事
- 公益財団法人 日本医療機能評価機構
評議員、事業推進委員
- 一般社団法人 日本医療経営実践協会
理事
- 一般社団法人 日本ホスピタルアライアンス
理事
- 厚生労働省
社会保障審議会医療部会委員
- 石川県
石川県医療審議会委員
- 石川県
医療計画推進委員会地域医療ビジョン策定部会委員

【常務理事 神野 厚美】

- 公益財団法人 日本看護協会
看護業務の効率化・生産性向上のための支援策検討
委員会

【理事長補佐 神野 正隆】

- 日本消化器内視鏡学会
北陸支部評議員

- 石川県肝炎対策検討委員会
委員

【本部 本部長 進藤 浩美】

- けいじゅ健康保険組合
理事長
- 社会福祉法人 徳充会
理事
- 公益社団法人 石川県作業療法士会
監事
- 一般社団法人 日本作業療法士協会
代議員
- 公益財団法人 日本電信電話ユーザー協会七尾地区協会
理事
- 一般社団法人 日本作業療法士協会
学会査読委員

【本部 総務部長 松田 久良】

- 七尾市国民健康保険協議会委員
- 中能登町地域公共交通協議会委員

【患寿総合病院 病院長 鎌田 徹】

- 能登地区感染症審査協議会
審査会委員
- 七尾市医師会
副会長

【患寿総合病院 内科】

- 宮本 正治
石川県医師会 石川県糖尿病対策推進会議
委員
- 宮本 正治
糖尿病患者を助け合う地域連携協議会・七緒の会
会長
- 山崎 雅英
日本内科学会北陸支部
評議員
- 山崎 雅英
石川県医療計画推進委員会 災害・救急医療対策部会
石川県メディカルコントロール協議会 委員

- 山崎 雅英
石川県ドクターヘリ運営委員会
委員
- 山崎 雅英
日本血液学会
評議員
- 山崎 雅英
公益財団法人日本骨髄バンク
調整医師
- 山崎 雅英
いしかわクラスター対策班
班員
- 山崎 雅英
造血幹細胞移植連携協議会
北陸地区造血幹細胞移植推進委員
- 山崎 雅英
中能登町新型コロナワクチン健康被害調査委員会
委員
- 山崎 雅英
七尾市新型コロナワクチン健康被害調査委員会
委員
- 山崎 雅英
石川県がん診療連携協議会
会員
- 中川 紀温
公益財団法人日本骨髄バンク
調整医師

【恵寿総合病院 消化器内科】

- 守護 晴彦
日本消化器病学会 北陸支部評議員
- 守護 晴彦
日本消化器内視鏡学会 学術評議員・北陸支部評議員

【恵寿総合病院 循環器内科】

- 金田 朋也
日本心臓リハビリテーション学会
北陸支部評議員

【恵寿総合病院 産婦人科】

- 新井 隆成
NPO法人 周生期医療支援機構
代表理事
- 新井 隆成 山梨大学医学部臨床教授

【恵寿総合病院 家庭医療科】

- 伊達岡 要
いしかわクラスター対策班
班員

【恵寿総合病院 小児科】

- 中谷 茂和
七尾市医師会 理事

【恵寿総合病院 病理診断科】

- 上田 善道
Pathology-Research and Practice (Elsevier)
Editorial board
- 上田 善道
金沢医科大学 医学部
名誉教授

【恵寿総合病院 看護部】

- 本橋 敏美
石川県スポーツナース連絡協議会
理事
- 船山 真理子
公益社団法人 石川県看護協会
代議員
- 船山 真理子
七尾市介護認定審査会委員
- 櫻 さおり
公益社団法人 石川県看護協会
教育委員
- 櫻 さおり
七尾市介護認定審査会委員
- 高本 一枝
公益社団法人 石川県看護協会
助産師職能委員
- 平田 吉喜
公益社団法人 石川県看護協会
医療・看護安全対策委員
- 中田 淳也
公益社団法人 石川県看護協会
男性看護職会委員
- 中田 淳也
日本手術看護学会北陸地区 役員
- 中田 淳也
日本手術看護学会北陸地区石川ブロック 書記

- 大森 圭子
七尾市介護認定審査会委員
- 川江 辰徳
日本脳神経看護研修学会
認定看護師活動推進委員
- 谷口 隆行
石川県手術認定看護師会 委員

【恵寿総合病院 介護部】

- 形田 晃子
介護認定調査審査会委員 七尾市
- 形田 晃子
一般社団法人 石川県介護福祉士会
副会長

【恵寿総合病院 事務部長 森下 毅】

- 公益社団法人石川県診療放射線技師会
会長

【恵寿総合病院 入退院管理センター】

- 宮田 琴江
七尾市地域包括支援センター運営協議会
副会長
- 宮田 琴江
七尾市介護認定審査会
委員

【恵寿総合病院 医療福祉相談課】

- 中川 一美
七尾市在宅医療・介護連携推進協議会
オブザーバー
- 岡崎 美穂
七尾市介護認定審査会委員
- 馬渡 明日香
石川県医療ソーシャルワーカー協会支援委員

【恵寿総合病院 放射線課】

- 赤坂 正明
公益社団法人 石川県診療放射線技師会
理事

【恵寿総合病院 理学療法課】

- 田中 秀明
公益社団法人 日本理学療法士協会

- 日本運動器理学療法学会学術大会査読員
- 田中 秀明
公益社団法人 日本理学療法士協会
日本神経理学療法学会学術大会査読員
- 田中 秀明
公益社団法人 日本理学療法士協会
日本予防理学療法学会学術大会査読員
- 田中 秀明
七尾市
七尾市介護認定審査委員
- 田中 秀明
石川県理学療法教育協議会
石川県理学療法教育協議会幹事
- 久保 佳子
石川県教育委員会教育長
石川県立田鶴浜高等学校非常勤講師
- 久保 佳子
公益社団法人 日本理学療法士協会
日本生活支援理学療法学会学術大会査読員
- 桶 拓貴
公益社団法人 日本訪問リハビリテーション協会
日本訪問リハビリテーション協会学術大会査読員
- 桶 拓貴
公益社団法人 石川県理学療法士協会
石川県理学療法学会学術大会査読員
- 桶 拓貴
公益社団法人 石川県理学療法士協会
伴走型保険者支援事業実行委員

【恵寿総合病院 作業療法課】

- 川上 直子
金沢大学医薬保健学域保健学類臨床講師
- 川上 直子
七尾市医療・介護連携推進委員会委員
- 永井 亜希子
公益社団法人 石川県作業療法士会理事
- 宮田 真由美
石川県立田鶴浜高等学校非常勤講師
- 小川 正人
七尾市介護認定審査会委員
- 北谷 渉
七尾市障害判定審査会委員
- 五十嵐 満哉
七尾市介護認定審査会委員

【恵寿総合病院 言語療法課】

- ・ 諏訪 美幸
公益社団法人 石川県言語聴覚士会
学術研修局研修部 副理事
- ・ 木村 聖子
公益社団法人 石川県言語聴覚士会
総務部 副理事
- ・ 諏訪 美幸
石川県失語症友の会
主任相談役

【恵寿総合病院 リハビリテーション教育研修センター】

- ・ 井舟 正秀
公益社団法人 日本理学療法士協会
日本神経理学療法学会大会査読員
- ・ 井舟 正秀
能登脳卒中地域連携協議会
能登脳卒中地域連携協議会幹事

【恵寿総合病院 薬剤課】

- ・ 堀井 雄之介
石川県病院薬剤師会 感染制御委員会
委員

【恵寿総合病院 臨床検査課】

- ・ 尾田 真一
一般社団法人 石川県臨床衛生検査技師会
常務理事
- ・ 片倉 友美
一般社団法人 石川県臨床衛生検査技師会
常務理事
- ・ 窪 亜紀
一般社団法人 石川県臨床衛生検査技師会
臨床微生物検査研究班員

【恵寿総合病院 感染制御課】

- ・ 谷田部 美千代
いしかわクラスター対策班
班員
- ・ 谷田部 美千代
石川県院内感染対策支援ネットワーク会議
委員
- ・ 谷田部 美千代
石川県感染対策フォーラム 世話人

【恵寿金沢病院 病院長 上田 幹夫】

- ・ 日本血液学会北陸地方会
評議員
- ・ 日本輸血・細胞治療学会北陸支部
評議員
- ・ 石川県合同輸血療法委員会
顧問
- ・ 北陸ブロックエイズ談話会
世話人

【恵寿金沢病院 理学療法課】

- ・ 諏訪 勝志
公益社団法人石川県理学療法士会
副会長
- ・ 諏訪 勝志
石川県介護支援専門員協会
理事
- ・ 諏訪 勝志
国際医療福祉専門学校七尾校
教育課程編成委員
- ・ 諏訪 勝志
七尾市
七尾市在宅医療・介護連携推進協議会委員
- ・ 諏訪 勝志
中能登町
中能登町介護認定審査会審査委員

【恵寿金沢病院 作業療法課】

- ・ 東川 哲朗
公益社団法人 石川県作業療法士会
会長
- ・ 東川 哲朗
一般社団法人 日本作業療法士協会
47都道府県委員会 委員
- ・ 東川 哲朗
一般社団法人 日本作業療法士協会
代議員
- ・ 東川 哲朗
一般社団法人 日本作業療法士協会
学会査読委員
- ・ 東川 哲朗
一般社団法人 日本作業療法士協会
事例報告登録制度審査委員 (A審査)

- 東川 哲朗
石川県循環器病対策推進協議会
委員
- 東川 哲朗
石川県理学療法士会・作業療法士会・言語聴覚士会
連絡会 会長
- 東川 哲朗
金沢市介護運営協議会
委員
- 東川 哲朗
石川県介護支援専門員協会
理事
- 東川 哲朗
金沢福祉用具情報プラザ運営委員会
委員
- 東川 哲朗
金沢大学医薬保健学域保健学類
臨床准教授
- 東川 哲朗
専門学校金沢リハビリテーションアカデミー
評議委員
- 東川 哲朗
専門学校金沢リハビリテーションアカデミー
教育課程編成委員会委員
- 東川 哲朗
日本作業療法教育学会
監事
- 東川 哲朗
日本作業療法教育学会
監事

【恵寿金沢病院 臨床検査課】

- 長面 佳央理
一般社団法人 石川県臨床衛生検査技師会
臨床血液検査研究班 副班長

【恵寿金沢病院 薬剤課】

- 高倉 美穂
石川県病院薬剤師会がん治療委員会
委員

【恵寿金沢病院 看護部】

- 前大道 綾子
公益社団法人 石川県看護協会

- 看護師職能 I 委員長
- 前大道 綾子
公益社団法人 石川県看護協会
ナースセンター委員
- 藤川 裕美
公益社団法人 石川県看護協会
教育委員
- 清水 ちえみ
石川県
仕事探しシェルパ
- 清水 ちえみ
公益社団法人 石川県看護協会
第一地区委員

【介護医療院 恵寿嶋ヶ丘】

- 田辺 航也
石川県介護支援専門員協会
能登中部支部役員
- 田辺 航也
石川県介護支援専門員協会
業務推進委員
- 鶴野 誠
一般社団法人 石川県介護福祉士会
理事
- 岡本 尚士
七尾市介護認定審査会
審査委員
- Yoji Kokura
Nutrients
Special Issue Editor

【苑長 今寺 忠造】

- 全国身体障害者施設協議会
常任協議員
- 石川県 いしかわ介護・福祉人材確保対策推進協議会
委員
- 石川県社会福祉協議会
石川県社会福祉法人経営者協議会
理事
- 石川県社会福祉協議会
石川県身体障害者施設部会
副部会長
- 公益社団法人 石川県作業療法士会
顧問

- 七尾市・中能登町 自立支援協議会
会長
- 奥能登地域自立支援協議会
会長
- 特定非営利活動法人 七尾鹿島手をつなぐ育成会
顧問
- 穴水町 障害福祉計画策定委員会
委員

【徳充会 事務局】

- 畑中 浩樹
石川県社会福祉法人経営者協議会
青年部 研修部会 部長

【青山彩光苑リハビリテーションセンター】

- 久保 奈保
石川県 サービス管理責任者・児童発達支援管理責任者
基礎研修 企画委員
- 久保 奈保
石川県 サービス管理責任者・児童発達支援管理責任者
更新研修 企画委員
- 久保 奈保
石川県 サービス管理責任者・児童発達支援管理責任者
実践研修 企画委員
- 久保 奈保
七尾市・中能登町 自立支援協議会定例会
委員
- 佐竹 綾乃
七尾市・中能登町 自立支援協議会 しごとの部会
委員

【さいこうえんの障害者生活支援センター】

- 前田 奈津子
七尾市・中能登町 自立支援協議会定例会
委員
- 前田 奈津子
七尾市・中能登町 自立支援協議会運営会議
委員
- 前田 奈津子
七尾市・中能登町 自立支援協議会 しごとの部会
副会長
- 前田 奈津子
石川県 障害研修科目等検討部会
委員

- 前田 奈津子
石川県立志賀高等学校 評議会
評議員
- 越田 美喜子
七尾市・中能登町 自立支援協議会運営会議
委員
- 越田 美喜子
七尾市・中能登町 地域拠点連絡会
委員
- 山崎 亮一
七尾市・中能登町 自立支援協議会 くらしの部会
会長
- 山崎 亮一
七尾市・中能登町 地域拠点連絡会
委員
- 山崎 亮一
石川県 相談支援専門員協会
調査企画委員
- 松柳 満城子
七尾市・中能登町 自立支援協議会 しごとの部会
委員
- 松柳 満城子
七尾市・中能登町 地域拠点連絡会
委員

【青山彩光苑ライフサポートセンター】

- 瀧野 利徳
七尾市 健康福祉審議会
委員
- 米田 直美
七尾市 障害支援区分認定審査会
委員

【青山彩光苑ワークセンター田鶴浜】

- 細木 俊逸
社会福祉法人経営者協議会
青年部 副代表幹事
- 細木 俊逸
石川県社会就労センター協議会
理事
- 細木 俊逸
石川セルフ振興センター 推進委員
- 細木 俊逸
七尾市総合福祉施設協議会 幹事長

- ・ 細木 俊逸
石川県相談支援専門員協会 調査企画委員
- ・ 杉本 健
七尾市・中能登町 地域自立支援協議会 しごとの部会
委員
- ・ 杉本 健
石川セルフ振興センター 広報研修員会
委員

【青山彩光苑穴水ライフサポートセンター】

- ・ 大林 尚美
穴水町 障害支援区分認定審査会
委員
- ・ 船山 和浩
石川県障害者虐待防止・権利擁護研修
企画委員

【石川県精育園】

- ・ 田中 こず恵
輪島市 障害支援区分認定審査会
委員
- ・ 田中 こず恵
石川県主任相談支援専門員養成研修
企画委員
- ・ 田中 こず恵
石川県相談支援従事者研修全体会議
委員
- ・ 田中 こず恵
石川県自立支援協議会相談支援部会
委員
- ・ 田中 こず恵
石川県立特別支援学校障害のある生徒のインターンシップ
促進事業（珠洲分校・輪島分校）
就労サポーター
- ・ 田中 こず恵
石川県福祉サービス第三者評価推進員会
委員
- ・ 平譯 麻里
中能登町 障害支援区分認定審査会
委員
- ・ 谷 良観
石川県 強度行動障害支援者養成研修
企画委員

【エレガントなぎの浦】

- ・ 藤澤 優子
七尾市 障害支援区分認定審査会
委員

【エレガントたつるはま】

- ・ 芳原 哲弥
田鶴浜地区社会福祉協議会
理事
- ・ 芳原 哲弥
七尾市地域密着型サービス運営委員会
委員
- ・ 芳原 哲弥
七尾市健康福祉審議会 高齢者福祉分科会
委員

【ふれあいの里】

- ・ 北野 正敏
七尾市 介護認定審査会
委員

メディア出演・その他

FMラジオななお「ほっとたいむ」出演者：神野 正博

放送年月日	放送内容	放送回数
2022.4.4	なぜ発熱…病原体から体を守る コロナ禍ストレス影響も？	1,294
2022.4.11	マスク生活で脱水・熱中症 暑くなる前、春から備えを	1,295
2022.4.18	高齢者救急を考える	1,296
2022.4.25	前立腺がん 50歳すぎたら年1回の検査で早期発見・治療	1,297
2022.5.2	運動障害だけじゃない パーキンソン病、40歳前発症も	1,298
2022.5.9	胆石症…男性肥満者で増加	1,299
2022.5.16	恐い寄るアルコール依存症 サイン見逃さず早めの発見	1,300
2022.5.23	足が赤く腫れて痛い 傷から細菌が侵入「蜂窩織炎」に	1,301
2022.5.30	視界ゆがむ 加齢黄斑変性 スマホの光刺激・食事に注意	1,302
2022.6.6	性差医療	1,303
2022.6.13	食中毒の季節	1,304
2022.6.20	急に走ってふくらはぎの肉離れ	1,305
2022.6.27	足に走る激痛 こむら返り、冬場は特に注意	1,306
2022.7.4	がん未発見、数万人規模か	1,307
2022.7.11	遺伝子検査のギモン	1,308
2022.7.18	脳梗塞の前触れ、一過性脳虚血発作（TIA）	1,309
2022.7.25	虫刺され 蚊・ブユ・ハチ・ドクガ 虫刺されのタイプ別対策	1,310
2022.8.1	いまさらながら糖尿病	1,311
2022.8.8	子どもの夏かせきようだい	1,312
2022.8.15	ペットボトル症候群	1,313
2022.8.22	夏バテ対策	1,314
2022.8.29	円形脱毛症、誰もが発症の可能性 ストレス以外にも要因	1,315
2022.9.5	高齢者の呼吸器疾患・主な病名とその予防法	1,316
2022.9.12	アキレス腱断裂・肉離れ スポーツの秋、障害どう防ぐ	1,317
2022.9.19	シニアのサウナ、運動の代わりに水と心拍計をお供に	1,318
2022.9.26	肉食=悪人にあらず、中年は減らす必要なし	1,319
2022.10.3	日本人に多いマグネシウム不足 高血圧・糖尿病の一因に	1,320
2022.10.10	朝起きたら寝汗でパジャマがベタベタ 寝汗の原因と対策とは？	1,321
2022.10.17	涙の効用「泣くとすっきりする」は本当だった	1,322
2022.10.24	食物アレルギー 花粉と誤認して起きているのかも	1,323
2022.10.31	大人の鼻血に要注意	1,324
2022.11.7	抜け毛	1,325
2022.11.14	胃がん原因のピロリ菌感染低下 でも50～60歳代は検診を	1,326
2022.11.21	“笑い”がもたらす 健康効果	1,327
2022.11.28	筋肉・免疫・糖尿病 ビタミンDの恩恵、骨以外にも多く	1,328
2022.12.5	冬のしつこいかゆみの原因 皮脂欠乏症、どう防ぐ？	1,329
2022.12.12	「貯筋」で豊かな老後へ、スロトレが効果 食事もカギ	1,330
2022.12.19	薬の飲み方、間違えると症状悪化も	1,331
2022.12.26	いつまでもはつらつとした生活を送るための認知症予防のポイント	1,332
2023.1.9	国の医療DX	1,333
2023.1.16	年を取ったら食事は「質より量」 新・食の常識とは	1,334
2023.1.23	「がん社会」と「がんの壁」	1,335
2023.1.30	入浴頻度で要介護リスクに差	1,336
2023.2.6	頻尿や痛み…女性に多いぼうこう炎 慢性化、男性も注意	1,337
2023.2.13	隠れ心不全 症状が出る前に気づき、悪化を防ぐには？	1,338
2023.2.20	体がふわふわ、つらいめまい 慢性の症状「PPPD」かも	1,339
2023.2.27	老け顔、実は骨の老化も一因 全身の骨密度低下も疑おう	1,340
2023.3.6	手の震え 原因不明の手の震え、重大な病気が隠れていることも	1,341
2023.3.13	心臓の震えで血のよどみ 心房細動、脳卒中の原因にも	1,342
2023.3.20	長生きのカギ	1,343
2023.3.27	四十肩・五十肩	1,344

FMラジオななお安心マイライフ

放送年月日	放送内容	出演者	
2022.5.18	医療安全について①	医療安全管理課 課長	小谷 薫
2022.5.25	医療安全について②		
2022.6.1	未来アワードについて①	常務理事 企画課	神野 厚美 辻口 芹夏
2022.6.8	未来アワードについて②		
2022.6.15	Foot活プロジェクト発表		
2022.7.27	フレイルとは	健康管理センター 課長 健康管理センター	一谷 真澄 新木 可奈子
2022.8.3	けいじゅフレイルドック紹介		
2022.8.10	フレイル予防について		
2022.8.17	ケアマネステーション患寿について	ケアマネステーション患寿 所長	清水 光代
2022.8.24	かいごの相談室オープン		
2022.9.28	介護部設立、介護部のお仕事	介護部 部長	内田 かおり
2022.10.5	アシストクルー、今後の目標	介護部 介護管理センター 課長	形田 晃子
2022.11.30	介護技能グランプリについて	和光苑	塩村 翔子
2022.12.7	クリスマスイルミネーション	介護部 部長 ローレルハイツ患寿 施設長	内田 かおり 松井 智子
2022.12.14	和光苑について①	和光苑 事務長	奥本 健司
2022.12.21	和光苑について②		
2023.1.4	新年のごあいさつ	病院長	鎌田 徹
2023.1.25	川端看護師自己紹介、糖尿病について		
2023.2.1	足壊疽について	看護部	川端 望 藤本 友紀子
2023.2.8	藤本看護師自己紹介、フットケアとは		
2023.2.15	自宅でできるフットケア紹介		
2023.2.22	糖尿病予防について、生活習慣病で気を付けること		
2023.3.1	アドバンスケアプランニングについて①	入退院管理センター 副センター長 医療副相談課 課長	櫻 さおり 中川 一美
2023.3.8	アドバンスケアプランニングについて②		
2023.3.15	アドバンスケアプランニングについて③		
2023.3.22	君は放課後インソムニア原画展開催について	企画課	磯野 和香

2022年度 Foot活マイスター研修修了者

董仙会	小崎 枝美子、大石 幸栄、西山 明代、笹川 真希、高森 栄一、形田 晃子、中村 栞、坂下 美智子、上坂 清恵
徳充会	大道 一夫、江守 咲子、吉田 摩紀、米田 凧那

2022年度 ノーリフトマイスター研修修了者

董仙会	笹谷 愛美、杉本 祐加、岡本 幸子、赤岩 徹、池田 美貴子、一二三 由紀子、加波 加代、加地 八重子、松本 優、山下 充、曾山 智寿、谷内 柊
徳充会	中田 智美、柿島 栄美子、金山 美也子、蔵本 達矢、橋本 きさら、井上 清美、清水 潤智

2022年度 おむつマイスター研修修了者

董仙会	曾我 佳子、仁八 育代、小森 若葉、岩間 卓也、畑 晶子、松本 幸恵、多賀 司、宮坂 美智代、近松 亜衣、春山 江里子、沢多 寛史
徳充会	山口 千春、山崎 智美、辻 美香、亀井 真巳、谷渡 早苗

テレビ放送

放送年月日	放送内容	放送番組
2022.4.1	地域医療に新たな力「一日も早く戦力に」	テレビ金沢 となりのテレ金ちゃん
2022.6.25 2022.6.26 2022.7.2	恵寿総合病院 健康UP! ACADEMY ～歩くチカラをプレゼント～	金沢ケーブル・エフエム石川
2023.2.6	恵寿総合病院 患者サポートアプリ導入	テレビ金沢 となりのテレ金ちゃん

雑誌・書籍等掲載

タイトル	著書・掲載誌名・巻・号・頁
最新ユニフォーム事例 動きやすく、より衛生的 事務職もスクラブ着用 随所に患者への心配り	最新医療経営 PHASE3 10月号 Vol.458 72,2022.
定年制を廃止いつまでも元気に働いて稼ぐ全世代型の仕組みづくり	石川県働き方改革 事例集:石川県経営者協会,11-12,2022.
社会医療法人財団董仙会 恵寿総合病院	就職応援BOOK Be connect with 石川@24卒:76-77,2022.

その他

日本医真菌学会 次世代研究者賞 「Trichophyton tonsuransはじめとする真菌症原因菌の生態および分子疫学」	皮膚科 ニツ谷 剛俊
第50回北陸産科婦人科学会 優秀演題賞 「帝王切開癒痕症候群の症例集積研究」	産婦人科 佐藤 友美、新井 隆成、宮田 康一、 安田 豊
令和4年度 いしかわ介護フェスタ 介護技能グランプリ 入浴部門 技能賞 食事部門 出場 排泄部門 出場	和光苑 塩村 翔子 ローレルハイツ恵寿 久保 るみ子 恵寿みおや 今宮 美千代
七尾未来アワード 会場共感賞 「人生100年時代 Foot活プロジェクト～子どもから大人まで～」	董仙会



2023

健康経営優良法人

Health and productivity

ホワイト500

2023年3月8日 健康経営優良法人ホワイト500に6年連続認定



第 6 章

KEIJU
MONTHLY
LETTER

プラスとマイナスの文化

けいじゅヘルスケアシステム 理事長 神野正博

日本にあって、海外にない文化とは？多くの日本文化が海外の影響を強く受けているかもしれない。仏教文化は当然、西方から来たものであるし、歌舞伎も中国文化の影響を受けている。多くの祭もそのルーツをたどれば渡来の文化があるかもしれない。さらに、千利休は南蛮文化を日本で最も早く影響を受けたまち・堺の商人であり、あの茶の湯の作法の原点は、カトリックの聖杯を掲げる所作であるという話も聞いたことがある。

しかしながら、多くの渡来文化は、わが国に入った後に独自の進化を遂げる。西洋や中国のきらびやかな装飾は、日本ではそぎ落とされ、わびさびの世界となる。先の茶の湯も、とことんまでそぎ落とした空間で、理にかなった所作のみで、最上の至福を味わう形である。能であらわされる幽玄は、表情筋の動きのない面とわずかな身体の動きが、私たちの想像力を掻き立て、深い精神世界に誘うのである。伝統工芸品は、実用的な意匠とともに見えないところに手間をかけ、ひけらかさない美を追求する。さらに、和食文化は、椀の中の小さな世界に、最大限の手間と暇をかけ、奥深い味わいを醸し出すのである。

西洋のキリスト教文化や中国文化、さらには古代のエジプトやインカの文明は、多くの人の目につく装飾が施され、多彩である。特に、権威を象徴する手段として豪華さを競うのかもしれない。まさに、これらの国の文化はプラス（加算）の文化と言えるのではないだろうか。進化とはプラスすることとなる。より多くのものを持つことで、豊かさを実感することとなる。

一方、日本文化は進化することにより、理由のないモノやコトはそぎ落とし、無駄のない世界を追求する、すなわちマイナス（引算）の文化であったのではないだろうか。ここで「あった」とするのは、現在の日本の文化を危惧するからである。



医療においては、世間で、そして院内で問題が起こるたびにマニュアルなるものは追加される。マニュアルを調べるマニュアルが必要なほどである。これは、病院機能評価、あるいは行政による医療監視、保険指導、そして診療報酬改定のたびに、新たな計画書や説明書、同意書の発行が求められ、さらに診療録への記載事項が増やされていく。

まさしく、プラスの文化だ。われわれのミッションである患者を診る、治し、寄り添うこと以外の仕事を増やされれば現場は疲弊する。そして、業務がうまく回らない。なぜ、そのマニュアルが必要か、その文書は他の文書と統合できないか。その説明は二重になっていないか。なぜ、何回も患者の署名を求めねばならないのか。。。

これまでのやり方にプラスしていくのではなく、われわれは日本の文化の原点に立ち返ってマイナスを模索することが、この働き方改革の時代だからこそ、必要なのではないだろうか。

仕組みを変えよう！…仕組みを変えるには力が必要だ。しかし、仕組みを変えなければ無駄な労力を消費するのだ。

情報 vs 六感

けいじゅヘルスケアシステム 理事長 神野正博

出所不明の雑学のようなのだが、1日に得ている情報量を時代別に比較すると、現代の1日分の情報量は、江戸時代の1年分、平安時代の一生分の情報量だそう。人類という生物の進化を考えれば、たかが1,000年くらいで脳が画期的に進化するはずがない。とすれば、同じ容量の脳という情報処理装置と記憶装置でわれわれは数百倍から数万倍の情報を処理しているということになるのだろうか。

一方で、コンピュータの方には、懐かしい“ムーアの法則”というものがある。これは、1960年代にインテルの創業者の一人であるゴードン・ムーア氏が「半導体チップあたりのトランジスタ数が2年で2倍のペースで増加する」という分析結果と予測を発表したものだ。実際、約50年が経過した現代までもこの半導体の進化は着実に進んでいるのだ。現代のスマホが20世紀のスーパーコンピュータより計算処理速度が速くなったというのも周知のことだ。

われわれの情報処理は、脳そのものというよりも後者によるところは大きいだろう。それでも、われわれはちょっとした時間にスマホに目を落とす。通勤・通学電車の中では、ほぼすべての客がスマホを見入る。時には、会議中であっても、商談中であってもスマホをスワイプしながら見ている失礼な輩もいる。処理しきれないほどのたくさんの情報を目からインプットし、耳は商談相手の話を聞き、指はメールに返信する。こんな素晴らしい多機能を同時に進行させる能力を人間は獲得したのだろうか。

現在の数万分の一の情報量と揶揄された平安人は不幸だったのだろうか。文字情報や映像情報は目から入ってこない。しかし、その分、いわゆる“情報”と定義されない日本の四季の移ろいがある。彼らには、目に飛び込み、肌で感じ、音で感じる森羅万象の草花や気象といった自然の変化、旬の食材による味や香り、さらに時



にはオドロオドロしく現れる錯覚などと六感を刺激する情報を取り入れる容量が大きかったに違いない。それらのインプットが、アウトプットとしていきいきした文学や和歌に絵画、彫刻、文化として花開いたのだろう。

医療の世界では、われわれは患者の変化に敏感でなくてはならない。それは、いずれ検査の精緻化とセンサーの開発によって代替えられるかもしれないものの、現時点では、医療者の「これはまずい」といった六感、「勘」の方が優秀そうである。私たちは、私たちが頼って訪れる患者のために、自らの情報処理能力の容量に空きを作っておかねばならないだろう。

遠隔医療のかたち

けいじゅヘルスケアシステム 理事長 神野正博

2年半に及ぶコロナ禍の経験から、私たちの生活様式は大いに変わった。三密を避けるためには非接触、遠隔、さらにはバーチャルが基本であるからだ。「コロナ様」と崇めてもいいくらいに加速度的に未来へ進んだ。

打ち合わせ、会議、講演、取材、対談はもとより、昨年の11月の董仙会20年目職員研修では、現地添乗員とライブでつなぎ、自宅に配送されたイタリア料理を食べながらローマとフィレンツェのオンライン研修旅行を楽しんだ。

コロナ前には、1～2時間の政府や病院団体などの審議会や会議に、能登の地から丸一日以上の時間をかけ、体力と経費を消耗して上京してきたことを振り返れば、夢のような世界だ。今更、元には戻れない。コロナが収まれば、定型的な会議はオンライン、タフなネゴシエーションはインパースンといったメリハリが求められてくるように思う。

このような時代と価値観の中で、医療だけが遠隔を忌避するわけにはいかない。遠隔医療と言っても、遠隔画像診断や病理診断などのようにこれまでも行ってきたもの、進みつつあるもの、そして今後のイノベーションが期待できるものなどその範囲は極めて広い。

さらに医療のプロセスは相談、診断、診療からなる。まず、情報を収集し患者の訴えや悩みを聞くことや他の医師との症例検討などで相談（コンサルテーション）する。次にそれを基に臨床所見をとり、臨床推論を駆使して診断をする。さらに、その診断を基に治療することによって診療となる。

これらのプロセスごとの可能性を探る必要がある。すなわちそのプロセスで医師～医師間（D to D）、医師～患者間（D to P）があり、こればかりではなく、在宅や現場の患者の傍らにいる医師や看護師と遠隔の医師間（D to P with D/Ns）も有り得る。さらに



は、D to P with Robot/AIなどの可能性もすぐそこに来ていると思われる。

このように俯瞰すると単に「オンライン診療」と十把一絡げの話ではない。また、診療報酬になじむ分野とそうではない分野も存在する。特に相談は自費が可能な部分であり、この分野におけるビジネスチャンスに多企業から注目も集まる。イノベーションを図りながら、質を担保し、不法行為・非倫理的行為に対する処罰規定の早急な整備も求められるだろう。

大仏開眼

けいじゅヘルスケアシステム 理事長 神野正博

日本経済新聞朝刊の連載小説は、直木賞作家で、小説『等伯』でわが七尾とも縁の深い安部龍太郎作の『ふりさけ見れば』だ。遣唐使として唐に渡り、密命を帯びて帰国を断念した阿倍仲麻呂と奈良の都に帰国した吉備真備の葛藤を、玄宗皇帝、楊貴妃、安祿山、聖武天皇など有名人？！を絡ませながらダイナミックに話が進む。

その中で、奈良の都を襲った天然痘禍の行（くだり）がある。遣唐使船ないしは朝鮮交易によって持ち込まれたとされる天然痘によって、主人公真備が目を掛ける娘の許嫁、当時の権勢をふるった藤原四兄弟をはじめ、なんと日本の総人口の約3割が悲惨に亡くなっている。

実際、当時の全国の総人口は約450万人。正倉院文書に残る諸国の正税帳（財政報告書）から死亡者の比率が推計できるといい、和泉国（現在の大阪府南部）で人口の45%が亡くなるなど、全国で人口の1/4～1/3にあたる100万～150万人が死亡したとされるのだ。

聖武天皇は、この人口減に伴う労働力不足の中、食料増産・税収の改善を目的に、墾田永年私財法を定め、新たな墾田は私有権も認めながら税金を納める方式に改め荘園を誕生させた。そして、その税収を原資としてこの悪疫退散の願いを込めて仏教で国の礎を変えることにしたという。すなわち、今に残る国分寺を各国に配し、そして奈良の東大寺に毘盧舎那仏、大仏を建造、開眼したのだ。この一大プロジェクトに掛けるパワーたるもの幾何のものであったらうか。

悪疫の経験を越えて、国家の形態を変えその後の時代の礎を創る。その奈良の気概をこの令和の時代の為政者に求めることはできないものか。そして、令和の大仏を何に求めるのか。それは、コロナ対策における混乱



青柏祭にて、安部龍太郎氏と（右から3人目）

を省みれば、自明ではないか。

私は、個人番号管理とその有効利用に尽きると思う。Government as serviceとして、すべての行政手続のオンライン化やマイナンバーカードをIDカードとして、パスポート、健康保険証、銀行口座へのログイン証明書、運転免許証、選挙における電子投票、医療記録の確認、税務申告など、一気呵成に進めるべきだ。個人の情報がオンライン上にあるということは、災害時や緊急時においても安心だ。そして、何よりも非接触だ。

コロナ禍を通して露呈した不都合を思い切って見直す時期ではなからうか。

言葉の力

けいじゅヘルスケアシステム 理事長 神野正博

2月24日、ロシアがウクライナ領土に突然攻め入った。これを紛争というのか、戦争というのか、侵攻、侵略なのか。歴史はどうであれ、現行の世界の秩序の中で他国に攻め入り、領土を分捕るといった道義に悖る暴力行為は、最も強い言葉として「侵略」だろう。

また、7月8日、奈良市内で街頭演説中に男に狙撃され、安倍晋三元総理大臣が亡くなった。宗教による家庭崩壊が犯人の動機ともされるが、いずれにせよ社会の秩序を暴力で変えようとするテロは「蛮行」である。

一つひとつの事象を、人間は言葉で表す。言葉にはそれが持つ意味だけではなく、ニュアンスを強く表す力がある。だから私たちは、物事の本質を適切に表現するために言葉を選ぶ。もしかすると、これは語彙の多い日本語に付与された特権かもしれない。

しかし、それでも日本語の語彙はさらに増え、一部は消えていく。2018年に第7版に改訂された『広辞苑』では、新たに自撮り、スマホ、アプリ、ツイートなどに加え、限界集落、健康寿命、再生医療、新型インフルエンザなど時代を表す言葉も追加されている。さらに、最近の若者言葉では、ゴン攻め、はにゃ？、スパダリなど、何のことやら、ほとんどクイズが大喜利の世界のような言葉が飛び交っている。これら言葉にどのような力が宿っているのかは知る由がない。

医療安全の領域では、事故と有害事象という言葉がある。この2つの言葉間での責任の強さ、過失の有無は知るべしである。To Err Is Human（人は誰でも間違える）の考え方からすれば、有害事象の責任は問うべきではない。しかし、それが免罪符となっていないか。有害事象をきちんと報告し、事故につなげない努力をすることによって許されるものではないだろうか。

また、日常診療の中でICという言葉がごく普通に使われる。異業種からすれば半導体？となるかもしれない。



Informed Consentの意味は、「説明して納得して同意してもらう」だ。ICという略語が本当にこの意味で使っているのか。言葉の本質に迫ってほしい。

さらに、KYTに至っては、タレントのDAIGOの略語芸同様に、「危険（K）予知（Y）トレーニング（T）」と聞いてひっくり返った。DPT（Danger Prediction Training）ならいざ知らず、KYTに何の力も宿ってないことは確実だ。

私たちは、言葉に秘めた思いをきちんと理解して日本語を使おう。それが、祖先に対しても言葉そのものに対する畏敬なのだ。

介護部創設

けいじゅヘルスケアシステム 理事長 神野正博

人生100年時代である。実際にわが国の人口構成で、85歳以上人口の急増という社会構造の変化は医療のあり方に変化を求める。国の資料によれば、65歳以上高齢者の要介護認定率は18.3%であるのに対し、75歳以上では31.5%、85歳以上では57.8%とその率は上昇する。急性期医療の現場でも、ここで示した率の高齢者が、救急受診や初診時点で、既に要介護者ということになる（下図）。

高齢者が入院する疾患は、誤嚥性肺炎、肺炎・気管支炎、股関節大腿骨近位骨折、腎・尿路感染症、心不全、脳梗塞、胆管炎の順である。これらの疾患は、繰り返すことの多い疾患だからこそ入院原因疾患の上位に並ぶ。高齢者に特徴的なこれら疾患は、軽度急性であるから、急性期病院の対象とすべきではないという議論があるのも承知する。しかし、急変して受診した時に、その病態が軽度か重度であるのかを瞬時に判定するのは神のみぞ知る領域ではないだろうか。

したがって、まず人員、機器が揃う急性期病院を受診し、結果として軽度であるならば、できるだけ早期に後方病床へ転棟、転院させるが筋であろう。そして、軽症でないならば急性期病床でしっかり管理し治療するのが、医療者として当たり前の行動であろう。

そこで、先の要介護度である。もともと要介護者が急性疾患に罹患するわけで、急性期病院においても介護需要は大きくなるに違いない。入院当初の医療依存度は当然高い。診療部門での治療Cureに加えて「療養のお世話Care」を使命とする看護が関与する。しかし、超急性期を過ぎれば、看護ばかりではなく、「生活のお世話Care」を使命とする介護士が、関与すべきである。それに

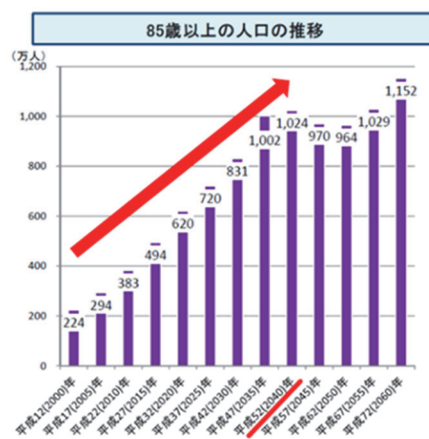
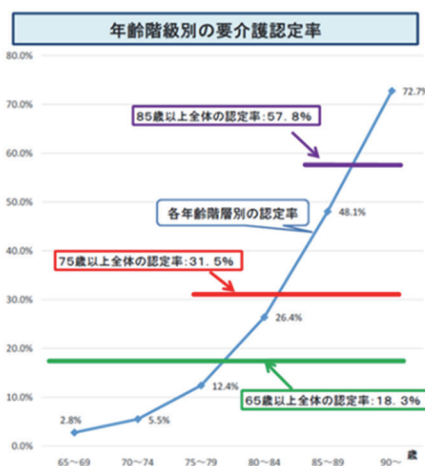
よって在院日数は短縮し、在宅復帰率も高くなるに違いない。

看護師からのタスクシフトは、看護師の指示通りに動く看護助手ではなく、自ら明確な使命と誇りを持って自律的に動く介護士であるべきと考える。急性期病院にも、新たなチームを創設すべきだ。

高齢化率がすでに38%となる七尾で恵寿総合病院では新たな介護部長を選任し、9月1日に日本の急性期病院では初めて介護部を創設した。仕事を分解し、例えば患者移送のみ、あるいは入浴介助のみを短時間担うアシストクルー12人を含めて50人の陣容で介護部をスタートさせる。

全ての医療、介護関係者には、これからの急性期医療において必要な新たなチームが誕生したという思いで見守っていただきたい。

そして、役割・機能を考えれば、将来、病院医療において、診療報酬と介護報酬を混在させるべきと主張したい。特に、在宅支援機能を担うとされる地域包括ケア病棟から先鞭をつけ、急性期一般病棟へ拡がることを夢見たい。



女王陛下のご尊顔

けいじゅヘルスケアシステム 理事長 神野正博

London Bridge is Down. …9月8日夕、エリザベス女王が滞在中のスコットランド・バルモラル城において96歳でお亡くなりになった。英国史上最長の在位70年は、英国の盛衰、戦後史そのものだったかもしれない。また、ロンドン五輪開会式の際のジェームズ・ボンドとの共演は印象的だ。気高く、時におちゃめな女王陛下だった。心からご冥福を祈りたい。

さて、年に数回、英国を訪問するある研究者から、先日話を聞いた。「毎回お会いするエリザベス女王に今回の訪問では会えなかった。。。」「えっ！」…皇室関係や首相であるまいし、この程度の御仁（失礼）が女王陛下に！である。

英国のポンド紙幣は、すべて表はエリザベス女王の肖像であり、裏面はチャーチル他の歴史上で名を遺した人物である。そう、彼が会った女王陛下は、ポンド紙幣ということだった。英国のキャッシュレス事情だ。

私も、以前に東京出張した際に、現金の入った財布を忘れたことがある。ドギマギしながら、スマホのSUICAとクレジットカード（以下クレジットカード）で生きながらえた。数十円の小銭も「カードですみません」と頭を下げながら決済した。一方、電子マネーで買い物をしたものを、自宅へ送る段で、「送料は現金でお願いします。」と言われ、慌てたこともある。

また、飲食、物販などのレジ周りには、クレジットカード、電子マネー、QRコード決済などのありとあらゆるロゴが掲示され、超多機能だ。当院は日本で初めて1997年に医療費のクレジットカード決済を導入したが、病院とても決済の多機能化への対応に迫られる。

そして、英国事情だ。スマホのモバイル決済では「スマホをなくしたときに不正利用されてしまいそうで心配」とのことあり、圧倒的にクレジットカードによるタッチ決済利用だという。地下鉄などの鉄道も、バスやタクシー、食事や買い物など、1枚のクレジットカードですべて事足り、先の女王陛下のご尊顔を拝さなくともいい社会となったようである。

もう一度、わが国である。今後、この多様な支払い方式のうち最も強いものがデファクトスタンダードで残るといった考え方もあるかもしれない。しかし、グローバルスタンダードも考慮すべきだろう。子供たちや使いすぎに注意すべき者には、プリペイド式クレジットカードもありかもしれない。



私見「かかりつけ医機能を担う医療機関」

けいじゅヘルスケアシステム 理事長 神野正博

ここへきて「かかりつけ医」と「かかりつけ医機能」の論議がにわかに盛んになってきた。

5月に開催された経済財政諮問会議で取りまとめられた「経済財政運営と改革の基本方針2022（骨太の方針2022）」で、今後の医療ニーズやコロナ禍で顕在化した課題を踏まえ、「かかりつけ医機能が発揮される制度整備」に取り組む方針が明記された。

また、昨年5月に成立した医療法改正、そして本年4月の診療報酬改定において外来機能報告、外来機能分化の方向性で規定された「紹介受診重点医療機関」の議論では「紹介受診重点医療機関ではない」医療機関として「かかりつけ医機能を担う医療機関」が明記されている（下図参照）。紹介受診重点医療機関が、手術、化学療法、放射線療法や高額医療機器を用いた検査など、より専門的な医療を担うとすれば、医療費は出来高で算定せねばならない。一方、そうでない医療機関は、日常診療やスクリーニング検査を担うとなると、医療費は包括や人頭払いとなるに違いない。財務省的に、この出来高と包括に分けることで、後者の医療費を抑制させようとする意志が見え隠れする。

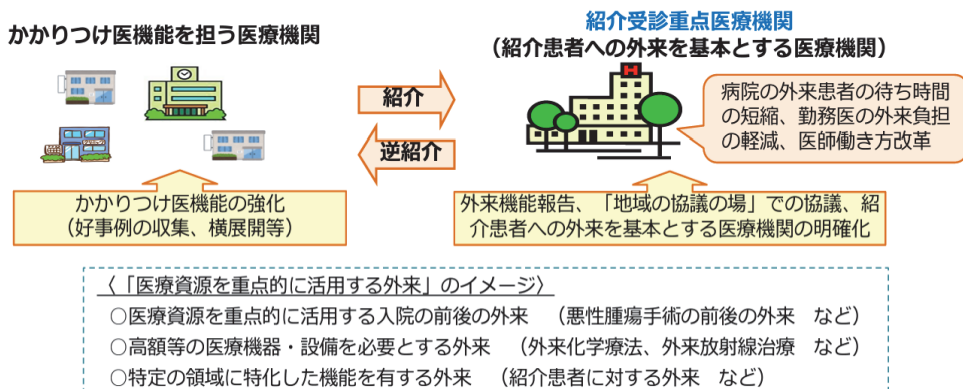
12月に向けた第8次医療計画の取りまとめを見据

え、この「かかりつけ医機能」について近く、政府案や医療団体からの提言案が出される予定のようだ。ここで、先の財務省的考えに捉われず、「かかりつけ医」「かかりつけ医機能」のあるべき姿を私見として問うてみたい。筆者は2013年の日医・四病協合同提言策定にかかわった。それからほぼ10年が経過し、環境も変化した。これにこだわる時期ではないだろうと強く思う。

かかりつけ医とは、患者が決めるものであり、それ以上何者でもない。難病や希少疾患患者にとっては大病院の専門医もかかりつけ医になり得るだろう。

かかりつけ医機能とは、医療提供側が規定するものだろう。自らの守備範囲を規定し、その範囲を超えるものに関しては相談・連携先を明示する。そこでは、高齢社会に臨み、医療だけではなく、在宅、介護や福祉など地域包括ケアとしての連携も明示すべきと考える。そういった意味では、この機能はほぼすべての医療機関が提示すべきものとする。

そして、これまで診療報酬は「療養に対する給付」であったものの、かかりつけ医やかかりつけ機能医療機関では、「相談」に対する給付を設定することが必要だ。これにより真の「何でも相談できるかかりつけ」となるのではないだろうか。



厚生労働省 第10回第8次医療計画等に関する検討会（2022.7.20）資料より

カードいろいろ

けいじゅヘルスケアシステム 理事長 神野正博

買い物の度に「ポイントカードをおつくりしましょうか？お得ですよ。」に生半可な返事をするものだから、ポイントカードが増え続けた。今度同じ店に行く時のためと思うが、カード入れはパンパンになり、実際その店に行ったとしても、「あれ？あるはずなんだけど」と容易にポイントカードを出すことができない。結局新しいポイントカードをつくったりする。

最近では、カードからアプリ登録を求められることが増えてきた。確かにカード入れには余裕が出てくるが、スマホでアプリを探すのに目が泳ぐ。

店にとっては、CRM（Customer Relationship Management）戦略、すなわち「困い込み戦略」だ。やる店が少ない時には十分なお利益があったろう。しかし、猫も杓子もとなるとその効果も薄いに違いない。一方で、このお客と店側の悩みの解決策として、共通ポイントがある。しかし、わが店だけのお客ではなく、かつ、これと何種類もありなかなか大変だ。

さて、医療DXだ。データヘルス改革として、オンライン資格確認、自身の医療情報の確認、さらには電子処方箋の発行などの施策が進みつつある。加えて、健康保険証や医療職の資格確認をマイナンバーカードに統合する計画も動き始めた。マイナンバーカードの利活用は、ワクチン接種証明のほか、運転免許証、税金の申告などと期待が広がる。

北朝鮮と休戦状態の韓国やロシアに隣接するエストニアなど、個人カードで多くの行政手続きや民間利用が進む先進国は、絶えず国の外からの脅威にさらされている。いわば、非常時における国民情報の安全保障として国民に背番号を付け、デジタル化を急ぐ。そういった意味で、「平和ボケ」の日本だからこそ、進まないのかもしれない。

そんな中、電子処方箋の医師資格確認にHPKIカー



ドなるものが必要だという。そもそも病院として医師を確認して雇っている中で、さらに資格確認の必要性があるのか。医療監視での医師免許の確認は何のためにやっているのか。百歩譲って資格確認が必要だとしても、なぜマイナンバーカードを使えないのか。このHPKIカード発行にどの位の期間が必要か。電子カルテ端末にカードリーダーを付けるシステム改修にどれだけの資源が必要か。。。

そして、そんなことより、またカードの枚数が増えることを勘弁していただきたいものだ。

変わりたくないけれど、世の中が変わってしまう年

けいじゅヘルスケアシステム 理事長 神野正博



毎年、年頭にあたって、「変わらねば」「変革の年」という話をする。また、多くの方々の年頭所感での定番言葉かもしれない。しかし、コロナの3年間、さらにウクライナ侵攻とエネルギー・原材料・食料価格高騰などを経験して、また人手不足を経験して、明らかに世の中が変わってきたことを実感する年かもしれない。そういった意味で、「変わりたくないけれど、世の中が変わってしまう年」になるかもしれない。

総務省が昨年暮れの12月23日に発表した11月の消費者物価指数で生鮮食品を除く総合指数が103.8となり、前年同月比で3.7%上昇した。15カ月連続で上昇し、第2次石油危機の影響で物価高が続いていた1981年12月の4.0%以来、40年11カ月ぶりの伸び率となった。政府・日銀が定める2%の物価目標を上回る物価高が続く。

特に、食料品やエネルギーといった品目が値上がりしている。食料全体では6.9%、都市ガス代は28.9%、電気代は20.1%上がったという。

円安に加えて、ウクライナ、気候変動の影響による原材料、資源高が大きい。食料安全保障の問題となるが、わが国の食料自給率は低く、かつ自給率が高いとされる米ですらその肥料は輸入に頼りひっ迫しているという。

その上、人口減少に伴う人手不足だ。これにより賃金上昇も顕著だ。材料費も人件費も増えてくる以上、これから先も物価上昇ベクトルは収まりそうもない。

さて、医療費である。コロナ禍を通して医療の非効率

性を叫ぶ声も大きい。しかし、コロナ禍での混乱は、医療に余裕がなかったからではないか。人材も設備もいざという時のために過剰であっても経営が成り立つような環境にないことが問題だ。実際、12月2日に公開された、日本病院会、全日本病院協会、日本医療法人協会による「2022年度 病院経営定期調査*」において本業たる医業利益の比較で、4期続けて赤字病院割合が60%を超え、2020年度の79.1%が最も高く、2021年度は72.5%であった。

医療は構造不況業種と言ってもいいのではないだろうか。公定価格に守られ価格競争が発生しないということは過去の話だ。公定価格に縛られて、原材料価格、エネルギー価格の上昇、人件費の上昇を価格に転嫁できないのだ。

2023年度中間年薬価改定において、大臣合意で「急激な原材料費の高騰、安定供給問題に対応するため、急激な原材料費の高騰により不採算となっている全品目（不採算状況調査の1,100品目）について、不採算品再算定を実施して薬価の引き上げを行う。」となった。ならば、薬価だけではなく診療報酬そのものも、中間年で物価に比例した見直しをすべき時ではないだろうか。

急激な原価の上昇や人件費の上昇を、1年以上前に決定された診療報酬改定率という公定価格の中で吸収するということは、ますます、次の新興感染症に対する「余裕の医療」を困難にすると思われてならない。

混乱と混沌の次元

けいじゅヘルスケアシステム 理事長 神野正博

私たちの思考に次元dimension感覚は重要だ。一次元（1D）とは、線である。例えば、左端が「悪い」、右端が「よい」で、どの辺にあたるかは、多くのアンケートの定石である。医療の世界では、痛みの評価のフェイススケールなど汎用されているし、QOLというLife（生命、生活、人生）の質がいい、悪いなどの評価もまさに一次元思考だ。

ここに、もう一つ要素を加えてみようというのが二次元（2D）ということになる。x軸とy軸だ。先の痛みの評価の縦軸に、マインドフルネスなど「こころ」の軸を加えてみると、その対応が変わってくるかもしれない。QOLについても然りだ。これからは個の時代だ。顧客に患者に個別対応するために、次元を増やした尺度が求められるに違いない。

そして、三次元（3D）である。まさにx軸y軸にz軸が加わり立体となる。次元を増やすたびに情報量は格段に増加する。評価に利用するならば、その場合分けは n^3 に増加する。3D映画の増加とそのクオリティの向上は、その映像処理に関わる高性能な半導体に依るところが大きいだろう。

さらに、最近では四次元（4D）だ。三次元までは空間の軸であったが、これに時間軸や感覚軸が加わることになる。アインシュタインの相対性理論も宇宙のブラックホールの存在も、日常の三次元感覚ではついていけない。生半可な思考では、○★*△§□、、、となってしまい混乱と混沌だ。

そんな中、年頭に首相の口から「異次元」が出てきた。すなわち「異次元の少子化対策」だ。目の前の有事対応としての防衛、静かなる有事としての少子化対策といったところが政策のカギだと理解する。ただ、インパクトのある言葉で国民の関心を呼ぶのが政治家の性だろうが、いきなり異次元と言われてもよくわからない。どう



やら従来より議論されてきた少子化対策に経済支援策を加えて一次元+一次元=異次元のようである。前者の柱として、1) 児童手当など経済的支援の強化、2) 学童保育や病児保育、産後ケアなどの支援拡充、3) 働き方改革の推進があげられ、後者の柱として、やはり1) に示した児童手当の支給額拡大となり、なんとなく一石二鳥感が漂う。

異次元というならば、次元ごとの丁寧が説明を待ちたい。次元が増えれば、情報量、説明量を格段に増やさねばならないということを理解していただきたいものだ。

災害は忘れたころにやってくる？

けいじゅヘルスケアシステム 理事長 神野正博

トルコ・シリア大地震では、4万9千人超の死者である。ご冥福を祈りたい。加えて、寒空の下での被災民の多さから、2次災害としての感染症やストレス障害の発生が危惧されている。なぜこのように被害が多かったのか。トルコでは地震が起こらないという神話があったのか？！否である。アジア大陸とヨーロッパ大陸が衝突するこの地には断層が存在し、これまでも大きな地震が多発する国なのである。問題は、世界の地震学者が警鐘を鳴らす中、トルコ政府は、「いやなことが起こることはない」という楽観の下で、施策を講じてこなかったことのようなのだ。

これは他国の話か。今年に関東大震災からちょうど100年目、阪神淡路大震災から28年目、また、記憶に新しい東日本大震災から干支が一回りの12年目の年である。決して災害は忘れたころにやってくるのではない。すでに、南海トラフ大地震が起こる確率は20年以内に60%程度、10年以内に30%程度とも言われている。楽観したくなる気持ちは当然だし、そこにける金があるのならば、苦しい現在の生活のために給付してほしいと思うのは人の常だろう。しかし、忘れていない場合ではなさそうだ。

関東大震災当時の東京市の人口は約208万人で、死者68,660人は約3.3%だ。首都直下型地震で、この死者の率を今の東京23区の人口約1,000万人にあてはめると、何と死者33万人となる。また、福島原発事故以来、低い電力予備率の中で、地震と共に東京湾岸の火力発電が止まった場合、高層ビルや高層マンションに加えてデジタル化が進む首都機能は一気にストップする。トルコ同様、寒空の下で災害が起これば、あるいは灼熱の中で災害が起こればを考えるとぞっとする。

地震ばかりではなく、台風などの風水害、雪害が激甚



化し、毎年日本のどこかが被災する。これに、コロナウィルス2019をはじめ、今後も有り得る新興感染症、さらに企業ばかりではなく病院をも襲うサーバー攻撃など、新たな災害が付け加えられる。

こうなると、災害を忘れていているというのはノー天気だ。国は、法的に、また財務的に緊急事態の時にどのように対応するか備える必要がある。そして、事業者や病院・施設もまたBCPを定めるだけでなく、その裏付けとなる財源の確保が必要なのだ。国も事業者も余裕がない時代が続く。余裕を創れる社会こそ「好循環社会」なのだろう。

そこでは、従来の既得権や社会の仕組みをとことん見直す思い切った政治の力を期待したい。



2023年3月10日 君は放課後インソムニア 漫画複製原稿&アニメ複製原画展



第 7 章
トピックス
(社会貢献)

董仙会トピックス（社会貢献）

日付	内容	施設
2022.4.1	入退院管理センター・感染制御センターを開設	恵寿総合病院
2022.4.1	病理診断科を開設	恵寿総合病院
2022.4.1	恵寿金沢病院にカルテコ導入	恵寿金沢病院
2022.4.6	ウクライナ募金を開始	董仙会
2022.4.16	七尾未来アワード公開プレゼンにてFoot活プロジェクトが奨励賞・会場共感賞を受賞	董仙会
2022.5.16	神野理事長出演のラジオ番組「ほっとたいむ」が放送1,300回目を迎える	董仙会
2022.5.29	エフエム石川・金沢ケーブル・恵寿総合病院のコラボ企画「健康UP! ACADEMY」を開催	恵寿総合病院
2022.6.1	上肢用ロボット「ReoGo-J」を導入	恵寿総合病院
2022.6.6	心療内科を開設	恵寿総合病院
2022.6.6	かいごの相談室を開設	恵寿総合病院
2022.6.23	「医療連携のつどい」を3年ぶりに開催	恵寿総合病院
2022.7.9	Foot活プロジェクト in 恵寿金沢病院 測定会を開催	恵寿金沢病院
2022.8.1	七尾高校生インターンシップを3年ぶりに受け入れ	恵寿総合病院
2022.8.2	けいじゅヘルスケアシステム 介護技能グランプリを開催	董仙会 / 徳充会
2022.8.18	医療へのいざない オンラインツアー-in恵寿総合病院 羽咋高校	恵寿総合病院
2022.8.26	医療へのいざない オンラインツアー-in恵寿総合病院 七尾高校	恵寿総合病院
2022.9.1	介護部を設立	恵寿総合病院
2023.9.8,9	横浜市立大学主催の「医療経営合同インターンシッププログラム」実施	恵寿総合病院
2022.9.13-15	第24回董仙会TQM発表大会をオンラインにて開催	董仙会
2022.10.5	看護師特定行為研修修了式を開催 特定行為看護師5名が誕生	恵寿総合病院
2022.10.5	めぐみ 福祉用具の日イベントを開催	恵寿総合病院
2022.10.11	石川県介護技能グランプリに3名が出場 1名が技能賞を受賞	董仙会 / 徳充会
2022.11.9	移乗サポートロボットHugを導入	和光苑
2022.12.1	新たに認定看護師3名が誕生	恵寿総合病院
2022.12.9	ローレル&恵寿 イルミネーション点灯式を開催	董仙会 / 徳充会
2023.1.4	けいじゅヘルスケアシステム新年互礼会・二十歳の集いを開催	董仙会 / 徳充会
2023.1.26	恵寿総合病院 防災訓練を実施	恵寿総合病院
2023.2.6	患者サポートアプリ「ポケメド」を全国3例目、北陸3県で初めて導入	恵寿総合病院
2023.2.10	ローレル&恵寿 バレンタインイルミネーション実施	董仙会 / 徳充会
2023.3.6	健康管理センターの人間ドックラウンジをリニューアル	恵寿総合病院
2023.3.8	6年連続ホワイト500を受賞	董仙会
2023.3.10	君は放課後インソムニア 漫画複製原稿&アニメ複製原画展を開催	恵寿総合病院
2023.3.11	第25回董仙会TQM発表大会を3年半ぶりにリアル開催	董仙会
2023.3.24	臨床研修修了式	恵寿総合病院

2022.4.16
七尾未来アワード公開プレゼンにて
Foot活プロジェクトが奨励賞・会場共感賞を受賞



2022.5.29
エフエム石川・金沢ケーブル・恵寿総合病院の
コラボ企画「健康UP! ACADEMY」を開催

2022.9.1
介護部を設立



2023.1.26
恵寿総合病院 防災訓練を実施

徳充会トピックス（社会貢献）

日付	内容	施設
毎月	地域サロンへの送迎対応	もみの木苑
2022.4.1	買い物支援バス運行	石川県精育園
2022.6.3	買い物支援バス運行	石川県精育園
2022.6.5	地域連携沿道環境創出事業（いしかわ我がまちアドプト制度）花苗植栽	石川県精育園
2022.7.1	買い物支援バス運行	石川県精育園
2022.10.7	買い物支援バス運行	石川県精育園
2022.11.4	買い物支援バス運行	石川県精育園
2022.11.12	地域連携沿道環境創出事業（いしかわ我がまちアドプト制度）花苗植栽	石川県精育園
2022.12.2	買い物支援バス運行	石川県精育園
2022.12.9	ローレル&恵寿 イルミネーション点灯式を開催	董仙会 / 徳充会
2023.1.6	買い物支援バス運行	石川県精育園
2023.2.3	買い物支援バス運行	石川県精育園
2023.3.3	買い物支援バス運行	石川県精育園

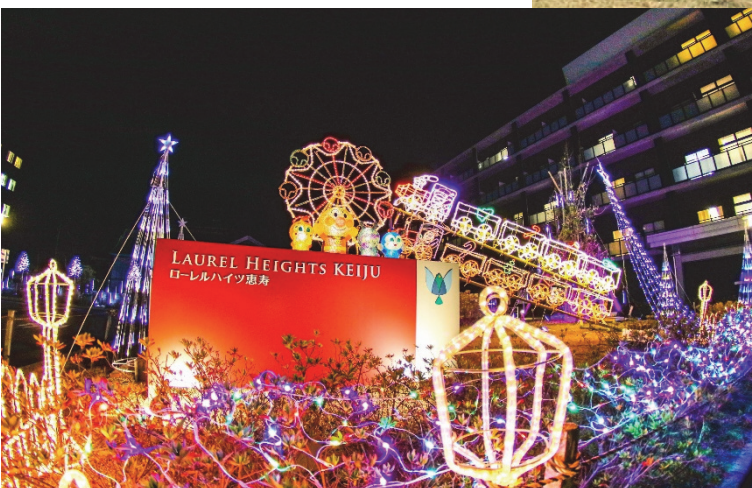
2022.6.5

地域連携沿道環境創出事業
(いしかわ我がまちアドプト制度) 花苗植栽



2022.11.12

地域連携沿道環境創出事業
(いしかわ我がまちアドプト制度) 花苗植栽



2022.12.9

ローレル&恵寿 イルミネーション点灯式を開催



2023年3月11日 第25回TQM発表大会

けいじゅヘルスケアシステム

2022 業績集

2023年（令和5年）6月1日発行

発行人 社会医療法人財団 董仙会 理事長

社会福祉法人 徳充会 理事長

神野 正博

編集 社会医療法人財団 董仙会 企画部 企画課

〒926-8605 石川県七尾市富岡町94番地
TEL:0767-52-3211 FAX:0767-52-3218
ホームページ <https://www.keiju-hcs.com/>
メール info@keiju.co.jp

Keiju Healthcare System